

県民意識調査

第一章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画（DV予防含む）及び女性活躍に関する県民の意識や考え方などを幅広く把握し、令和2年度に改訂する「山形県男女共同参画計画」及び「山形県DV被害者支援基本計画」、並びに今後の県施策の企画・立案等における基礎資料を得ることを目的としている。

併せて、本調査を通じて、県民のワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関する意識の醸成を図っていく。

2. 調査項目

- (1) 男女共同参画社会について
- (2) 家庭と仕事の両立について
- (3) 就業状況・職場環境について
- (4) 家庭生活について
- (5) 配偶者・パートナーからの暴力について
- (6) LGBT等性的少数者について
- (7) 地域活動等、社会参加について
- (8) 防災・復興について
- (9) 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

3. 調査設計

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 山形県全域 |
| (2) 調査対象 | 県内在住の満18歳以上の男女個人 |
| (3) 調査時期 | 令和元年8月～9月 |
| (4) 調査方法 | 郵送及びウェブアンケートによる調査 |
| (5) 抽出方法 | 郵送：層化二段階無作為抽出法
ウェブ：抽出なし（インターネットによる公開アンケート方式） |
| (6) 対象人数 | 郵送：2,000人 |

4. 回収結果

有効回収数（率） 郵送：821件（41.1%） ウェブ：17件

5. 調査結果の集計表示法

(1) 地域別に統計的信頼度が確保される標本数となるよう、次の通りの標本数と抽出ウェイト、集計ウェイトとしている。

地域	抽出ウェイト	標本数	有効回収数	集計ウェイト	規正標本数
村山地域	1 / 2	913	376	2	752
最上地域	1	262	103	1	103
置賜地域	1 / 2	358	162	2	324
庄内地域	1 / 2	467	175	2	350
不明	—	—	5	1	5
計	—	2,000	821	—	1,534

(2) 地域別の抽出率が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し規正した。調査結果はこの規正標本数を100.0%として算出した。ただし、端数処理の関係で各項目の合計が必ずしも100.0%とならないことがある。

6. 標本抽出法

- 母集団 : 山形県内に居住する満18歳以上の男女個人
- 標本数 : 2,000人
- 地点数 : 130地点
- 抽出法 : 層化二段階無作為抽出法

【層化】

山形県内を4地域に区分し、それぞれの都市規模により9層に層化した。

地域	層	市町村
村山地域	山形市	山形市
	その他の市部	寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市
	町村部	山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上地域	市部	新庄市
	町村部	金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜地域	市部	米沢市、長井市、南陽市
	町村部	高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内地域	市部	鶴岡市、酒田市
	町村部	三川町、庄内町、遊佐町

※ 本調査については、平成27年国勢調査のデータを利用している。

【調査地点数及び標本数の配分】

- (1) 平成 27 年国勢調査の調査区を第一次抽出単位として使用し、地域・市町村部各層に対して、130 の調査地点を配分した。
- (2) 調査地点の抽出は、調査地点が 2 点以上割り当てられた層については、抽出間隔（層における調査区数の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、乱数表にてスタート地点を決定し、等間隔抽出法により抽出した。市町村の配列順序は、平成 27 年国勢調査時における「市区町村コード一覧」に従った。
- (3) 各調査地点の標本数を 14～16 程度と設定した。
 あらかじめ各層に割り当てられた地点数×15 で、地点ごとの抽出数を算出した。地点ごとの合計抽出数が、与えられた抽出数と差がある場合は、各市町村の人口に応じて比例配分をし、標本数を決定した。
 ※ただし、最上地域は他地域の 2 倍の地点数を割り当て、ウエイトをかけた。
- (4) 調査時点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地・字等を指定）で、選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出した。なお、抽出に際して、名簿のスタート地点は乱数表を用い、抽出間隔は「対象地点の名簿総数÷抽出数」にて決定した。

各地域・市部町村部別の母集団数及び標本数・調査地点数は次のとおり。

	山形市	その他の市部	町村部	計
村山地域	212,807	189,432	62,558	464,797
	418(25)	372(24)	123(8)	913(57)
最上地域		30,998	35,513	66,511
		122(8)	140(10)	262(18)
置賜地域		123,432	58,690	182,122
		243(16)	115(8)	358(24)
庄内地域		200,150	37,423	237,573
		393(24)	74(7)	467(31)
計	212,807	544,012	194,184	951,003
	418(25)	1,130(72)	452(33)	2,000(130)

※ 上段：平成 27 年 10 月 1 日現在の母集団数

下段：標本数、() 内は地点数

7. この報告書の見方

- (1) 調査結果の構成比はすべて百分比 (%) で表しており、その質問の回答者総数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 集計表は全体が回答者数、質問項目は回答率 (%) で示している。
- (3) 複数回答形式の場合、構成比の合計は通常 100.0%を超える。
- (4) グラフ中の「N」とは、その質問への回答者数を表す。
- (5) クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計（全体）の回答数が合致しないことがある。
- (6) クロス集計など各層別の分析において、回答総数が僅少（10 未満）なものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として傾向をみるにとどめている。
- (7) 本文中の二重括弧『・・』は2つの選択肢を総合したことを表している。
また、選択肢等の語句を一部簡略化して表す場合にも用いている。
- (8) 性別について、「その他」という回答がなかったため、集計表及びグラフでは掲載を省略している。
- (9) 前回調査（「H26 年度意識調査」、「H21 年度意識調査」、「H18 年度課題調査」、「H11 年度意識調査」）とは調査設計に以下の違いがある。

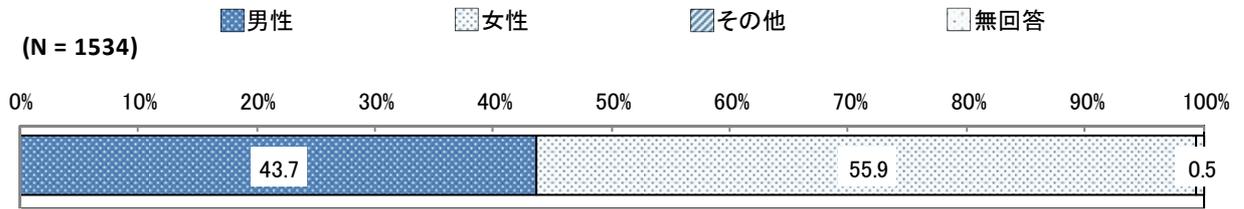
	今 回	H26 年度意識調査
調 査 名	令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び女性活躍に関する県民意識調査	平成 26 年度ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画県民意識調査
実施期間	令和元年 8 月～9 月	平成 26 年 8 月～9 月
調査対象	満 18 歳以上の男女 2,000 名	満 20 歳以上の男女 2,000 名
回 収 数 (正規標本数)	郵 送：821 名 (1,534) ウェブ：17 名	郵 送：900 名 (1,659) ウェブ：106 名
調査方法	郵送及びウェブによるアンケート調査	郵送及びウェブによるアンケート調査
設 問 数	34 問	33 問

	H21 年度意識調査	H18 年度課題調査
調 査 名	平成 21 年度新男女共同参画計画意識調査	平成 18 年度新世紀やまがた課題調査
実施期間	平成 21 年 7 月～9 月	平成 18 年 7 月～8 月
調査対象	満 20 歳以上の男女 1,300 名	満 20 歳以上の男女 1,300 名
回 収 数 (正規標本数)	727 名 (1,339)	1,044 名 (1,931)
調査方法	調査員の個別面接によるアンケート調査	調査員の個別面接によるアンケート調査
設 問 数	30 問	34 問中男女共同参画関連 6 問

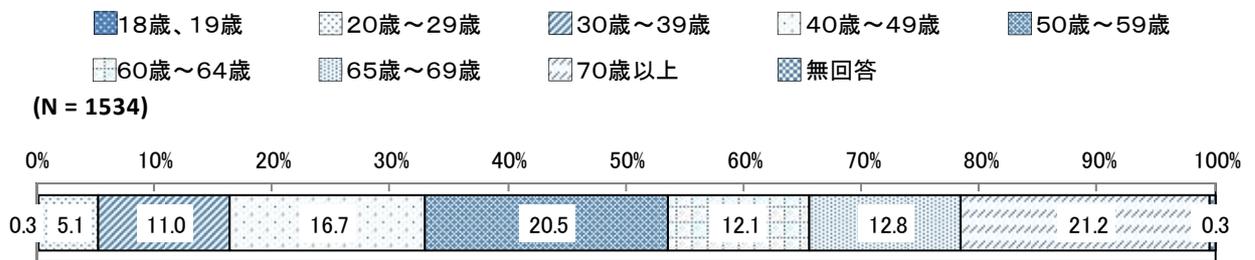
	H11 年度意識調査
調 査 名	平成 11 年度県民の意識調査
実施期間	平成 11 年 9 月
調査対象	満 20 歳以上の男女 2,000 名
回 収 数 (正規標本数)	1,067 名 (2,005)
調査方法	郵送によるアンケート調査
設 問 数	23 問

第二章 回答者の属性

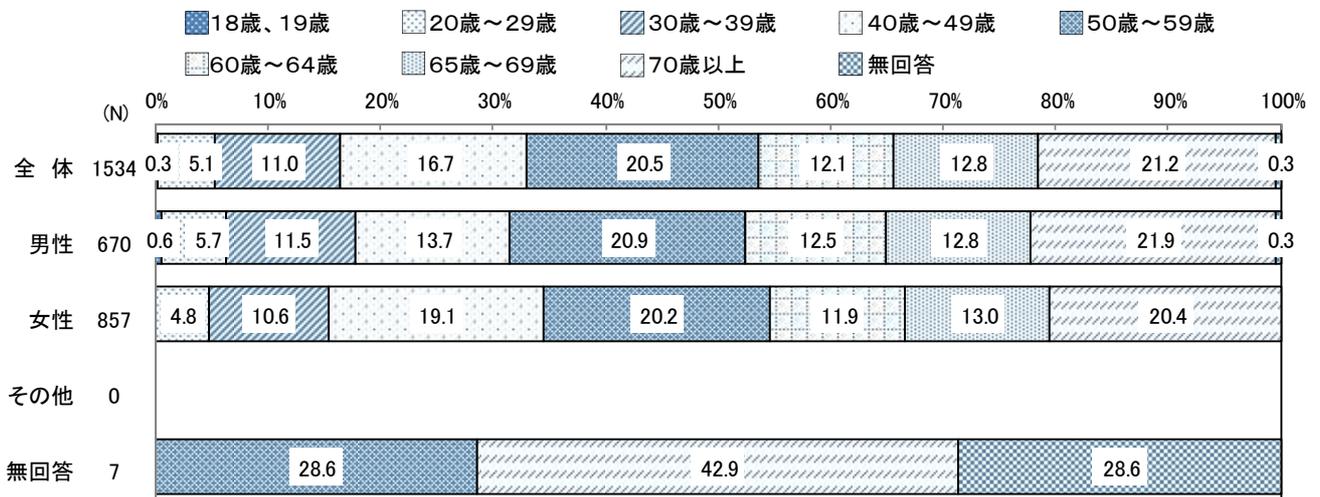
(1) 性別



(2) 年齢<令和元年8月1日現在>



<男女別>

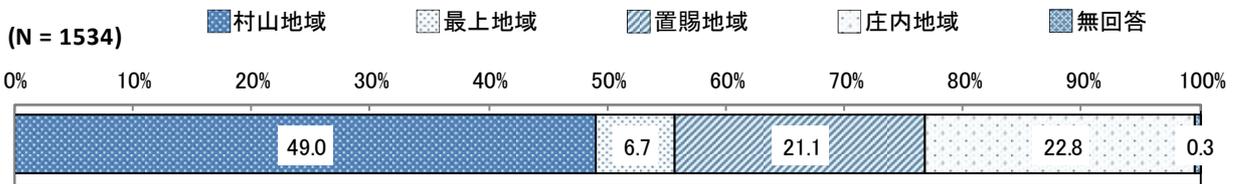


(3) 居住地

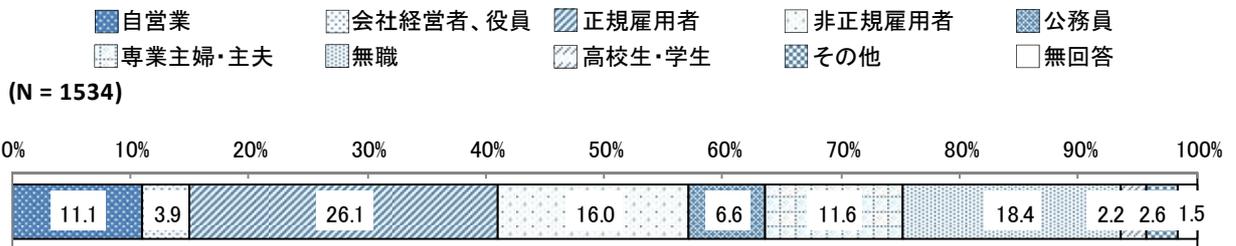
(%)

全体	山形市	寒河江市	上山市	村山市	天童市	東根市	尾花沢市	山辺町	中山町
100	21.5	2.7	2.1	2.6	7.6	4.4	0.8	1.2	1.3
	河北町	西川町	朝日町	大江町	大石田町	新庄市	金山町	最上町	舟形町
	0.8	1.3	0.4	1.6	0.8	3.2	0.2	0.3	1.0
	真室川町	大蔵村	鮭川村	戸沢村	米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町
	0.5	0.3	0.8	0.4	4.2	7.0	3.5	2.9	0.7
	小国町	白鷹町	飯豊町	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	無回答
	1.3	0.8	0.8	7.7	11.1	0.7	3.1	0.3	0.3

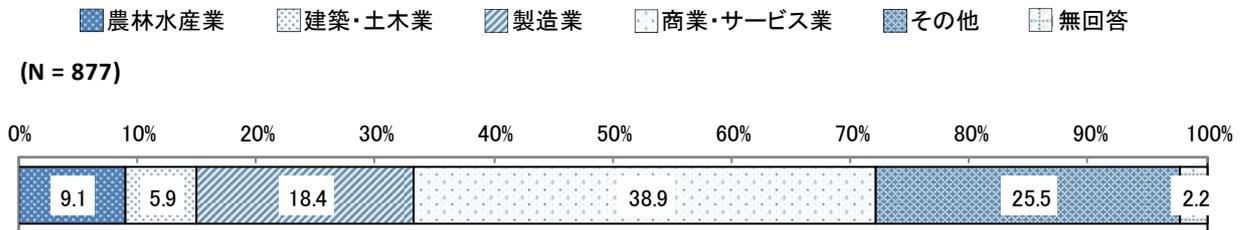
<地域別>



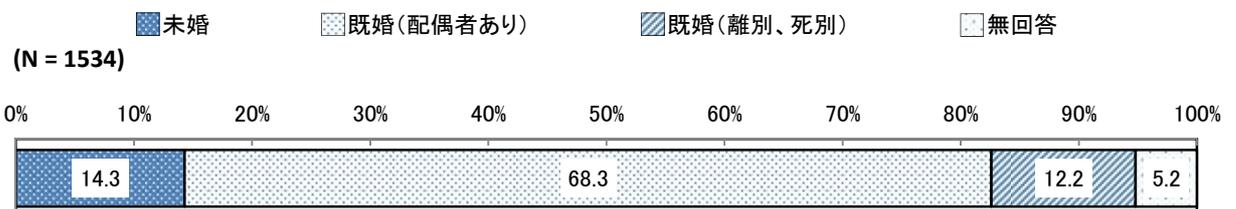
(4) 職業



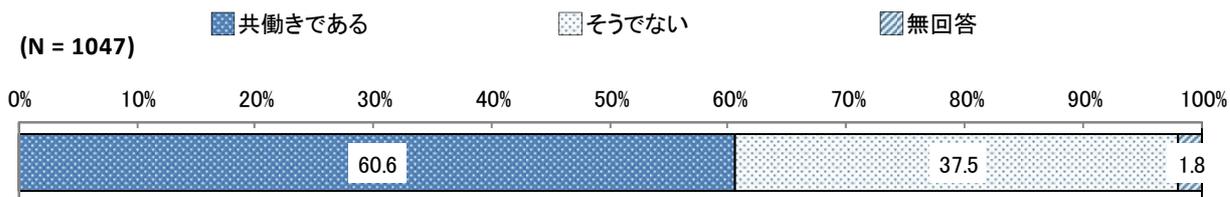
(4-1) 職業の分野



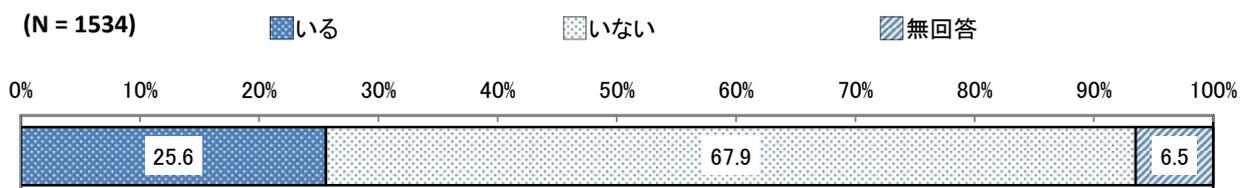
(5) 結婚の状況



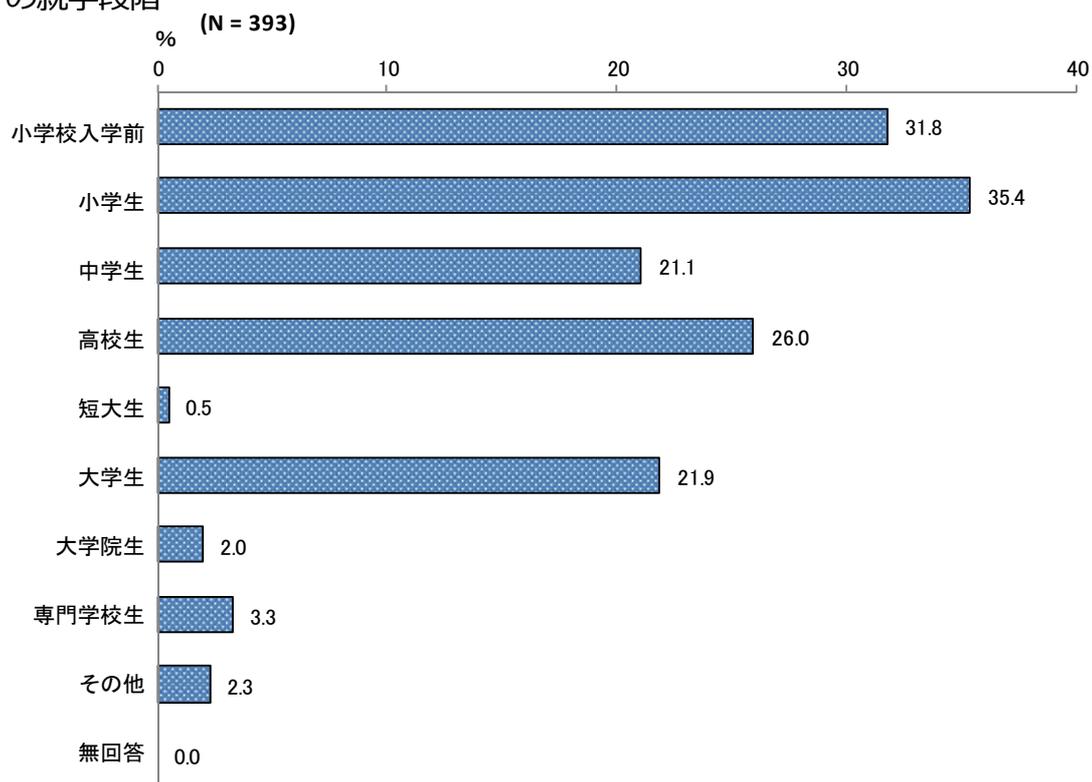
(5-1) 配偶者の就労



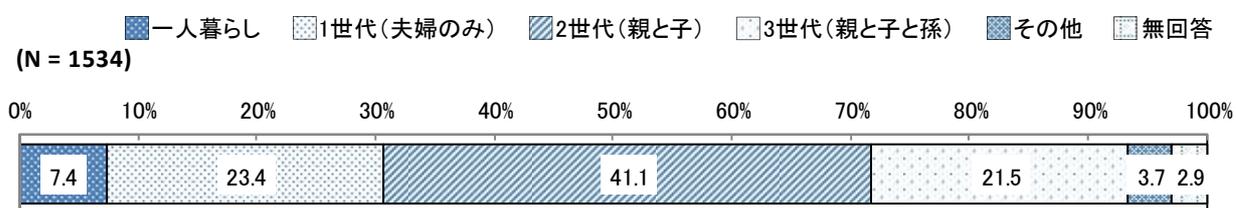
(6) 乳幼児または就学中の子の有無



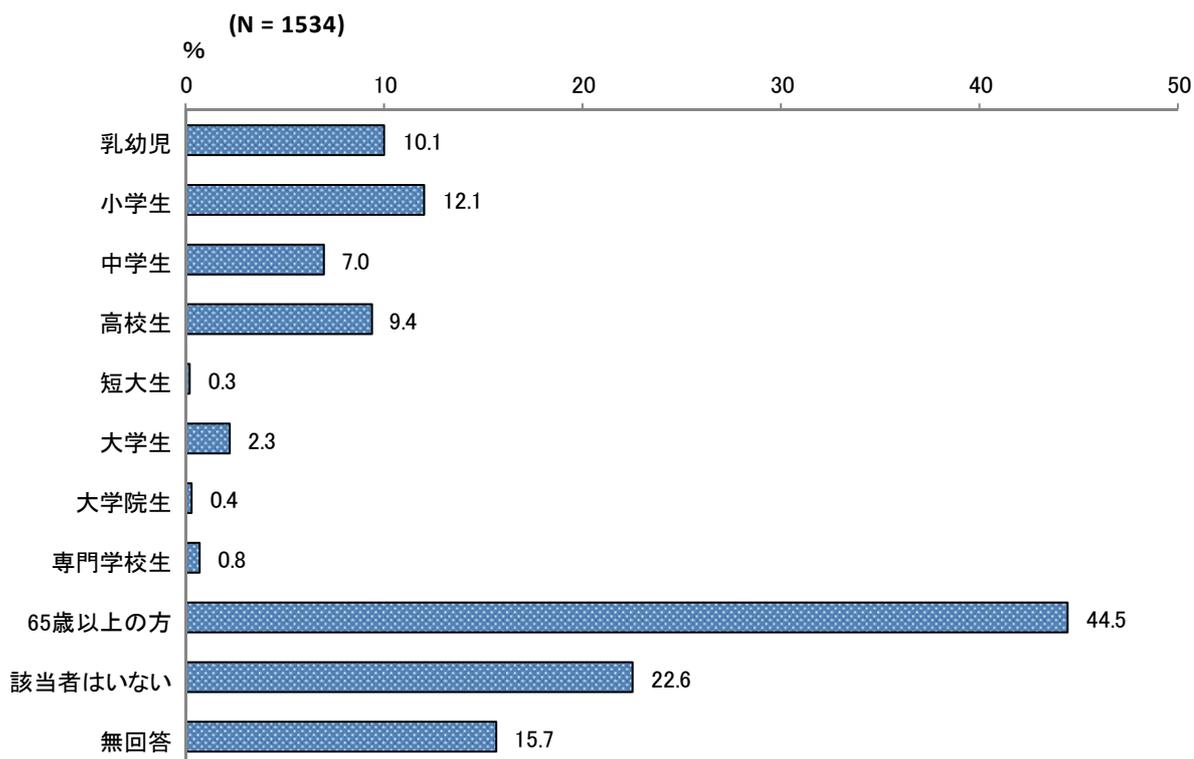
(6-1) 子の就学段階



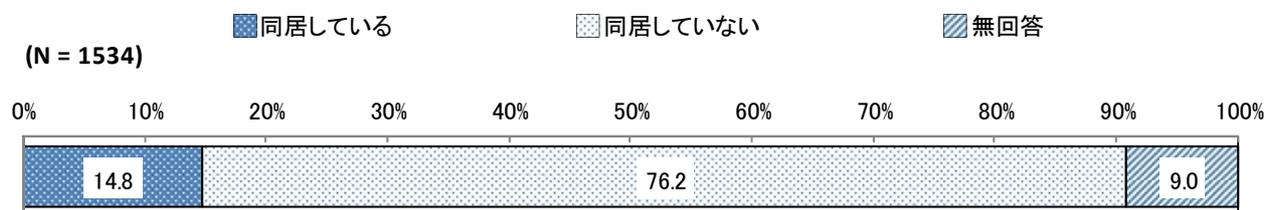
(7) 同居している家族の世代構成



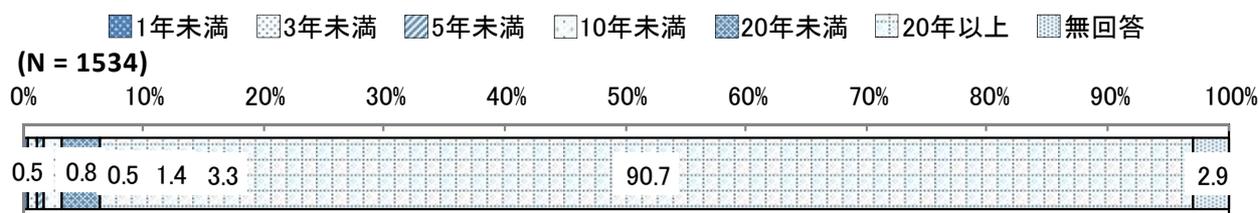
(8) 同居している家族について



(9) 介護を必要とする家族との同居の有無



(10) 山形県での居住年数



第三章 調査結果のあらまし

1. 男女共同参画社会について

「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という性別による固定的な役割分担意識については、今回の調査で、初めて『反対』が5割を超え、『賛成』が3割を下回っており、固定的な役割分担意識は薄くなってきていることが推察される。

しかし、夫婦の役割分担については、「理想」は「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」が最も高いものの、「現状」は「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」が最も高くなっており、「理想」と「現状」で差が生じているのがうかがえる。

男女の各分野での平等意識については、「学校教育の場」と「PTA、保護者会」は『平等』と考えている人の割合が高いものの、その他の分野については、『男性優遇』と考えている人の割合が4割を超え、不平等感がみられる。

各分野への女性の意見・考え方の反映状況については、『反映されている』は、「PTA、保護者会」と「職場」が5割を超えて高くなっている。一方、『反映されていない』は、「政治」と「県や市町村の施策」が3割を超えて高くなっている。男女別に見ると、すべての分野において、『反映されている』と回答した人は男性の方が女性よりも多く、特に「政治」と「県や市町村の施策」で大きな差がみられた。

反映されていないと思う理由は、全体では「女性議員が少ない」を挙げる人が多く、女性では「男性の意識、理解が足りない」、男性では「女性議員が少ない」と答える人が多くなっている。

役職の要請があった場合の対応については、男性の方が女性よりも「引き受ける」割合が高くなっている。役職への要請を断る理由は、男女ともに「責任を果たせるだけの自信がないから」が最も高くなっている。

女性の社会参画の促進に必要な取組みについては、男女ともに「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する」の割合が高くなっており、育児・介護等の負担軽減が望まれている。

女性が働くことへの意識については、「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」が5割を超えて最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」が約2割となっている。前回の平成26年度調査と比較すると、「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」が増加し、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は減少している。

女性が働き続けるためには、男女ともに「男性の家事分担等、家族の理解と協力」が4割を超えて高く、次いで「出産・育児・介護に関しての職場の理解」が約3割となっている。

2. 家庭と仕事の両立について

「家庭、仕事、地域でバランスのとれた生活を過ごしている」と思っている人は3割を超え、そう思わない人は約3割となっている。前回の平成26年度調査と比較すると、バランスのとれた生活を過ごしていると思うと答えた人も、そうでない人も減少している。

1日当たりの平均所要時間については、女性は、仕事や家事の時間が多く、男性は特に仕事に時間を費やしている。

ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことについては、『職場での働き方の見直し』や『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』など、職場環境の改善が必要と答えた人の割合が高く、次いで『家庭生活への男性の積極的な参画の促進』となっている。

今後、家庭と仕事の両立を実現するためには、職場における取組みとともに、男性の家庭への参画が一層重要になってくると思われる。

3. 就業状況・職場環境について

働いている理由については、経済的な理由が大半を占めているが、「生きがいを得るため」や「自分の能力や資格を活かすため」などといった経済的な理由以外の回答では、女性の方が男性よりも高くなっている。

勤めている会社等での制度の状況について、「制度あり」では「有給の時間休」と「育児休業」で3割を超えている。休暇を取得したくない理由としては、「収入が減ると困るから」や「職場に迷惑がかかるから」という意見が多くなっている。

現在働いていない方の再就職の希望については、男女ともに「働きたい」は約3割、「働きたくない」が約5割となっている。働き方については、男性は「正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい」が、女性は「ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい」が最も高くなっている。

平成25年以降に仕事を辞めたことのある方の仕事を辞めた理由は、男女ともに「定年に達したので」と答えた人の割合が最も高くなっている。

4. 家庭生活について

子育てに関する意識については、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのが良い」が『思う』と『思わない』でほぼ同数となっているが、男女別にみると、男性の方が女性よりも10ポイント以上高くなっており、男性の方が性別で区分して、子育てをする傾向がみられる。

家事、子育て、介護等の役割分担については、「地域行事への参加」と「町内会等の自治会活動」は「主として男性」が最も高く、「家事」、「子育て」、「家計の管理」は「主として女性」が最も高くなっている。

子育てと介護を両方担う「ダブルケア」については、「現在行っている」という回答は1割に満たないが、「現在行っていないが、数年先に行う可能性がある」は3割を超えている。将来に向け、「ダブルケア」への支援が求められている。

介護をしながら働き続けていく上で課題になっていること（なると思われること）については、「介護休業制度等の両立支援制度を利用すると収入が減ること」と「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」が約3割となっている。

5. 配偶者・パートナーからの暴力について

DVの意識については、「暴力だと思う」は「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」が8割を超え最も高く、次いで「性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる」、「大声でどなったり、傷つく言葉を言う、殴るふりをしておどす」、「子どもに悪口を吹き込んだり、子どもを取り上げると脅す」が約7割となっている。

配偶者・パートナーから暴力を受けた経験については、全ての項目で女性が男性を上回り、加害経験は『身体的暴力』、『精神的暴力』、『性的暴力』の3項目で男性が女性を上回っている。

配偶者・パートナーからの暴力の時期については、過去5年以内の経験者が約5割となり、そのうち1年以内での経験者は約2割となっている。

DVを受けたときの相談先については、女性では「友人、知人」「家族、親戚」といった身近な人への相談が3割を超えており、男性では「だれ（どこ）にも相談しなかった」と答えた人が3割を超えて最も高くなっている。男女ともに医療関係施設や公共機関を利用した人は1割を下回っている。

DVについて相談しなかった理由については、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が約4割、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」及び「相談しても無駄だと思ったから」が約3割となっている。

DVをなくすために必要な対策については、家庭や学校での『思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実』と答えた人が5割を超えており、家庭や学校での取り組みが期待されている。

6. LGBT等性的少数者について

性的少数者に関する言葉と意味については、『知っている』としては「カミングアウト」が5割半ばで最も高く、次いで「セクシュアル・マイノリティ」と「LGBT」が約5割となっている。一方、「アウトイング」と「SOGI」は1割を下回っており、認知度は低くなっている。

身近な方から「セクシュアル・マイノリティである」などと打ち明けられたときに受け入れられるかについては、両親や配偶者といった身近な人では1割半ばに留まり、友人や職場の同僚・同じ学校の人からは約4割となっている。「受け入れられる」という回答は、どの人間関係においても女性の方が男性よりも高くなっている。

性的少数者に対して必要だと思う支援や対策については、『窓口の設置』や『居場所づくり』が4割を超え高くなっている。

7. 地域活動等、社会参加について

仕事以外の活動については、「特にしていない」が約5割と最も高く、次いで「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」が2割半ば、「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が約2割となっている。活動していない理由は、男性では「関心がない」、女性では「仕事が忙しくて時間がな」と答えた人が多くなっている。今後希望する活動の種類は、「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が3割半ば、「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」と「福祉に関するボランティア活動」が約1割となっている。

8. 防災・復興について

防災・復興については、およそ9割の人が「防災計画策定等への男性・女性の参加」が必要と答えており、災害時に「性別の違い」に配慮した対応が必要だと思うものについては、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が8割超、「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性（女性用品等）」に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が約6割となっており、災害時には、性別や年齢などに配慮したきめ細かな現場対応が必要であると推察される。

9. 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

法律や用語、施設などの認知度については、「言葉も意味も知っていた」は「パワーハラスメント」と「セクシュアルハラスメント」が7割半ばを超えて特に高くなっている。

「男女共同参画社会」は男女合わせて、約4割が「言葉も意味も知っていた」と答えており、男性の方が認知度が高くなっている。

「山形県男女共同参画センター“チェリア”」の利用の有無については、「利用したことはない」が約9割となっている。期待する役割としては、『男女共同参画に関する学習会の開催』、『社会で働く上で役立つ講座の開催』、『男女共同参画の推進に関する情報提供』がいずれも2割を超えている。

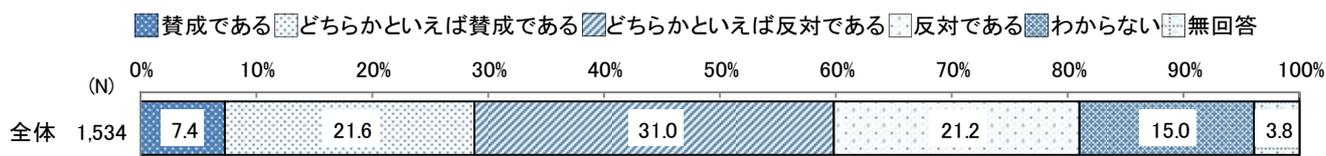
男女共同参画社会を実現する上で重要なことについては、男女ともに、「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」と答えた人が6割を超えている。次いで女性は「家庭において、男性が家事・育児等にもっと積極的に参画すること」、男性は「職場において、男女を平等に扱い、女性の能力を積極的に活用すること」と答えており、男女の意識に差がみられる。家庭と仕事が両立できる職場環境を整え、家事・育児に男女双方が積極的に参画することがより求められていると推察される。

第四章 調査結果の分析

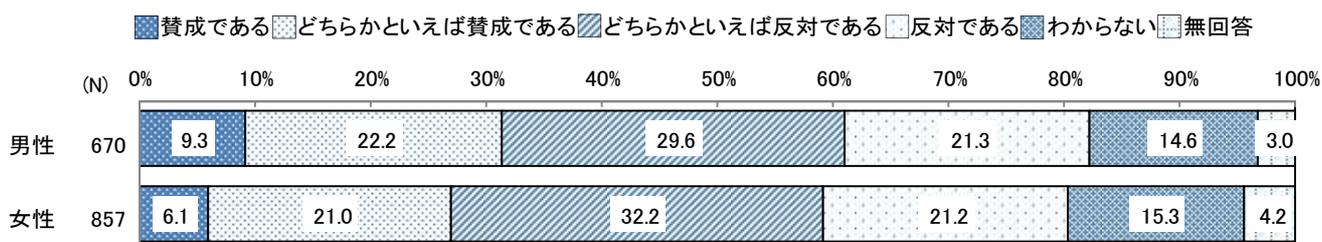
1. 男女共同参画社会について

(1) 固定的な役割分担意識について

問1 あなたは、「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方についてどう思いますか。
あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)



【全体】「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方については、「賛成である」(7.4%)と「どちらかといえば賛成である」(21.6%)を合わせた『賛成』が29.0%、「どちらかといえば反対である」(31.0%)と「反対である」(21.2%)を合わせた『反対』が52.2%となっており、初めて『反対』が5割を超え、『賛成』が3割を下回った。



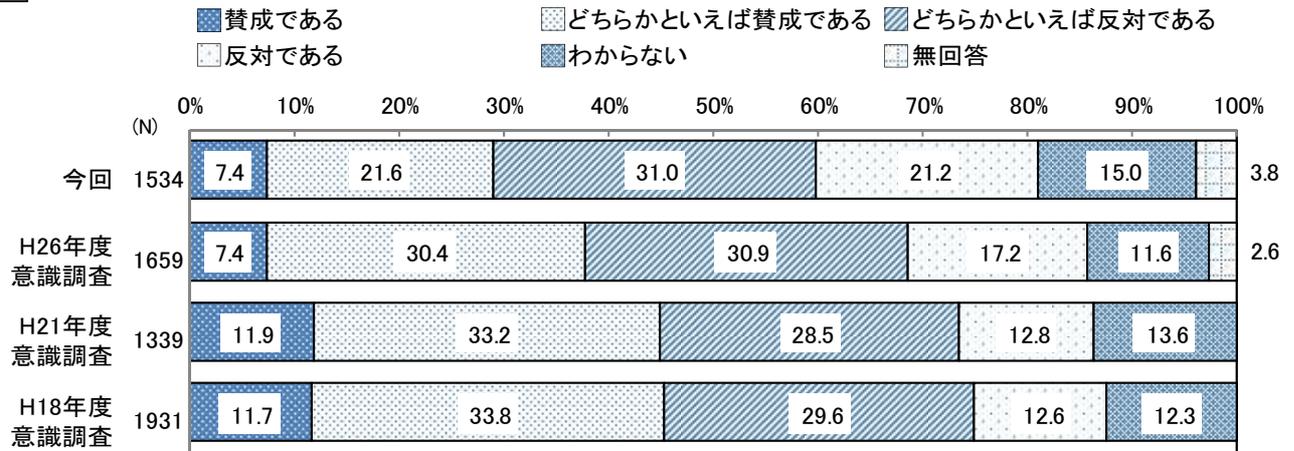
【性別】『賛成』は、男性(31.5%)が女性(27.1%)よりも4.4ポイント高く、『反対』は、女性(53.4%)が男性(50.9%)よりも2.5ポイント高くなっている。

	全体	「夫は働き妻は家庭を守るのが良い」という考え方について						賛成	反対	
		賛成である	どちらかといえば賛成である	どちらかといえば反対である	反対である	わからない	無回答			
全体	1534	7.4	21.6	31.0	21.2	15.0	3.8	29.0	52.2	
性・年齢別	男性(計)	670	9.3	22.2	29.6	21.3	14.6	3.0	31.5	50.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	男性・20歳～29歳	38	10.5	7.9	26.3	28.9	26.3	0.0	18.4	55.2
	男性・30歳～39歳	77	5.2	5.2	32.5	35.1	14.3	7.8	10.4	67.6
	男性・40歳～49歳	92	5.4	16.3	44.6	14.1	15.2	4.3	21.7	58.7
	男性・50歳～59歳	140	5.7	20.0	27.9	30.7	15.7	0.0	25.7	58.6
	男性・60歳～64歳	84	13.1	32.1	25.0	21.4	6.0	2.4	45.2	46.4
	男性・65歳～69歳	86	4.7	27.9	29.1	12.8	18.6	7.0	32.6	41.9
	男性・70歳以上	147	17.7	32.7	23.8	13.6	10.9	1.4	50.4	37.4
	女性(計)	857	6.1	21.0	32.2	21.2	15.3	4.2	27.1	53.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	9.8	39.0	34.1	4.9	7.3	14.7	73.1
	女性・30歳～39歳	91	5.5	23.1	18.7	28.6	22.0	2.2	28.6	47.3
	女性・40歳～49歳	164	4.3	23.2	29.3	21.3	17.1	4.9	27.5	50.6
	女性・50歳～59歳	173	3.5	15.0	40.5	19.1	16.8	5.2	18.5	59.6
	女性・60歳～64歳	102	2.0	26.5	29.4	27.5	14.7	0.0	28.5	56.9
女性・65歳～69歳	111	5.4	21.6	40.5	14.4	16.2	1.8	27.0	54.9	
女性・70歳以上	175	13.7	22.9	28.6	17.1	10.9	6.9	36.6	45.7	
無回答	7	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	

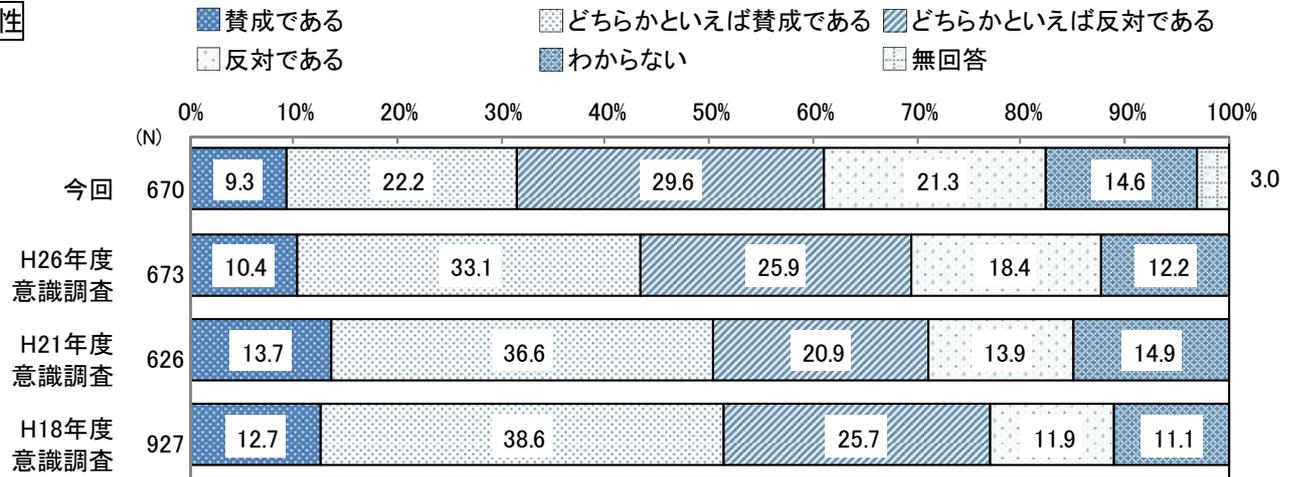
【性・年齢別】『賛成』は男性の70歳以上(50.4%)で最も高く、『反対』は女性の「20歳～29歳」(73.1%)で唯一7割を超えて高くなっている。

過去調査との比較

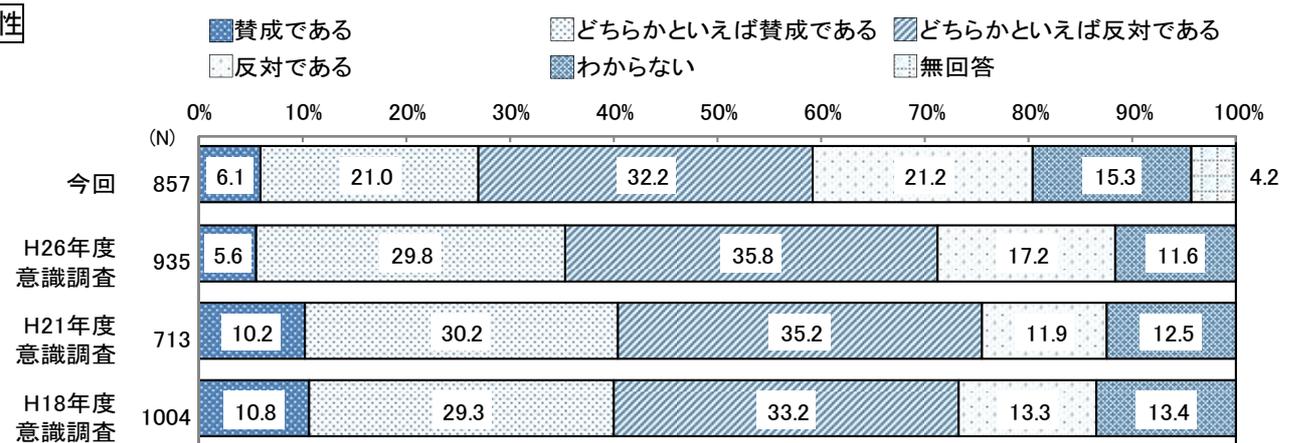
全体



男性



女性

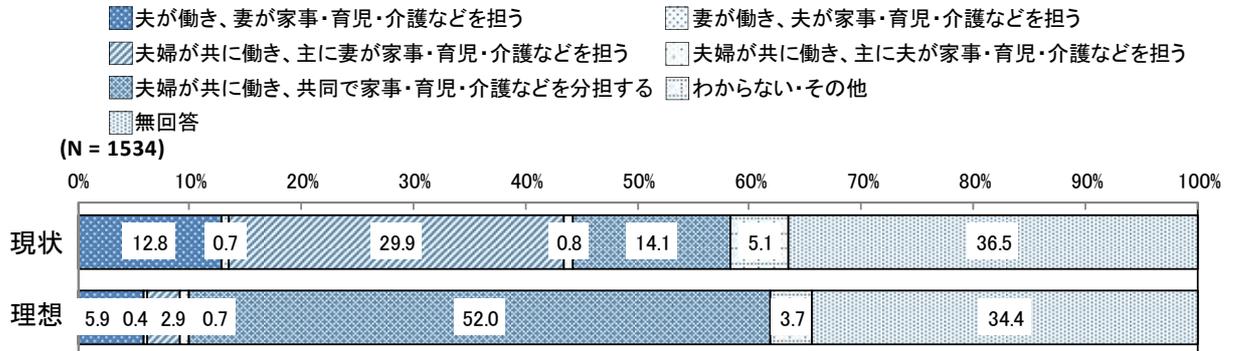


【全体】『賛成』は減少傾向となっており、今回調査で初めて3割を下回った。一方、『反対』は増加傾向となっており、今回調査で初めて5割を超えた。

【性別】『賛成』について、男性は平成18年度調査以降、女性は平成21年度調査以降減少傾向となり、いずれも、今回調査で最も低くなっている。

(2) 夫婦の役割分担について

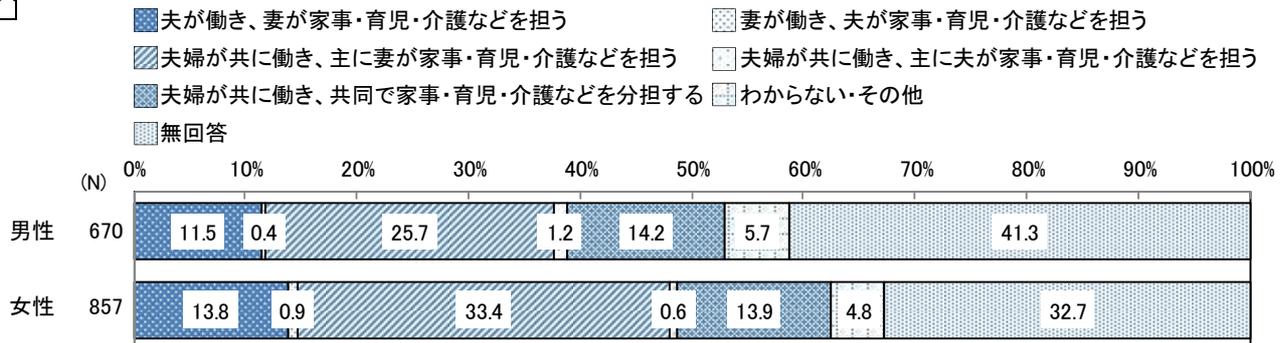
問2 既婚者（事実婚を含む）のみにお聞きします。
夫婦の役割分担について、(1) 現状、(2) 理想を選んでください。（それぞれ○は1つ）



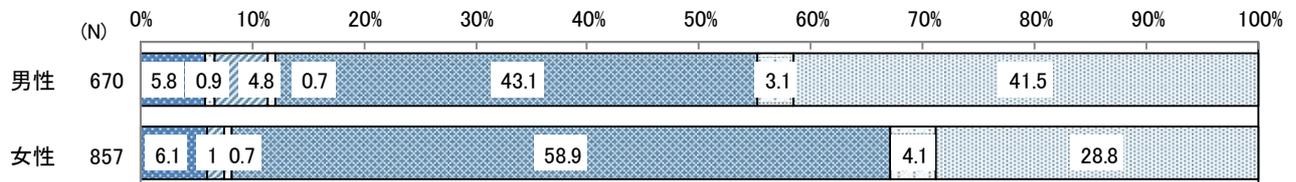
【全体】「現状」では、「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」が29.9%と最も高く、理想(2.9%)との差は27.0ポイントとなっている。

「理想」では、「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」が52.0%と最も高く、現状(14.1%)との差は37.9ポイントとなっており、「現状」と「理想」の差が表れている。

現状



理想



【性別】「現状」で最も差がみられた「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」では、女性(33.4%)が男性(25.7%)より7.7ポイント高くなっている。

「理想」で最も差がみられた「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」では、女性(58.9%)が男性(43.1%)より15.8ポイント高くなっている。

現状

	全体	夫婦の役割分担について/ 現状							
		夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う	妻が働き、夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する	わからない・その他	無回答	
全体	1534	12.8	0.7	29.9	0.8	14.1	5.1	36.5	
性・年齢別	男性(計)	670	11.5	0.4	25.7	1.2	14.2	5.7	41.3
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	2.6	0.0	7.9	0.0	13.2	5.3	71.1
	男性・30歳～39歳	77	10.4	0.0	27.3	2.6	14.3	0.0	45.5
	男性・40歳～49歳	92	6.5	0.0	39.1	0.0	16.3	2.2	35.9
	男性・50歳～59歳	140	7.1	0.0	34.3	3.6	17.1	4.3	33.6
	男性・60歳～64歳	84	23.8	3.6	21.4	0.0	16.7	2.4	32.1
	男性・65歳～69歳	86	11.6	0.0	18.6	1.2	9.3	9.3	50.0
	男性・70歳以上	147	15.0	0.0	19.0	0.0	12.2	12.2	41.5
	女性(計)	857	13.8	0.9	33.4	0.6	13.9	4.8	32.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	4.9	0.0	14.6	0.0	80.5
	女性・30歳～39歳	91	6.6	2.2	47.3	0.0	12.1	2.2	29.7
	女性・40歳～49歳	164	6.1	1.2	34.8	0.0	25.0	1.8	31.1
	女性・50歳～59歳	173	20.8	1.2	37.0	0.6	15.0	3.5	22.0
	女性・60歳～64歳	102	18.6	0.0	43.1	2.0	9.8	9.8	16.7
	女性・65歳～69歳	111	18.9	0.0	35.1	0.0	11.7	6.3	27.9
	女性・70歳以上	175	14.9	1.1	21.1	1.1	6.9	7.4	47.4
無回答	7	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9	

理想

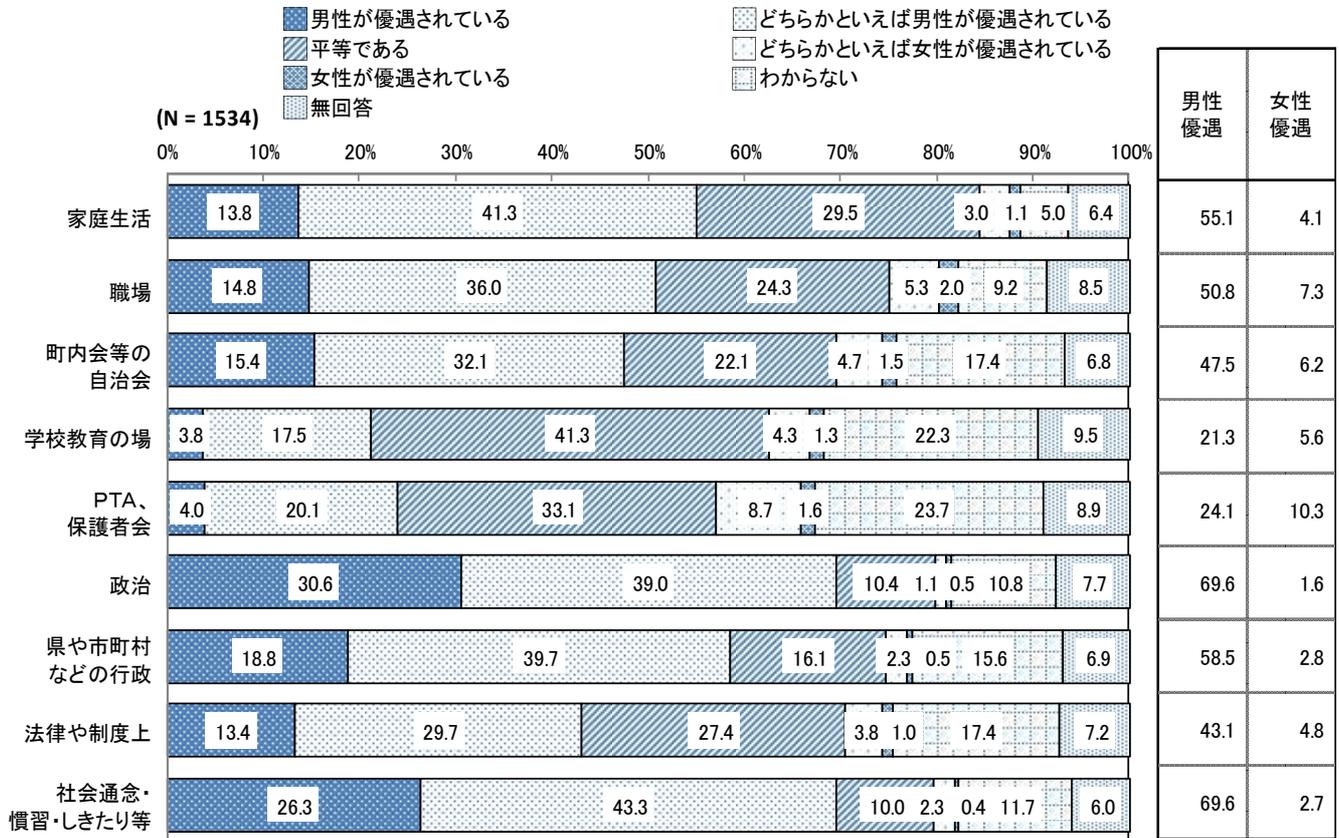
	全体	夫婦の役割分担について/ 理想							
		夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う	妻が働き、夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、主に夫が家事・育児・介護などを担う	夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する	わからない・その他	無回答	
全体	1534	5.9	0.4	2.9	0.7	52.0	3.7	34.4	
性・年齢別	男性(計)	670	5.8	0.9	4.8	0.7	43.1	3.1	41.5
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	5.3	0.0	0.0	0.0	23.7	0.0	71.1
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	2.6	0.0	51.9	0.0	45.5
	男性・40歳～49歳	92	2.2	0.0	4.3	2.2	45.7	2.2	43.5
	男性・50歳～59歳	140	10.7	1.4	0.0	0.0	51.4	2.9	33.6
	男性・60歳～64歳	84	1.2	2.4	6.0	0.0	57.1	1.2	32.1
	男性・65歳～69歳	86	8.1	0.0	4.7	2.3	24.4	11.6	48.8
	男性・70歳以上	147	8.2	0.0	11.6	0.7	38.8	2.7	38.1
	女性(計)	857	6.1	0.0	1.4	0.7	58.9	4.1	28.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	0.0	0.0	0.0	14.6	0.0	80.5
	女性・30歳～39歳	91	4.4	0.0	2.2	2.2	54.9	4.4	31.9
	女性・40歳～49歳	164	6.1	0.0	0.0	0.0	55.5	5.5	32.9
	女性・50歳～59歳	173	2.3	0.0	1.2	0.0	74.0	3.5	19.1
	女性・60歳～64歳	102	4.9	0.0	2.0	0.0	73.5	2.0	17.6
	女性・65歳～69歳	111	0.9	0.0	1.8	1.8	60.4	8.1	27.0
	女性・70歳以上	175	14.9	0.0	2.3	1.1	50.3	2.9	28.6
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	42.9	

【性・年齢別】「現状」での回答が最も多かった「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」は、女性の「30歳～39歳」と「60歳～64歳」で4割を超え高くなっている。

「理想」での回答が最も多かった「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」は、男性では「60歳～64歳」(57.1%)が、女性では「50歳～59歳」(74.0%)が最も高くなっている。

(3) 男女の地位について

問3 あなたは、次のそれぞれの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)



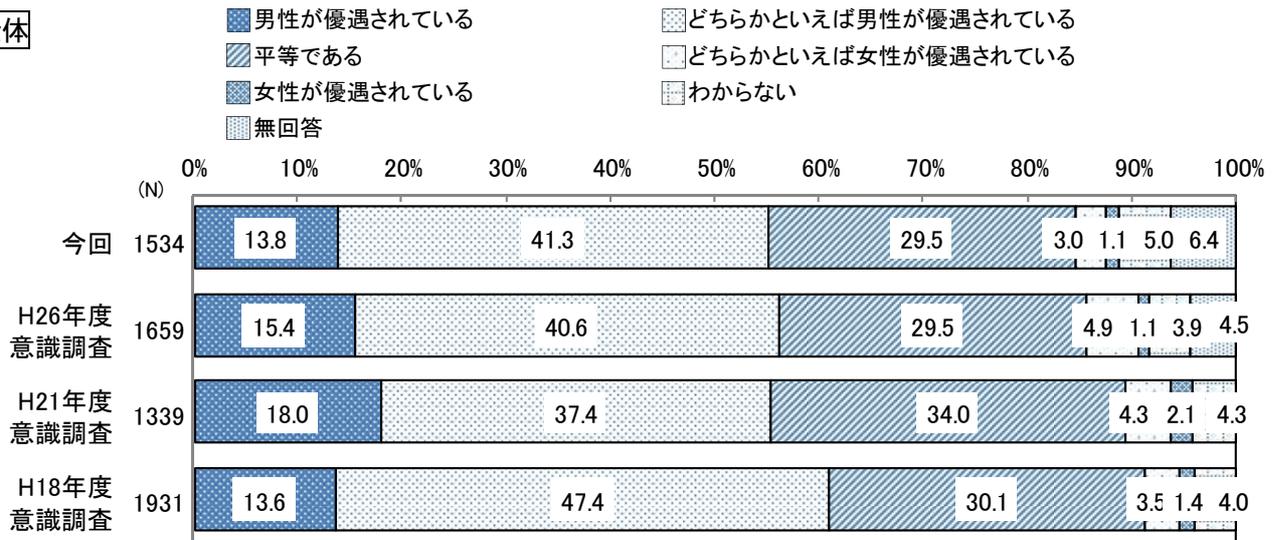
【全体】「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性優遇』では、「政治」と「社会通念・慣習・しきたり等」がいずれも 69.6%と最も高く、次いで「県や市町村などの行政」(58.5%)、「家庭生活」(55.1%)となっている。

一方、「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性優遇』では、「PTA、保護者会」が唯一1割を超えたものの、他の分野では1割を下回っている。『男性優遇』と『女性優遇』で最も差がみられたのは「政治」となっている。

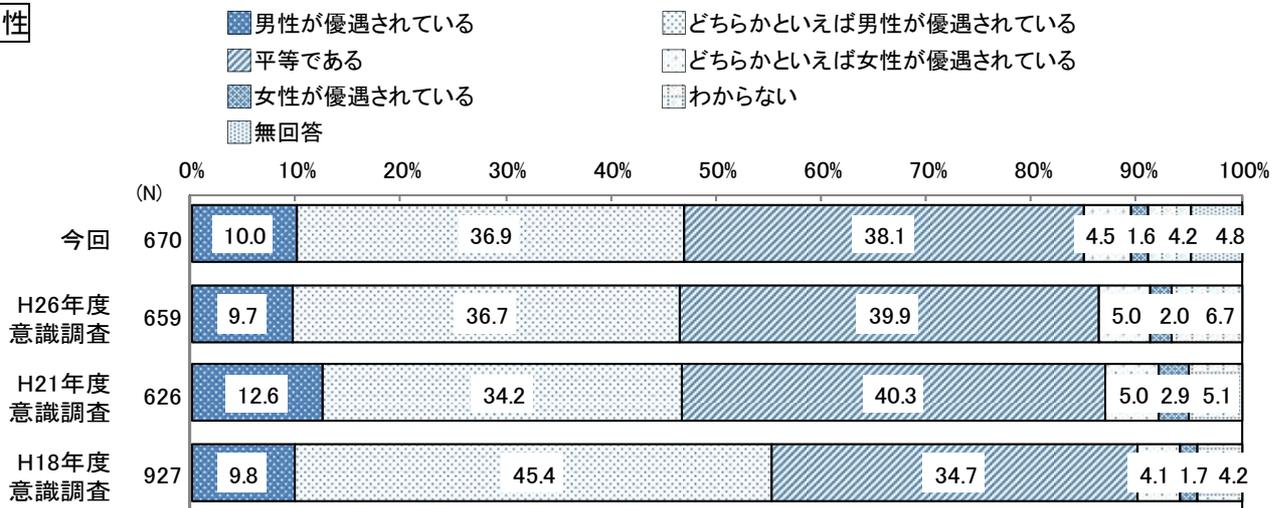
	全体	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答	男性優遇	女性優遇
家庭生活	1534	13.8	41.3	29.5	3.0	1.1	5.0	6.4	55.1	4.1
職場	1534	14.8	36.0	24.3	5.3	2.0	9.2	8.5	50.8	7.3
町内会等の自治会	1534	15.4	32.1	22.1	4.7	1.5	17.4	6.8	47.5	6.2
学校教育の場	1534	3.8	17.5	41.3	4.3	1.3	22.3	9.5	21.3	5.6
PTA、保護者会	1534	4.0	20.1	33.1	8.7	1.6	23.7	8.9	24.1	10.3
政治	1534	30.6	39.0	10.4	1.1	0.5	10.8	7.7	69.6	1.6
県や市町村などの行政	1534	18.8	39.7	16.1	2.3	0.5	15.6	6.9	58.5	2.8
法律や制度上	1534	13.4	29.7	27.4	3.8	1.0	17.4	7.2	43.1	4.8
社会通念・慣習・しきたり等	1534	26.3	43.3	10.0	2.3	0.4	11.7	6.0	69.6	2.7

過去調査との比較【家庭生活】

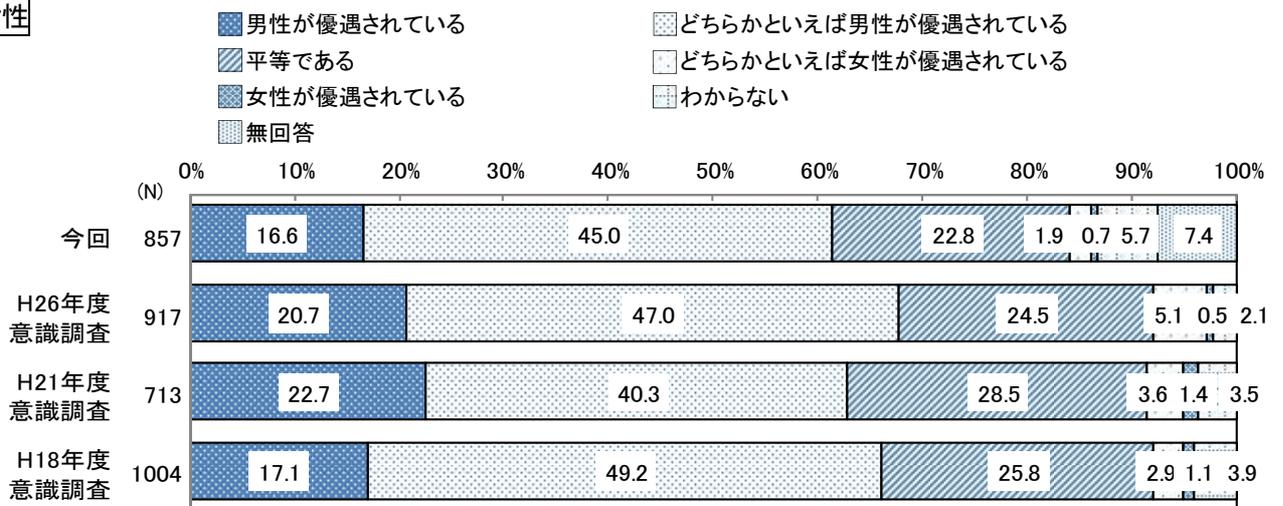
全体



男性



女性

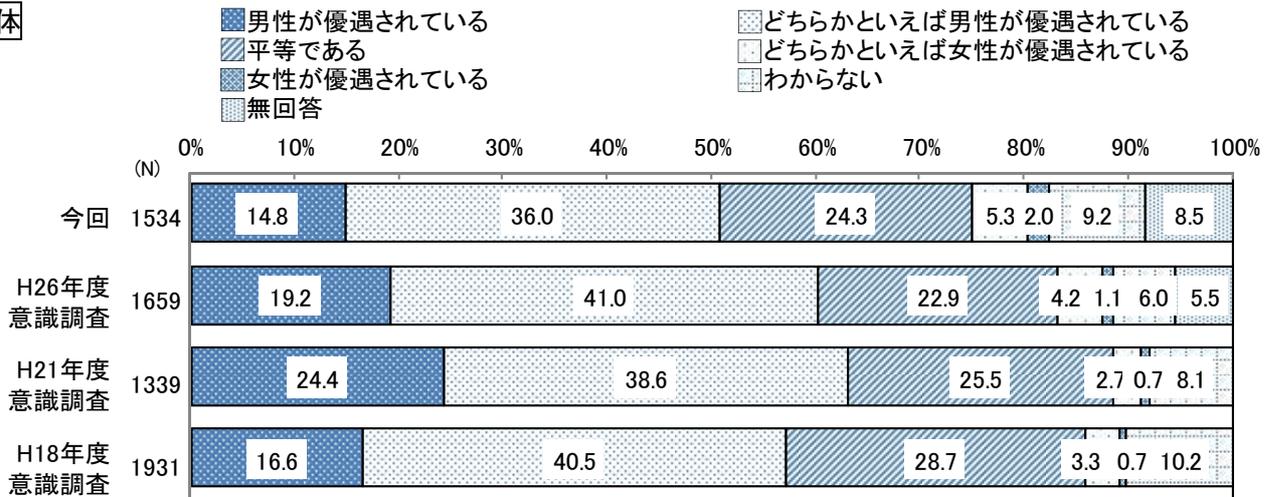


【全体】『男性優遇』は平成 26 年度調査よりわずかに減少しているものの、平成 21 年度調査以降、大きな差はみられない。

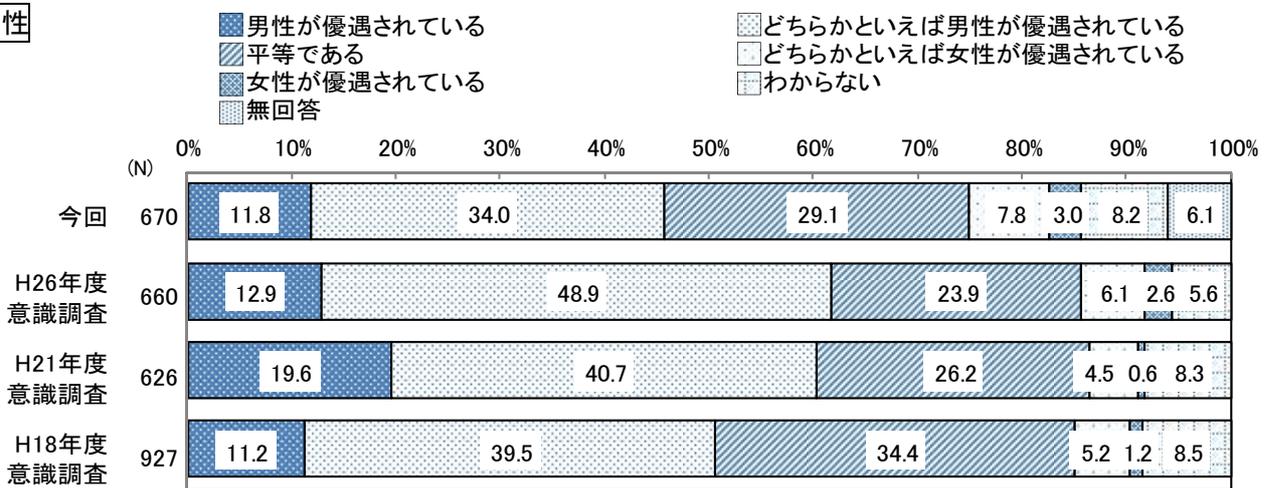
【性別】『男性優遇』は男性では大きな差はみられないが、女性では平成 26 年度調査より 6.1 ポイント減少している。

過去調査との比較【職場】

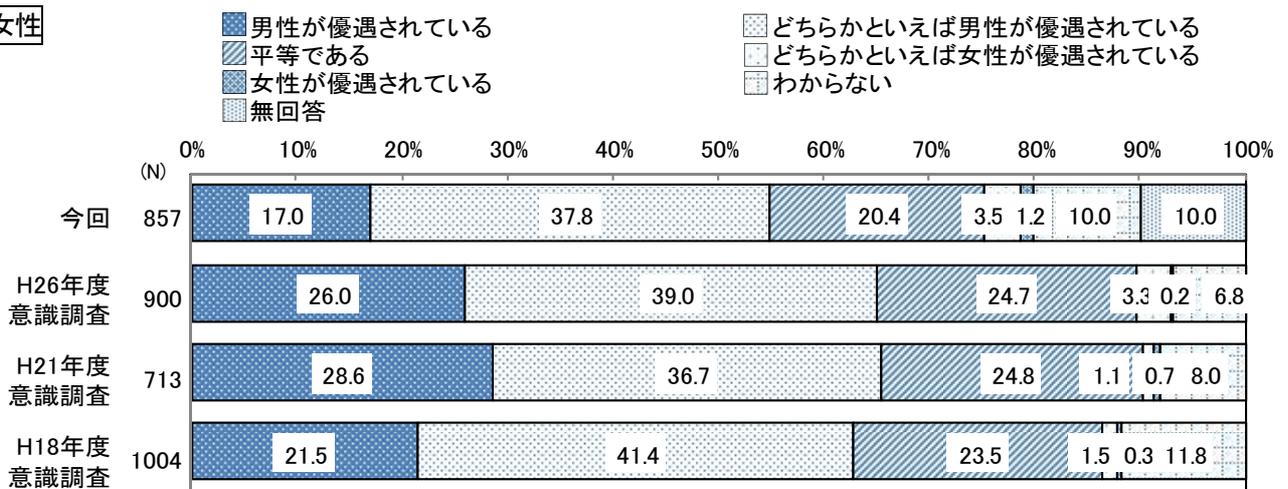
全体



男性



女性

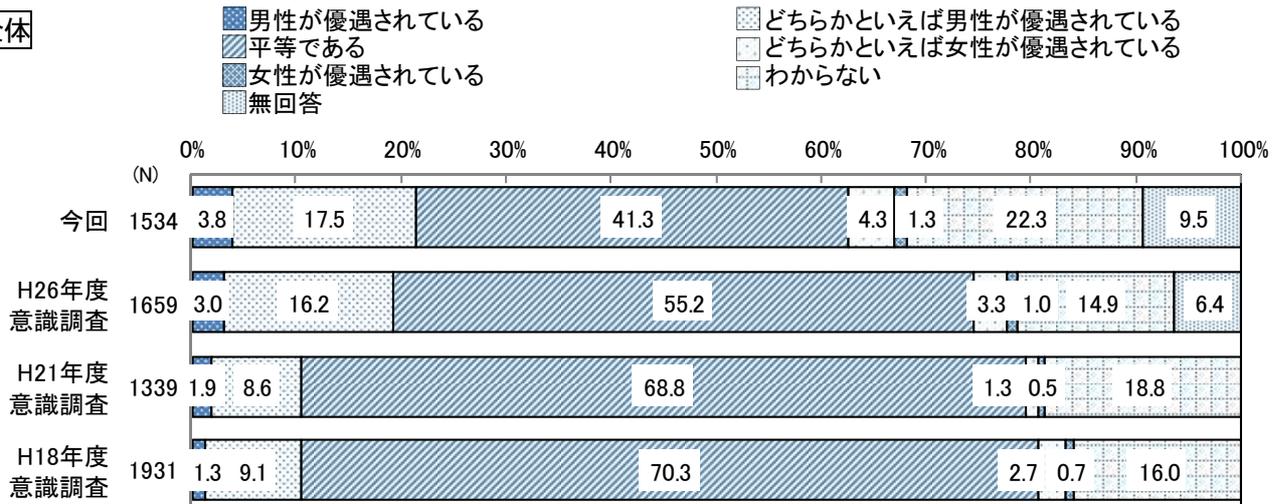


【全体】『男性優遇』は平成21年度調査以降減少傾向となり、今回調査では50.8%と最も低くなっている。

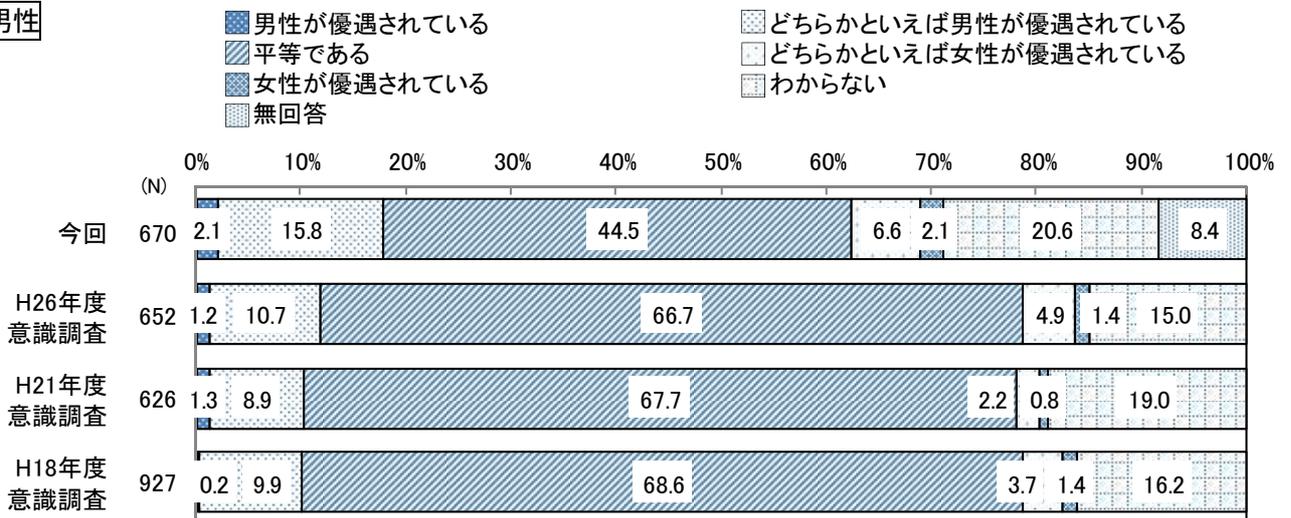
【性別】『男性優遇』は平成26年度調査より、男性では16.0ポイント、女性では10.2ポイント減少し、これまでで最も低くなっている。

過去調査との比較【学校教育の場】

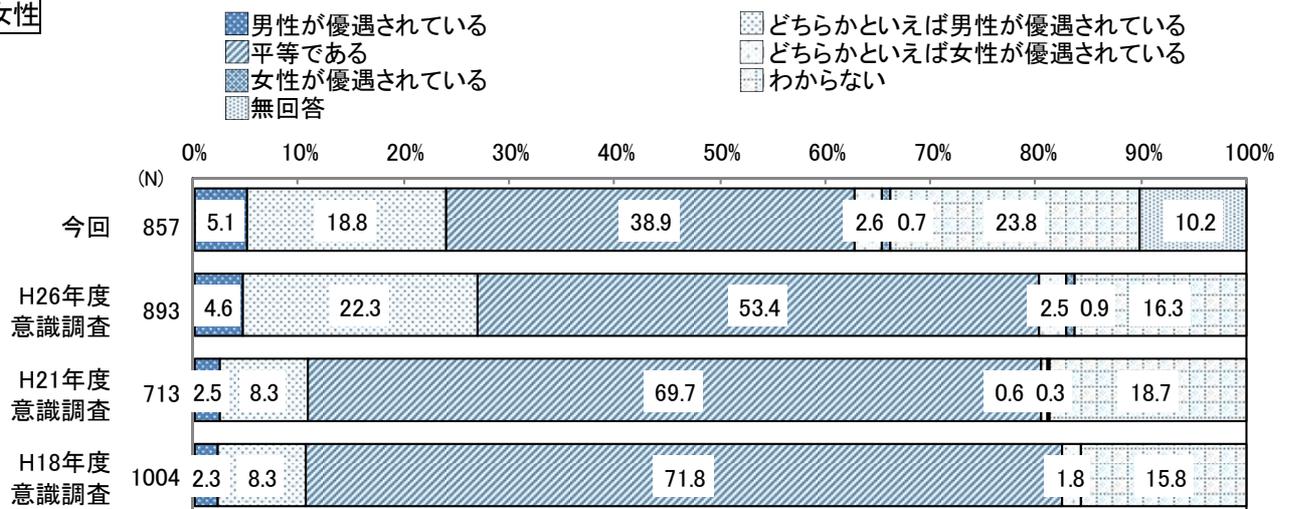
全体



男性



女性

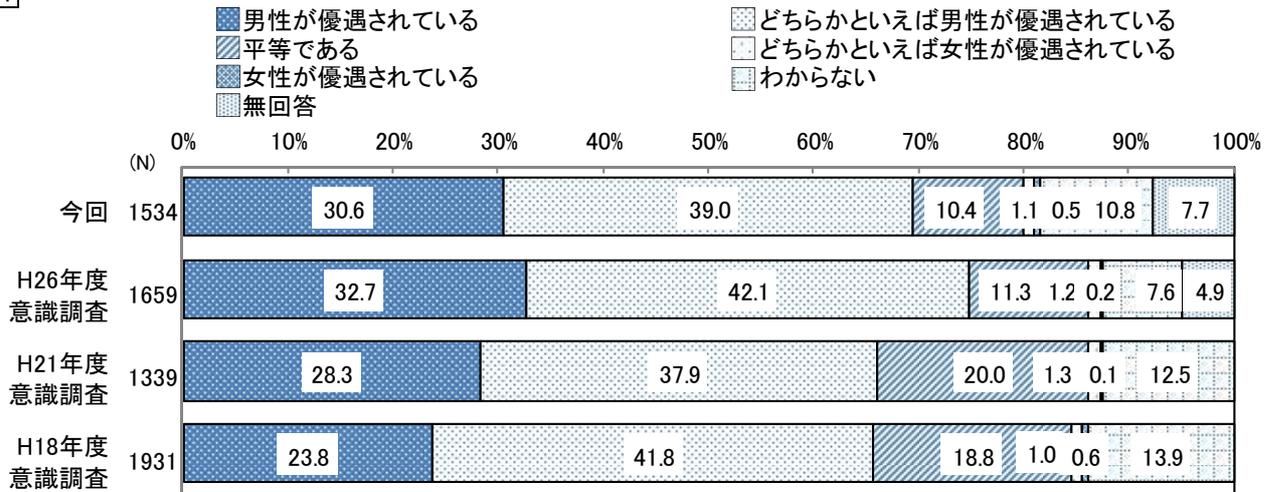


【全体】『男性優遇』は平成18年度調査以降増加傾向となっており、今回調査では21.3%と最も高くなっている。『女性優遇』では平成26年度調査と大きな差はみられない。

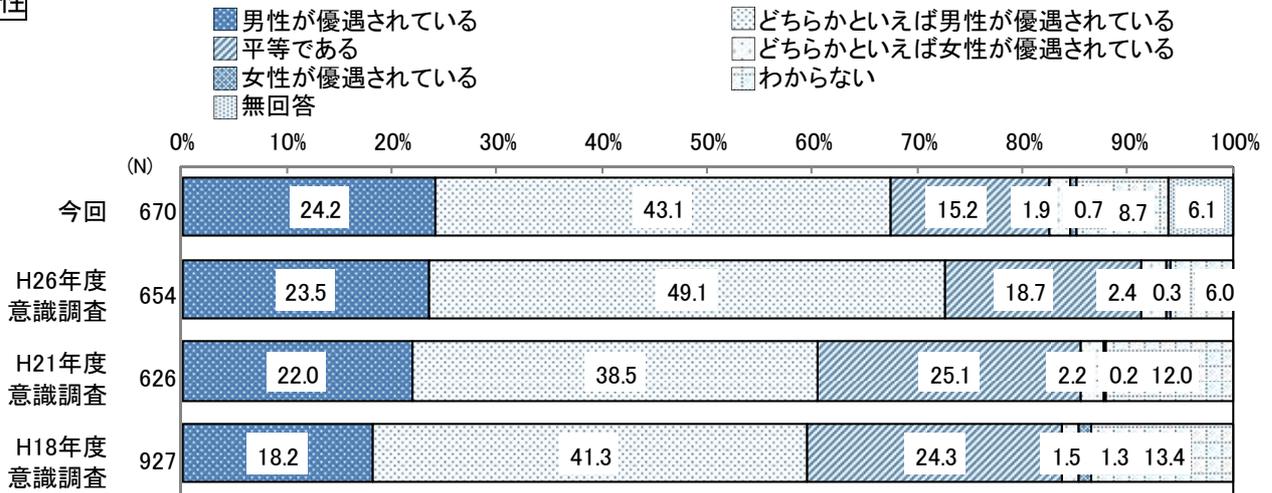
【性別】『男性優遇』は平成26年度調査より、男性では6.0ポイント増加しているが、女性では3.0ポイント減少している。

過去調査との比較【政治】

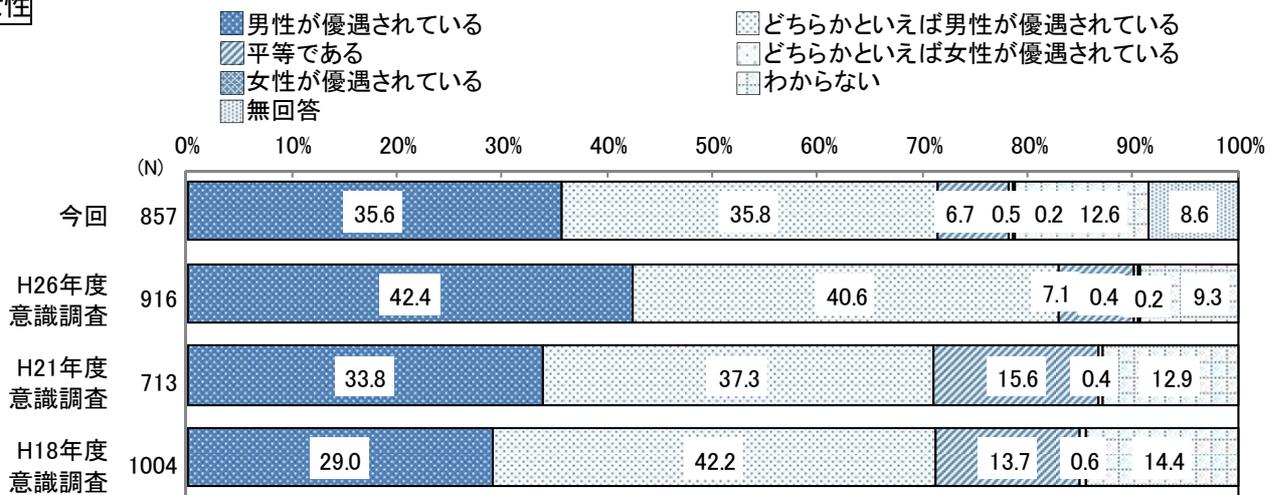
全体



男性



女性

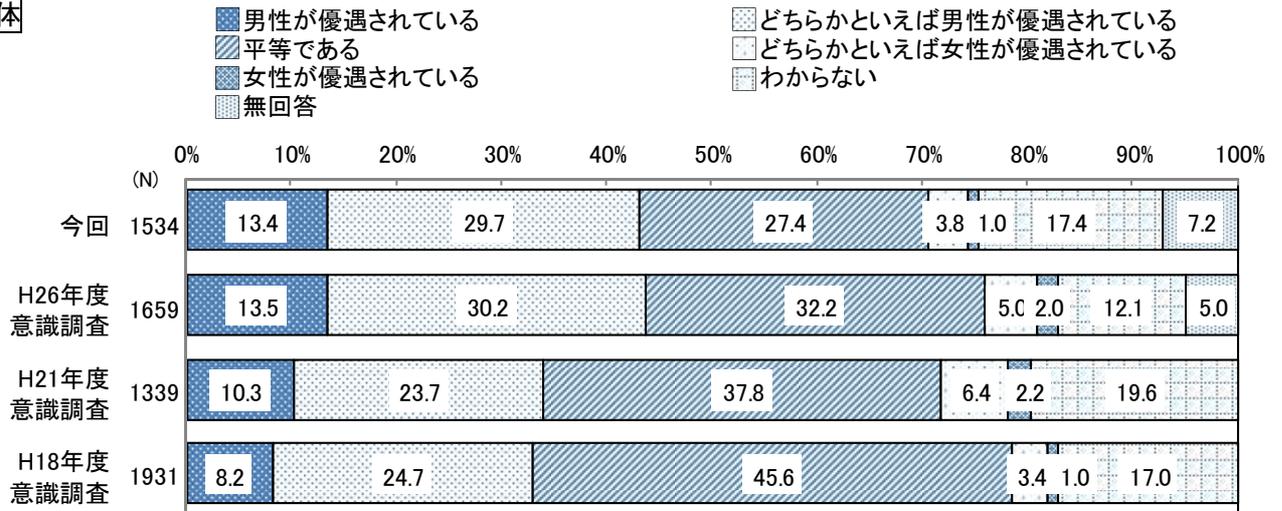


【全体】『男性優遇』は平成 26 年度調査までは増加傾向だったが、今回調査では平成 26 年度調査より 5.2 ポイント減少している。

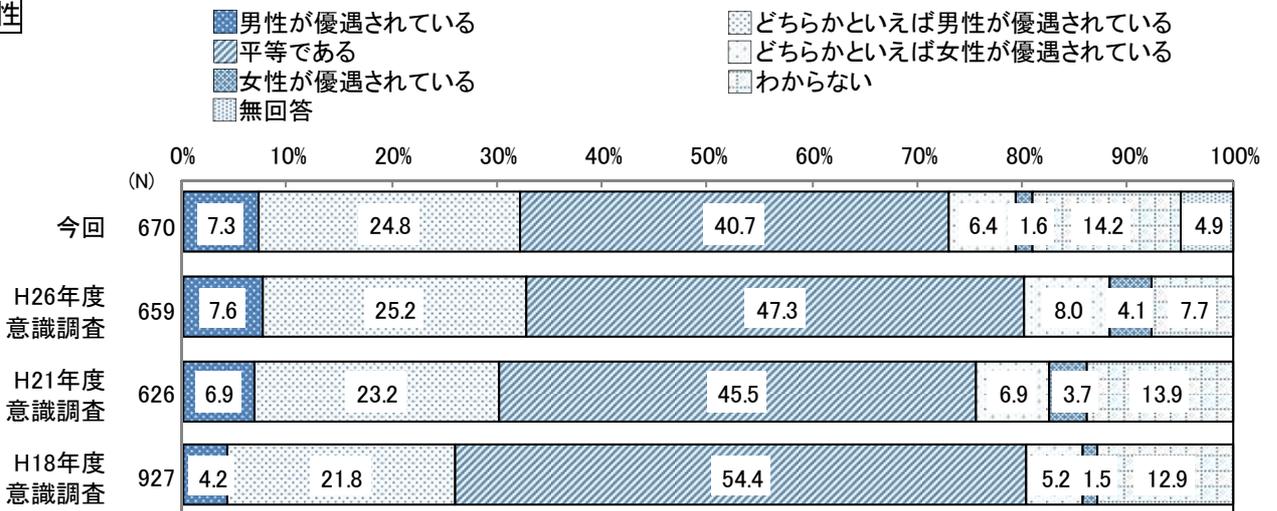
【性別】『男性優遇』は男女ともに、平成 26 年度調査より減少している。

過去調査との比較【法律や制度上】

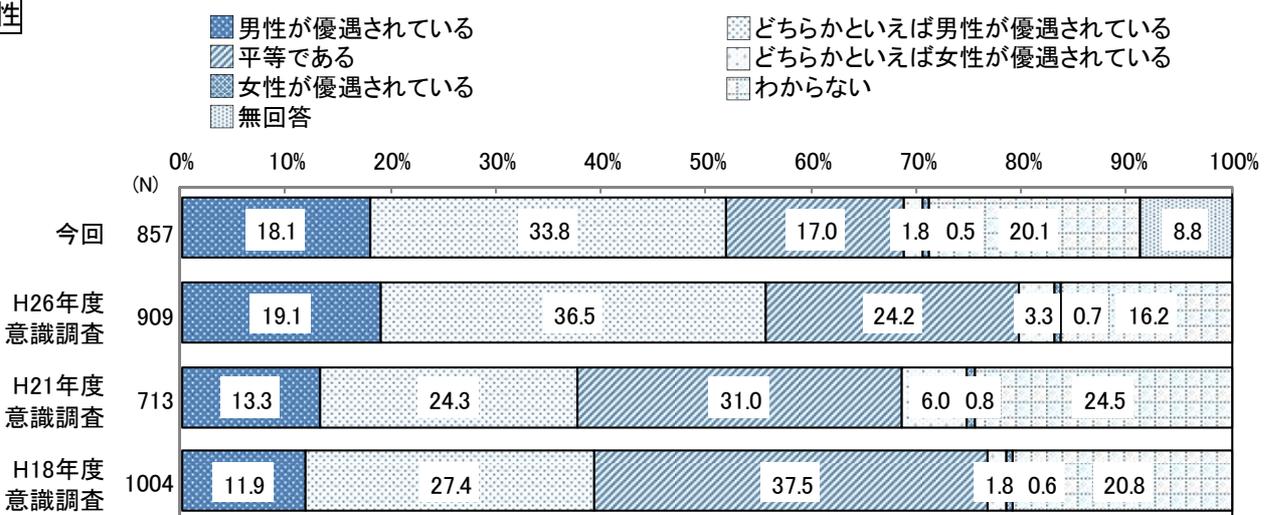
全体



男性



女性

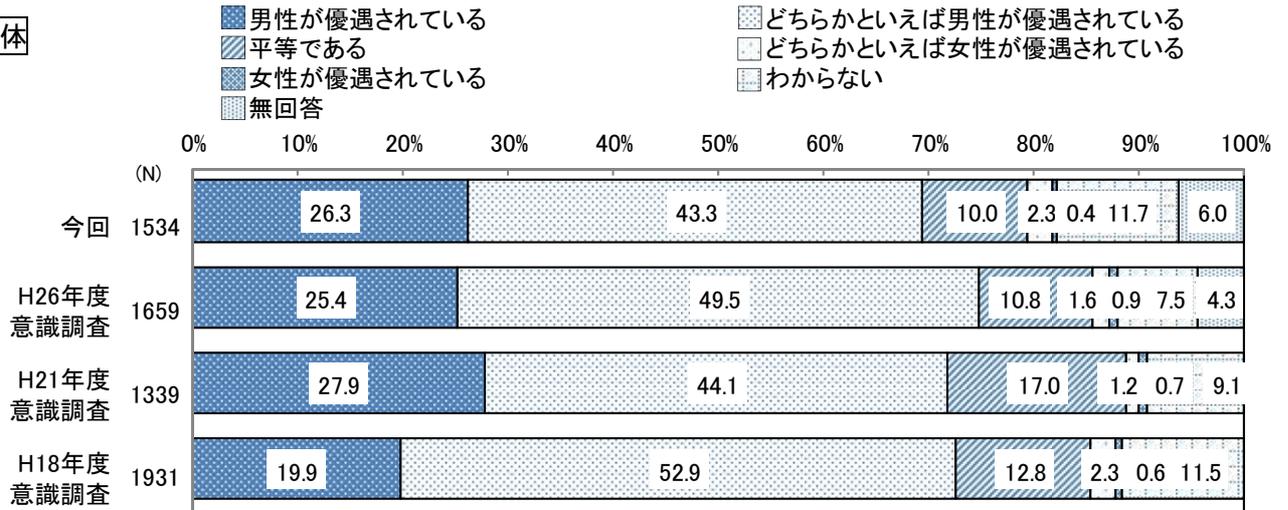


【全体】『男性優遇』は平成26年度調査までは増加傾向だったが、今回調査ではわずかに減少している。

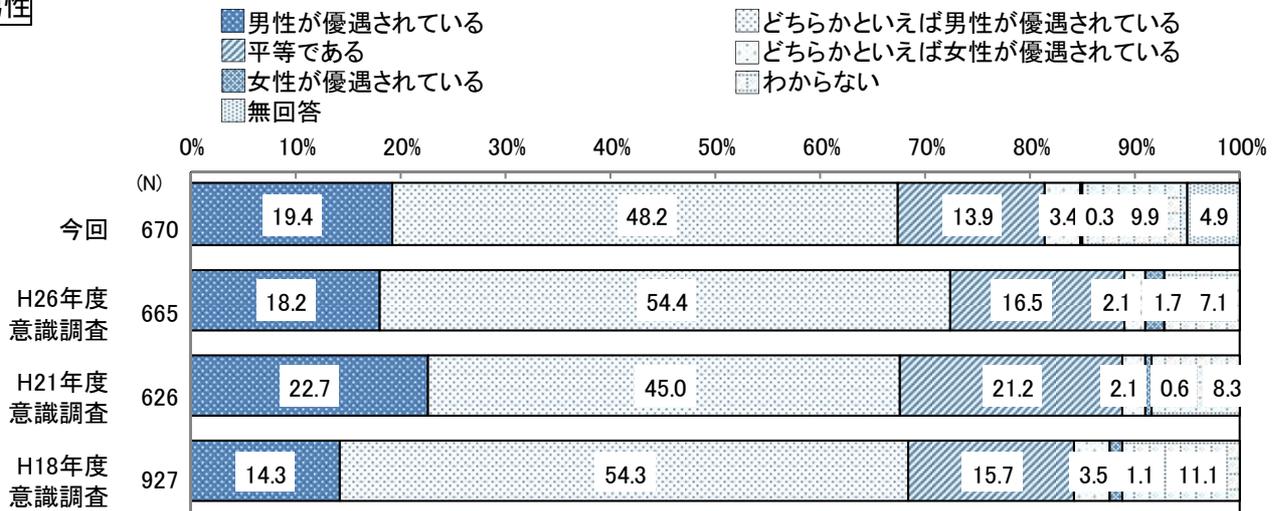
【性別】『男性優遇』は男女ともに平成26年度調査までは増加傾向だったが、今回調査では平成26年度調査より男性が0.7ポイント、女性が3.7ポイント減少している。

過去調査との比較【社会通念・慣習・しきたり等】

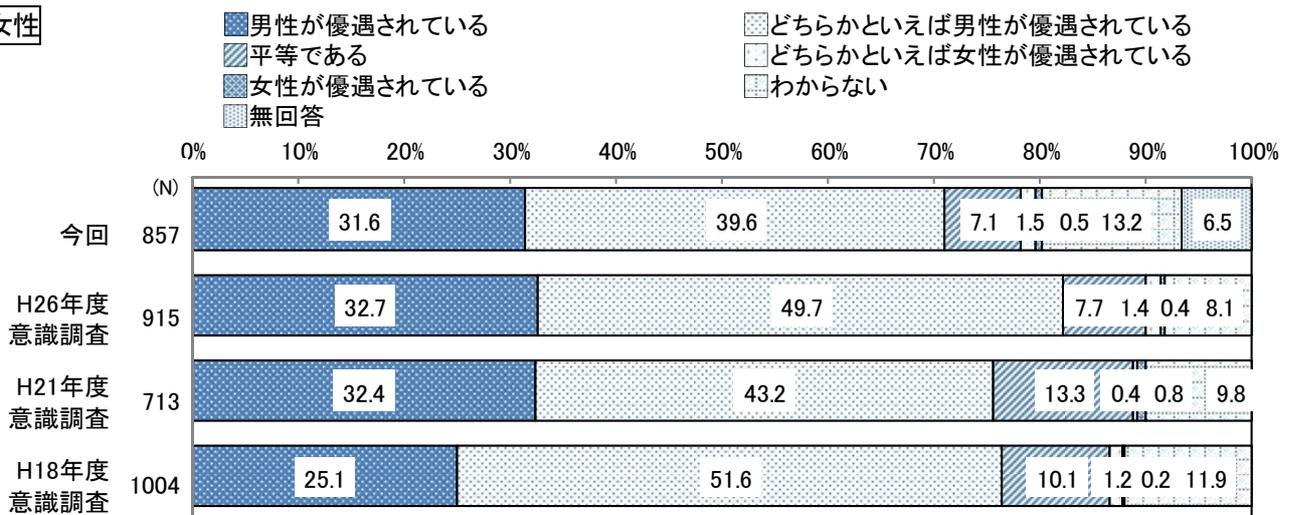
全体



男性



女性

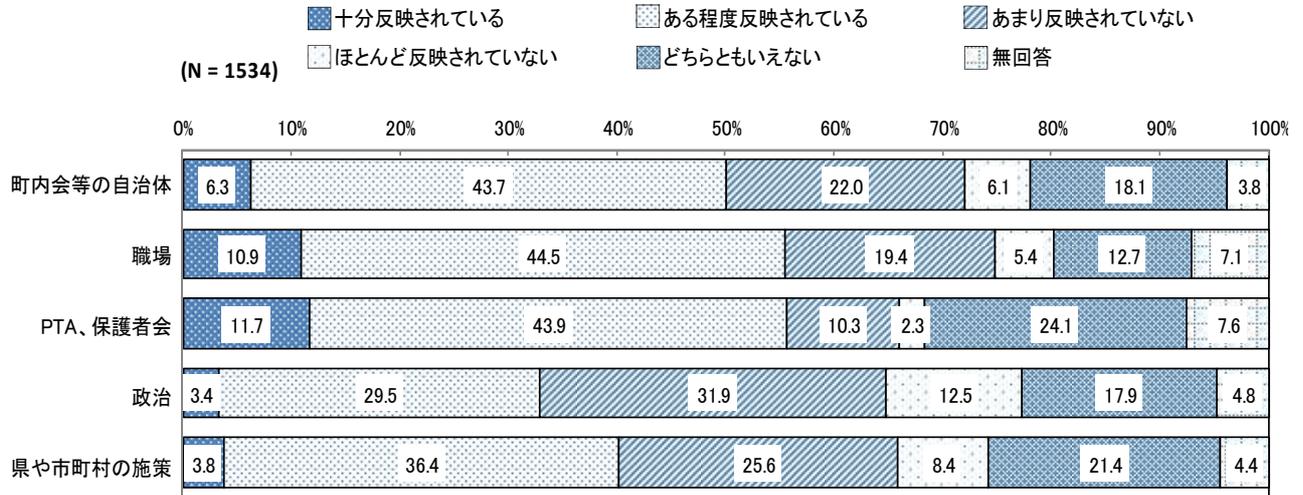


【全 体】『男性優遇』は平成 26 年度調査までは増加傾向だったが、今回調査では平成 26 年度調査より 5.3 ポイント減少している。

【性 別】『男性優遇』は平成 26 年度調査より、男性が 5.0 ポイント、女性が 11.2 ポイント減少している。

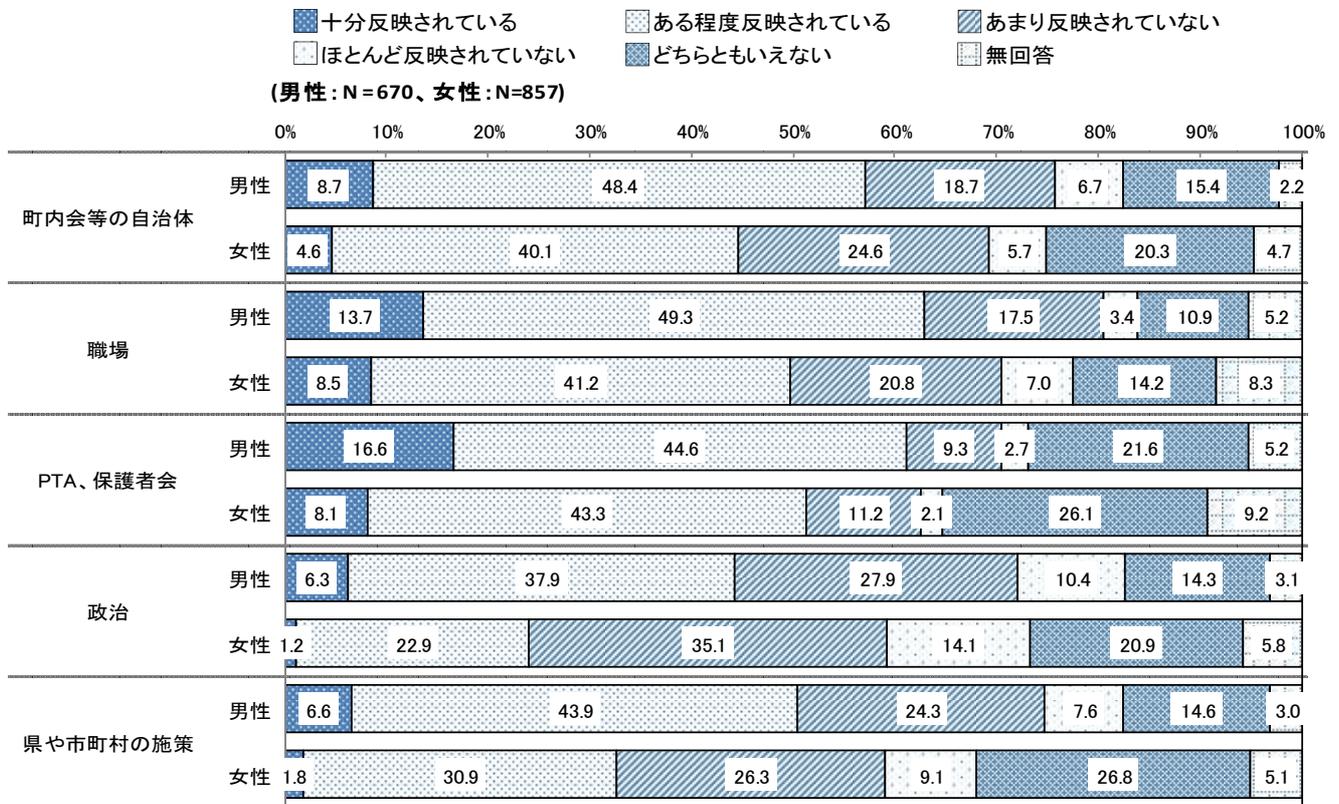
(4) 各分野への女性の意見・考え方の反映について

問4 あなたは、次の分野において、女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。
項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。



【全体】各分野への女性の意見や考え方の反映については、「十分反映されている」と「ある程度反映されている」を合わせた『反映されている』は、「PTA、保護者会」が55.6%と最も高く、次いで「職場」(55.4%)となっている。

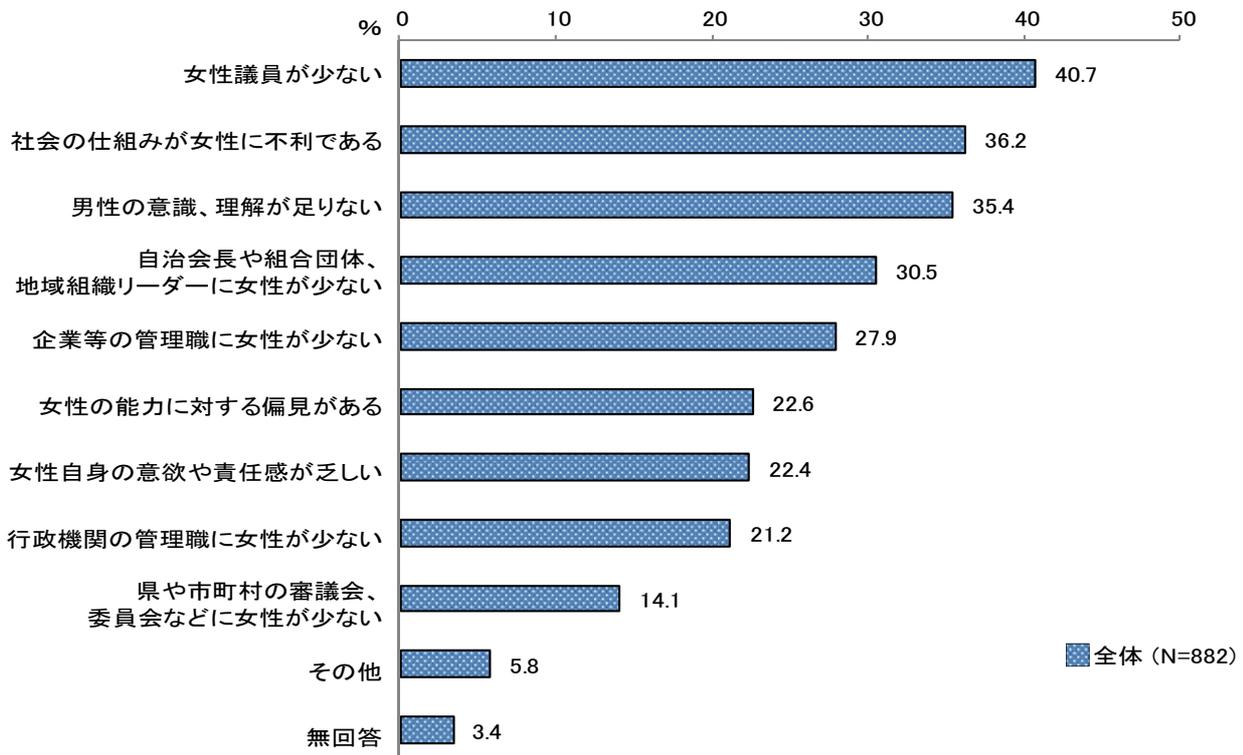
「あまり反映されていない」と「ほとんど反映されていない」を合わせた『反映されていない』は、「政治」が44.4%と最も高く、次いで「県や市町村の施策」(34.0%)となっている。



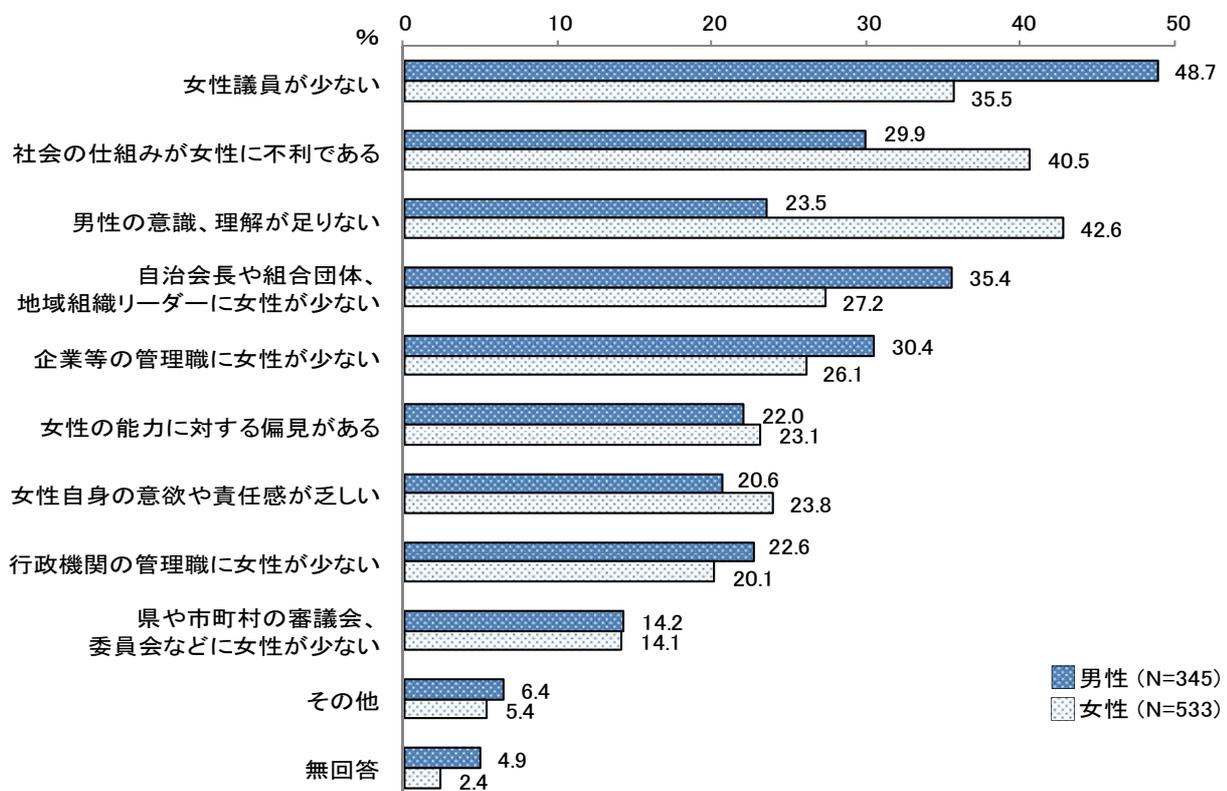
【性別】いずれの項目も、男性の方が女性よりも『反映されている』と回答した割合が高く、「政治」では20.1ポイントの差がみられた。

(問4で「3 あまり反映されていない」または「4 ほとんど反映されていない」と答えた方が回答)

問4-1 反映されていない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】反映されていない理由については、「女性議員が少ない」が40.7%と最も高く、次いで「社会の仕組みが女性に不利である」(36.2%)、「男性の意識、理解が足りない」(35.4%)となっている。



【性別】最も差がみられた「男性の意識、理解が足りない」では、女性(42.6%)が男性(23.5%)より19.1ポイント高い。次いで差がみられた「女性議員が少ない」では、男性(48.7%)が女性(35.5%)より13.2ポイント高い。

	全体	反映されていない理由											
		女性議員が 少ない	企業等の 管理職に 女性が 少ない	行政機関の 管理職に 女性が 少ない	県や市町村 の審議会、 委員会など に女性が 少ない	自治会長や 組合団体、 地域組織 リーダーに 女性が 少ない	女性自身の 意欲や責任 感が乏しい	男性の意 識、理解が 足りない	社会の仕組 みが女性に 不利である	女性の能力 に対する 偏見がある	その他	無回答	
全体	882	40.7	27.9	21.2	14.1	30.5	22.4	35.4	36.2	22.6	3.4	5.8	
性・ 年齢別	男性(計)	345	48.7	30.4	22.6	14.2	35.4	20.6	23.5	29.9	22.0	4.9	6.4
	男性・18歳、19歳	2	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	24	54.2	41.7	70.8	16.7	25.0	4.2	25.0	16.7	8.3	12.5	0.0
	男性・30歳～39歳	38	31.6	26.3	18.4	0.0	26.3	31.6	34.2	34.2	44.7	5.3	0.0
	男性・40歳～49歳	47	40.4	42.6	27.7	0.0	38.3	23.4	23.4	25.5	25.5	4.3	10.6
	男性・50歳～59歳	63	44.4	22.2	19.0	19.0	42.9	6.3	28.6	31.7	31.7	3.2	1.6
	男性・60歳～64歳	56	44.6	21.4	19.6	28.6	35.7	26.8	23.2	39.3	14.3	7.1	3.6
	男性・65歳～69歳	50	44.0	28.0	4.0	16.0	40.0	28.0	26.0	26.0	12.0	0.0	16.0
	男性・70歳以上	65	72.3	35.4	21.5	13.8	32.3	21.5	10.8	29.2	16.9	6.2	9.2
	女性(計)	533	35.5	26.1	20.1	14.1	27.2	23.8	42.6	40.5	23.1	2.4	5.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	31	51.6	25.8	38.7	19.4	32.3	6.5	35.5	54.8	16.1	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	58	31.0	20.7	10.3	12.1	5.2	6.9	44.8	55.2	20.7	0.0	12.1
	女性・40歳～49歳	102	37.3	22.5	21.6	12.7	19.6	21.6	47.1	45.1	18.6	2.9	8.8
	女性・50歳～59歳	105	36.2	32.4	18.1	11.4	20.0	12.4	53.3	38.1	24.8	1.9	3.8
	女性・60歳～64歳	73	34.2	39.7	27.4	9.6	39.7	27.4	38.4	32.9	27.4	0.0	1.4
	女性・65歳～69歳	70	30.0	17.1	11.4	20.0	41.4	32.9	44.3	45.7	22.9	8.6	2.9
女性・70歳以上	94	35.1	22.3	21.3	17.0	35.1	45.7	28.7	26.6	26.6	2.1	6.4	
無回答	4	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

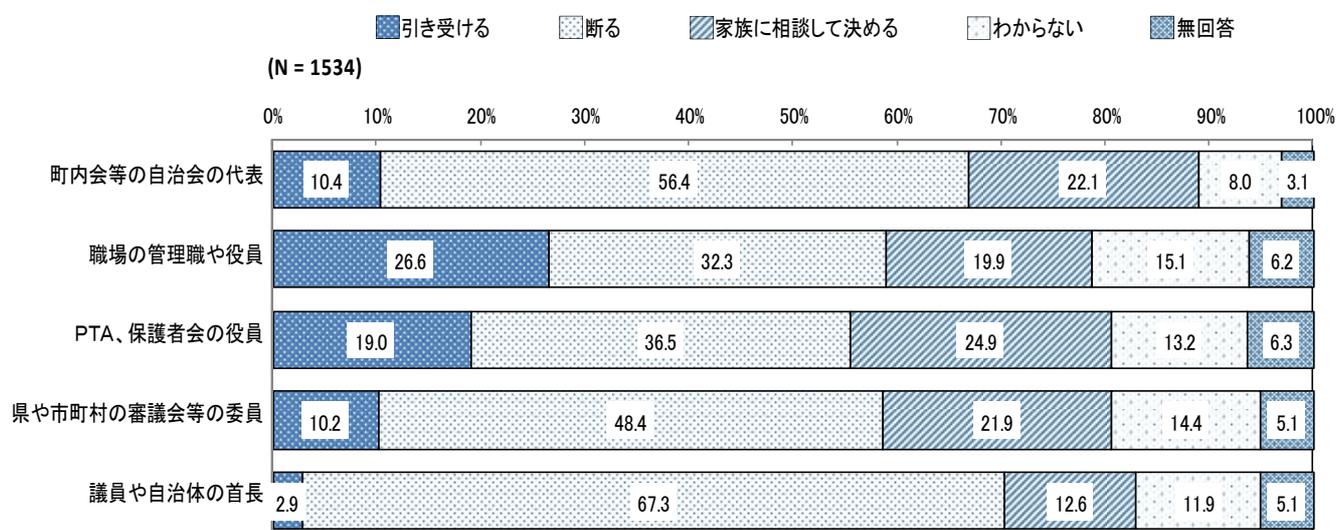
【性・年齢別】「女性議員が少ない」では、すべての年齢層において男性の方が女性よりも高くなっている。男性の「70歳以上」では7割を超え、特に高くなっている。

「社会の仕組みが女性に不利である」では、「60歳～64歳」と「70歳以上」を除く年齢層において、女性の方が男性よりも高くなっている。女性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」では5割を超えている。

「男性の意識、理解が足りない」では、すべての年齢層において女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「50歳～59歳」で唯一5割を超えている。

(5) 役職の要請への対応について

問5 あなたは、次の役職について要請があった場合、引き受けますか。(それぞれ〇は1つ)



【全体】役職の要請があった場合の対応については、いずれの役職でも「断る」が最も高く、「議員や自治体の首長」では67.3%と最も高くなっている。「引き受ける」は、「職場の管理職や役員」で唯一2割を超えている。

		全体	引き受ける	断る	家族に相談して決める	わからない	無回答
町内会等の自治会の代表	全体	1534	10.4	56.4	22.1	8.0	3.1
	男性	670	18.5	48.7	23.9	7.0	1.9
	女性	857	4.1	62.9	20.4	8.9	3.7
職場の管理職や役員	全体	1534	26.6	32.3	19.9	15.1	6.2
	男性	670	37.9	28.4	16.0	12.1	5.7
	女性	857	17.7	35.6	22.9	17.5	6.3
PTA、保護者会の役員	全体	1534	19.0	36.5	24.9	13.2	6.3
	男性	670	20.1	37.6	25.4	11.3	5.5
	女性	857	18.1	35.9	24.5	14.8	6.7
県や市町村の審議会等の委員	全体	1534	10.2	48.4	21.9	14.4	5.1
	男性	670	15.1	40.3	25.4	15.5	3.7
	女性	857	6.4	55.0	19.1	13.7	5.8
議員や自治体の首長	全体	1534	2.9	67.3	12.6	11.9	5.1
	男性	670	5.8	61.6	15.7	13.1	3.7
	女性	857	0.7	71.9	10.4	11.1	6.0

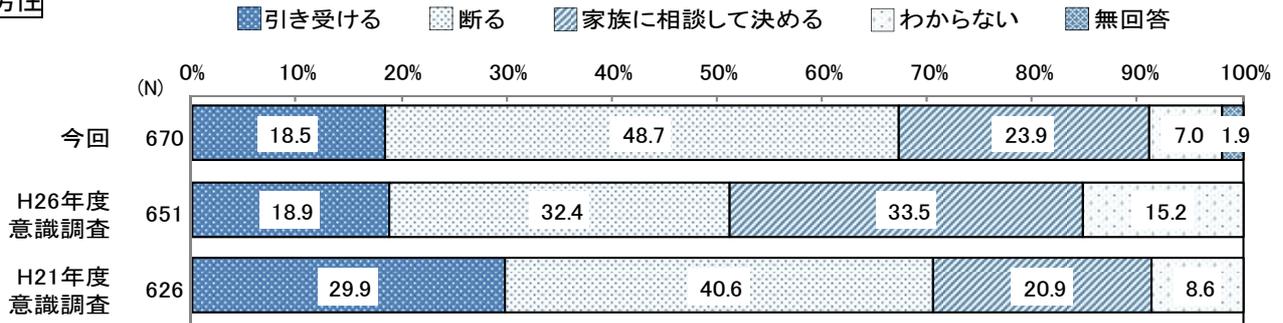
【性別】「引き受ける」は、いずれの役職でも男性の方が女性よりも高くなっている。

「断る」は、「PTA、保護者会の役員」のみ女性(35.9%)が男性(37.6%)よりも低くなっている。

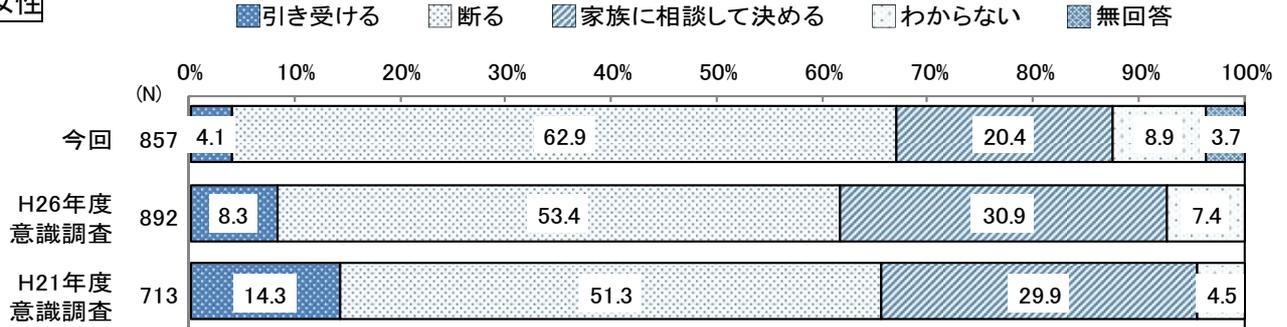
「家族に相談して決める」は、「職場の管理職や役員」を除き、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【町内会等の自治会の代表】

男性



女性

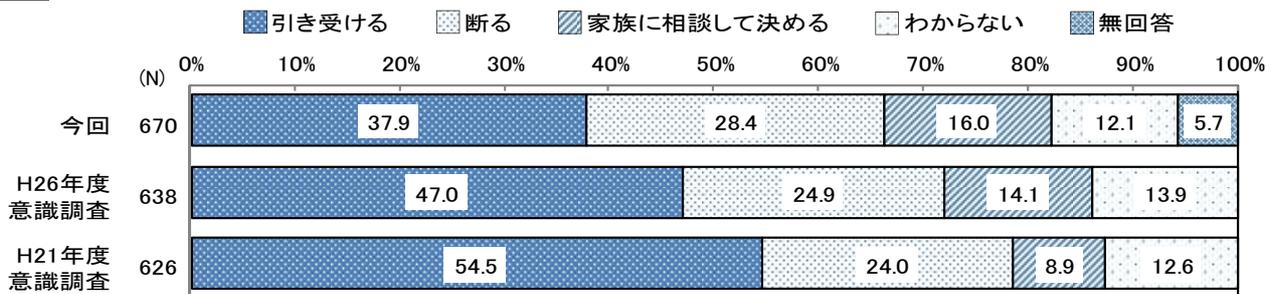


【性別】男女ともに「引き受ける」は平成 21 年度調査以降減少傾向となり、今回調査では男性が 18.5%、女性が 4.1%と最も低くなっている。「断る」は平成 26 年度調査より増加している。

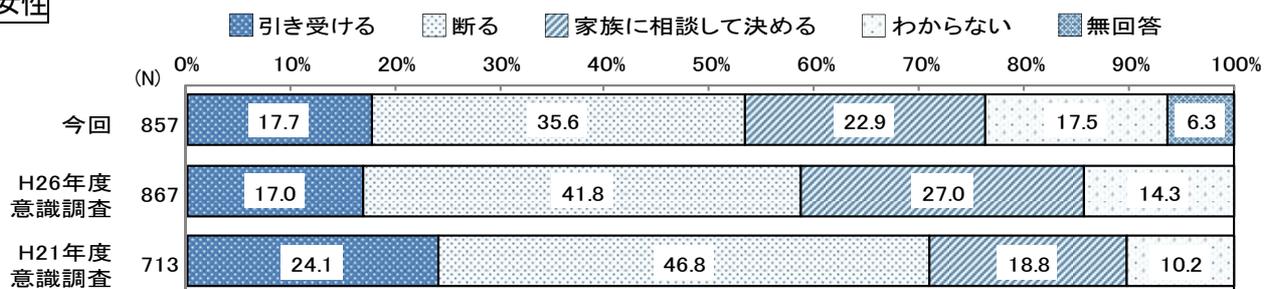
※過去調査は「PTA・町内会等の代表」となっている。

過去調査との比較【職場の管理職や役員】

男性



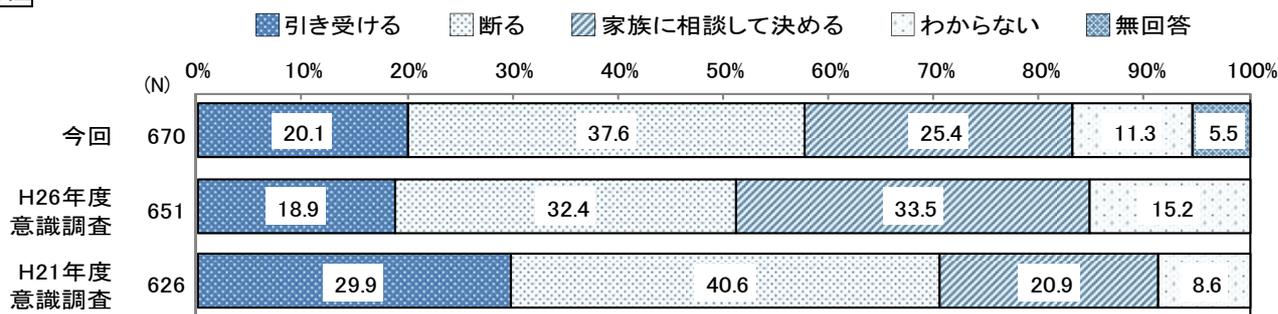
女性



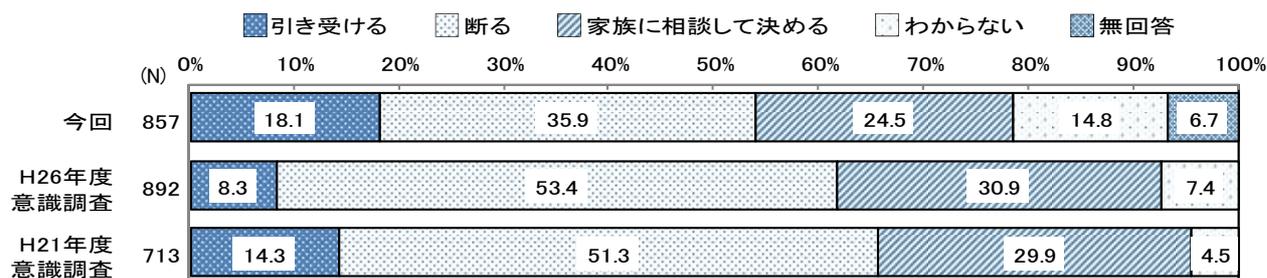
【性別】平成 26 年度調査と比較すると、「引き受ける」は男性では 9.1 ポイント減少し、女性では大きな差はみられない。「断る」は男性では 3.5 ポイント増加しているが、女性では 6.2 ポイント減少している。

過去調査との比較【PTA、保護者会の役員】

男性



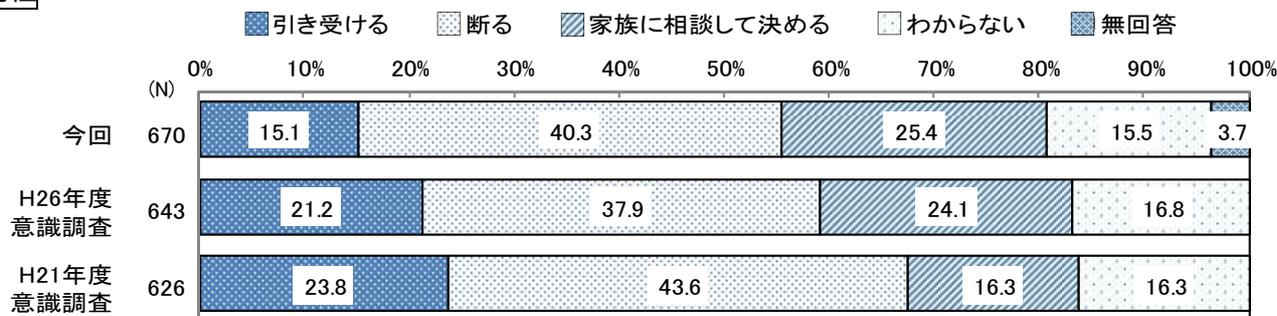
女性



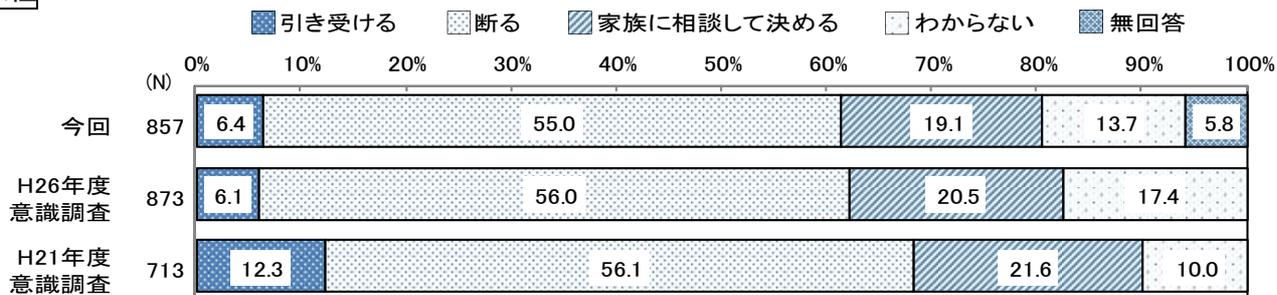
【性別】平成26年度調査と比較すると、「引き受ける」は男性が1.2ポイント、女性が9.8ポイント増加している。「断る」は男性では5.2ポイント増加し、女性では17.5ポイント減少している。

過去調査との比較【県や市町村の審議会等の委員】

男性



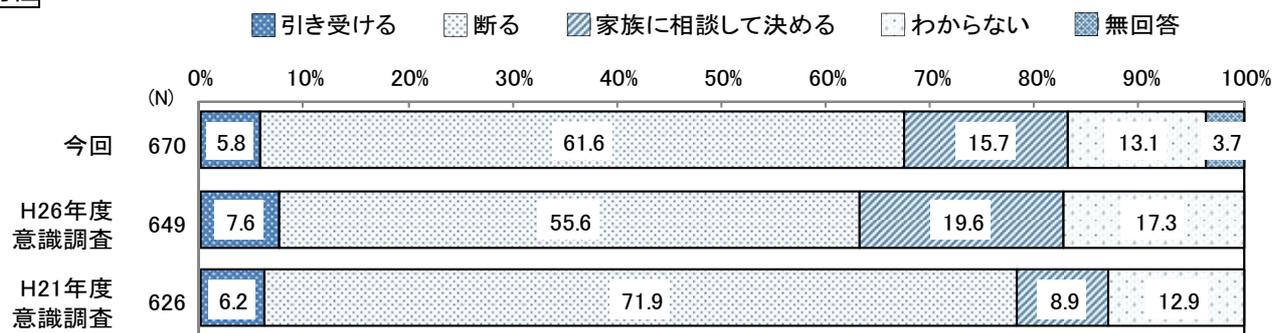
女性



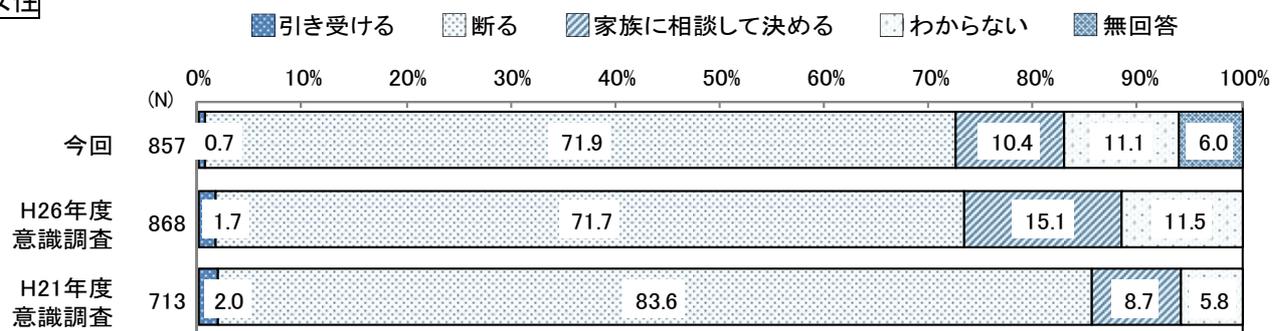
【性別】平成26年度調査と比較すると、「引き受ける」は男性が6.1ポイント減少しているが、女性では大きな差はみられない。「断る」は男性が2.4ポイント増加しているが、女性では大きな差はみられない。

過去調査との比較【議員や自治体の首長】

男性

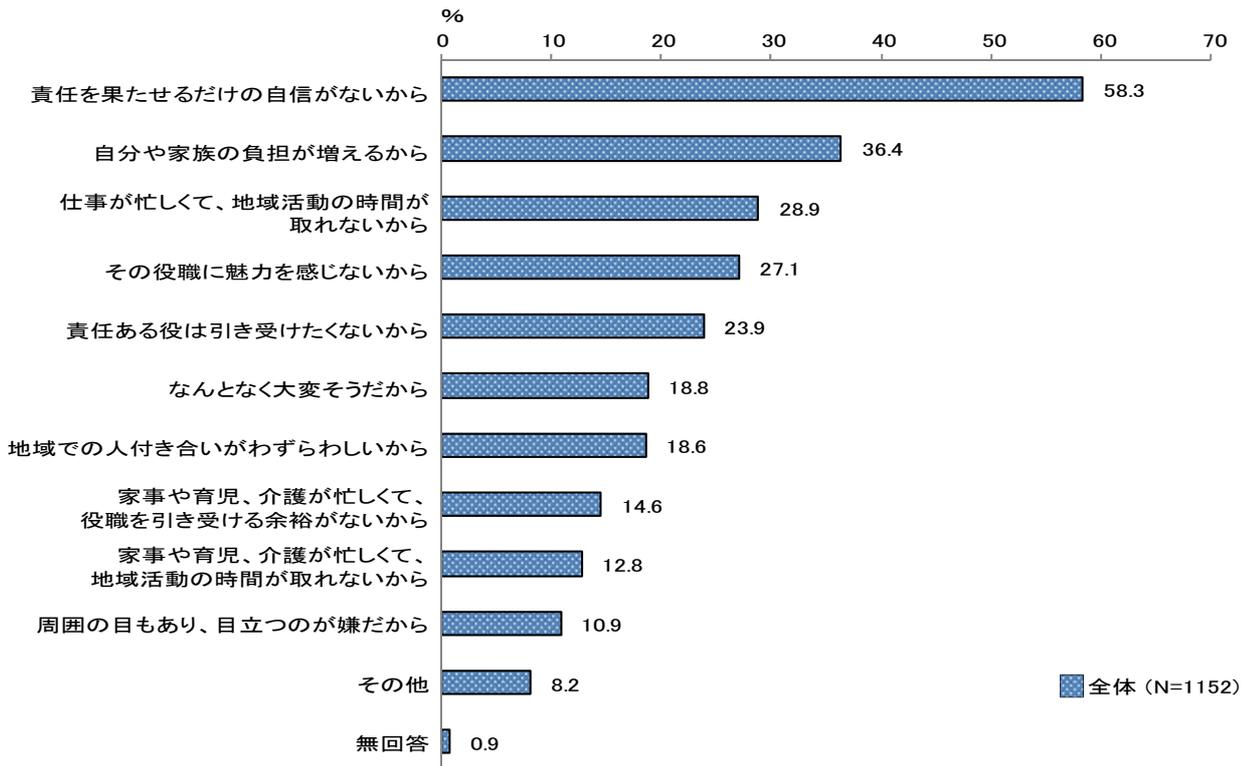


女性

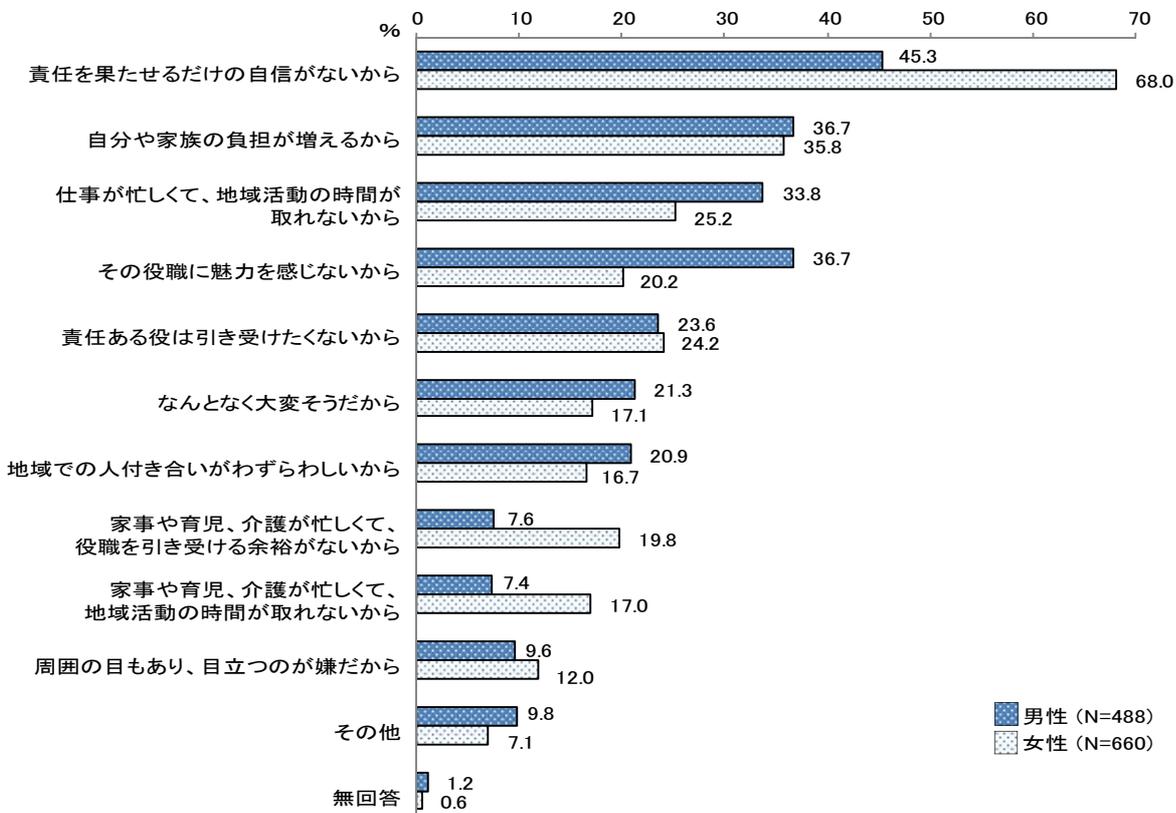


【性別】平成 26 年度調査と比較すると、「引き受ける」は男女ともに大きな差はみられない。「断る」は男性では 6.0 ポイント増加しているが、女性では大きな差はみられない。

(問5で「2 断る」と答えた方が回答)
 問5-1 その理由は、どのようなことですか。あなたの考えに近いものをお答えください。
 (〇はあてはまるもの全て)



【全体】「責任を果たせるだけの自信がないから」が 58.3%と最も高く、次いで「自分や家族の負担が増えるから」(36.4%)、「仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから」(28.9%)となっている。



【性別】最も差がみられた「責任を果たせるだけの自信がないから」では、女性(68.0%)が男性(45.3%)より22.7ポイント高くなっている。次いで差がみられた「その役職に魅力を感じないから」では、男性(36.7%)が女性(20.2%)より16.5ポイント高くなっている。

	全 体	要請を断る理由												
		仕事 時間が 取れな いから	家事 や育 児の 時間 が介 護が 取れ ない から	家 事 や 育 児 の 介 護 が 忙 し く な い か ら	地 域 の 人 付 き 合 い が	責 任 あ る 役 は 引 き 受 け た く な い	責 任 を 果 た せ る だ け の 自 信 が	な ん と な く 大 変 そ う だ か ら	自 分 や 家 族 の 負 担 が 増 え る か ら	周 圍 の 目 も あ り 、 目 立 つ の が	そ の 役 職 に 魅 力 を 感 じ な い か ら	そ の 他	無 回 答	
全 体	1152	28.9	12.8	14.6	18.6	23.9	58.3	18.8	36.4	10.9	27.1	8.2	0.9	
性・ 年 齢 別	男性(計)	488	33.8	7.4	7.6	20.9	23.6	45.3	21.3	36.7	9.6	36.7	9.8	1.2
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	30	26.7	3.3	3.3	16.7	46.7	43.3	43.3	43.3	23.3	60.0	10.0	0.0
	男性・30歳～39歳	57	56.1	28.1	15.8	31.6	21.1	43.9	28.1	31.6	14.0	52.6	7.0	3.5
	男性・40歳～49歳	70	54.3	14.3	14.3	28.6	27.1	28.6	28.6	50.0	11.4	45.7	5.7	0.0
	男性・50歳～59歳	94	33.0	4.3	8.5	25.5	31.9	51.1	19.1	41.5	12.8	41.5	3.2	0.0
	男性・60歳～64歳	53	41.5	3.8	3.8	15.1	13.2	56.6	15.1	34.0	3.8	32.1	3.8	0.0
	男性・65歳～69歳	64	25.0	0.0	0.0	21.9	25.0	42.2	17.2	42.2	0.0	35.9	15.6	0.0
	男性・70歳以上	114	15.8	2.6	6.1	11.4	14.9	50.9	14.0	23.7	8.8	14.0	19.3	3.5
	女性(計)	660	25.2	17.0	19.8	16.7	24.2	68.0	17.1	35.8	12.0	20.2	7.1	0.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	30	16.7	20.0	20.0	16.7	36.7	83.3	50.0	33.3	16.7	26.7	6.7	0.0
	女性・30歳～39歳	60	26.7	21.7	45.0	23.3	25.0	60.0	23.3	45.0	25.0	38.3	3.3	0.0
	女性・40歳～49歳	133	36.1	27.1	33.8	21.1	20.3	68.4	18.0	46.6	15.8	24.8	3.0	0.0
	女性・50歳～59歳	146	34.2	14.4	13.0	20.5	24.0	69.9	14.4	42.5	11.0	21.2	2.7	0.0
	女性・60歳～64歳	73	30.1	21.9	15.1	15.1	20.5	65.8	9.6	37.0	9.6	28.8	6.8	0.0
	女性・65歳～69歳	95	11.6	9.5	13.7	14.7	18.9	71.6	18.9	22.1	5.3	7.4	8.4	2.1
女性・70歳以上	123	11.4	8.9	8.1	6.5	31.7	64.2	11.4	22.0	8.1	8.1	17.9	1.6	
無回答	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

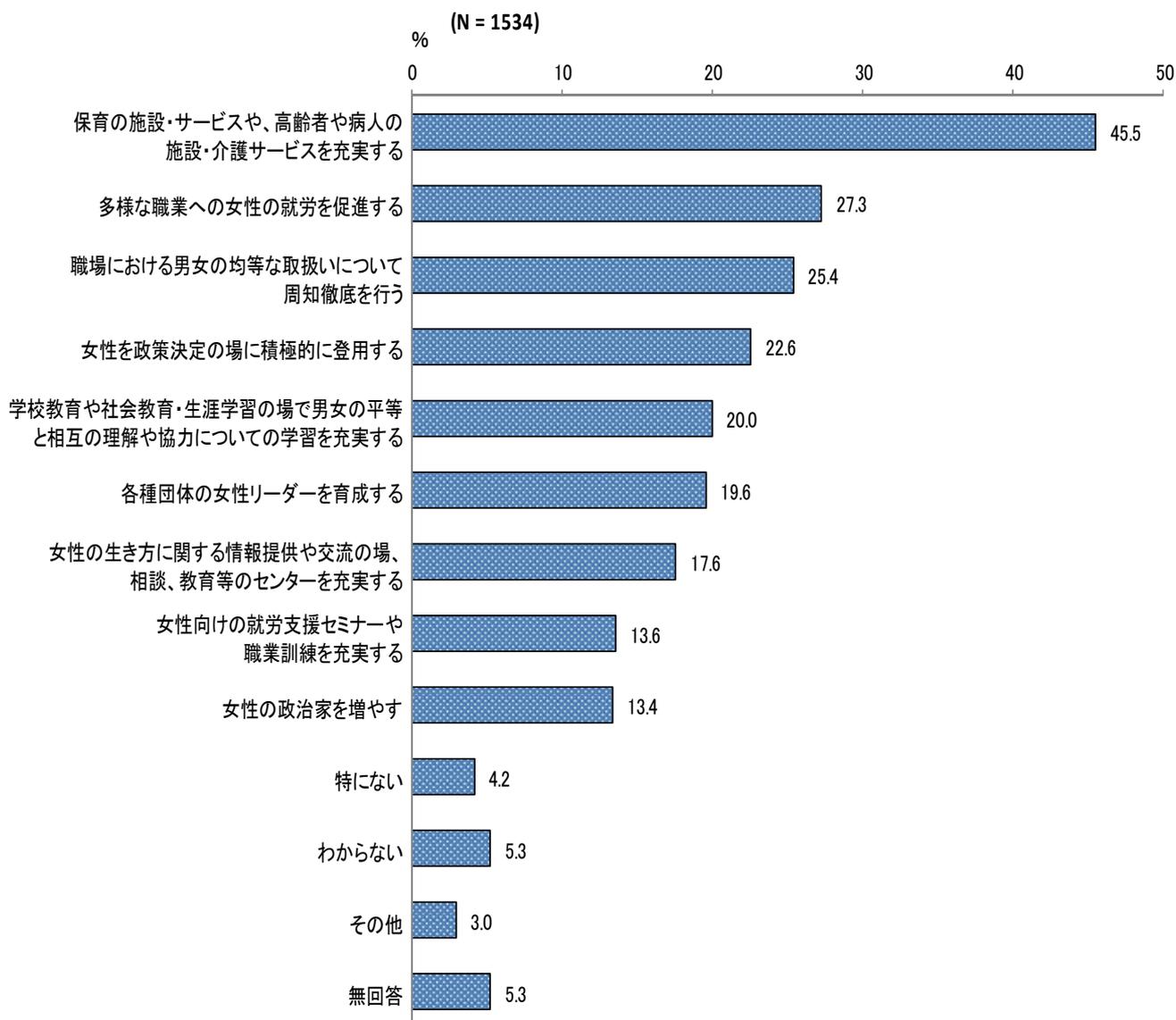
【性・年齢別】「責任を果たせるだけの自信がないから」では、すべての年齢層において女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「20歳～29歳」で唯一8割を超え、高くなっている。

「自分や家族の負担が増えるから」では、男性の「40歳～49歳」で唯一5割以上となっている。

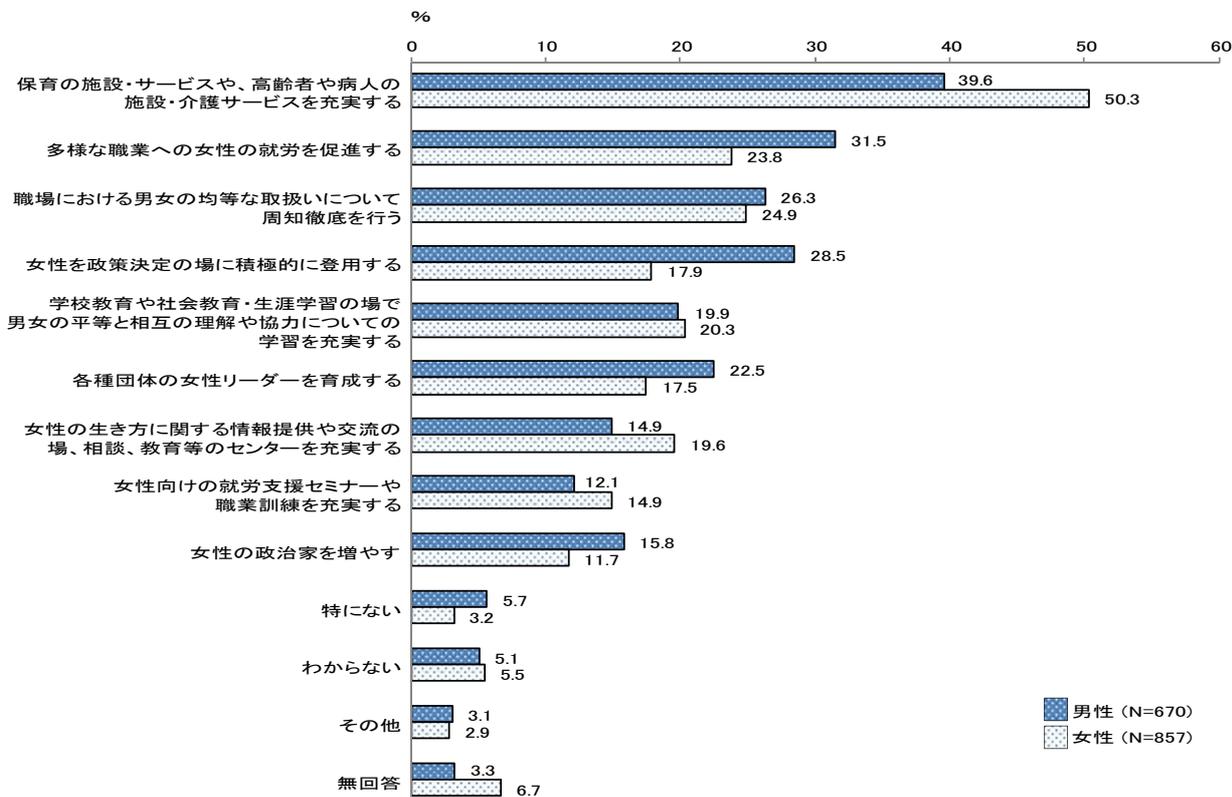
「仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから」では、女性の「50歳～59歳」を除くすべての年齢層において、男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「30歳～39歳」と「40歳～49歳」では5割を超えている。

(6) 女性の社会参画の促進について

問6 女性の社会参画の促進や社会的地位向上を図るために、県や市町村は、今後どのような取組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】女性の社会参画の促進に必要な取組みについては、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する」が 45.5%と最も高く、次いで「多様な職業への女性の就労を促進する」(27.3%)、「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う」(25.4%) となっている。



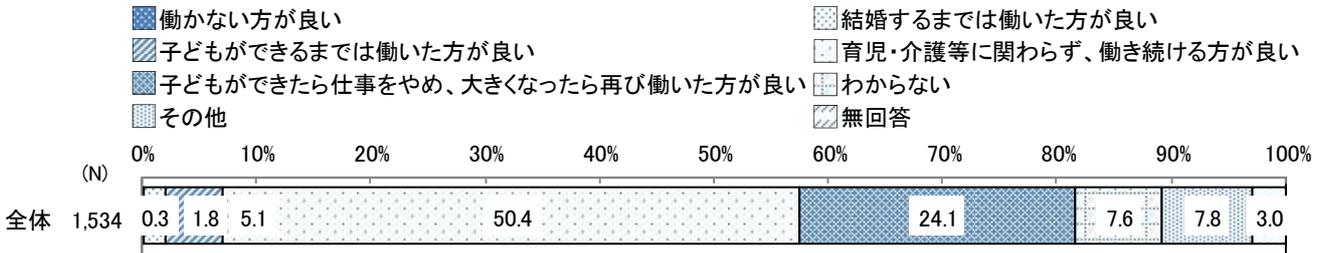
【性別】最も差がみられた「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する」では、女性（50.3%）が男性（39.6%）より10.7ポイント高い。次いで差がみられた「女性を政策決定の場に積極的に登用する」では、男性（28.5%）が女性（17.9%）よりも10.6ポイント高い。

	全体	県や市町村の今後必要な取組													
		多様な職業への女性の就労を促進する	女性向けの就労支援セミナーや職業訓練を充実する	女性を政策決定の場に積極的に登用する	女性の政治家を増やす	各種団体の女性リーダーを育成する	職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育等のセンターを充実する	特にない	わからない	その他	無回答
全体	1534	27.3	13.6	22.6	13.4	19.6	25.4	45.5	20.0	17.6	4.2	5.3	3.0	5.3	
性別・年齢別	男性(計)	670	31.5	12.1	28.5	15.8	22.5	26.3	39.6	19.9	14.9	5.7	5.1	3.1	3.3
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	34.2	5.3	28.9	15.8	21.1	26.3	36.8	18.4	15.8	5.3	18.4	2.6	0.0
	男性・30歳～39歳	77	15.6	2.6	16.9	14.3	11.7	32.5	37.7	13.0	6.5	13.0	9.1	11.7	0.0
	男性・40歳～49歳	92	29.3	10.9	25.0	12.0	28.3	25.0	48.9	17.4	17.4	8.7	2.2	0.0	2.2
	男性・50歳～59歳	140	27.9	16.4	35.0	14.3	27.9	30.0	38.6	22.9	18.6	5.0	3.6	4.3	0.0
	男性・60歳～64歳	84	36.9	10.7	29.8	16.7	19.0	29.8	45.2	27.4	10.7	3.6	0.0	1.2	4.8
	男性・65歳～69歳	86	30.2	15.1	32.6	12.8	16.3	24.4	39.5	24.4	12.8	2.3	4.7	0.0	3.5
	男性・70歳以上	147	41.5	15.0	27.2	22.4	23.8	20.4	34.7	16.3	18.4	4.1	4.8	2.7	8.8
	女性(計)	857	23.8	14.9	17.9	11.7	17.5	24.9	50.3	20.3	19.6	3.2	5.5	2.9	6.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	22.0	17.1	19.5	12.2	12.2	31.7	65.9	19.5	22.0	9.8	4.9	0.0	4.9
	女性・30歳～39歳	91	27.5	20.9	16.5	11.0	17.6	19.8	45.1	29.7	11.0	2.2	4.4	1.1	4.4
	女性・40歳～49歳	164	21.3	8.5	15.9	12.2	17.7	29.3	47.0	25.0	28.7	4.3	4.9	4.9	4.9
	女性・50歳～59歳	173	29.5	12.7	17.9	13.9	16.8	23.7	56.6	20.8	13.9	1.2	1.7	1.2	5.8
女性・60歳～64歳	102	32.4	21.6	18.6	13.7	22.5	25.5	54.9	10.8	24.5	2.0	1.0	2.0	6.9	
女性・65歳～69歳	111	22.5	15.3	21.6	10.8	20.7	34.2	45.0	16.2	15.3	0.0	7.2	3.6	7.2	
女性・70歳以上	175	14.9	15.4	17.1	8.6	14.3	16.6	46.9	18.9	20.6	5.7	12.0	4.6	10.3	
無回答	7	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	

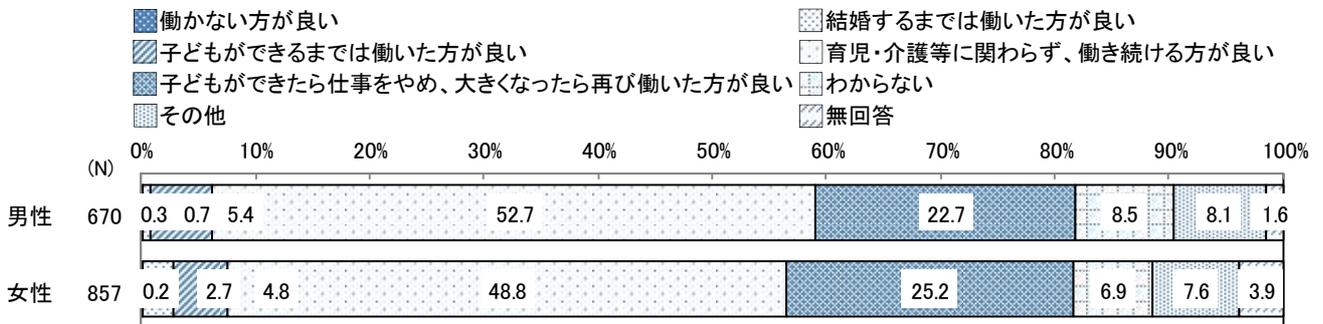
【性別・年齢別】「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスを充実する」では、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層において、女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「20歳～29歳」で、唯一6割を超え高くなっている。

(7) 女性が働くことへの意識について

問7 一般的に女性が働くことについて、あなたはどうお考えですか。(〇は1つ)



【全体】一般的に女性が働くことについては、「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」が50.4%と最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」(24.1%)となっている。



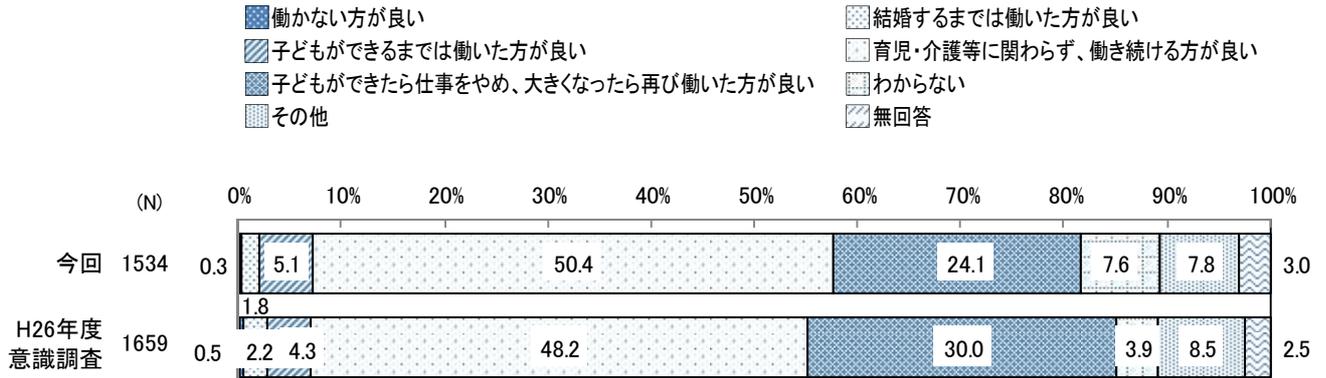
【性別】「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」は男性が52.7%と半数を超えたが、女性では48.8%と3.9ポイント低くなっている。「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は女性(25.2%)が男性(22.7%)より2.5ポイント高くなっている。

	全体	女性が働くことについて								
		働かない方が良い	結婚するまでは働いた方が良い	子どもができるまでは働いた方が良い	育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い	わからない	その他	無回答	
全体	1534	0.3	1.8	5.1	50.4	24.1	7.6	7.8	3.0	
性別・年齢別	男性(計)	670	0.3	0.7	5.4	52.7	22.7	8.5	8.1	1.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	2.6	5.3	13.2	31.6	21.1	23.7	2.6
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	2.6	54.5	9.1	11.7	22.1	0.0
	男性・40歳～49歳	92	0.0	0.0	4.3	62.0	17.4	8.7	7.6	0.0
	男性・50歳～59歳	140	1.4	0.0	2.9	60.7	23.6	7.1	4.3	0.0
	男性・60歳～64歳	84	0.0	0.0	7.1	61.9	22.6	2.4	2.4	3.6
	男性・65歳～69歳	86	0.0	2.3	7.0	55.8	16.3	9.3	7.0	2.3
	男性・70歳以上	147	0.0	1.4	8.2	42.2	33.3	8.2	3.4	3.4
	女性(計)	857	0.2	2.7	4.8	48.8	25.2	6.9	7.6	3.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	4.9	7.3	53.7	14.6	9.8	4.9	4.9
	女性・30歳～39歳	91	0.0	0.0	2.2	45.1	19.8	19.8	11.0	2.2
	女性・40歳～49歳	164	1.2	3.7	8.5	50.0	16.5	3.7	12.2	4.3
	女性・50歳～59歳	173	0.0	1.2	2.3	54.3	26.0	4.6	8.1	3.5
	女性・60歳～64歳	102	0.0	2.9	3.9	51.0	26.5	4.9	8.8	2.0
女性・65歳～69歳	111	0.0	3.6	1.8	56.8	25.2	5.4	5.4	1.8	
女性・70歳以上	175	0.0	3.4	6.9	36.6	37.1	6.9	2.3	6.9	
無回答	7	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	

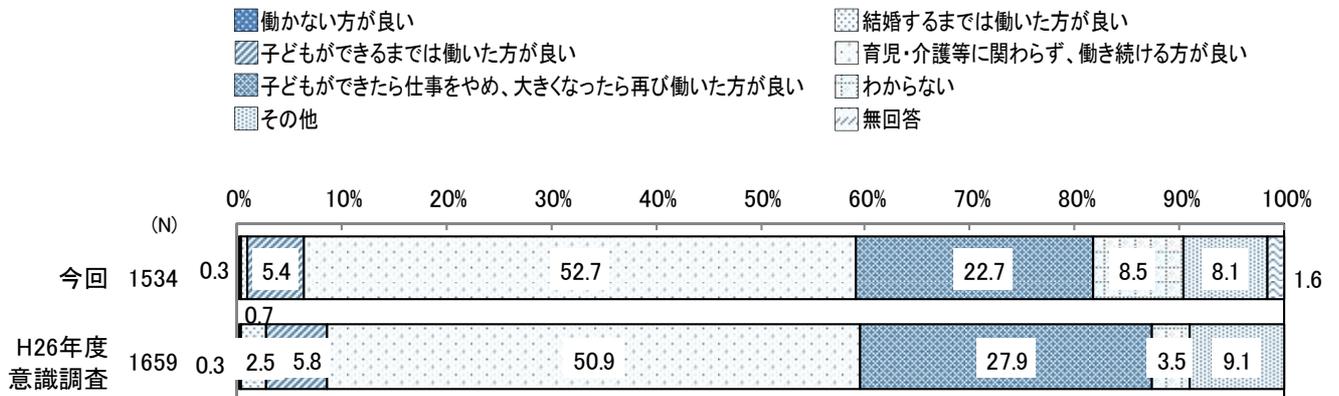
【年・年齢別】「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」では、「20歳～29歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層において、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較

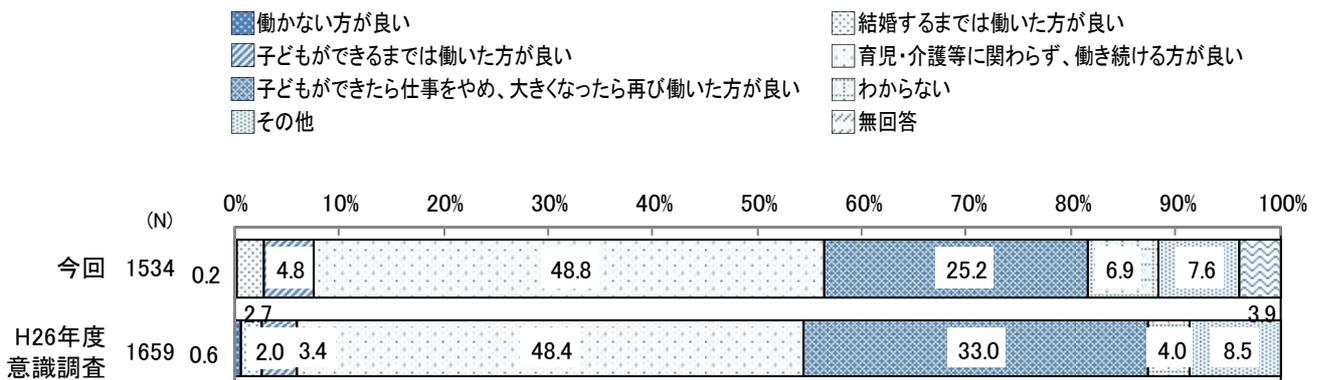
全体



男性



女性

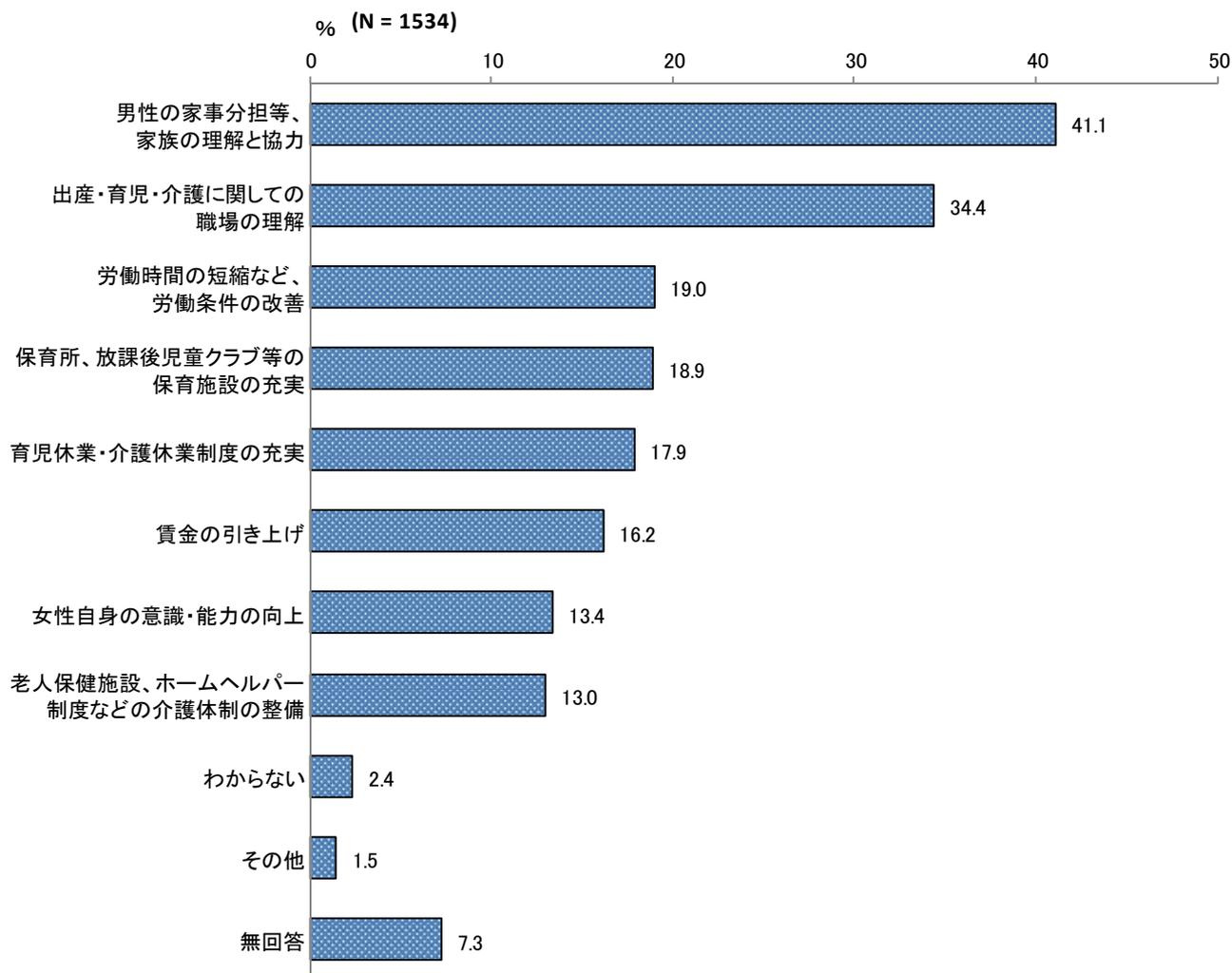


【全体】平成26年度調査と比較すると、「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」が2.2ポイント増加しているのに対し、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は5.9ポイント減少している。

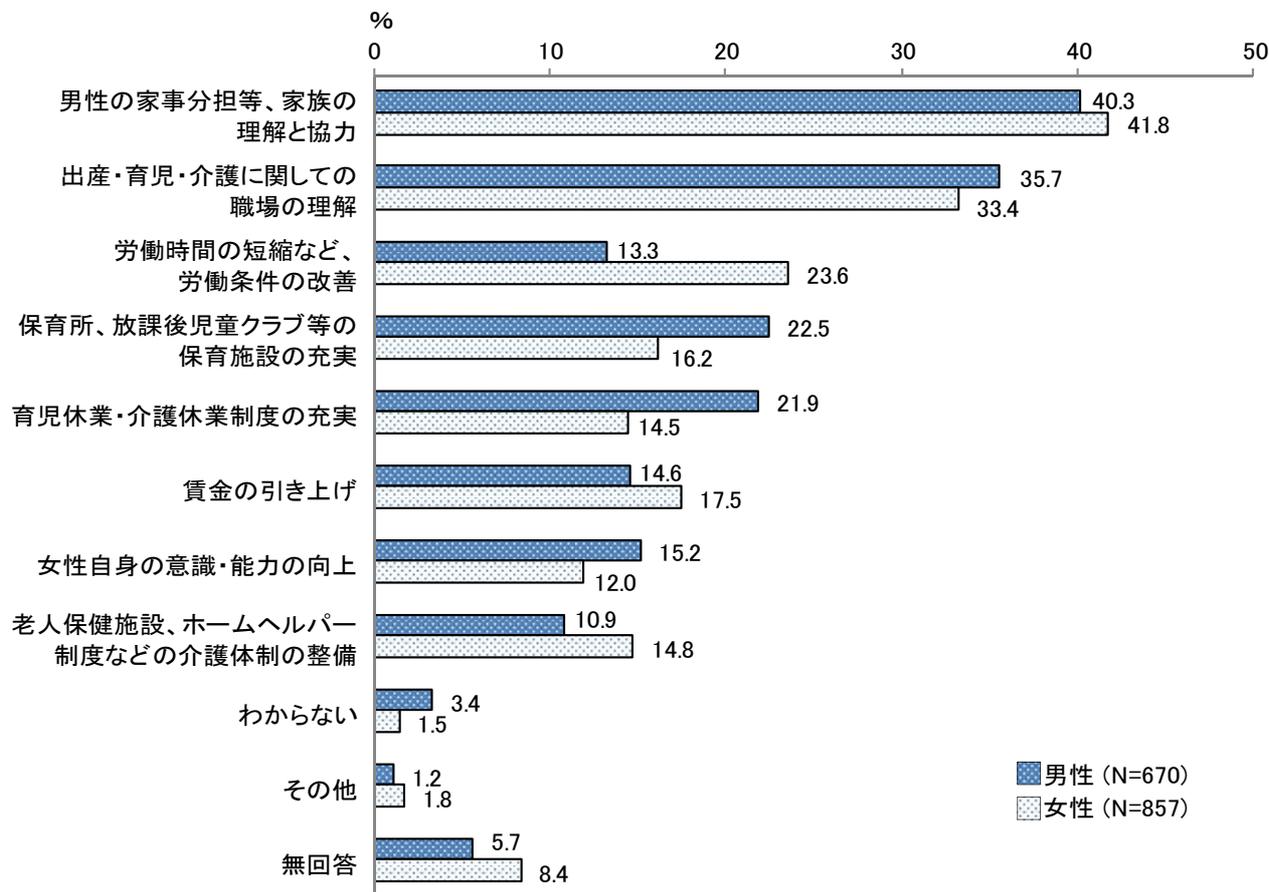
【性別】平成26年度調査と比較すると、男女ともに「育児・介護等に関わらず、働き続ける方が良い」が増加しているのに対し、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い」は減少している。

(8) 女性が働き続けるために必要なことについて

問8 女性が職業に就くうえで、または働き続けていくうえで、今後どのようなことが必要だと思いますか。
(○は2つ)



【全体】女性が働き続けるために必要なことについては、「男性の家事分担等、家族の理解と協力」が41.1%と最も高く、次いで「出産・育児・介護に関する職場の理解」(34.4%)、「労働時間の短縮など、労働条件の改善」(19.0%)となっている。



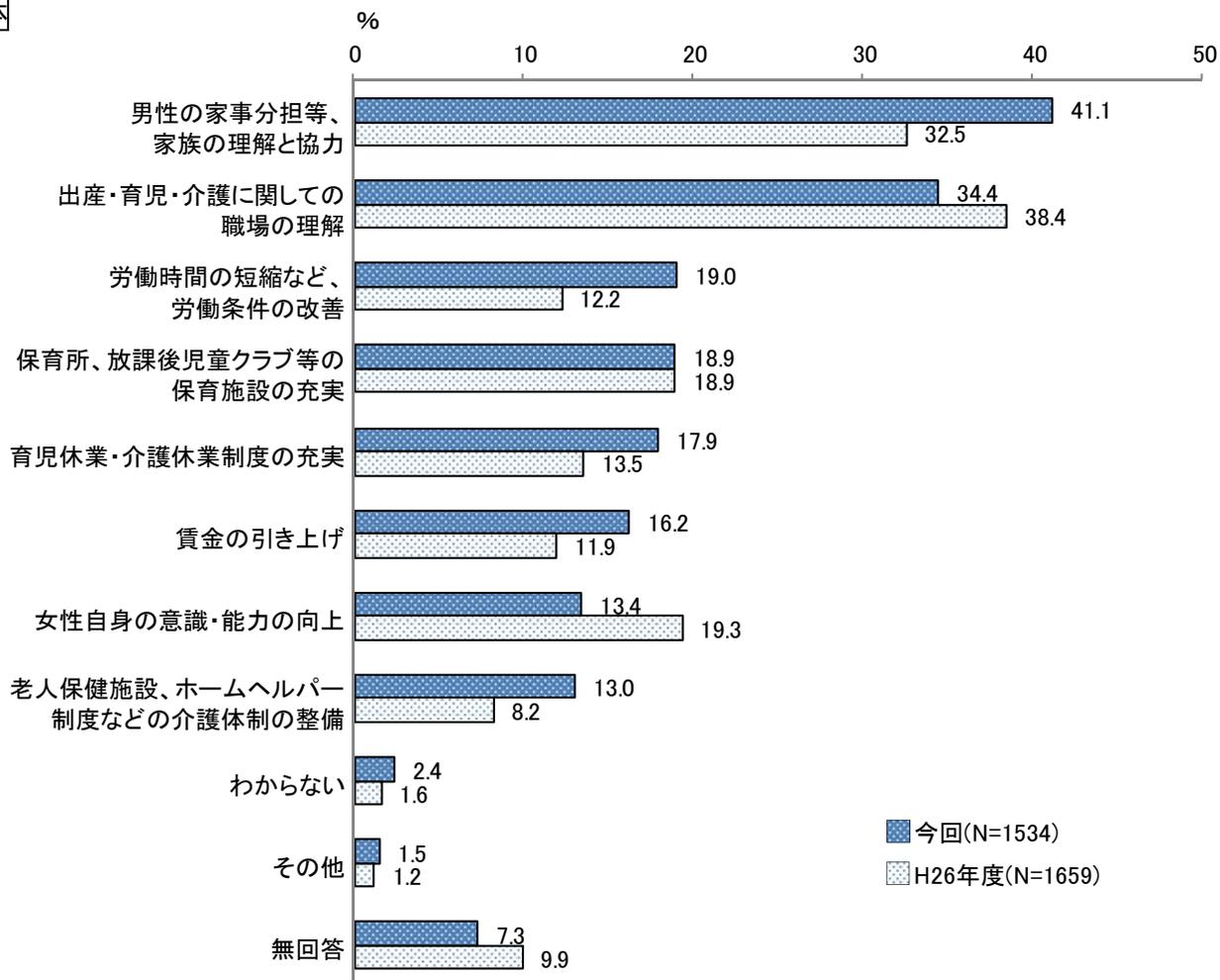
【性別】男女ともに「男性の家事分担等、家族の理解と協力」と「出産・育児・介護に関する職場の理解」が上位2つを占めている。男性は、次いで『保育施設の充実』や「育児休業・介護休業制度の充実」となっているのに対し、女性は『労働条件の改善』や「賃金の引き上げ」となっている。

	全体	女性が就業するうえで今後必要だと思うこと											
		女性自身の意識・能力の向上	男性の家事分担等、家族の理解と協力	出産・育児・介護に関する職場の理解	労働時間の短縮など、労働条件の改善	育児休業・介護休業制度の充実	賃金の引き上げ	保育所、放課後児童クラブ等の保育施設の充実	老人保健施設、ホームヘルパー制度などの介護体制の整備	わからない	その他	無回答	
全体	1534	13.4	41.1	34.4	19.0	17.9	16.2	18.9	13.0	2.4	1.5	7.3	
性別・年齢別	男性(計)	670	15.2	40.3	35.7	13.3	21.9	14.6	22.5	10.9	3.4	1.2	5.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	2.6	34.2	52.6	5.3	28.9	26.3	15.8	0.0	5.3	5.3	2.6
	男性・30歳～39歳	77	10.4	36.4	31.2	19.5	26.0	24.7	16.9	3.9	5.2	2.6	5.2
	男性・40歳～49歳	92	14.1	39.1	34.8	7.6	13.0	22.8	34.8	9.8	2.2	0.0	6.5
	男性・50歳～59歳	140	14.3	47.1	34.3	11.4	27.1	13.6	23.6	12.9	0.0	2.9	4.3
	男性・60歳～64歳	84	23.8	39.3	33.3	17.9	22.6	7.1	26.2	7.1	1.2	0.0	9.5
	男性・65歳～69歳	86	14.0	43.0	36.0	10.5	11.6	8.1	22.1	15.1	7.0	0.0	4.7
	男性・70歳以上	147	19.0	37.4	35.4	17.0	23.8	8.2	17.7	16.3	5.4	0.0	6.1
	女性(計)	857	12.0	41.8	33.4	23.6	14.5	17.5	16.2	14.8	1.5	1.8	8.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	63.4	48.8	17.1	29.3	9.8	9.8	2.4	4.9	0.0	4.9
	女性・30歳～39歳	91	2.2	47.3	28.6	27.5	4.4	29.7	27.5	2.2	2.2	2.2	11.0
	女性・40歳～49歳	164	7.9	40.2	29.3	31.1	12.2	17.7	14.0	11.6	0.0	4.3	12.8
	女性・50歳～59歳	173	11.0	38.2	38.7	19.1	19.7	22.0	14.5	18.5	0.0	0.0	6.4
	女性・60歳～64歳	102	19.6	52.0	31.4	26.5	11.8	10.8	21.6	14.7	0.0	2.0	3.9
	女性・65歳～69歳	111	17.1	40.5	40.5	23.4	18.9	26.1	11.7	9.0	0.0	0.0	5.4
女性・70歳以上	175	17.1	33.7	27.4	18.9	12.0	6.9	15.4	27.4	5.1	2.3	10.3	
無回答	7	0.0	28.6	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	

【性別・年齢別】男女ともに最も高かった「男性の家事分担等、家族の理解と協力」は、男性では「50歳～59歳」(47.1%)で最も高く、女性では「20歳～29歳」(63.4%)で唯一6割を超え高くなっている。

過去調査との比較

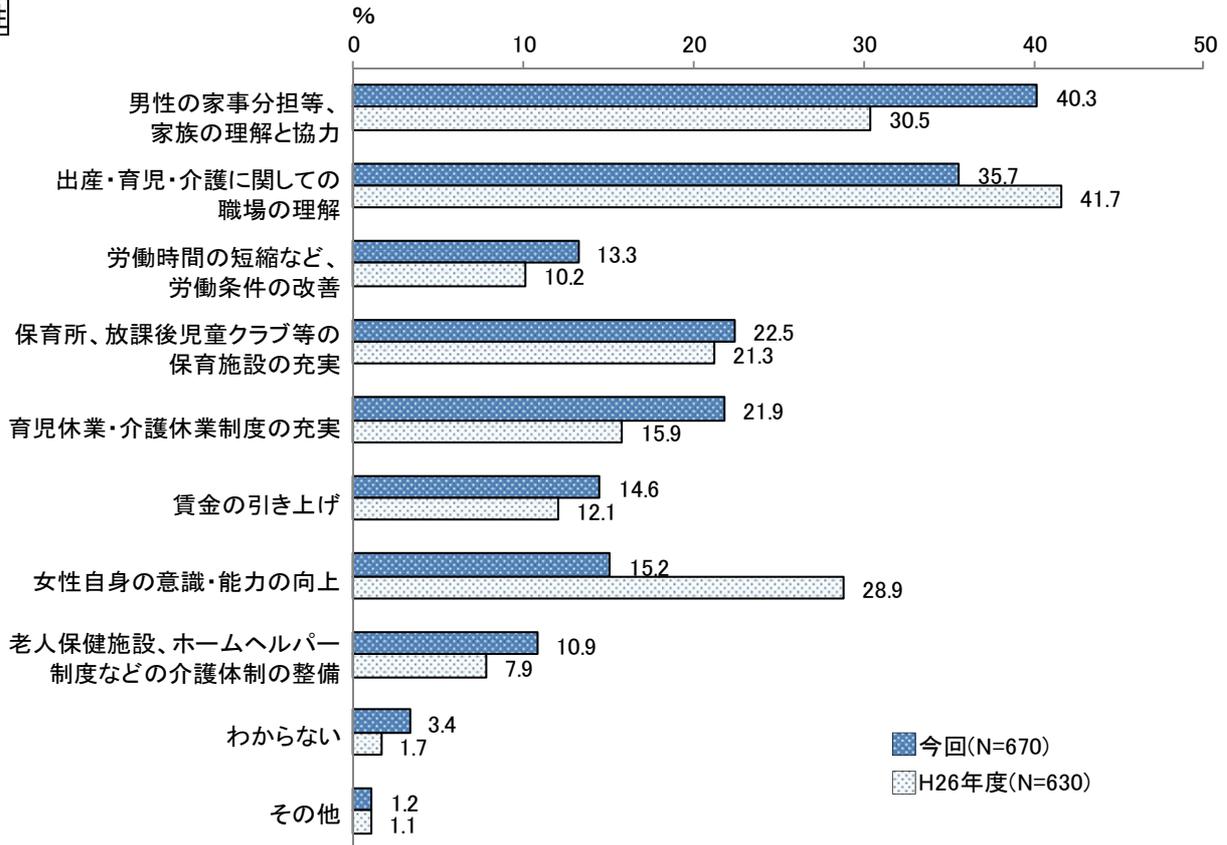
全体



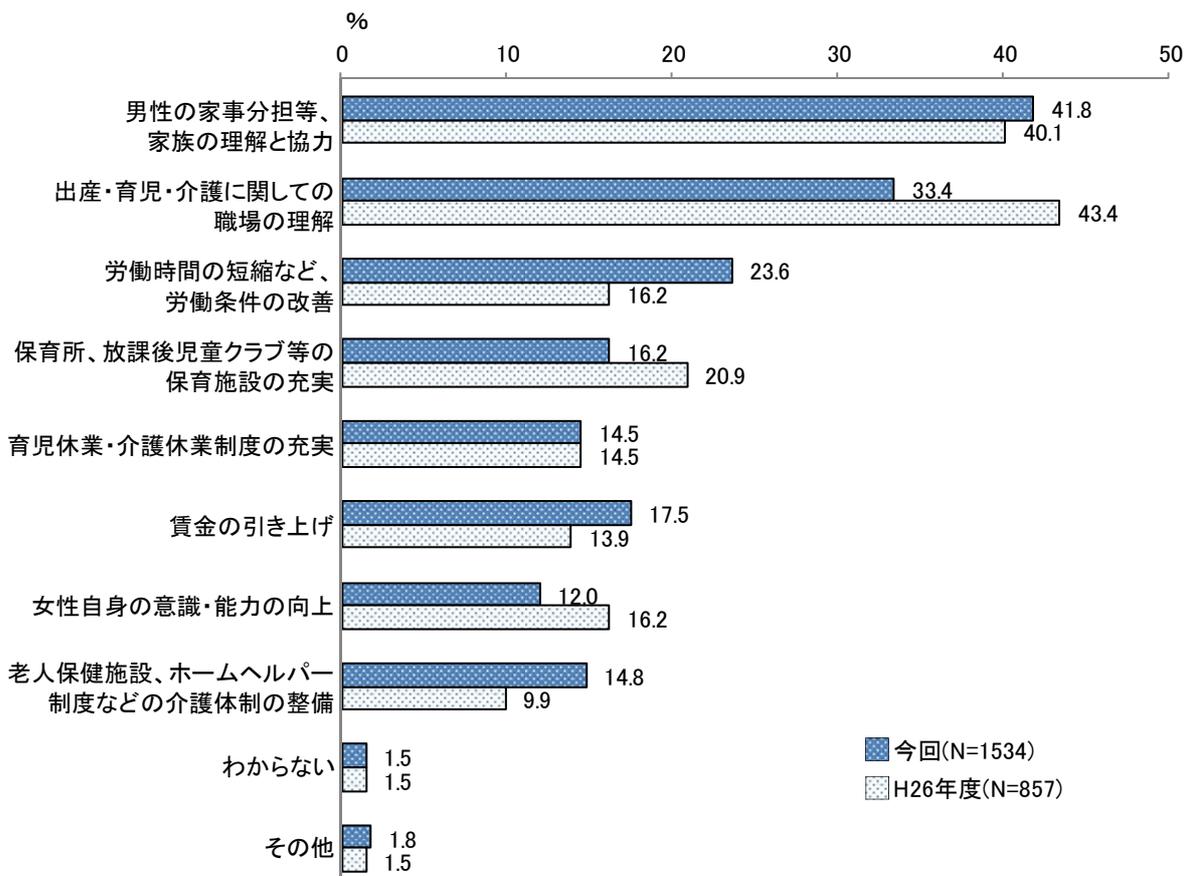
【全体】平成26年度調査で最も高かった「出産・育児・介護に関する職場の理解」が4.0ポイント減少し、次いで高かった「男性の家事分担等、家族の理解と協力」が8.6ポイント増加していることで、順位が入れ替わっている。

また、「労働時間の短縮など、労働条件の改善」が6.8ポイント増加していることで、今回調査において3番目に高くなっている。

男性



女性



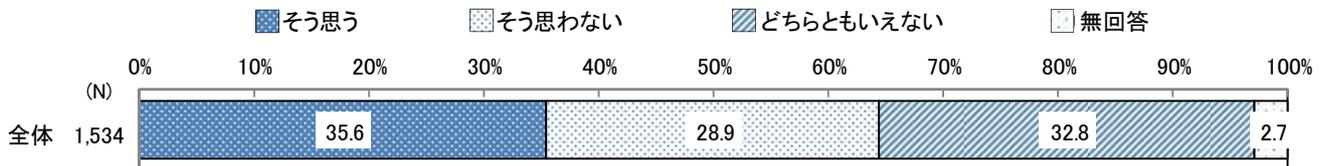
【性別】男性は「男性の家事分担等、家族の理解と協力」が40.3%と平成26年度調査より9.8ポイント増加し、最も高くなっている。一方で「出産・育児・介護に関する職場の理解」や「女性自身の意識・能力の向上」などは大きく減少している。

女性は「出産・育児・介護に関する職場の理解」が10.0ポイント減少しているのに対し、「労働時間の短縮など、労働条件の改善」が7.4ポイント増加し高くなっている。

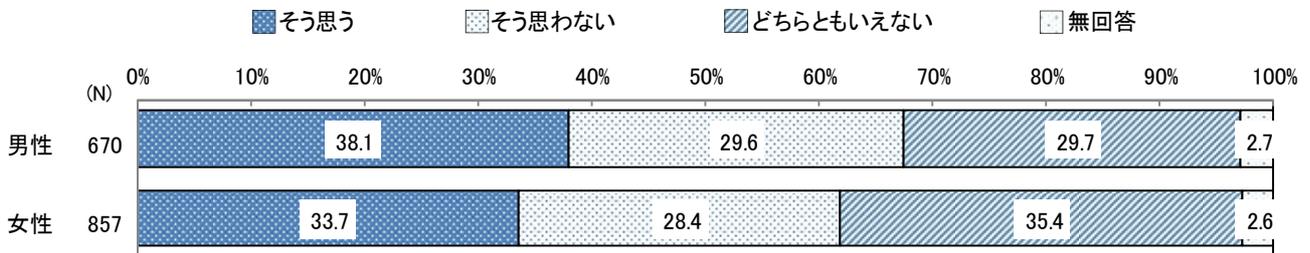
2. 家庭と仕事の両立について

(9) ワーク・ライフ・バランスの実践について

問9 あなたは現在、家庭生活、仕事、地域活動のそれぞれに関わり、バランスのとれた生活を過ごしていると思いますか。(○は1つ)



【全体】家庭生活、仕事、地域活動のそれぞれに関わり、バランスのとれた生活を過ごしていると思うかについては、全体では「そう思う」が35.6%となっており、次いで「どちらともいえない」が32.8%、「そう思わない」は28.9%となっている。



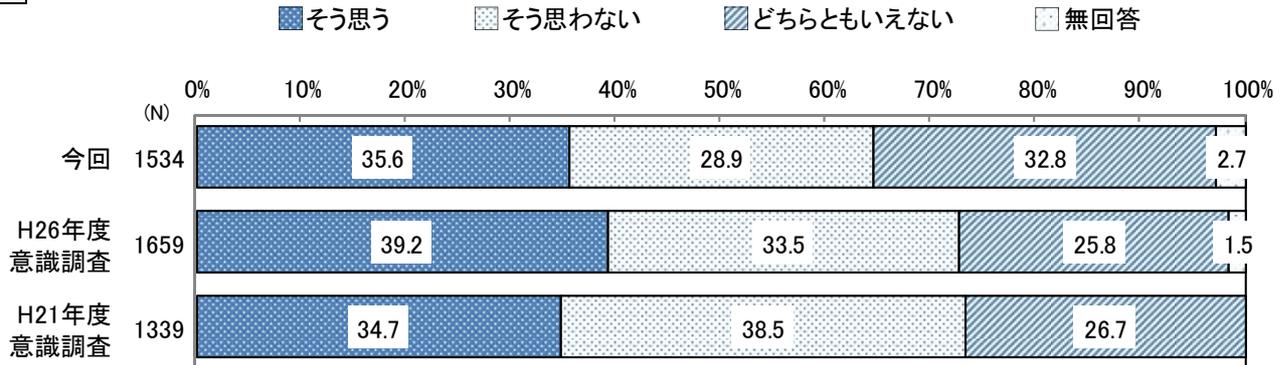
【性別】「そう思う」は、男性 (38.1%) が女性 (33.7%) より 4.4 ポイント高い。「そう思わない」は、男性 (29.6%) が女性 (28.4%) より 1.2 ポイント高い。

	全体	家庭、仕事、地域活動それぞれの両立				
		そう思う	そう思わない	どちらともいえない	無回答	
全体	1534	35.6	28.9	32.8	2.7	
性・年齢別	男性(計)	670	38.1	29.6	29.7	2.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	15.8	28.9	55.3	0.0
	男性・30歳～39歳	77	23.4	50.6	26.0	0.0
	男性・40歳～49歳	92	39.1	35.9	22.8	2.2
	男性・50歳～59歳	140	41.4	32.1	26.4	0.0
	男性・60歳～64歳	84	52.4	27.4	17.9	2.4
	男性・65歳～69歳	86	40.7	19.8	37.2	2.3
	男性・70歳以上	147	38.1	19.0	34.7	8.2
	女性(計)	857	33.7	28.4	35.4	2.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	12.2	41.5	41.5	4.9
	女性・30歳～39歳	91	29.7	40.7	29.7	0.0
	女性・40歳～49歳	164	33.5	35.4	28.7	2.4
	女性・50歳～59歳	173	31.8	31.8	35.3	1.2
	女性・60歳～64歳	102	40.2	26.5	33.3	0.0
	女性・65歳～69歳	111	31.5	17.1	49.5	1.8
	女性・70歳以上	175	40.6	17.1	35.4	6.9
無回答	7	28.6	28.6	14.3	28.6	

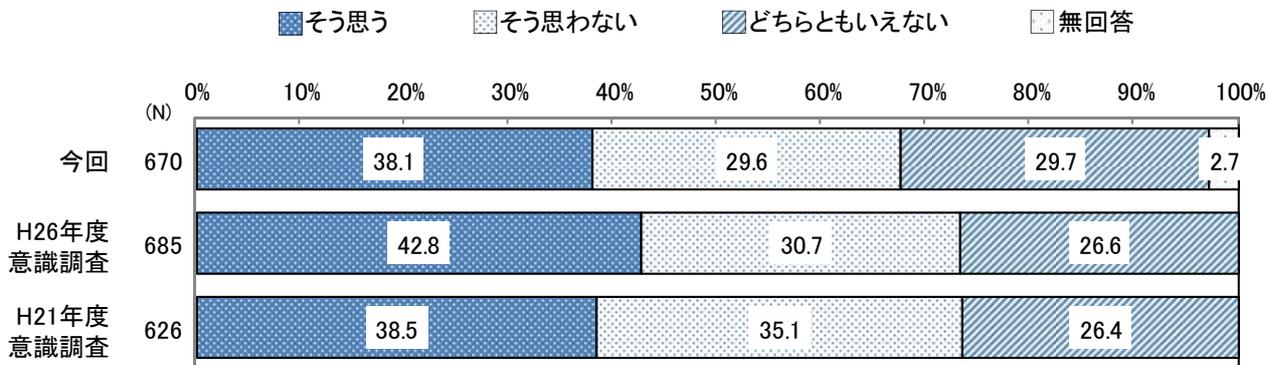
【性・年齢別】「そう思う」は、男性では「60歳～64歳」(52.4%)で唯一5割を超え最も高く、女性では「70歳以上」(40.6%)で最も高くなっている。

過去調査との比較

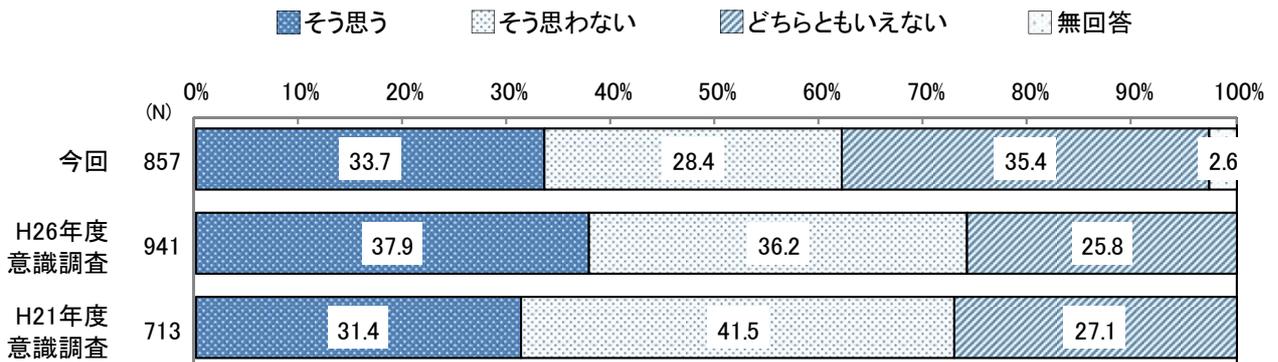
全体



男性



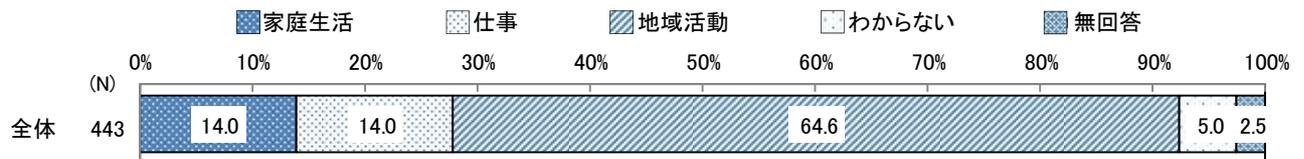
女性



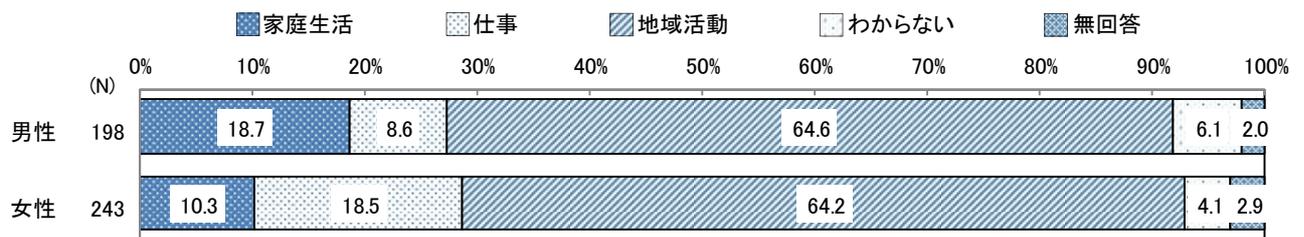
【全体】「そう思う」は35.6%と、平成26年度調査（39.2%）より3.6ポイント減少し、「そう思わない」も28.9%と、平成26年度調査（33.5%）より4.6ポイント減少している。一方、「どちらともいえない」が7.0ポイント増加している。

【性別】男女ともに「そう思う」と「そう思わない」が平成26年度調査より減少している。「そう思う」は男性が4.7ポイント、女性が4.2ポイント減少し、「そう思わない」では女性が7.8ポイント減少しているが、男性では大きな差はみられない。

(問9で「2 そう思わない」と答えた方が回答)
 問9-1 最も関わっていないと思うものを選んでください。(〇は1つ)



【全 体】最も関わっていないと思うものについては、「地域活動」が64.6%と最も高く、次いで「家庭生活」及び「仕事」が14.0%となっている。



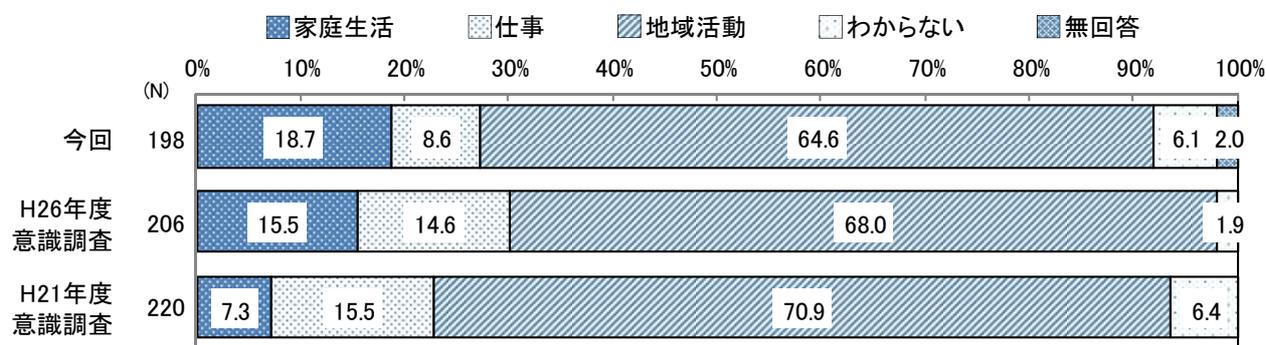
【性 別】男女ともに「地域活動」の割合が最も高く、男性は64.6%、女性は64.2%となっている。また、「地域活動」の次に高いものとして、男性が「家庭生活」(18.7%)と回答しているのに対し、女性は「仕事」(18.5%)と回答しており、男女の差が表れている。

	全 体	最も関わっていないと思うもの					
		家庭生活	仕事	地域活動	わからない	無回答	
全 体	443	14.0	14.0	64.6	5.0	2.5	
性・年齢別	男性(計)	198	18.7	8.6	64.6	6.1	2.0
	男性・18歳、19歳	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	11	9.1	0.0	90.9	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	39	17.9	12.8	59.0	5.1	5.1
	男性・40歳～49歳	33	18.2	3.0	72.7	0.0	6.1
	男性・50歳～59歳	45	13.3	11.1	71.1	4.4	0.0
	男性・60歳～64歳	23	13.0	8.7	69.6	8.7	0.0
	男性・65歳～69歳	17	47.1	23.5	17.6	11.8	0.0
	男性・70歳以上	28	21.4	0.0	64.3	14.3	0.0
	女性(計)	243	10.3	18.5	64.2	4.1	2.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	17	0.0	0.0	88.2	11.8	0.0
	女性・30歳～39歳	37	10.8	5.4	81.1	0.0	2.7
	女性・40歳～49歳	58	10.3	12.1	70.7	0.0	6.9
	女性・50歳～59歳	55	3.6	14.5	74.5	3.6	3.6
	女性・60歳～64歳	27	7.4	59.3	25.9	7.4	0.0
	女性・65歳～69歳	19	31.6	21.1	47.4	0.0	0.0
	女性・70歳以上	30	16.7	26.7	43.3	13.3	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

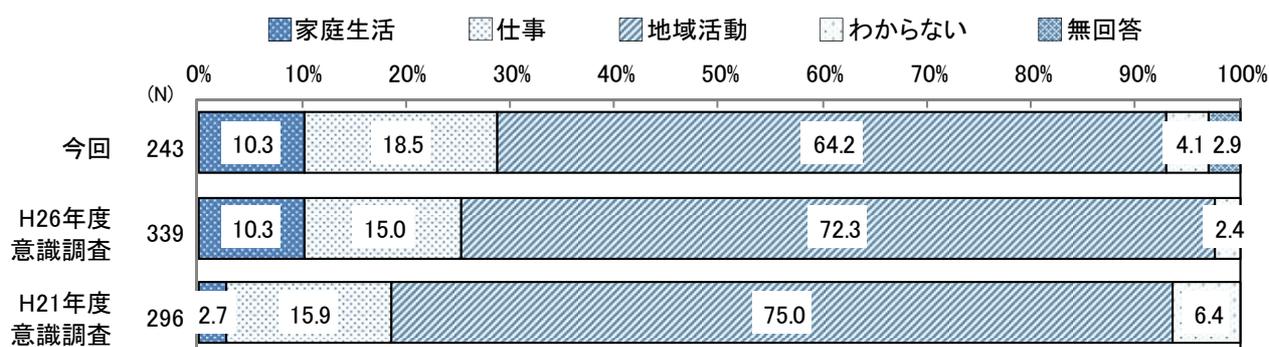
【性・年齢別】「地域活動」は男性、女性いずれも「20歳～29歳」で9割前後と高くなっている。「家庭生活」は男性、女性いずれも「65歳～69歳」が最も高く、「70歳以上」も次いで高い。

過去調査との比較

男性



女性



【性別】平成26年度調査と比較すると、男性では「仕事」が6.0ポイント減少し、「家庭生活」が3.2ポイント増加している。女性では「地域活動」が8.1ポイント減少し、「仕事」が3.5ポイント増加している。

(10) 1日当たりの平均所要時間について

問10 あなたは平日および休日1日当たり、次の事柄にどのくらい時間をかけていますか。
 次のア～ケのそれぞれの質問について、10分単位（10分未満は切り捨て）でお答えください。
 ※週1日または月1回などの場合、1日当たりに換算してお考えください。

1日当たりの平均所要時間 (全体)

	平日	休日
ア. 仕事（通勤時間を含む）	N=1,129 436.0分	N=799 83.7分
イ. 家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む）	N=1,284 145.9分	N=1,172 188.0分
ウ. 育児	N=757 61.8分	N=722 132.7分
エ. 介護・看護	N=777 22.0分	N=754 22.2分
オ. 買い物	N=1,186 42.1分	N=1,130 78.2分
カ. 余暇（趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間）	N=1,159 112.7分	N=1,135 199.0分
キ. 地域活動（子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等）	N=767 7.1分	N=748 11.7分
ク. ボランティアやNPO活動	N=755 7.1分	N=732 9.2分
ケ. その他	N=257 56.1分	N=248 43.0分

【全体】1日当たりの平均所要時間については、平日は、「仕事（通勤時間を含む）」が436.0分で最も高く、次いで、「家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む）」の145.9分となっている。

休日は、「余暇（趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間）」が199.0分で最も多く、次いで「家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む）」が188.0分となっている。

1日当たりの平均所要時間 (男女別)

	女性		男性	
	平日	休日	平日	休日
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=611 400.5分	N=404 83.0分	N=518 478.0分	N=395 84.5分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む)	N=751 201.9分	N=647 251.8分	N=533 67.0分	N=525 109.5分
ウ. 育児	N=404 100.0分	N=369 197.6分	N=353 18.2分	N=353 64.8分
エ. 介護・看護	N=428 27.7分	N=403 30.1分	N=349 15.4分	N=351 13.1分
オ. 買い物	N=709 50.5分	N=636 87.8分	N=477 29.5分	N=494 65.8分
カ. 余暇(趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=656 110.4分	N=605 176.4分	N=503 115.7分	N=530 224.8分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等)	N=391 7.2分	N=362 6.7分	N=376 7.0分	N=386 16.4分
ク. ボランティアやNPO活動	N=395 6.4分	N=364 5.7分	N=360 7.9分	N=368 12.7分
ケ. その他	N=129 57.6分	N=117 46.8分	N=128 54.5分	N=131 39.5分

【性別】平日は、男女ともに『仕事』が最も多く、男性が478.0分、女性が400.5分となっている。次いで女性は、『家事』が201.9分、『余暇』が110.4分となっており、男性は、『余暇』が115.7分、『家事』が67.0分となっている。

休日は、女性は『家事』が251.8分で最も多く、次いで「育児」が197.6分、『余暇』が176.4分となっている。男性は、『余暇』が224.8分で最も多く、次いで『家事』が109.5分、『仕事』が84.5分となっている。

『家事』については、平日は、女性が201.9分、男性が67.0分で女性の方が134.9分多く、休日は、女性が251.8分、男性が109.5分で女性の方が142.3分多くなっている。

「育児」については、平日は、女性が100.0分、男性が18.2分で女性の方が81.8分多く、休日は、女性が197.6分、男性が64.8分で女性の方が132.8分多くなっている。

過去調査との比較

全体

1日当たりの平均所要時間(平日)

	今 回		H26年度 意識調査	
	N	時間	N	時間
ア. 仕事（通勤時間を含む）	N=1,129	436.0分	N=1,024	511.5分
イ. 家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む）	N=1,284	145.9分	N=1,659	119.9分
ウ. 育児	N= 757	61.8分	N= 486	93.9分
エ. 介護・看護	N= 777	22.0分	N= 240	59.0分
オ. 買い物	N=1,186	42.1分	N=1,659	27.3分
カ. 余暇（趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間）	N=1,159	112.7分	N=1,659	87.3分
キ. 地域活動（子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等）	N= 767	7.1分	N=1,659	5.5分
ク. ボランティアやNPO活動	N= 755	7.1分	N=1,659	4.3分
ケ. その他	N= 257	56.1分	N=1,659	4.7分

1日当たりの平均所要時間(休日)

	今 回		H26年度 意識調査	
	N	時間	N	時間
ア. 仕事（通勤時間を含む）	N= 799	83.7分	N=1,024	56.2分
イ. 家事（屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む）	N=1,172	188.0分	N=1,659	148.0分
ウ. 育児	N= 722	132.7分	N= 486	193.2分
エ. 介護・看護	N= 754	22.2分	N= 240	88.1分
オ. 買い物	N=1,130	78.2分	N=1,659	55.3分
カ. 余暇（趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間）	N=1,135	199.0分	N=1,659	159.1分
キ. 地域活動（子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等）	N= 748	11.7分	N=1,659	9.5分
ク. ボランティアやNPO活動	N= 732	9.2分	N=1,659	5.7分
ケ. その他	N= 248	43.0分	N=1,659	4.4分

【全 体】平日の1日当たりの平均所要時間を平成26年度調査と比較すると、『仕事』は75.5分、「育児」は32.1分、「介護・看護」は37.0分減少している。他の項目はいずれも増加しており、『家事』は26.0分、「買い物」は14.8分、『余暇』は25.4分、『地域活動』は1.6分、『ボランティア』は2.8分の増加となっている。

休日では、「育児」は60.5分、「介護・看護」は65.9分減少している。他の項目はいずれも増加しており、『仕事』は27.5分、『家事』は40.0分、「買い物」は22.9分、『余暇』は39.9分、『地域活動』は2.2分、『ボランティア』は3.5分の増加となっている。

性別

1日当たりの平均所要時間(平日)

	女性				男性			
	今回		H26年度意識調査		今回		H26年度意識調査	
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=611	400.5分	N=568	482.9分	N=518	478.0分	N=456	547.2分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む)	N=751	201.9分	N=958	169.5分	N=533	67.0分	N=693	51.7分
ウ. 育児	N=404	100.0分	N=292	142.9分	N=353	18.2分	N=194	20.0分
エ. 介護・看護	N=428	27.7分	N=147	57.2分	N=349	15.4分	N=93	61.8分
オ. 買い物	N=709	50.5分	N=958	35.3分	N=477	29.5分	N=693	16.6分
カ. 余暇(趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=656	110.4分	N=958	82.8分	N=503	115.7分	N=693	93.8分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等)	N=391	7.2分	N=958	3.1分	N=376	7.0分	N=693	8.6分
ク. ボランティアやNPO活動	N=395	6.4分	N=958	3.4分	N=360	7.9分	N=693	5.5分
ケ. その他	N=129	57.6分	N=958	4.8分	N=128	54.5分	N=693	4.7分

1日当たりの平均所要時間(休日)

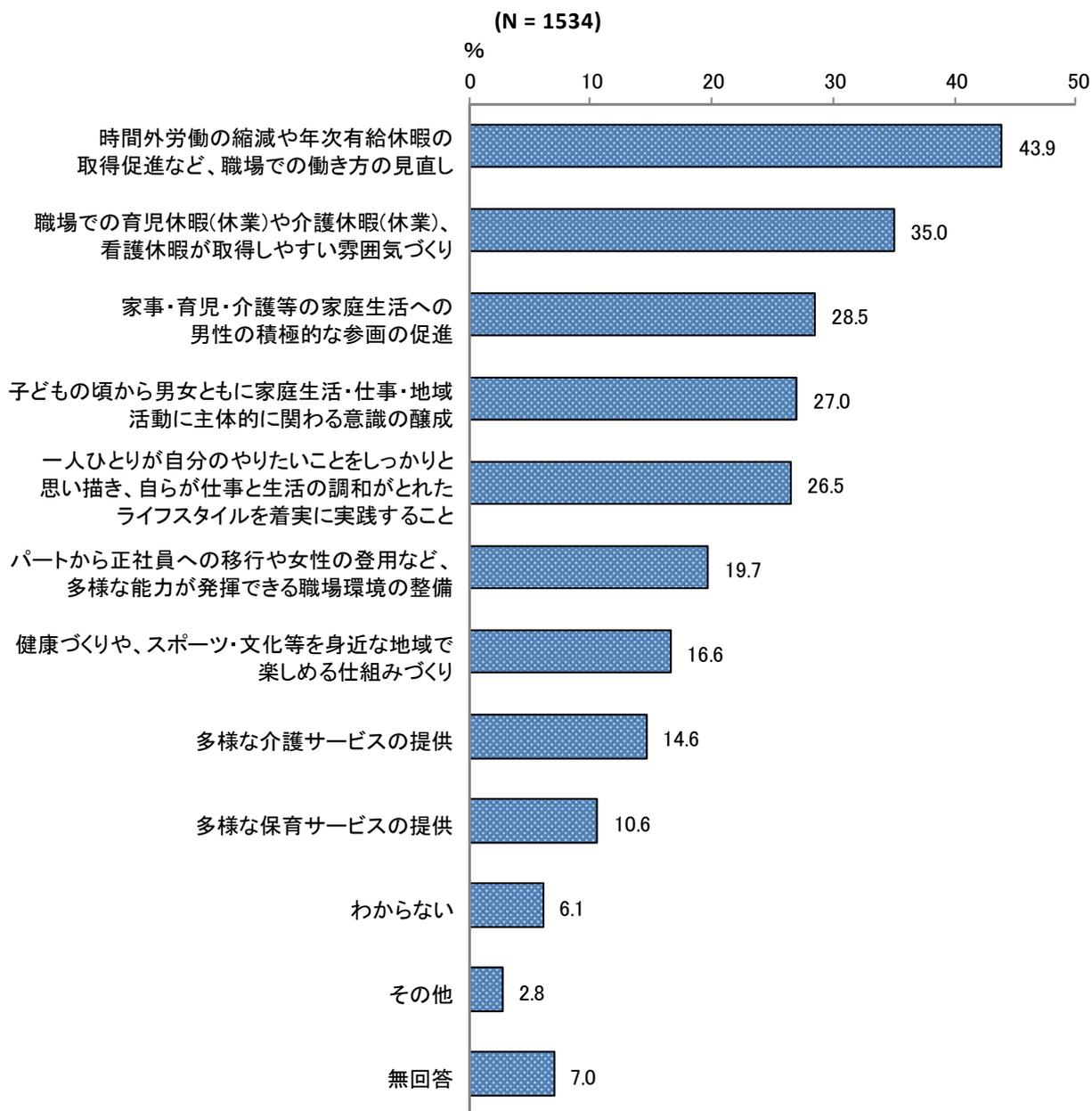
	女性				男性			
	今回		H26年度意識調査		今回		H26年度意識調査	
ア. 仕事(通勤時間を含む)	N=404	83.0分	N=568	51.5分	N=395	84.5分	N=456	61.9分
イ. 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れ等も含む)	N=647	251.8分	N=958	192.9分	N=525	109.5分	N=693	87.2分
ウ. 育児	N=369	197.6分	N=292	266.6分	N=353	64.8分	N=194	82.6分
エ. 介護・看護	N=403	30.1分	N=147	74.5分	N=351	13.1分	N=93	109.6分
オ. 買い物	N=636	87.8分	N=958	65.5分	N=494	65.8分	N=693	41.8分
カ. 余暇(趣味や娯楽等、自分の好きなことをして過ごす時間)	N=605	176.4分	N=958	133.2分	N=530	224.8分	N=693	196.5分
キ. 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動等)	N=362	6.7分	N=958	4.4分	N=386	16.4分	N=693	16.3分
ク. ボランティアやNPO活動	N=364	5.7分	N=958	2.6分	N=368	12.7分	N=693	10.0分
ケ. その他	N=117	46.8分	N=958	3.3分	N=131	39.5分	N=693	6.1分

【性別】平日では男女ともに『仕事』で最も差がみられ、前回より女性は82.4分、男性は69.2分減少となっている。『家事』では、男女ともに増加しており、前回より女性は32.4分、男性は15.3分増加している。

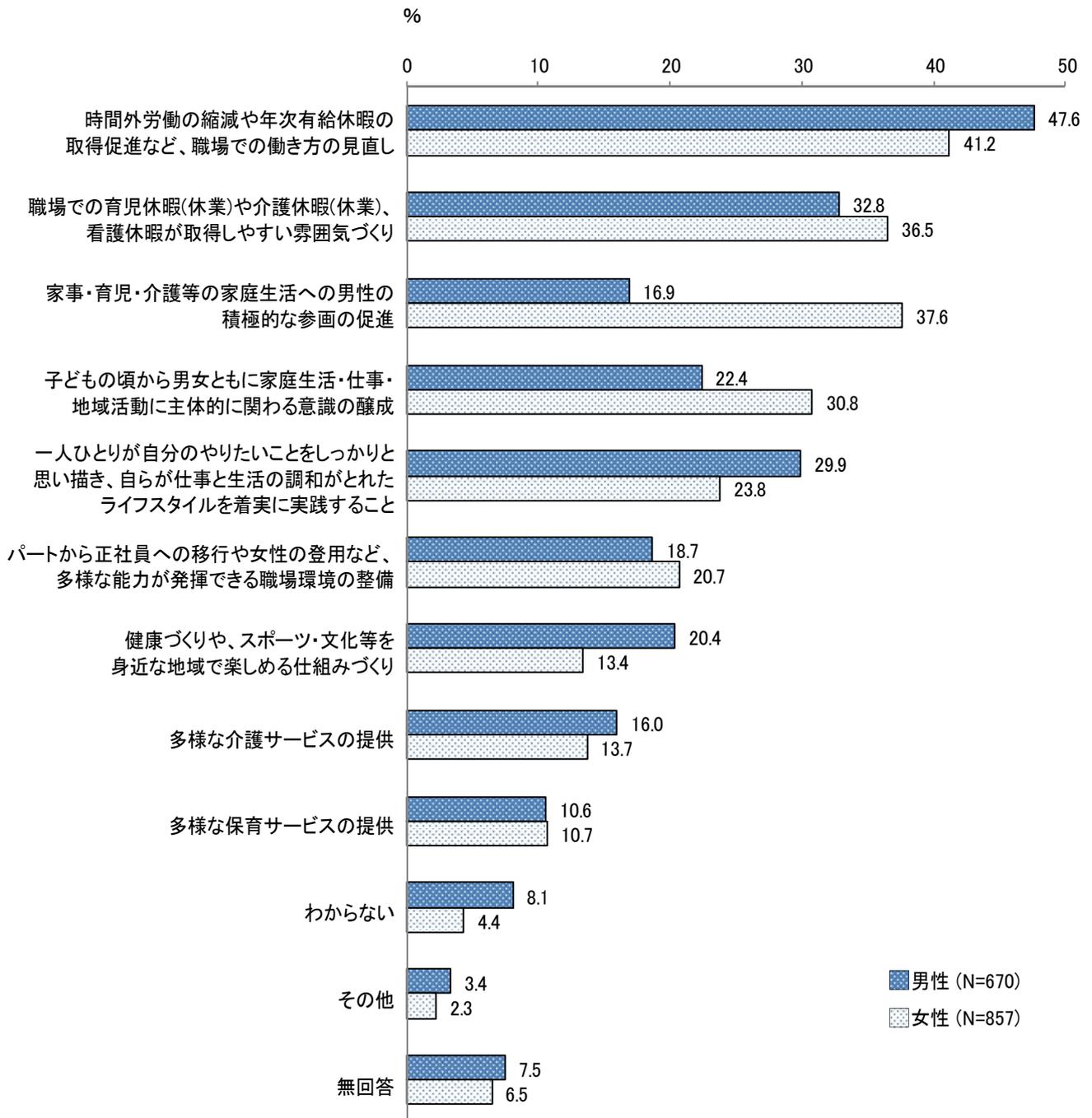
休日では、男女ともに「育児」と「介護・看護」を除いた項目で増加となっている。前回と比較して最も差がみられたのは、女性では『家事』が58.9分増加、男性では「介護・看護」が96.5分減少となっている。

(11) ワーク・ライフ・バランスの推進に必要なことについて

問 1 1 あなたは、生活と仕事の調和がとれるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



【全体】生活と仕事の調和のために必要だと思うことについては、『職場での働き方の見直し』(43.9%)や『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』(35.0%)など、職場環境の改善に関する割合が高く、次いで『家庭生活への男性の積極的な参画の促進』(28.5%)となっている。



【性別】男性は、『職場での働き方の見直し』（47.6%）が最も高く、次いで『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』（32.8%）、『仕事と生活の調和がとれたライフスタイルの実践』（29.9%）となっている。

女性は、『職場での働き方の見直し』（41.2%）が最も高く、次いで『家庭生活への男性の積極的な参加』（37.6%）、『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』（36.5%）となっている。

最も差がみられた『家庭生活への男性の積極的な参画の促進』では、女性（37.6%）が男性（16.9%）より20.7ポイント高くなっている。

	全 体	仕事と生活の調和のために必要だと思うこと														
		ど、時間外労働の縮減や年次有給休暇の取得促進など、職場での働き方の見直し	業場の縮減や年次有給休暇の取得促進など、職場での働き方の見直し	職場の縮減や年次有給休暇の取得促進など、職場での働き方の見直し	多様な能力が発揮できる職場環境の整備	パートから正社員への移行や女性の登用など、多様な能力が発揮できる職場環境の整備	一人ひとりが自分のやりたいことをしつかりと	思い描き、自らが仕事と生活の調和がとれた	ライフスタイルを着実に実践すること	家事・育児・介護等の家庭生活への積極的な参画の促進	地域活動に主体的に関わる意識の醸成	子どもの頃から男女ともに家庭生活・仕事・地域活動に主体的に関わる意識の醸成	多様な保育サービスの提供	多様な介護サービスの提供	健康づくりや、スポーツ・文化等を身近な健康づくりにする仕組みづくり	わからない
全体	1534	43.9	35.0	19.7	26.5	28.5	27.0	10.6	14.6	16.6	6.1	2.8	7.0			
性・年齢別	男性(計)	670	47.6	32.8	18.7	29.9	16.9	22.4	10.6	16.0	20.4	8.1	3.4	7.5		
	男性・18歳、19歳	4	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	男性・20歳～29歳	38	52.6	42.1	23.7	18.4	18.4	15.8	7.9	0.0	15.8	15.8	2.6	7.9		
	男性・30歳～39歳	77	62.3	31.2	9.1	26.0	14.3	22.1	18.2	3.9	5.2	7.8	13.0	11.7		
	男性・40歳～49歳	92	53.3	40.2	20.7	29.3	15.2	17.4	13.0	14.1	6.5	1.1	2.2	15.2		
	男性・50歳～59歳	140	54.3	30.7	17.9	41.4	16.4	20.7	10.0	22.9	27.1	5.7	5.7	0.0		
	男性・60歳～64歳	84	53.6	34.5	23.8	35.7	16.7	22.6	13.1	20.2	14.3	3.6	0.0	3.6		
	男性・65歳～69歳	86	39.5	26.7	17.4	31.4	15.1	20.9	10.5	29.1	20.9	16.3	0.0	3.5		
	男性・70歳以上	147	29.3	31.3	17.7	19.7	19.7	29.3	5.4	10.2	36.1	10.9	1.4	12.2		
	女性(計)	857	41.2	36.5	20.7	23.8	37.6	30.8	10.7	13.7	13.4	4.4	2.3	6.5		
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	女性・20歳～29歳	41	46.3	56.1	43.9	17.1	43.9	9.8	24.4	4.9	9.8	4.9	0.0	4.9		
	女性・30歳～39歳	91	63.7	36.3	23.1	11.0	39.6	22.0	27.5	8.8	6.6	4.4	0.0	1.1		
	女性・40歳～49歳	164	50.0	36.0	12.2	18.3	46.3	34.1	12.8	14.6	3.7	4.3	2.4	7.3		
	女性・50歳～59歳	173	43.9	41.6	20.2	23.7	39.9	28.9	12.1	23.1	12.7	1.2	2.3	1.7		
	女性・60歳～64歳	102	37.3	32.4	24.5	40.2	38.2	39.2	7.8	4.9	20.6	0.0	2.9	3.9		
	女性・65歳～69歳	111	27.9	43.2	16.2	23.4	35.1	41.4	3.6	7.2	22.5	9.9	1.8	9.0		
	女性・70歳以上	175	28.0	25.7	22.9	28.0	25.7	27.4	1.7	17.1	17.7	6.9	4.0	13.7		
	無回答	7	28.6	57.1	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6		

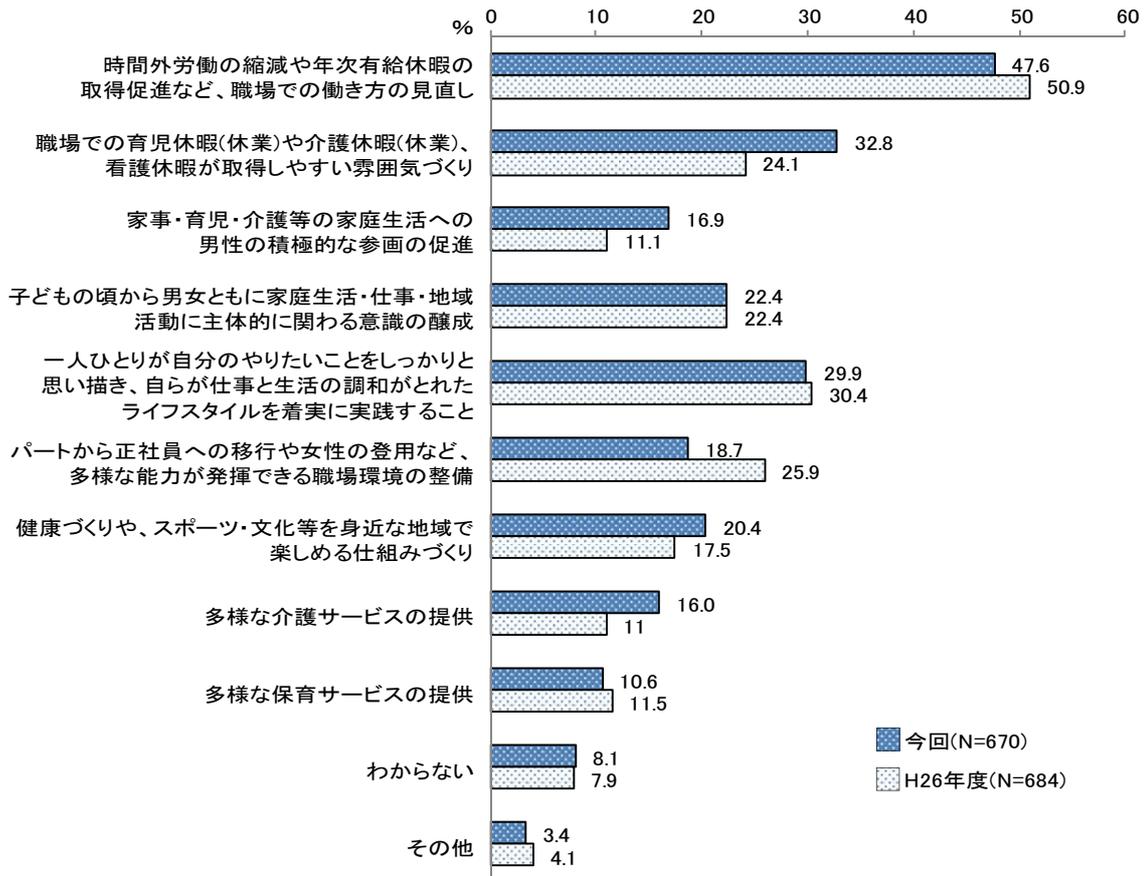
【性・年齢別】『職場での働き方の見直し』では、「30歳～39歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』では、女性の「20歳～29歳」で唯一5割を超えて高くなっている。

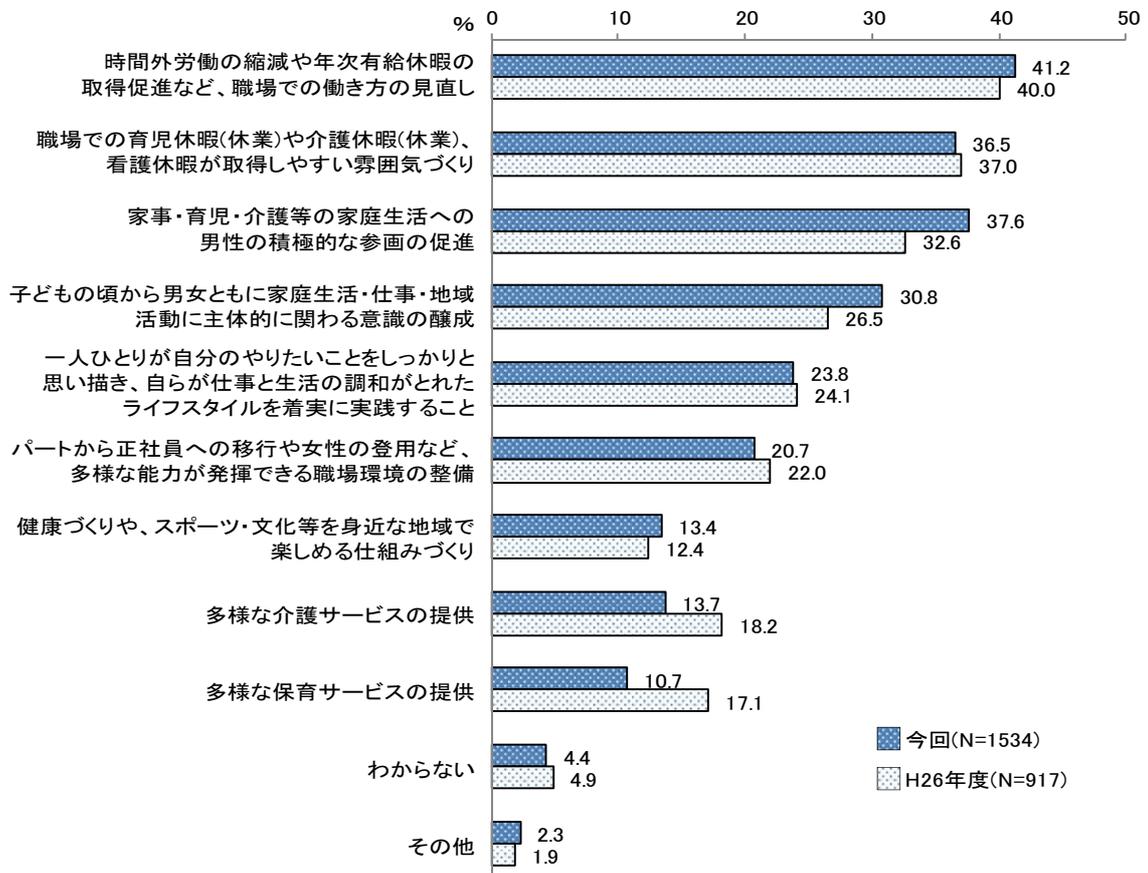
『家庭生活への男性の積極的な参画の促進』では、すべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較

男性



女性

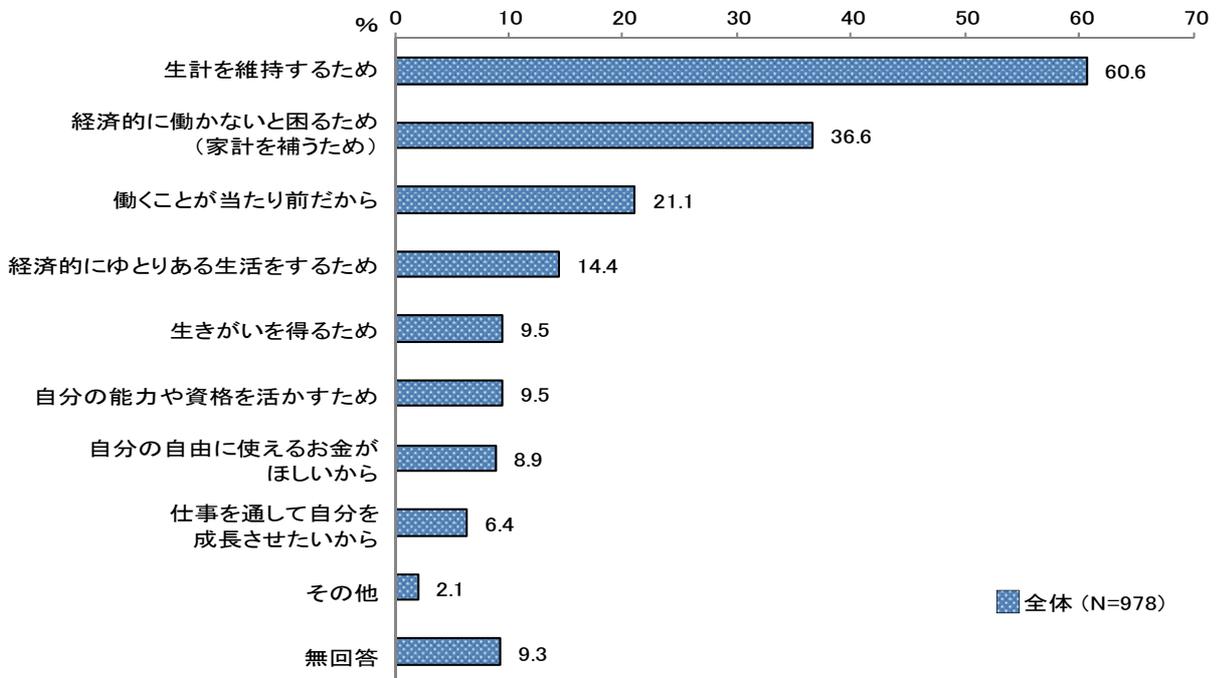


【性別】平成26年度調査と比較すると、男性は『休暇が取得しやすい雰囲気づくり』が8.7ポイント増加、女性は『家庭生活への男性の積極的な参画の促進』が5.0ポイント増加し、それぞれ『職場での働き方の見直し』に次いで高くなっている。

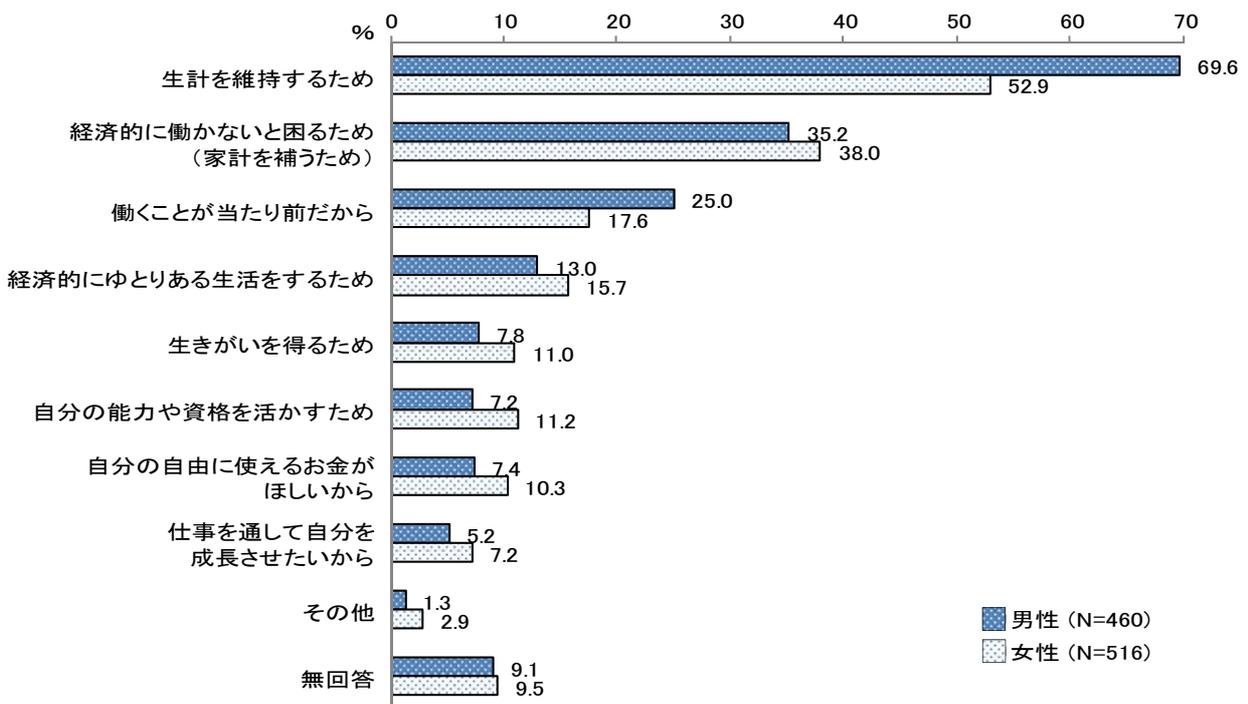
3. 就業状況・職場環境について

(12) 働いている理由について

(現在、働いている方が回答)
 問12 あなたが、現在働いている理由は何ですか。(〇は2つまで)



【全体】現在働いている理由については、「生計を維持するため」が60.6%、「家計を補うため」が36.6%と生活に関する理由が高く、次いで「働くことが当たり前だから」が21.1%となっている。



【性別】「生計を維持するため」は男性(69.6%)が女性(52.9%)より16.7ポイント高くなっている。「生きがいを得るため」や「自分の能力や資格を活かすため」などといった生計以外の回答では、男性よりも女性の方が高くなっている。

	全体	現在働いている理由									
		生計を維持するため	経済的に働かないと困るため(家計を補うため)	経済的にゆとりある生活をするため	自分の自由に使えるお金がほしいから	仕事を通して自分を成長させたいから	生きがいを得るため	自分の能力や資格を活かすため	働くことが当たり前だから	その他	無回答
全体	978	60.6	36.6	14.4	8.9	6.4	9.5	9.5	21.1	2.1	9.3
性・年齢別	男性(計)	460	69.6	35.2	13.0	7.4	5.2	7.8	25.0	1.3	9.1
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	23	39.1	13.0	13.0	26.1	26.1	0.0	4.3	43.5	0.0
	男性・30歳～39歳	65	72.3	36.9	6.2	9.2	3.1	9.2	10.8	24.6	0.0
	男性・40歳～49歳	90	76.7	35.6	4.4	10.0	2.2	5.6	4.4	28.9	2.2
	男性・50歳～59歳	122	82.0	42.6	13.1	3.3	3.3	8.2	7.4	25.4	0.0
	男性・60歳～64歳	68	70.6	29.4	30.9	2.9	8.8	2.9	14.7	13.2	0.0
	男性・65歳～69歳	54	57.4	31.5	7.4	9.3	3.7	13.0	3.7	24.1	3.7
	男性・70歳以上	36	44.4	33.3	22.2	5.6	5.6	16.7	0.0	22.2	5.6
	女性(計)	516	52.9	38.0	15.7	10.3	7.2	11.0	11.2	17.6	2.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	25	48.0	20.0	44.0	24.0	0.0	8.0	0.0	24.0	0.0
	女性・30歳～39歳	77	46.8	48.1	14.3	13.0	2.6	6.5	7.8	16.9	5.2
	女性・40歳～49歳	148	56.1	56.1	7.4	7.4	7.4	6.1	10.1	14.2	2.0
	女性・50歳～59歳	134	58.2	32.8	20.1	11.9	10.4	8.2	14.9	19.4	1.5
	女性・60歳～64歳	57	64.9	29.8	14.0	10.5	7.0	22.8	15.8	10.5	1.8
女性・65歳～69歳	42	40.5	14.3	16.7	4.8	14.3	21.4	14.3	26.2	4.8	
女性・70歳以上	33	30.3	12.1	18.2	6.1	0.0	24.2	6.1	24.2	9.1	
無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

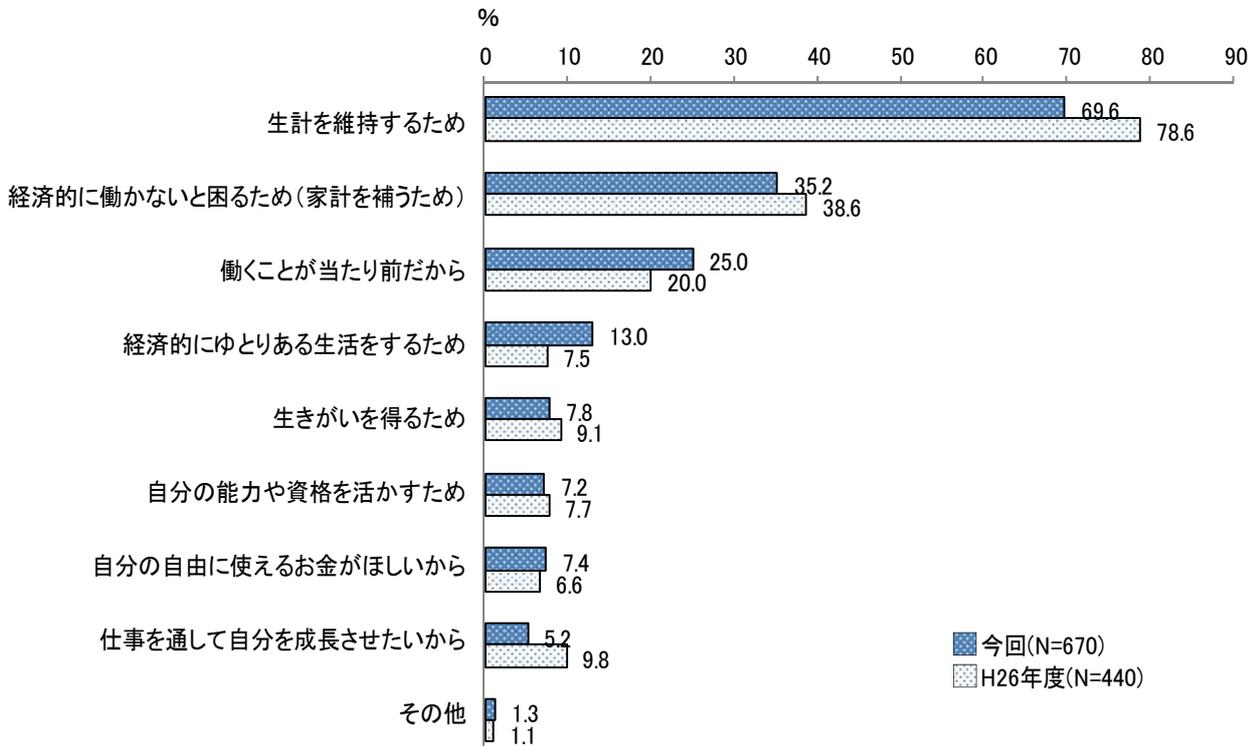
【性・年齢別】「生計を維持するため」では、「20歳～29歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。男性では「50歳～59歳」で唯一8割を超えており、女性では「60歳～64歳」で唯一6割を超えている。

『家計を補うため』では、「20歳～29歳」から「40歳～49歳」、「60歳～64歳」では女性の方が男性よりも高くなっている。

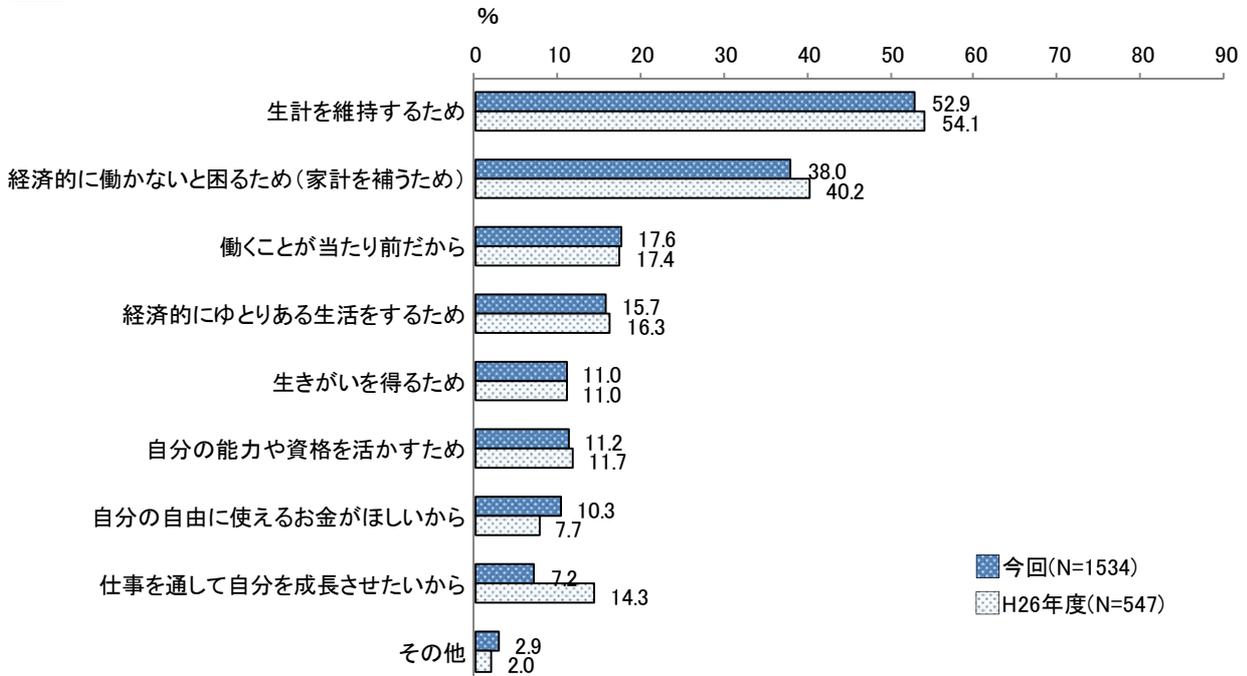
「働くことが当たり前だから」では、「20歳～29歳」から「60歳～64歳」では男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「20歳～29歳」で唯一4割を超えている。

過去調査との比較

男性



女性



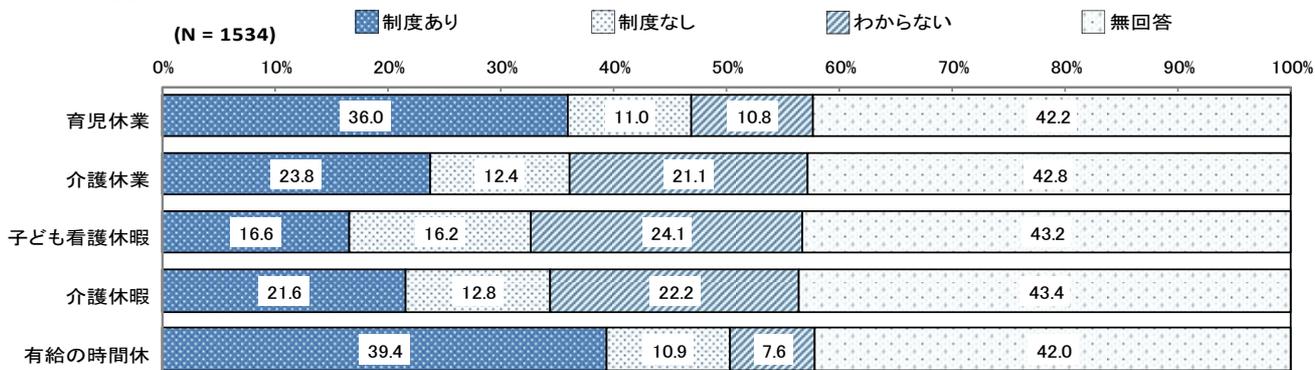
【性別】男女ともに「生計を維持するため」、「家計を補うため」、「働くことが当たり前だから」が平成26年度調査同様、上位3項目となっている。また、「仕事を通して自分を成長させたいから」は男女ともに減少し、最も低くなっている。

(13) 各種休暇制度の取得状況等について

(現在、働いている方が回答)

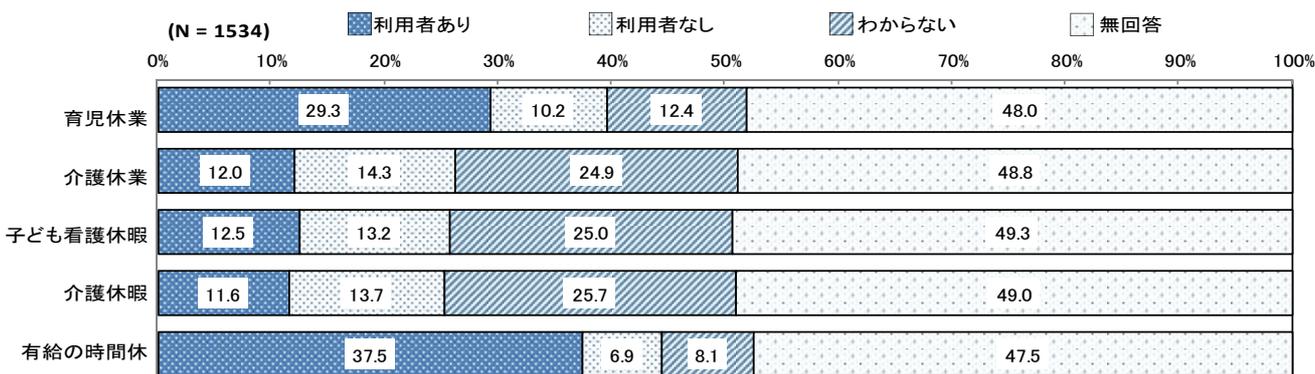
問 13 あなたの勤めている会社等で、各制度の状況はどのようになっていますか。
また、各制度を取得したいと思いますか。(※取得に該当しない方も、その立場にあった場合を想定してお答えください。)(それぞれ〇は1つ)

(1) 制度について



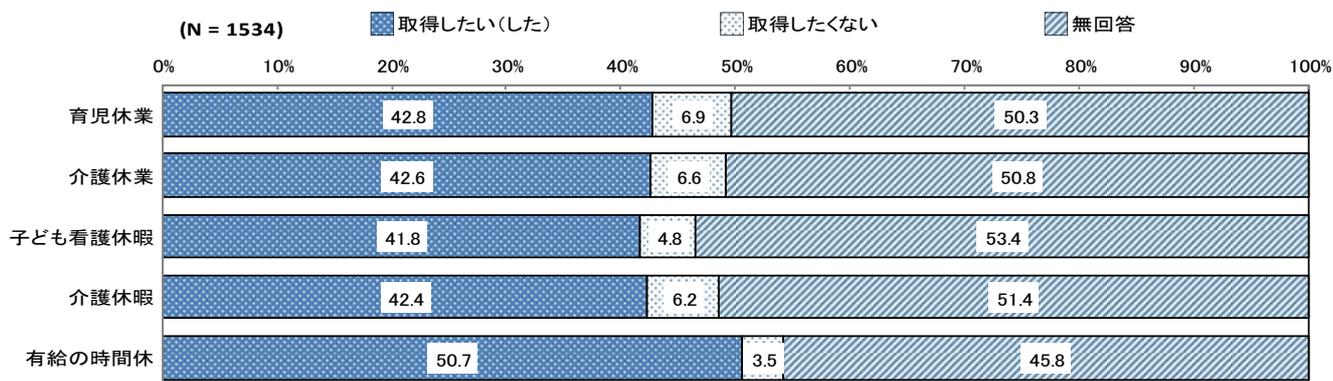
【全体】「制度あり」は、「有給の時間休」で39.4%と最も高く、次いで「育児休業」(36.0%)、「介護休業」(23.8%)となっている。「制度なし」では「子ども看護休暇」が16.2%と最も高い。

(2) 制度の利用者について



【全体】「利用者あり」は、「有給の時間休」で37.5%と最も高く、次いで「育児休業」(29.3%)、「子ども看護休暇」(12.5%)となっている。「利用者なし」では「有給の時間給」のみ1割を下回っている。

(3) 休暇の取得について



【全体】いずれの休暇・休業も「取得したい(した)」が4割を超え、最も高い「有給の時間休」では50.7%となっている。「取得したくない」はいずれも1割を下回っている。

(問13で「2. 取得したくない」と答えた方が回答)
 問13-1 その理由は何ですか。

休暇を取得したくない理由 (自由記述)

(件数)

		育児休業	介護休業	子ども看護休暇	介護休暇	有給の時間休	計	
働き方、職場環境面	職場に迷惑がかかるから	4	3	4	4	5	20	73
	収入が減ると困るから	8	7	5	6	4	30	
	自営業・経営者だから	2	3	2	3	6	16	
	有給休暇で十分だから	1	1	1	1	2	6	
	時間で職場にしばられるから	0	0	0	0	0	0	
	期間不定の休業となり復帰時期が不明になるから	0	1	0	0	0	1	
	住まいと勤務先の距離が近くないから	0	0	0	0	0	0	
職場の制度面	正社員にだけ優遇されるから	0	0	0	0	0	0	15
	取得できないから	1	1	2	1	1	6	
	制度がないから	2	1	1	1	3	8	
	長期となる場合は退職しなければならぬから	0	1	0	0	0	1	
家庭面	妻に任せるから	3	1	2	1	0	7	101
	身内や妻に任せるから	4	1	1	1	0	7	
	母親に任せるから	1	1	0	0	0	2	
	子どもは看護したいが、介護はしたくないから	0	5	0	7	0	12	
	施設に任せる	0	3	0	3	0	6	
	必要がない	21	14	11	11	4	61	
	その他	1	0	1	0	4	6	
		48	43	30	39	29	189	189

※その他について

◎育児休業 (1件)

- ・小さい時は自分で育てたいから。

◎子ども看護休暇 (1件)

- ・もしものときは、子どもの側にいてやりたいから。

◎有給の時間休 (4件)

- ・さまざまな用事を足せるから。
- ・特に理由はない。
- ・会社に相談するとできる事もある。
- ・無職だから。

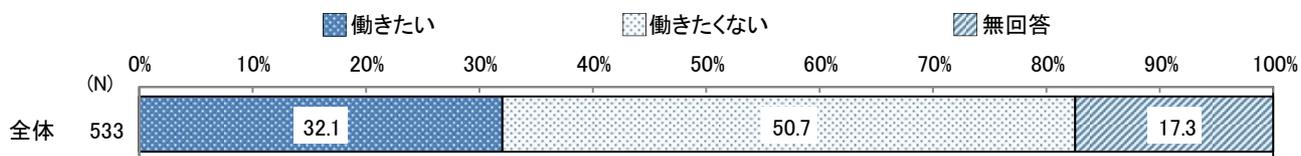
【全体】休暇の取得について、「取得したくない」と答えた人に、取得したくない理由を自由記述で尋ね、同じような趣旨の記述ごとにまとめたところ、有給の時間休を除いた制度では「必要がない」という理由が最も多く、有給の時間休では「自営業・経営者だから」という理由が最も多くなっている。

次いで「育児休業」、「介護休業」、「子ども看護休暇」では、「収入が減ると困るから」という理由が多く、「介護休暇」では「子どもは看護したいが、介護はしたくないから」という理由が多くなっている。

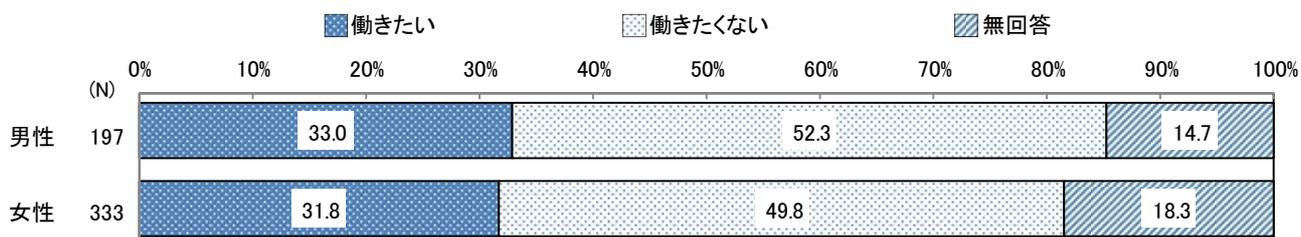
なお、件数については集計ウエイトを加重していない。

(14) 就業について

(現在、働いていない方が回答)
 問14 あなたは、今後働きたいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】現在働いていない方が今後働きたいと思うかについては、「働きたい」が32.1%、「働きたくない」が50.7%となっている。



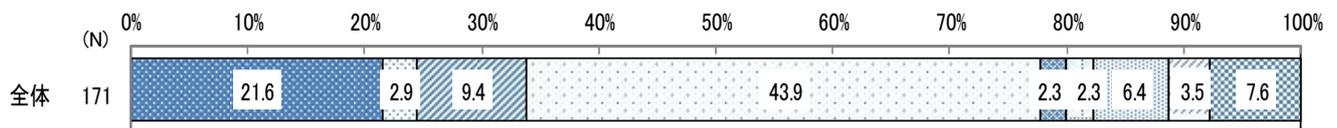
【性別】「働きたい」と「働きたくない」で、いずれも男性の方が女性よりも高くなっている。

	全体	今後働く意思の有無			
		働きたい	働きたくない	無回答	
全体	533	32.1	50.7	17.3	
性・年齢別	男性(計)	197	33.0	52.3	14.7
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	15	73.3	0.0	26.7
	男性・30歳～39歳	11	45.5	0.0	54.5
	男性・40歳～49歳	2	100.0	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	14	71.4	14.3	14.3
	男性・60歳～64歳	14	50.0	50.0	0.0
	男性・65歳～69歳	28	17.9	64.3	17.9
	男性・70歳以上	109	19.3	69.7	11.0
	女性(計)	333	31.8	49.8	18.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	15	86.7	0.0	13.3
	女性・30歳～39歳	14	71.4	0.0	28.6
	女性・40歳～49歳	16	62.5	25.0	12.5
	女性・50歳～59歳	39	71.8	23.1	5.1
	女性・60歳～64歳	44	29.5	47.7	22.7
	女性・65歳～69歳	67	29.9	55.2	14.9
	女性・70歳以上	138	8.7	68.8	22.5
無回答	3	0.0	33.3	66.7	

【性・年齢別】「働きたい」は、男性では「20歳～29歳」と「50歳～59歳」で7割を超え、女性では「20歳～29歳」で唯一8割を超え、高くなっている。

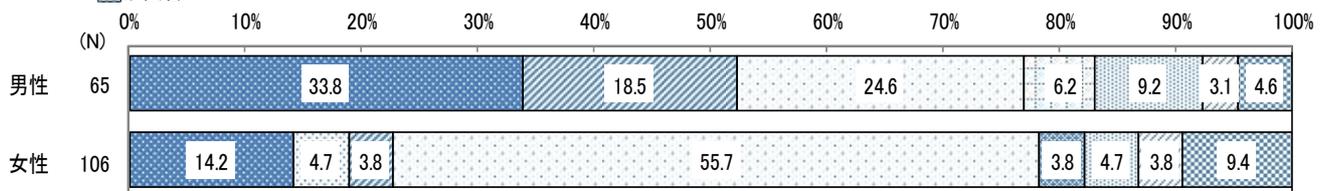
(問14で「1 働きたい」と答えた方が回答)
 問14-1 どういう働き方をしたいですか。(〇は1つ)

- 正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい
- 正規雇用で特別に資格・専門知識等は必要としない職につきたい
- 短時間勤務やフレックスタイム、テレワーク等の柔軟な働き方をしたい
- ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい
- 家業(農業、商工業等)で働きたい
- 自分で新たに事業(商売)を始めたい
- わからない
- その他
- 無回答



【全体】「ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい」が43.9%と最も高く、次いで「正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい」(21.6%)、「短時間勤務やフレックスタイム、テレワーク等の柔軟な働き方をしたい」(9.4%)となっている。

- 正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい
- 正規雇用で特別に資格・専門知識等は必要としない職につきたい
- 短時間勤務やフレックスタイム、テレワーク等の柔軟な働き方をしたい
- ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい
- 家業(農業、商工業等)で働きたい
- 自分で新たに事業(商売)を始めたい
- わからない
- その他
- 無回答



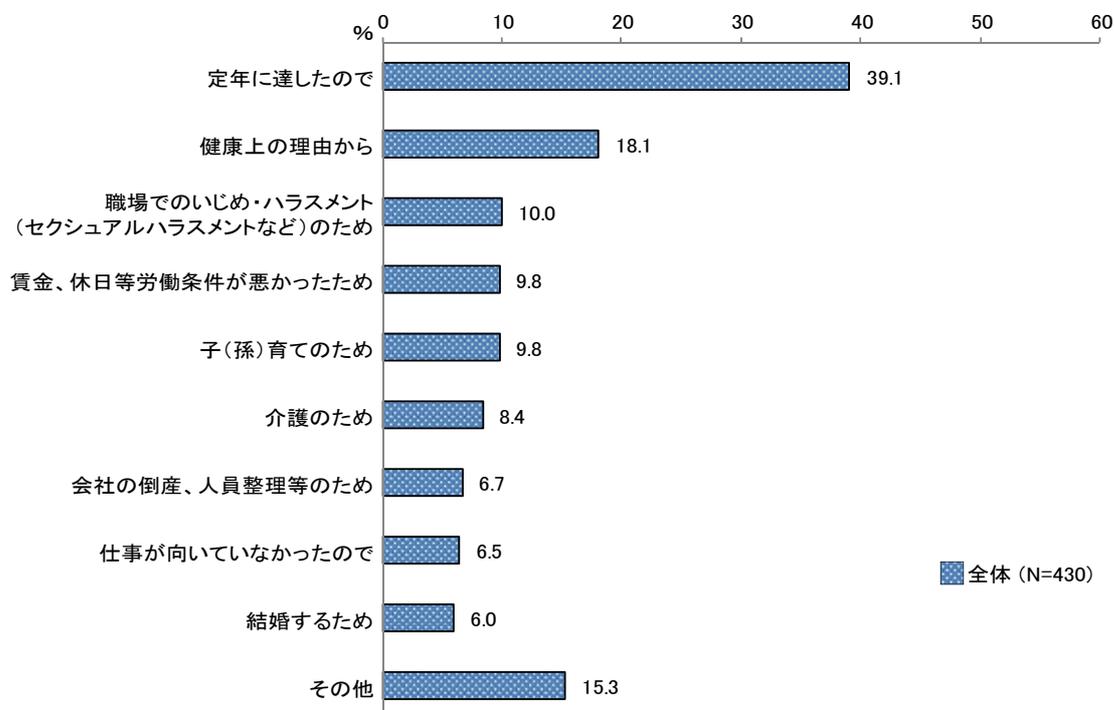
【性別】男性は「正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい」(33.8%)が最も高いのに対し、女性は「ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい」(55.7%)が最も高くなっている。

	全体	働き方の希望									
		正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい	正規雇用で特別に資格・専門知識等は必要としない職につきたい	短時間勤務やフレックスタイム、テレワーク等の柔軟な働き方をしたい	ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい	家業(農業、商工業等)で働きたい	自分で新たに事業(商売)を始めたい	わからない	その他	無回答	
全体	171	21.6	2.9	9.4	43.9	2.3	2.3	6.4	3.5	7.6	
性・年齢別	男性(計)	65	33.8	0.0	18.5	24.6	0.0	6.2	9.2	3.1	4.6
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	10	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	男性・60歳～64歳	7	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	男性・65歳～69歳	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	21	9.5	0.0	38.1	23.8	0.0	9.5	9.5	0.0	9.5
	女性(計)	106	14.2	4.7	3.8	55.7	3.8	0.0	4.7	3.8	9.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	13	76.9	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	10	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	女性・40歳～49歳	10	0.0	10.0	0.0	80.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	女性・50歳～59歳	28	0.0	7.1	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・60歳～64歳	13	7.7	0.0	0.0	76.9	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
	女性・65歳～69歳	20	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	30.0
	女性・70歳以上	12	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

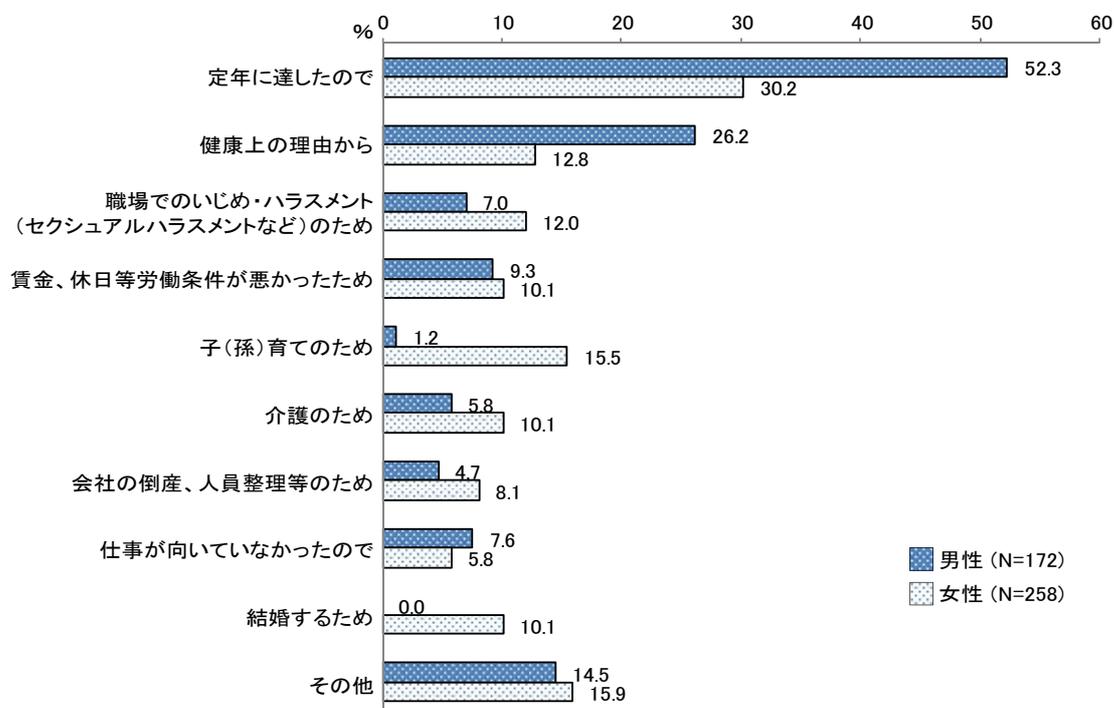
【性・年齢別】男性の「20歳～29歳」の100%、女性の「20歳～29歳」の76.9%は「正規雇用で資格・専門知識等を活かせる職につきたい」と回答している。「ある程度時間的に融通のきくパートやアルバイトとして働きたい」は、女性の「40歳～49歳」が80.0%、「50歳～59歳」が92.9%、「60歳～64歳」が76.9%と高くなっている。

(15) 仕事を辞めた理由について

(平成25年以降に仕事を辞めたことのある方が回答)
 問15 仕事を辞めたのは、どのような理由ですか。(〇は2つまで)



【全体】「定年に達したので」が39.1%と最も高く、次いで「健康上の理由から」(18.1%)、「職場でのいじめ・ハラスメント (セクシュアルハラスメントなど) のため」(10.0%)となっている。



【性別】男性は「定年に達したので」が52.3%と最も高く、次いで「健康上の理由から」(26.2%)、「賃金、休日等労働条件が悪かったため」(9.3%)となっている。女性は「定年に達したので」が30.2%と最も高く、次いで「子(孫)育てのため」(15.5%)、「健康上の理由から」(12.8%)となっている。

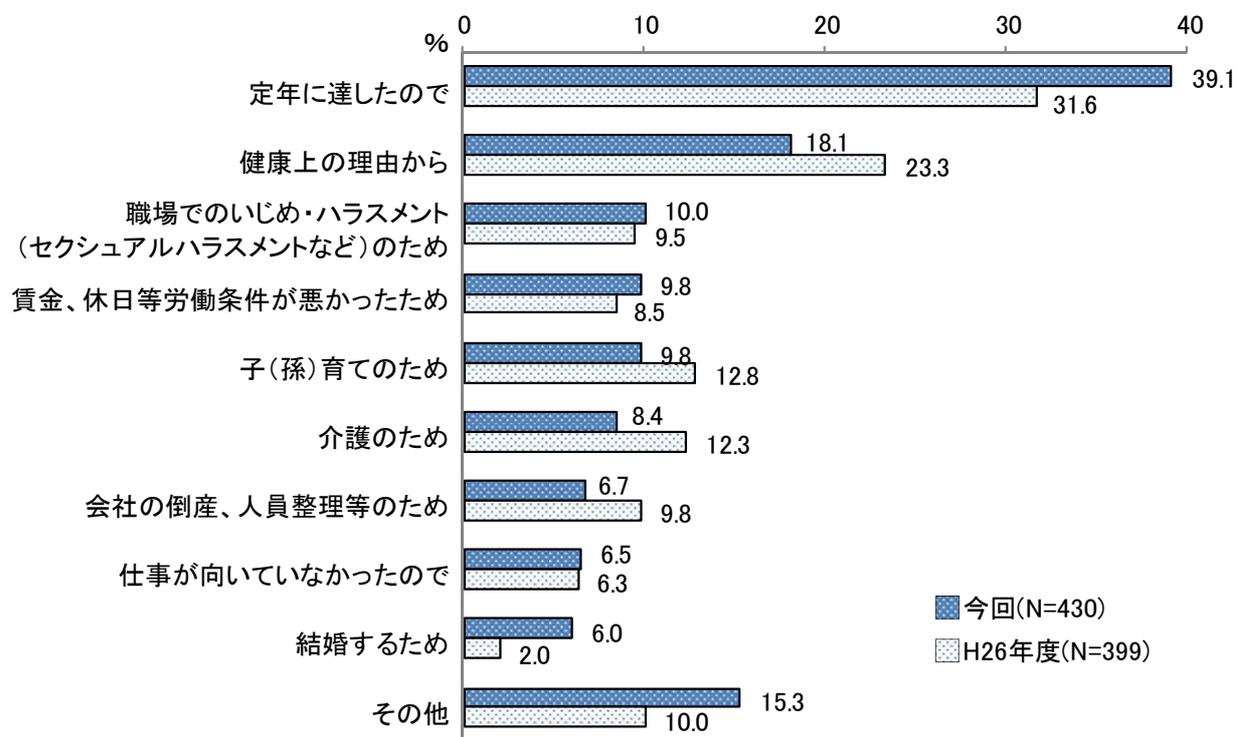
	全体	H25年以降に仕事を辞めた理由										
		定年に達したため	仕事に向いていなかったため	賃金、休日等労働条件が悪かったため	結婚するため	子(孫)育てのため	介護のため	健康上の理由から	会社の倒産、人員整理等のため	職場でのいじめ・ハラスメント(セクシュアルハラスメントなど)のため	その他	
全体	430	39.1	6.5	9.8	6.0	9.8	8.4	18.1	6.7	10.0	15.3	
性・年齢別	男性(計)	172	52.3	7.6	9.3	0.0	1.2	5.8	26.2	4.7	7.0	14.5
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	100.0
	男性・30歳～39歳	10	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0
	男性・40歳～49歳	12	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3
	男性・50歳～59歳	22	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	36.4	0.0	9.1	36.4
	男性・60歳～64歳	29	62.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7	13.8	6.9	6.9
	男性・65歳～69歳	40	67.5	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	22.5	5.0	0.0	5.0
	男性・70歳以上	54	79.6	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	40.7	0.0	0.0	1.9
	女性(計)	258	30.2	5.8	10.1	10.1	15.5	10.1	12.8	8.1	12.0	15.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	13	0.0	23.1	30.8	46.2	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	29	0.0	13.8	27.6	13.8	20.7	0.0	0.0	6.9	34.5	17.2
	女性・40歳～49歳	35	0.0	11.4	11.4	17.1	20.0	5.7	5.7	5.7	11.4	34.3
	女性・50歳～59歳	46	0.0	4.3	21.7	8.7	13.0	13.0	26.1	8.7	26.1	21.7
	女性・60歳～64歳	37	27.0	0.0	0.0	5.4	10.8	10.8	24.3	16.2	0.0	27.0
女性・65歳～69歳	35	80.0	5.7	0.0	0.0	5.7	0.0	11.4	8.6	0.0	0.0	
女性・70歳以上	63	63.5	0.0	0.0	6.3	20.6	19.0	6.3	6.3	6.3	6.3	

【性・年齢別】「健康上の理由から」では、男女ともに「50歳～59歳」で最も高くなっている。

「子(孫)育てのため」では、女性の「30歳～39歳」が20.7%と最も高く、「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で女性のみでの回答となっている。

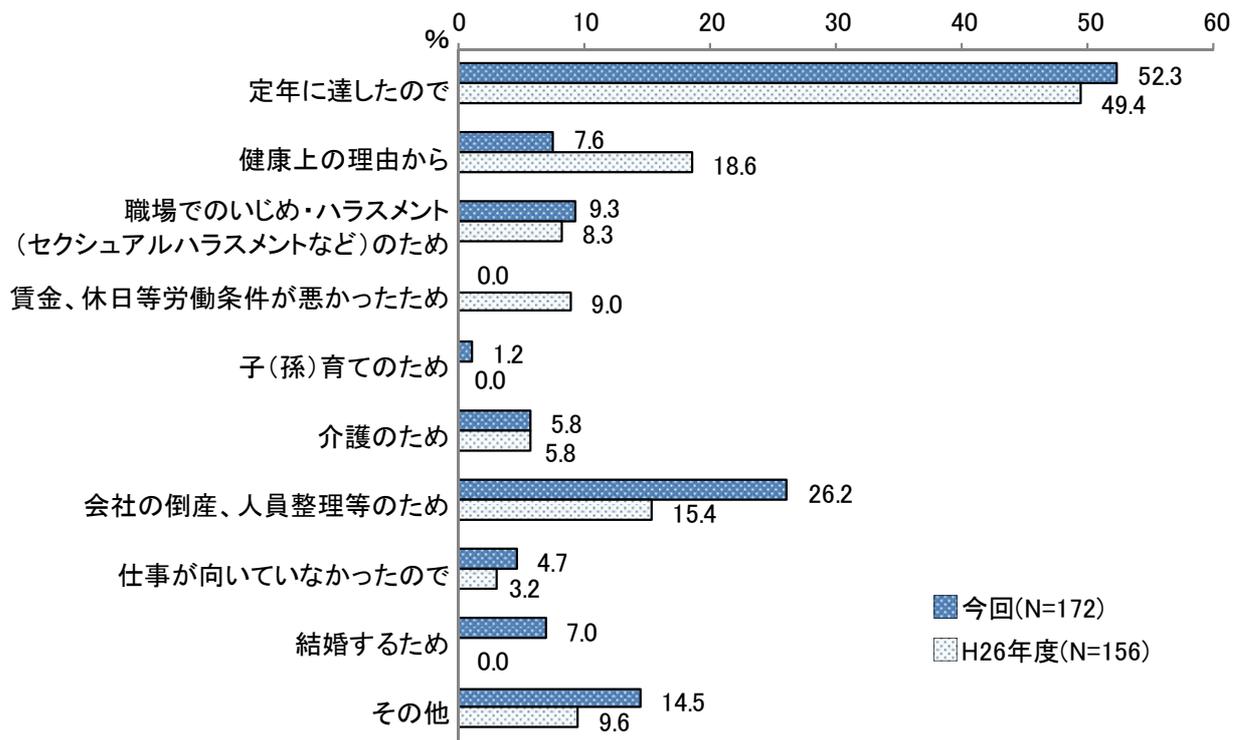
過去調査との比較

全体

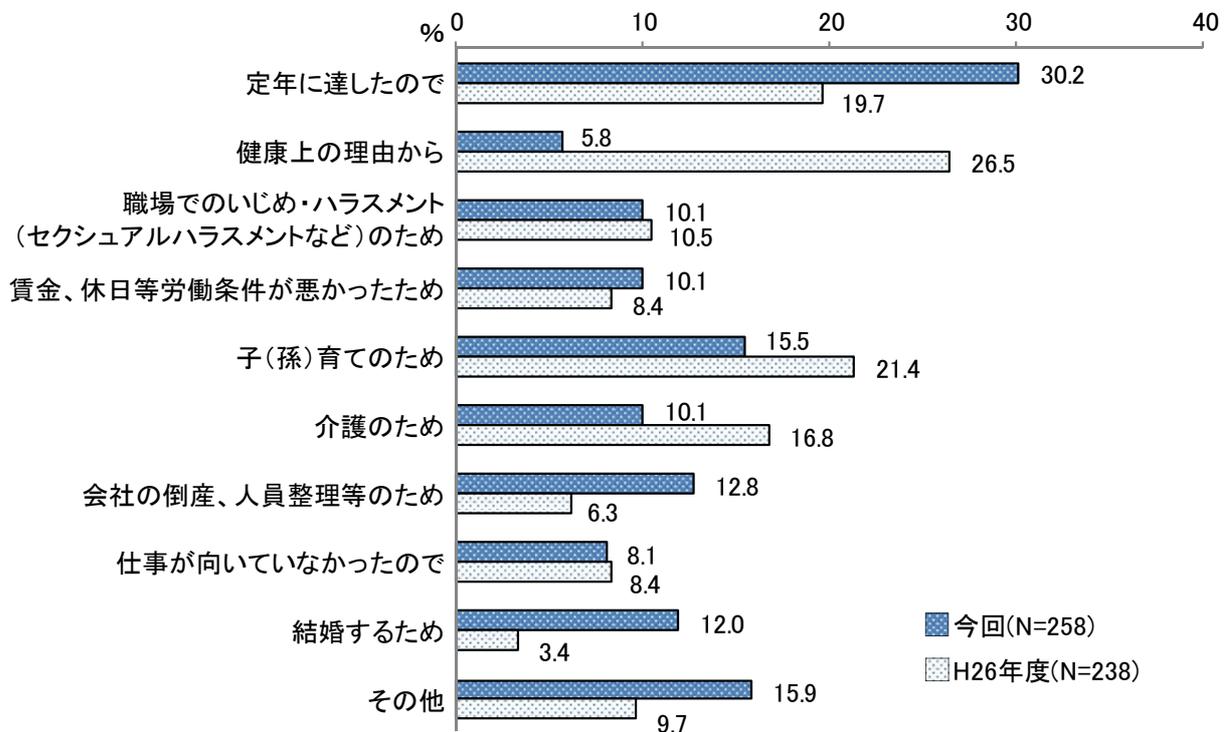


【全体】最も差がみられたのは「定年に達したので」となっており、平成26年度調査より7.5ポイント増加している。また、「健康上の理由から」は5.2ポイント減少している。

男性



女性



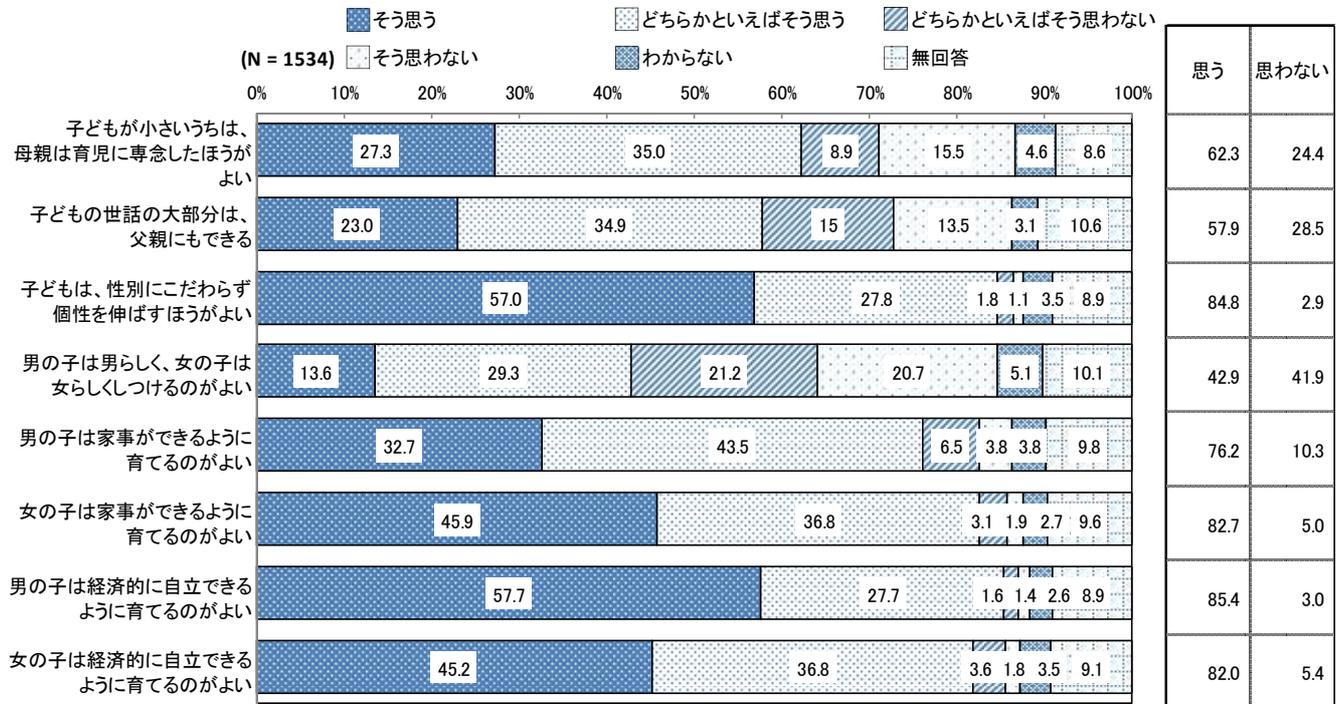
【性別】男性で最も差がみられたのは「健康上の理由から」となっており、平成26年度調査より11.0ポイント減少している。また、「会社の倒産、人員整理等のため」については10.8ポイント増加している。

女性で最も差がみられたのは、「健康上の理由から」となっており、平成26年度調査より20.7ポイント減少している。また、「定年に達したので」については10.5ポイント、「結婚するため」については8.6ポイント増加している。

4. 家庭生活について

(16) 子育てに関する意識について

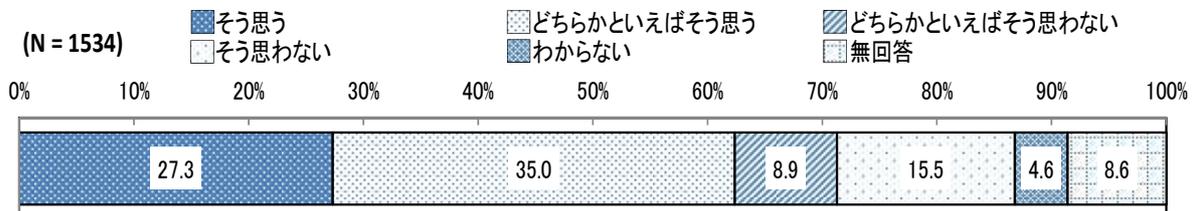
問 1 6 子育てに関する、次のそれぞれの質問についてあなたの考えに近いものを選んでください。
(それぞれ〇は1つ)



【全体】「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』では、「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」が 85.4%で最も高く、「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」は 82.0%で 3.4 ポイント低かった。次いで「子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい」(84.8%)となっている。

また、「女の子は家事ができるように育てるのがよい」が 82.7%に対して、「男の子は家事ができるように育てるのがよい」は 76.2%となっている。さらに、「子どもの世話の大部分は、父親にもできる」は 57.9%となっている。

子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい

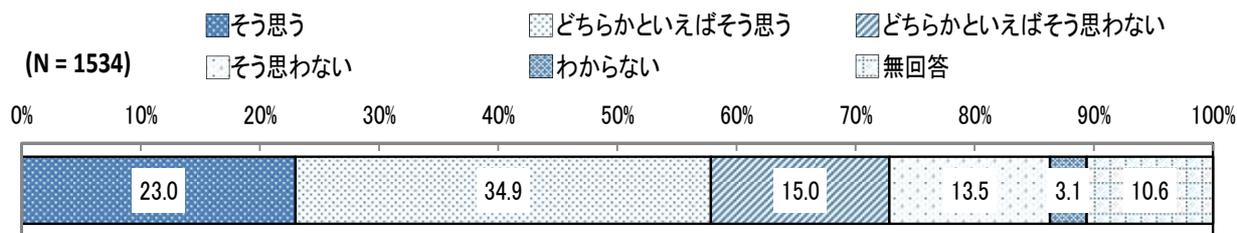


【全体】「どちらかといえばそう思う」が 35.0%と最も高く、次いで「そう思う」(27.3%)、「そう思わない」(15.5%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	27.3	35.0	8.9	15.5	4.6	8.6	62.3	24.4
男性	670	29.6	32.1	8.2	16.6	5.8	7.8	61.7	24.8
女性	857	25.6	37.3	9.6	14.8	3.7	9.0	62.9	24.4

【性別】『思う』と『思わない』では、男女に大きな差はみられない。

子どもの世話の大部分は、父親にもできる

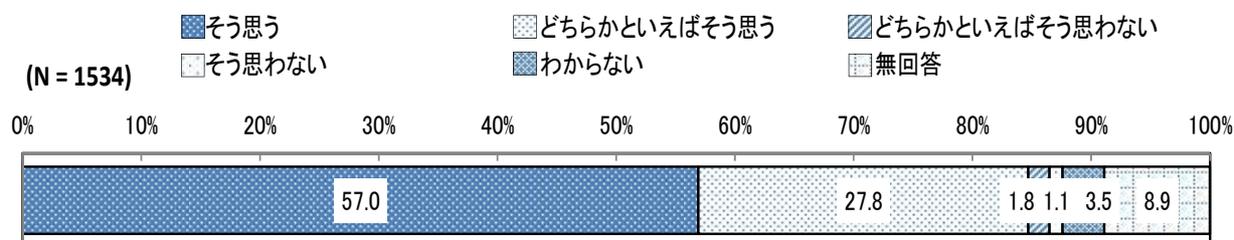


【全 体】「どちらかといえばそう思う」が34.9%と最も高く、次いで「そう思う」(23.0%)、「どちらかといえばそう思わない」(15.0%)となっている。

	全 体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	23.0	34.9	15.0	13.5	3.1	10.6	57.9	28.5
男性	670	20.9	34.3	16.1	14.6	4.3	9.7	55.2	30.7
女性	857	24.9	35.4	14.0	12.7	2.1	11.0	60.3	26.7

【性 別】『思う』は女性(60.3%)が男性(55.2%)より5.1ポイント高く、『思わない』は男性(30.7%)が女性(26.7%)より4.0ポイント高くなっている。

子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい

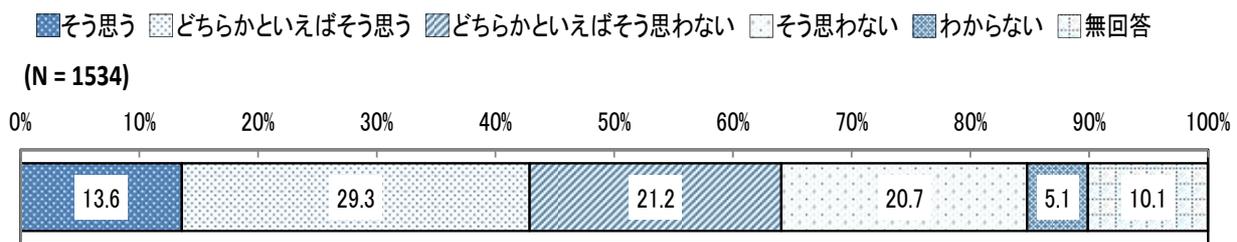


【全 体】「そう思う」が57.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.8%で、「そう思わない」は1.1%となっている。

	全 体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	57.0	27.8	1.8	1.1	3.5	8.9	84.8	2.9
男性	670	57.2	26.3	2.1	1.9	4.0	8.5	83.5	4.0
女性	857	57.1	28.9	1.6	0.5	3.0	8.9	86.0	2.1

【性 別】『思う』と『思わない』では、男女に大きな差はみられない。

男の子は男らしく、女の子は女らしくつけるのがよい



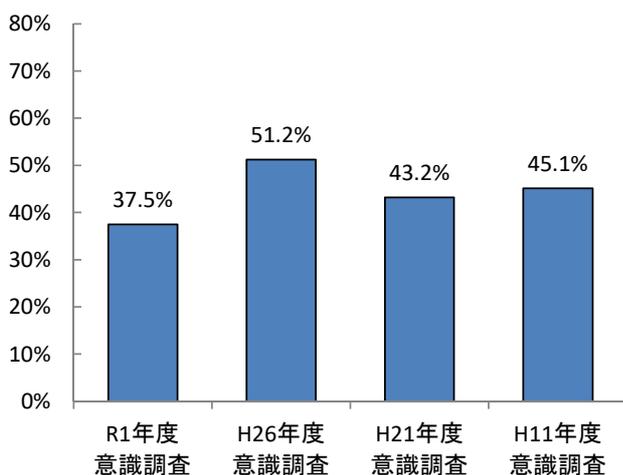
【全 体】「どちらかといえばそう思う」が 29.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(21.2%)、「そう思わない」(20.7%) となっている。

	全 体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	13.6	29.3	21.2	20.7	5.1	10.1	42.9	41.9
男性	670	18.2	31.6	18.1	18.5	4.6	9.0	49.8	36.6
女性	857	10.0	27.5	23.6	22.6	5.5	10.7	37.5	46.2

【性 別】『思う』では男性 (49.8%) が女性 (37.5%) より 12.3 ポイント高く、『思わない』では女性 (46.2%) が男性 (36.6%) より 9.6 ポイント高くなっている。

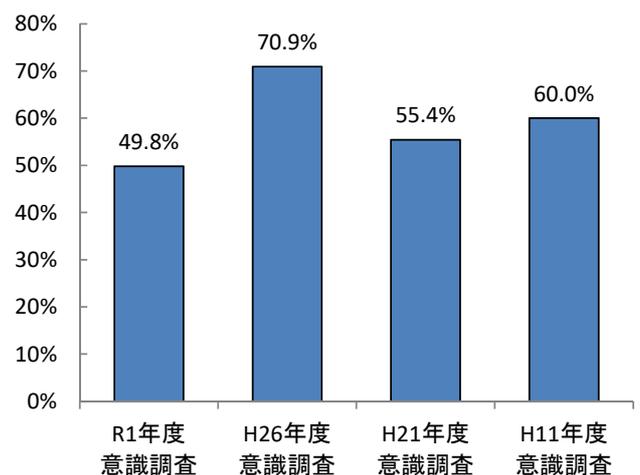
過去調査との比較 【「そう思う」「どちらかといえばそう思う」】

女性



R1 年度意識調査：女性 N=857、男性 N=670
H21 年度意識調査：女性 N=713、男性 N=626

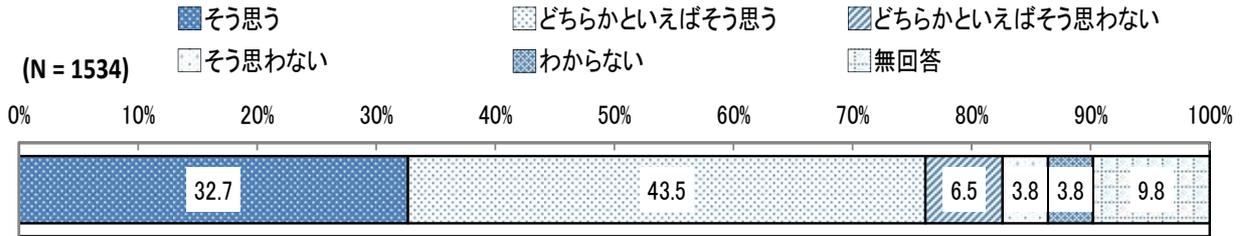
男性



H26 年度意識調査：女性 N=860、男性 N=646
H11 年度意識調査：女性 N=1,132、男性 N=824

【性 別】過去調査と比較すると、『思う』は男女ともに最も低くなっている。

男の子は家事ができるように育てるのがよい

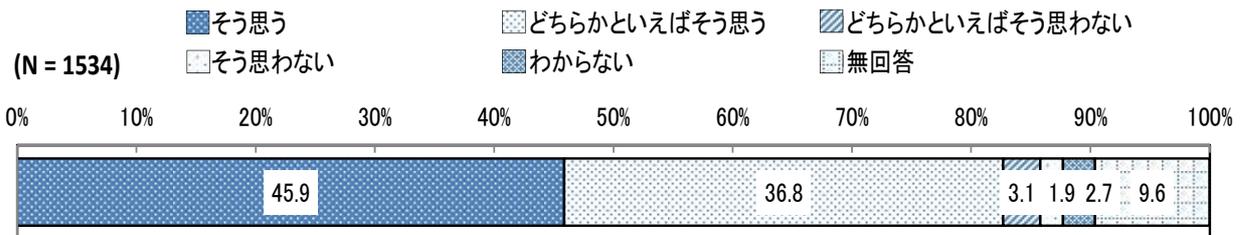


【全体】「どちらかといえばそう思う」が43.5%と最も高く、次いで「そう思う」(32.7%)、「どちらかといえばそう思わない」(6.5%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	32.7	43.5	6.5	3.8	3.8	9.8	76.2	10.3
男性	670	27.2	44.8	8.8	6.3	4.5	8.5	72.0	15.1
女性	857	37.2	42.4	4.7	1.9	3.4	10.5	79.6	6.6

【性別】『思う』では女性(79.6%)が男性(72.0%)より7.6ポイント高く、『思わない』では男性(15.1%)が女性(6.6%)より8.5ポイント高くなっている。

女の子は家事ができるように育てるのがよい

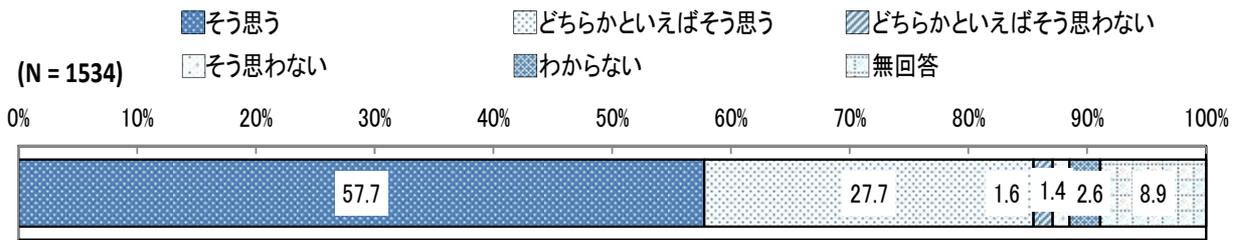


【全体】「そう思う」が45.9%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(36.8%)、「どちらかといえばそう思わない」(3.1%)となっている。

	全体	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	45.9	36.8	3.1	1.9	2.7	9.6	82.7	5.0
男性	670	39.6	39.7	4.5	3.4	3.9	9.0	79.3	7.9
女性	857	51.2	34.7	1.8	0.7	1.8	9.9	85.9	2.5

【性別】『思う』では女性(85.9%)が男性(79.3%)より6.6ポイント高く、『思わない』では男性(7.9%)が女性(2.5%)より5.4ポイント高くなっている。

男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい

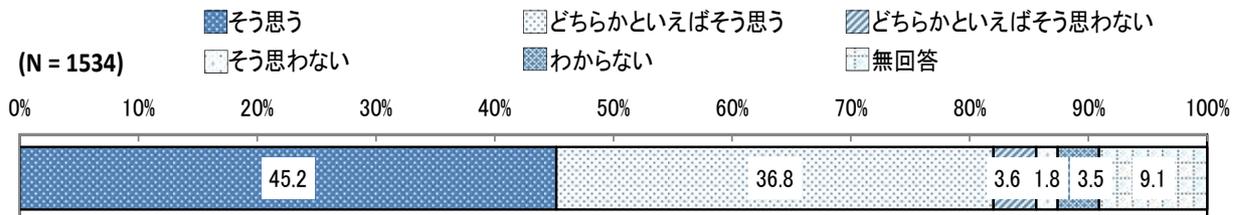


【全体】「そう思う」が57.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.7%で、「そう思わない」は1.4%となっている。

	全体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	57.7	27.7	1.6	1.4	2.6	8.9	85.4	3.0
男性	670	55.1	30.6	1.8	2.1	2.5	7.9	85.7	3.9
女性	857	60.0	25.4	1.5	0.9	2.7	9.5	85.4	2.4

【性別】『思う』と『思わない』では、男女に大きな差はみられない。

女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



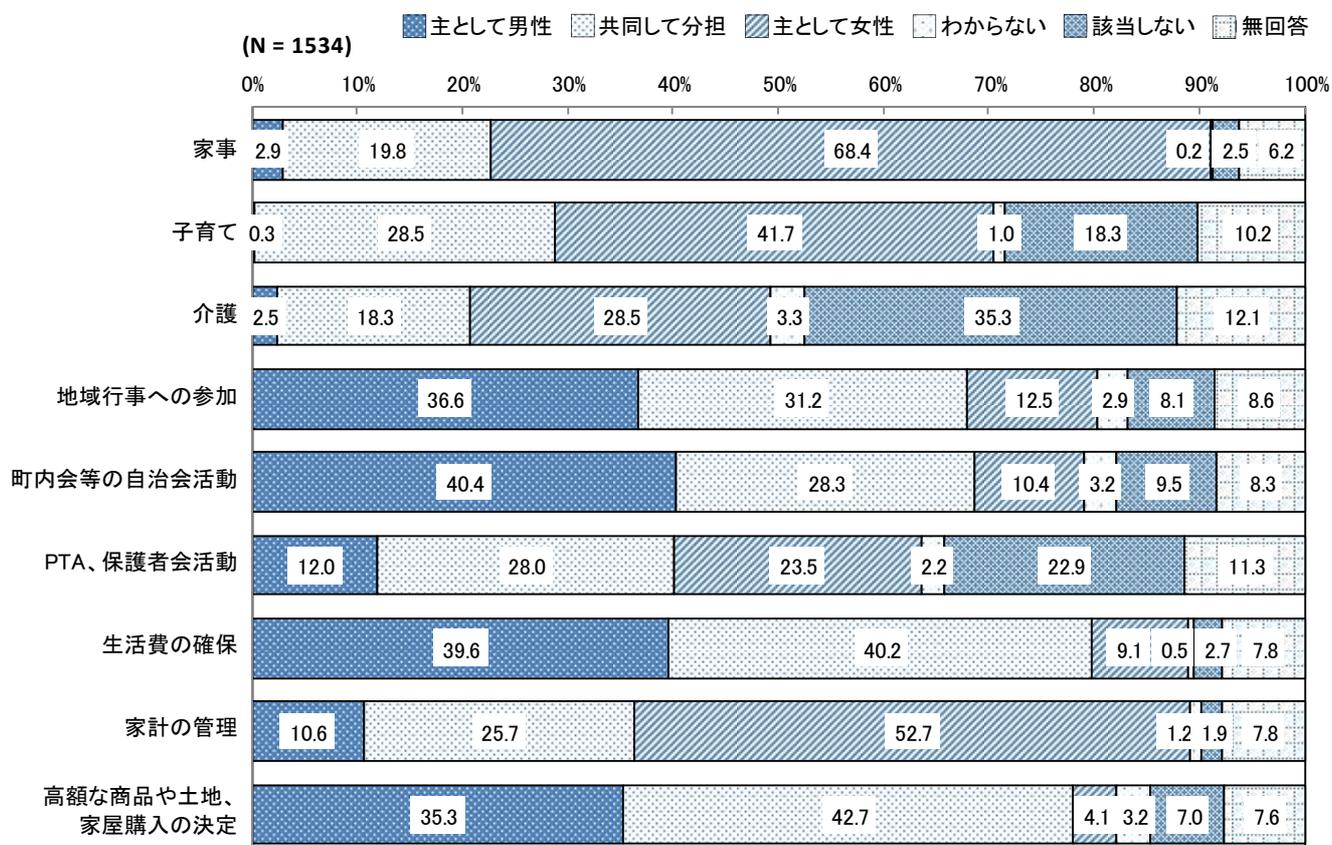
【全体】「そう思う」が45.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(36.8%)、「どちらかといえばそう思わない」(3.6%)となっている。

	全体	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	思う	思わない
全体	1534	45.2	36.8	3.6	1.8	3.5	9.1	82.0	5.4
男性	670	40.3	41.6	3.4	3.0	3.6	8.1	81.9	6.4
女性	857	49.1	33.1	3.7	0.9	3.5	9.6	82.2	4.6

【性別】『思う』と『思わない』では、男女に大きな差はみられない。

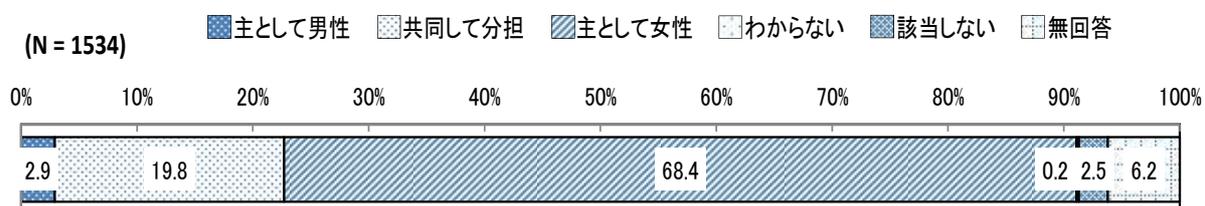
(17) 家事、子育て、介護等の役割分担について

問17 あなたの家庭では、次のことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか。
(それぞれ〇は1つ)



【全体】「地域行事への参加」、「町内会等の自治会活動」は「主として男性」が最も高く、「家事」、「子育て」、「家計の管理」は「主として女性」が最も高くなっている。「PTA、保護者会活動」、「生活費の確保」「高額な商品や土地、家屋購入の決定」では「共同して分担」が最も高くなっている。

家事（炊事、洗濯、掃除など）

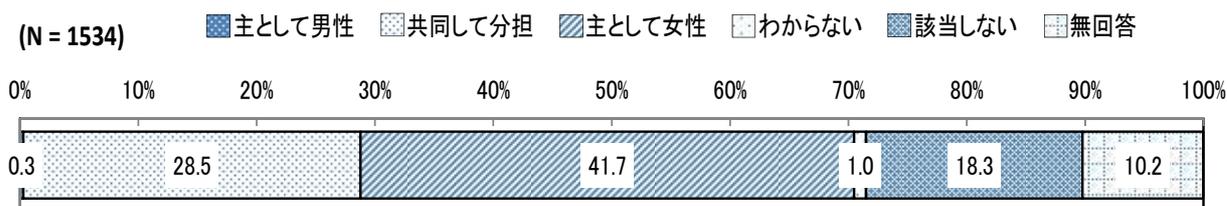


【全体】「主として女性」が68.4%と最も高く、次いで「共同して分担」(19.8%)、「主として男性」(2.9%)となっている。

	全体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	2.9	19.8	68.4	0.2	2.5	6.2
男性	670	6.4	23.9	61.0	0.4	2.5	5.7
女性	857	0.2	16.2	74.8	0.0	2.5	6.3

【性別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）

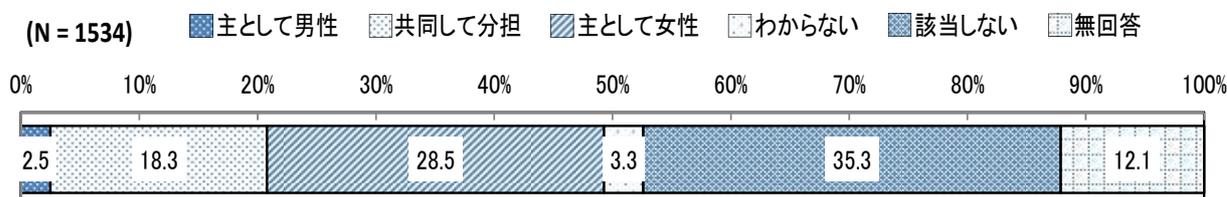


【全 体】「主として女性」が41.7%と最も高く、次いで「共同して分担」(28.5%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	0.3	28.5	41.7	1.0	18.3	10.2
男性	670	0.3	30.0	34.9	1.6	23.6	9.6
女性	857	0.2	27.1	47.4	0.5	14.4	10.5

【性 別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

介護（介護が必要な親等の世話など）※別居の家族も含む

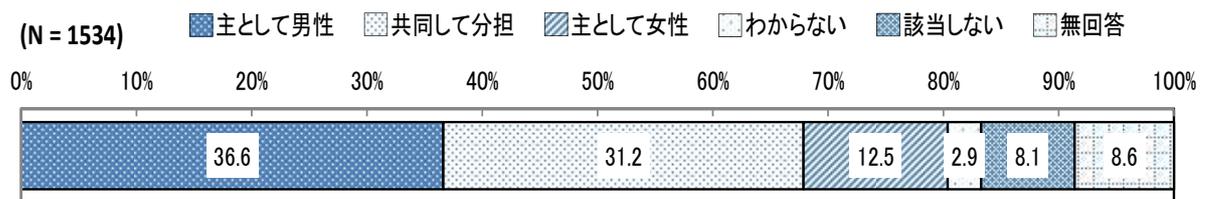


【全 体】「該当しない」を除くと、「主として女性」が28.5%と最も高く、次いで「共同して分担」(18.3%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	2.5	18.3	28.5	3.3	35.3	12.1
男性	670	2.8	21.2	21.6	4.0	40.6	9.7
女性	857	2.3	15.9	33.8	2.8	31.5	13.7

【性 別】「該当しない」を除くと、男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

地域の行事への参加

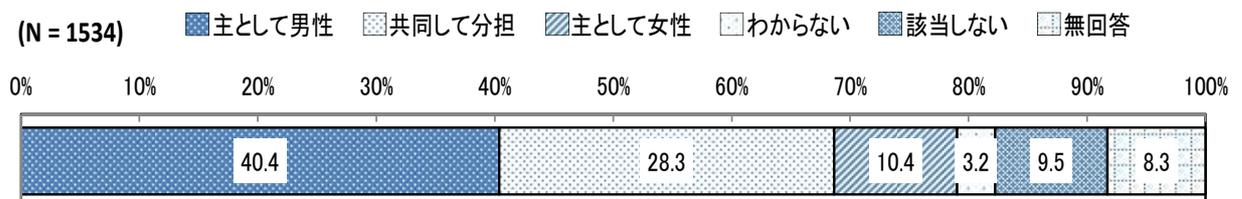


【全 体】「主として男性」が36.6%と最も高く、次いで「共同して分担」(31.2%)、「主として女性」(12.5%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	36.6	31.2	12.5	2.9	8.1	8.6
男性	670	43.6	28.8	8.5	3.1	8.5	7.5
女性	857	31.0	33.4	15.6	2.8	7.9	9.2

【性 別】男性は「主として男性」(43.6%)が最も高くなっているが、女性は「共同して分担」(33.4%)が最も高くなっている。

町内会等の自治会活動

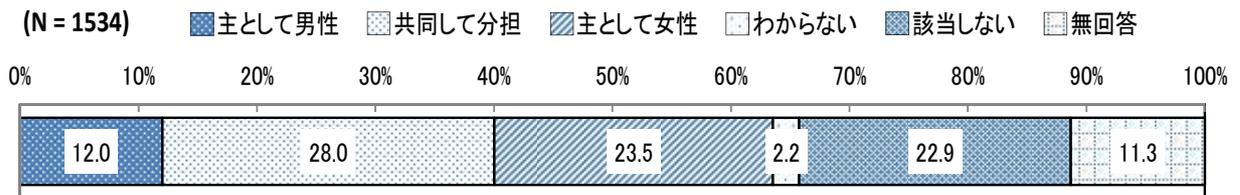


【全 体】「主として男性」が40.4%と最も高く、次いで「共同して分担」(28.3%)、「主として女性」(10.4%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	40.4	28.3	10.4	3.2	9.5	8.3
男性	670	46.7	24.9	7.5	4.3	10.0	6.6
女性	857	35.2	31.2	12.8	2.3	9.1	9.3

【性 別】男女ともに「主として男性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

P T A、保護者会活動

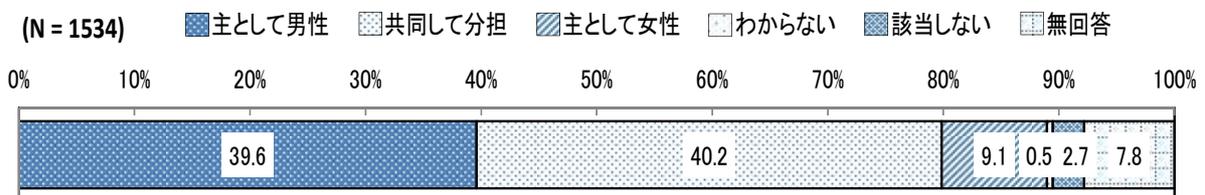


【全 体】「該当しない」を除くと、「共同して分担」が28.0%と最も高く、次いで「主として女性」(23.5%)、「主として男性」(12.0%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	12.0	28.0	23.5	2.2	22.9	11.3
男性	670	13.3	28.4	16.6	3.7	27.2	10.9
女性	857	10.6	27.9	29.2	1.1	19.8	11.4

【性 別】「該当しない」を除くと、男女ともに「共同して分担」が最も高く、次いで「主として女性」となっている。

生活費の確保

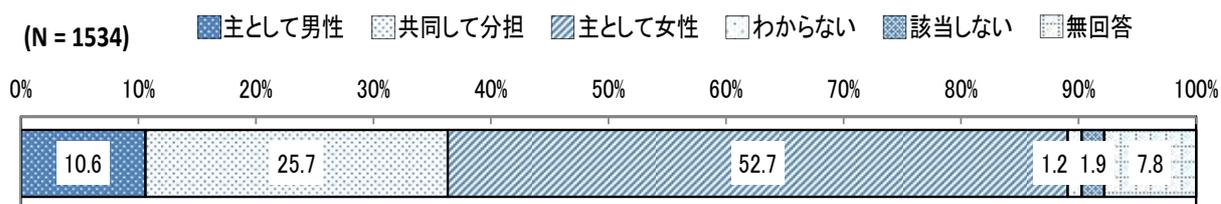


【全 体】「共同して分担」が40.2%と最も高く、次いで「主として男性」(39.6%)、「主として女性」(9.1%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	39.6	40.2	9.1	0.5	2.7	7.8
男性	670	42.4	41.6	5.4	0.7	3.1	6.7
女性	857	37.3	39.4	12.1	0.4	2.5	8.3

【性 別】わずかな差ではあるが、男性は「主として男性」(42.4%)が、女性は「共同して分担」(39.4%)が最も高くなっている。

家計の管理

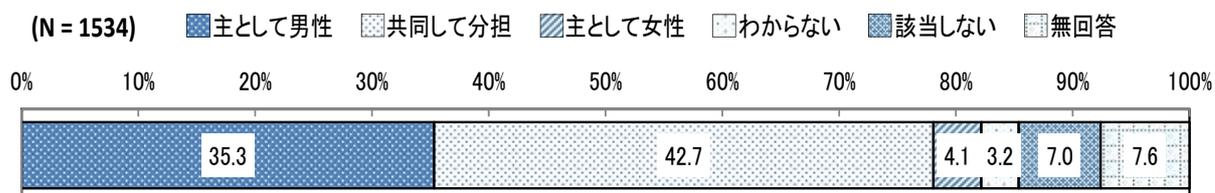


【全 体】「主として女性」が 52.7%と最も高く、次いで「共同して分担」(25.7%)、「主として男性」(10.6%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	10.6	25.7	52.7	1.2	1.9	7.8
男性	670	13.6	28.8	47.2	1.9	1.8	6.7
女性	857	8.1	23.3	57.5	0.7	2.0	8.4

【性 別】男女ともに「主として女性」が最も高く、次いで「共同して分担」となっている。

高額な商品や土地、家屋の購入の決定



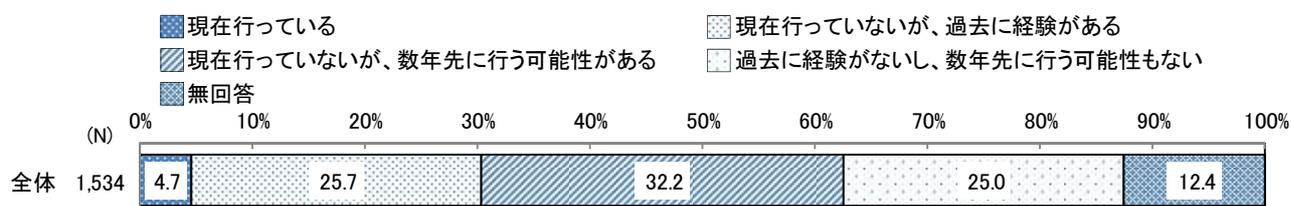
【全 体】「共同して分担」が 42.7%と最も高く、次いで「主として男性」(35.3%)、「主として女性」(4.1%)となっている。

	全 体	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない	無回答
全体	1534	35.3	42.7	4.1	3.2	7.0	7.6
男性	670	31.2	47.6	4.2	4.2	6.6	6.3
女性	857	38.4	39.2	4.1	2.5	7.5	8.4

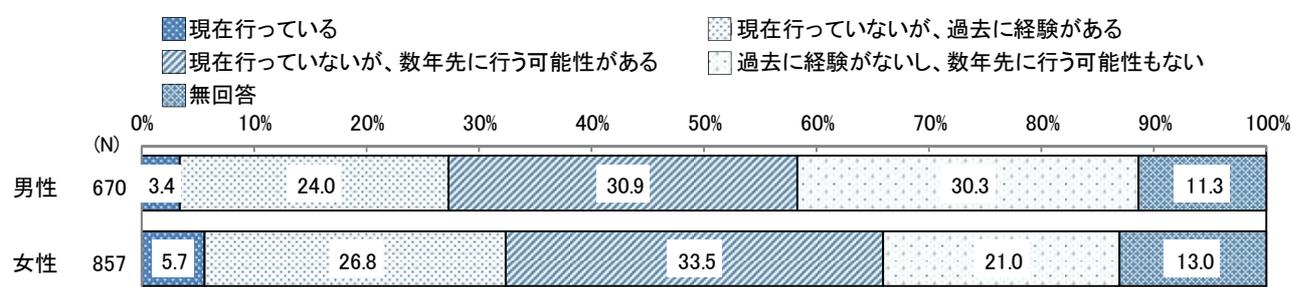
【性 別】男女ともに「共同して分担」が最も高く、次いで「主として男性」となっている。

(18) 子育てと介護のダブルケアについて

問18 あなたは現在、子育てと介護を同時に行っていますか。(〇は1つ)



【全体】「現在行っていないが、数年先に行く可能性がある」が 32.2%と最も高く、次いで「現在行っていないが、過去に経験がある」(25.7%)、「過去に経験がないし、数年先に行く可能性もない」(25.0%)となっている。



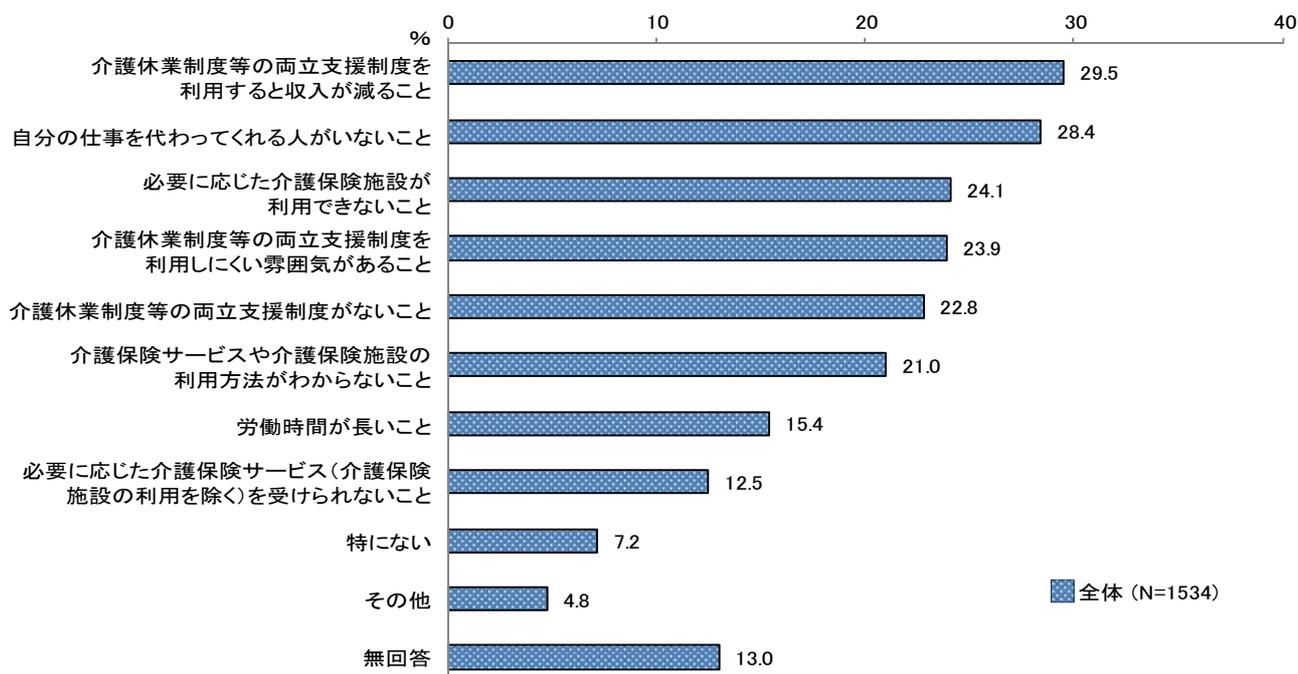
【性別】最も差がみられた「過去に経験がないし、数年先に行く可能性もない」では、男性 (30.3%) が女性 (21.0%) より 9.3 ポイント高い。また、「現在行っている」は、女性 (5.7%) が男性 (3.4%) より 2.3 ポイント高い。

	全体	子育てと介護のダブルケアの経験				
		現在行っている	現在行っていないが、過去に経験がある	現在行っていないが、数年先に行く可能性がある	過去に経験がないし、数年先に行く可能性もない	無回答
全体	1534	4.7	25.7	32.2	25.0	12.4
性別・年齢別						
男性(計)	670	3.4	24.0	30.9	30.3	11.3
男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
男性・20歳～29歳	38	0.0	5.3	47.4	39.5	7.9
男性・30歳～39歳	77	0.0	5.2	44.2	42.9	7.8
男性・40歳～49歳	92	2.2	6.5	59.8	31.5	0.0
男性・50歳～59歳	140	6.4	18.6	40.0	31.4	3.6
男性・60歳～64歳	84	4.8	36.9	14.3	33.3	10.7
男性・65歳～69歳	86	5.8	34.9	9.3	24.4	25.6
男性・70歳以上	147	2.0	42.2	13.6	21.1	21.1
女性(計)	857	5.7	26.8	33.5	21.0	13.0
女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳～29歳	41	0.0	4.9	80.5	14.6	0.0
女性・30歳～39歳	91	6.6	2.2	59.3	29.7	2.2
女性・40歳～49歳	164	12.2	4.9	61.0	18.3	3.7
女性・50歳～59歳	173	2.3	28.3	32.9	28.3	8.1
女性・60歳～64歳	102	4.9	43.1	12.7	26.5	12.7
女性・65歳～69歳	111	5.4	42.3	11.7	18.9	21.6
女性・70歳以上	175	4.6	44.6	9.7	11.4	29.7
無回答	7	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9

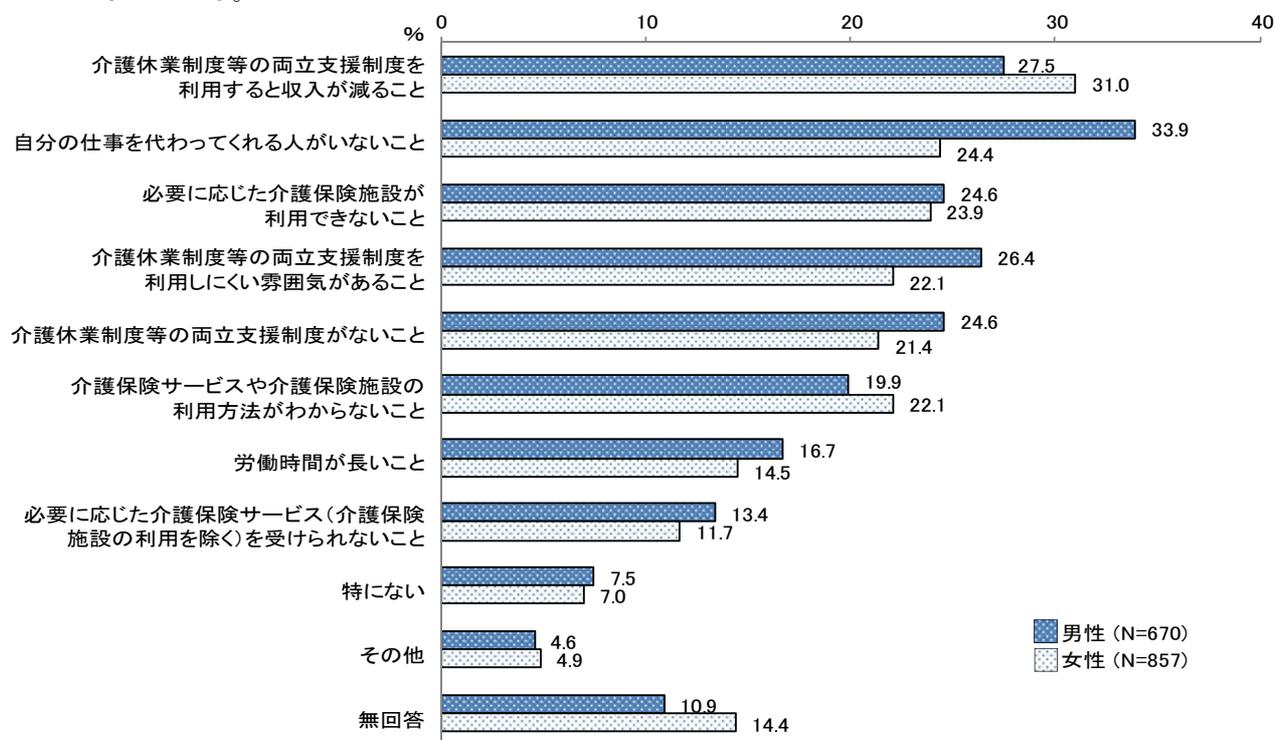
【性別・年齢別】「現在行っている」は、女性の「40歳～49歳」で唯一1割を超えている。「現在行っていないが、過去に経験がある」は、すべての年齢層で回答しており、50歳以上で高くなっている。

(19) 働きながらの介護について

問19 介護をしながら働き続けていく上で課題になっていること（なると思われること）は何ですか。（〇は3つまで）※実際に介護をされていない方もお答えください。



【全体】『両立支援制度を利用すると収入が減ること』が29.5%と最も高く、次いで「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」(28.4%)、「必要に応じた介護保険施設が利用できないこと」(24.1%)となっている。



【性別】男性は、「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」が33.9%で最も高く、次いで『両立支援制度を利用すると収入が減ること』(27.5%)、『両立支援制度を利用しにくい雰囲気があること』(26.4%)となっている。女性は、『両立支援制度を利用すると収入が減ること』が31.0%で最も高く、次いで「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」(24.4%)、「必要に応じた介護保険施設利用できないこと」(23.9%)となっている。

	全 体	介護をしながら働く上で障害となること											
		な 介 護 休 業 制 度 等 の 両 立 支 援 制 度 が な い こ と	利 介 護 休 業 制 度 等 の 両 立 支 援 制 度 を 利 用 す と 収 入 が 減 る こ と	利 介 護 休 業 制 度 等 の 両 立 支 援 制 度 を 利 用 し に く い 雰 囲 気 が あ る こ と	自 分 の 仕 事 を 代 わ っ て く れ る 人 が い な い こ と	の 介 護 保 険 サ ー ビ ス や 介 護 保 険 施 設 の 利 用 方 法 が わ か ら な い こ と	受 け ら れ な い こ と (介 護 保 険 施 設 の 利 用 を 除 く)	必 要 に 応 じ た 介 護 保 険 サ ー ビ ス を 受 け ら れ な い こ と	必 要 に 応 じ た 介 護 保 険 施 設 が 利 用 で き な い こ と	労 働 時 間 が 長 い こ と	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1534	22.8	29.5	23.9	28.4	21.0	12.5	24.1	15.4	7.2	4.8	13.0	
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	24.6	27.5	26.4	33.9	19.9	13.4	24.6	16.7	7.5	4.6	10.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	26.3	44.7	7.9	18.4	36.8	5.3	28.9	34.2	0.0	7.9	2.6
	男性・30歳～39歳	77	27.3	35.1	44.2	29.9	14.3	9.1	16.9	22.1	7.8	5.2	9.1
	男性・40歳～49歳	92	25.0	37.0	28.3	45.7	27.2	12.0	27.2	29.3	2.2	8.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	28.6	35.7	27.1	49.3	28.6	21.4	28.6	17.1	1.4	5.7	2.9
	男性・60歳～64歳	84	21.4	20.2	31.0	41.7	21.4	6.0	23.8	10.7	7.1	2.4	8.3
	男性・65歳～69歳	86	18.6	19.8	29.1	25.6	11.6	14.0	18.6	9.3	14.0	0.0	19.8
	男性・70歳以上	147	25.2	13.6	17.0	18.4	10.2	14.3	25.9	6.8	15.0	4.1	25.2
	女性(計)	857	21.4	31.0	22.1	24.4	22.1	11.7	23.9	14.5	7.0	4.9	14.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	31.7	31.7	34.1	31.7	31.7	0.0	14.6	31.7	2.4	9.8	4.9
	女性・30歳～39歳	91	17.6	50.5	22.0	29.7	23.1	8.8	22.0	15.4	3.3	2.2	5.5
	女性・40歳～49歳	164	17.7	39.6	25.6	28.7	33.5	14.0	17.7	18.9	5.5	8.5	4.9
	女性・50歳～59歳	173	16.2	37.0	26.0	20.8	25.4	14.5	35.3	12.7	4.0	3.5	8.7
	女性・60歳～64歳	102	37.3	16.7	17.6	25.5	17.6	13.7	21.6	15.7	6.9	6.9	11.8
	女性・65歳～69歳	111	24.3	26.1	27.9	21.6	9.9	4.5	21.6	18.0	12.6	1.8	23.4
	女性・70歳以上	175	18.3	18.3	10.9	20.6	15.4	14.3	24.6	4.6	10.9	4.0	31.4
無回答	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	

【性・年齢別】『両立支援制度を利用すると収入が減ること』では、「20歳～29歳」と「60歳～64歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。特に、女性の「30歳～39歳」で唯一5割を超えている。

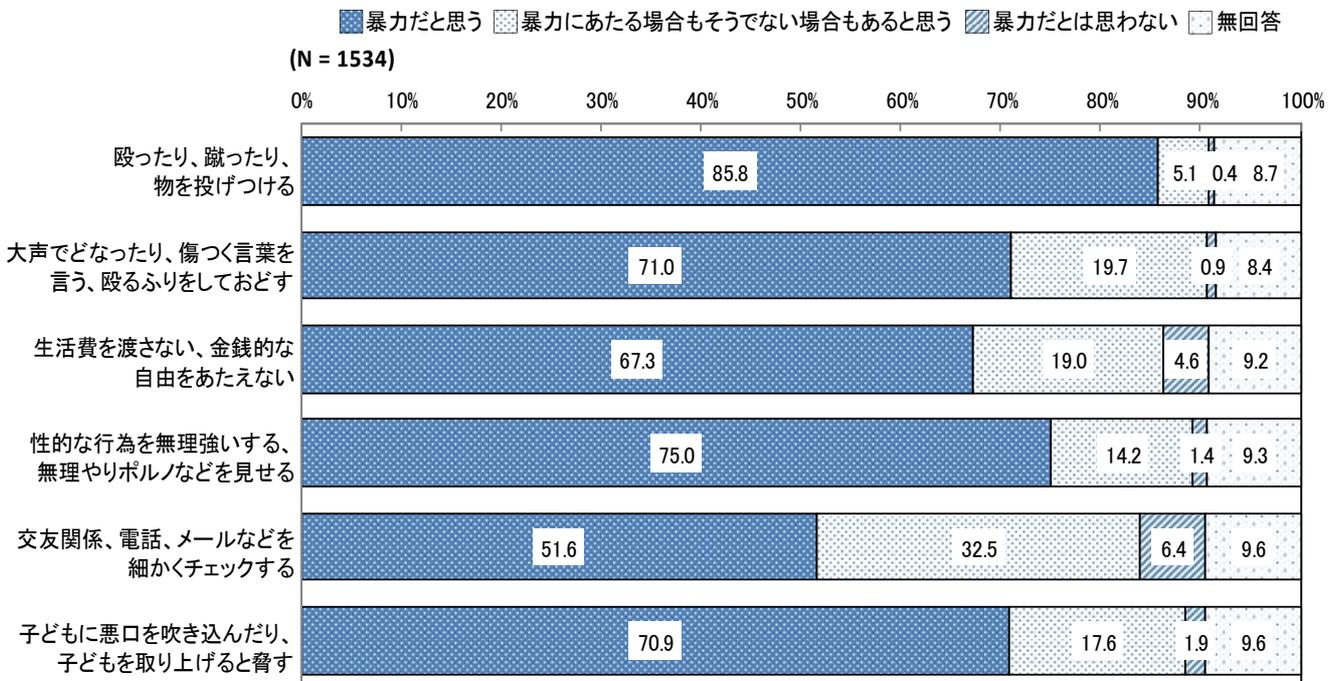
「自分の仕事を代わってくれる人がいないこと」では、「20歳～29歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

5. 配偶者・パートナーからの暴力について

(20) DVについての意識について

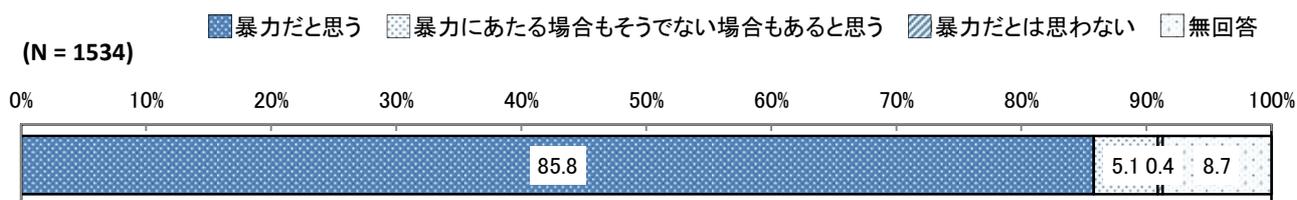
(結婚の有無に関わらず、すべての方が回答)

問20 あなたは、次のようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

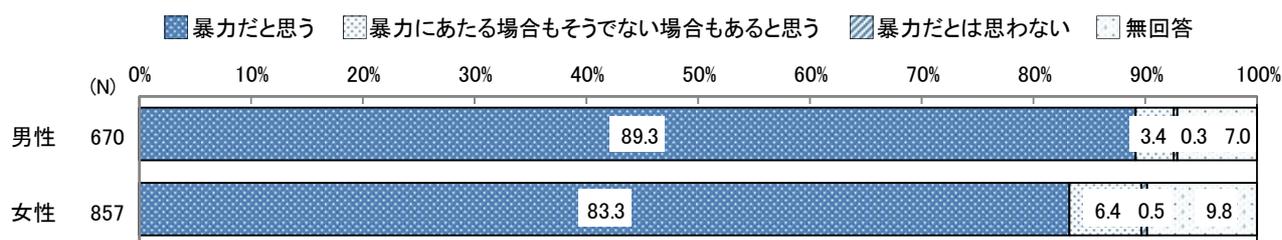


【全体】DVについての意識については、いずれの行動も「暴力だと思う」が最も高いが、「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」では85.8%、「交友関係、電話、メールなどを細かくチェックする」は51.6%となっている。

殴ったり、蹴ったり、物を投げつける



【全 体】「暴力だと思う」が85.8%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(5.1%)、「暴力だとは思わない」(0.4%)となっている。



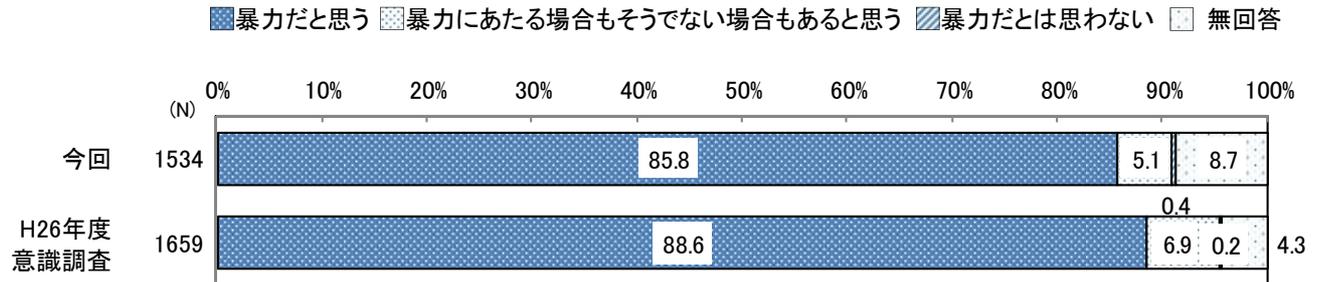
【性 別】「暴力だと思う」と回答した男性が89.3%だったのに対し、女性は83.3%と6.0ポイント低くなっている。

	全 体	殴ったり、蹴ったり、物を投げつける				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	85.8	5.1	0.4	8.7	
性・年齢別	男性(計)	670	89.3	3.4	0.3	7.0
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	77	88.3	2.6	2.6	6.5
	男性・40歳～49歳	92	94.6	3.3	0.0	2.2
	男性・50歳～59歳	140	92.9	5.7	0.0	1.4
	男性・60歳～64歳	84	94.0	2.4	0.0	3.6
	男性・65歳～69歳	86	87.2	2.3	0.0	10.5
	男性・70歳以上	147	78.2	4.1	0.0	17.7
	女性(計)	857	83.3	6.4	0.5	9.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	87.8	9.8	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	89.0	4.4	2.2	4.4
	女性・40歳～49歳	164	90.2	6.1	1.2	2.4
	女性・50歳～59歳	173	87.9	6.4	0.0	5.8
	女性・60歳～64歳	102	83.3	7.8	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	80.2	10.8	0.0	9.0
	女性・70歳以上	175	70.3	3.4	0.0	26.3
	無回答	7	57.1	14.3	0.0	28.6

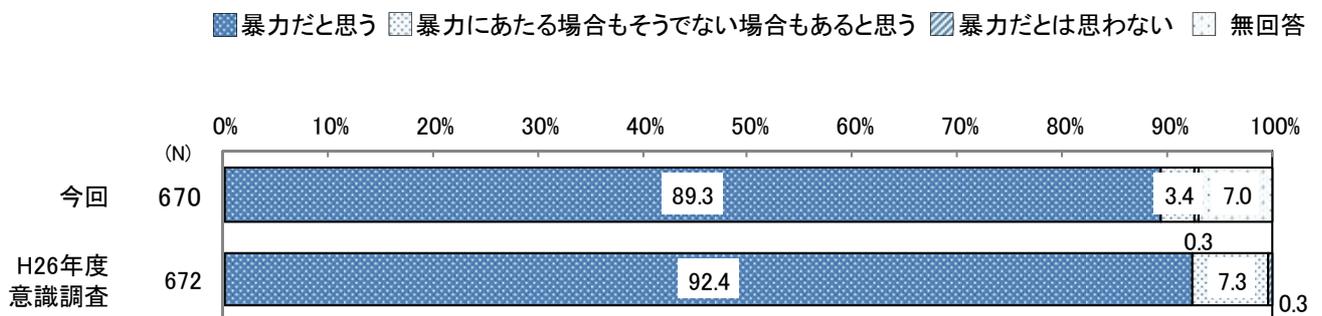
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、「30歳～39歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【殴ったり、蹴ったり、物を投げつける】

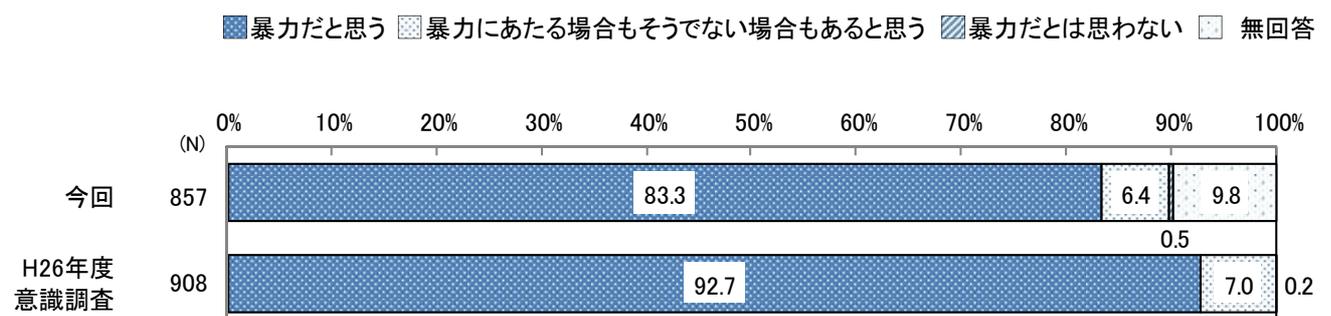
全体



男性



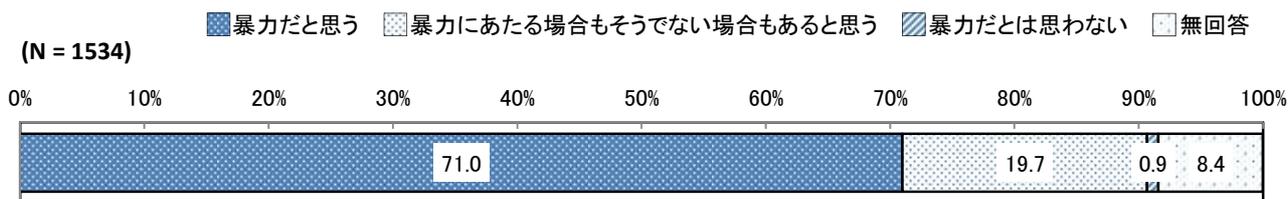
女性



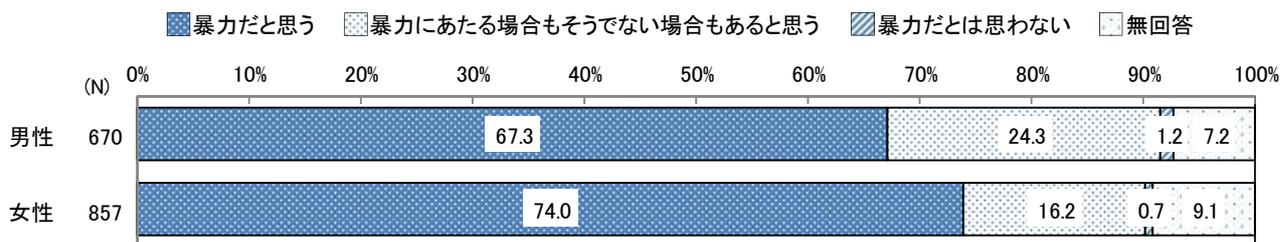
【全 体】平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

【性 別】「暴力だと思う」については、男性は大きな差はみられない。一方で、女性は 9.4 ポイント減少している。

大声でどなったり、傷つく言葉を言う、殴るふりをしておどす



【全 体】「暴力だと思う」が71.0%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(19.7%)、「暴力だとは思わない」(0.9%)となっている。



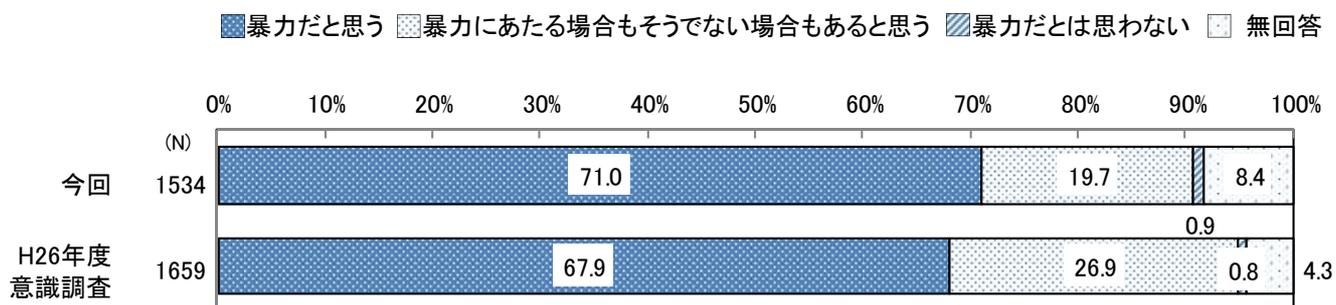
【性 別】「暴力だと思う」と回答した女性が74.0%だったのに対し、男性は67.3%と6.7ポイント低くなっている。

	全 体	大声でどなったり、傷つく言葉を言う、殴るふりをしておどす				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	71.0	19.7	0.9	8.4	
性・年齢別	男性(計)	670	67.3	24.3	1.2	7.2
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	84.2	15.8	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	77	72.7	18.2	2.6	6.5
	男性・40歳～49歳	92	78.3	17.4	2.2	2.2
	男性・50歳～59歳	140	73.6	22.1	1.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	67.9	26.2	2.4	3.6
	男性・65歳～69歳	86	65.1	24.4	0.0	10.5
	男性・70歳以上	147	46.9	36.1	0.0	17.0
	女性(計)	857	74.0	16.2	0.7	9.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	90.2	7.3	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	85.7	9.9	2.2	2.2
	女性・40歳～49歳	164	76.2	21.3	0.0	2.4
	女性・50歳～59歳	173	78.0	15.0	0.0	6.9
	女性・60歳～64歳	102	77.5	13.7	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	68.5	20.7	1.8	9.0
	女性・70歳以上	175	59.4	16.6	1.1	22.9
無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9	

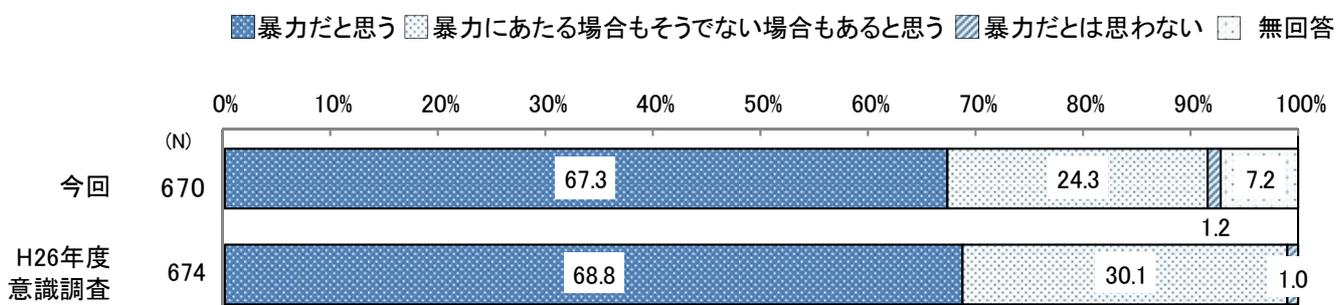
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【大声でどなったり、傷つく言葉を言う、殴るふりをしておどす】

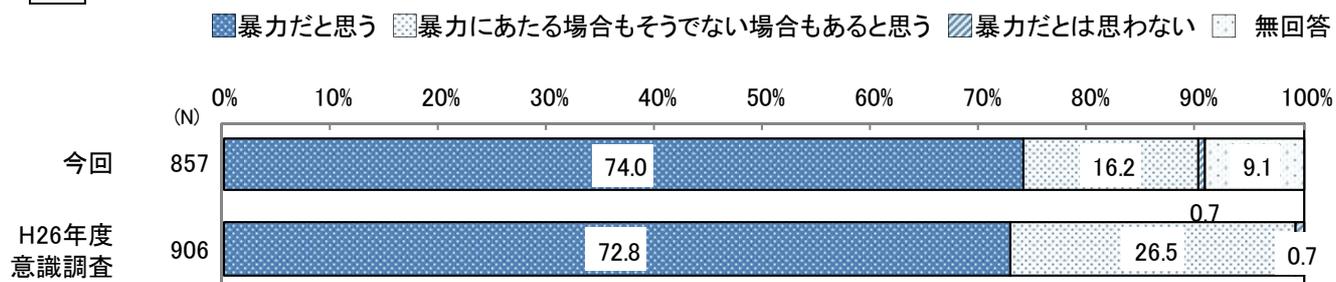
全体



男性



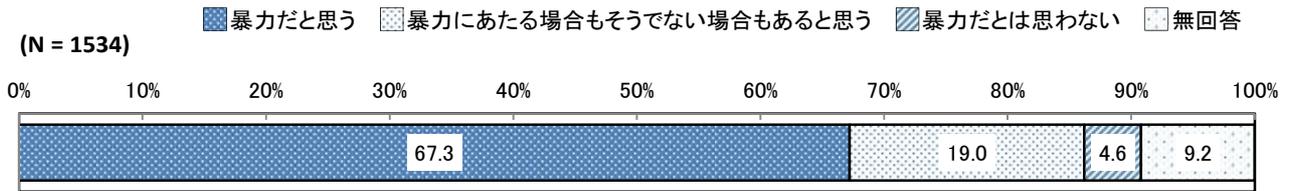
女性



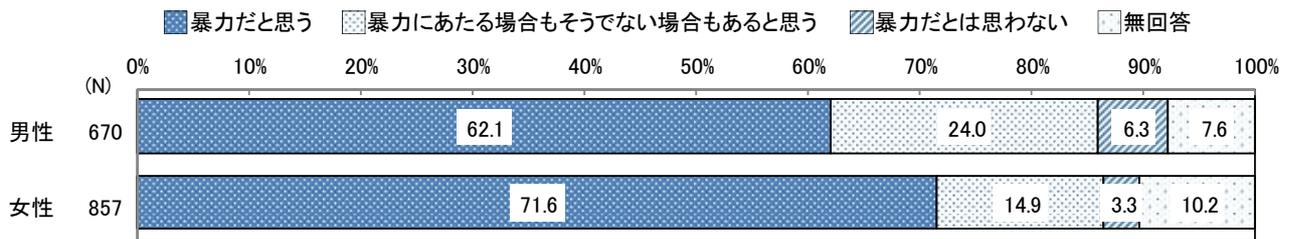
【全 体】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

【性 別】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに大きな差はみられない。

生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない



【全 体】「暴力だと思う」が67.3%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(19.0%)、「暴力だとは思わない」(4.6%)となっている。



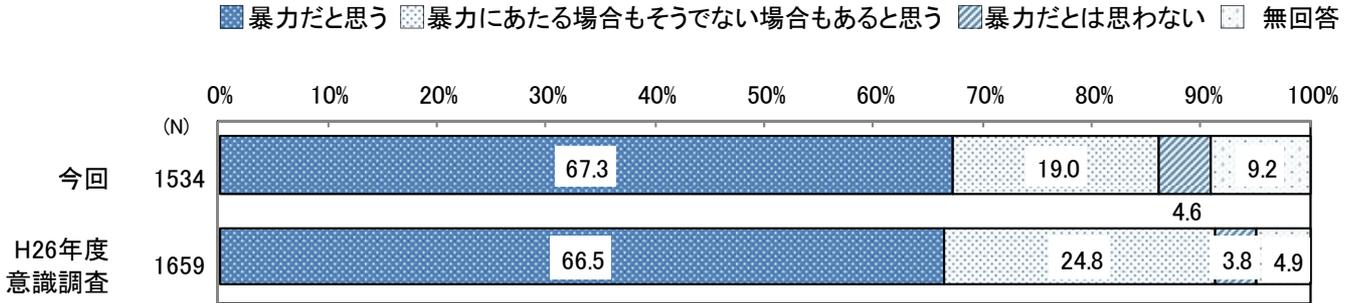
【性 別】「暴力だと思う」と回答した女性が71.6%だったのに対し、男性は62.1%と9.5ポイント低くなっている。

	全 体	生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	67.3	19.0	4.6	9.2	
性・年齢別	男性(計)	670	62.1	24.0	6.3	7.6
	男性・18歳、19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	78.9	15.8	5.3	0.0
	男性・30歳～39歳	77	63.6	24.7	5.2	6.5
	男性・40歳～49歳	92	79.3	14.1	6.5	0.0
	男性・50歳～59歳	140	70.7	23.6	2.9	2.9
	男性・60歳～64歳	84	59.5	31.0	6.0	3.6
	男性・65歳～69歳	86	57.0	24.4	8.1	10.5
	男性・70歳以上	147	43.5	26.5	9.5	20.4
	女性(計)	857	71.6	14.9	3.3	10.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	73.2	24.4	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	78.0	11.0	8.8	2.2
	女性・40歳～49歳	164	78.0	16.5	1.8	3.7
	女性・50歳～59歳	173	79.8	13.3	1.2	5.8
	女性・60歳～64歳	102	74.5	16.7	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	71.2	15.3	4.5	9.0
	女性・70歳以上	175	52.6	13.7	5.7	28.0
	無回答	7	28.6	28.6	0.0	42.9

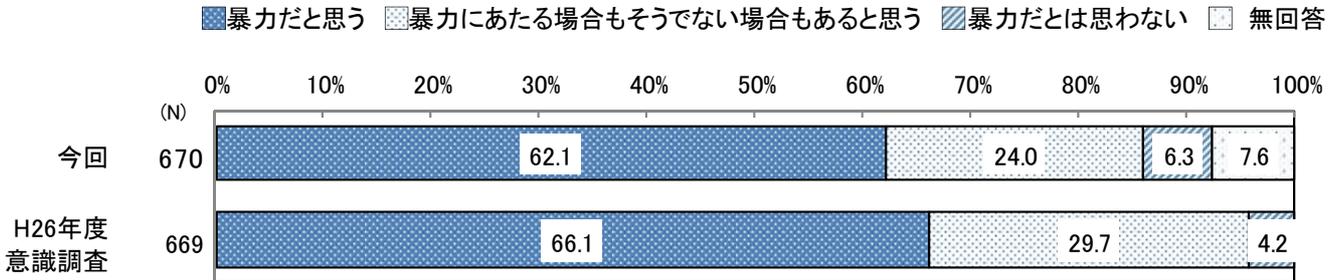
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、「20歳～29歳」と「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない】

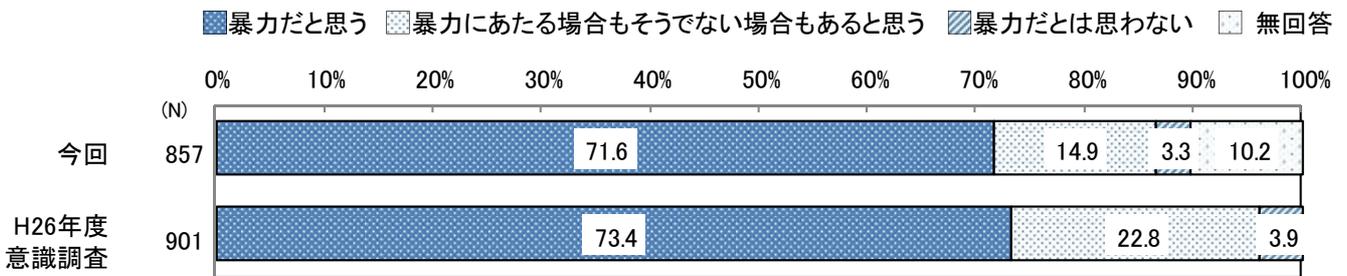
全体



男性



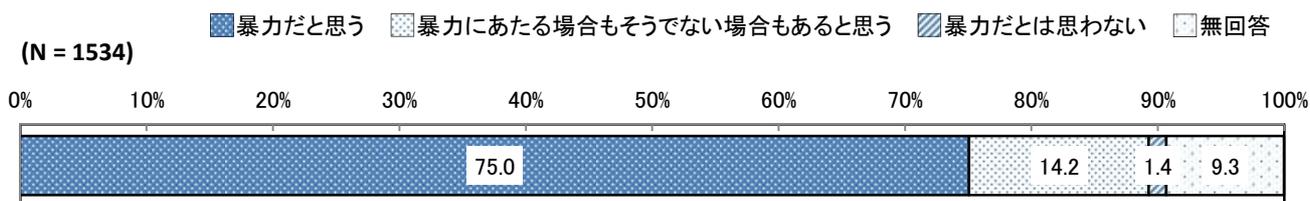
女性



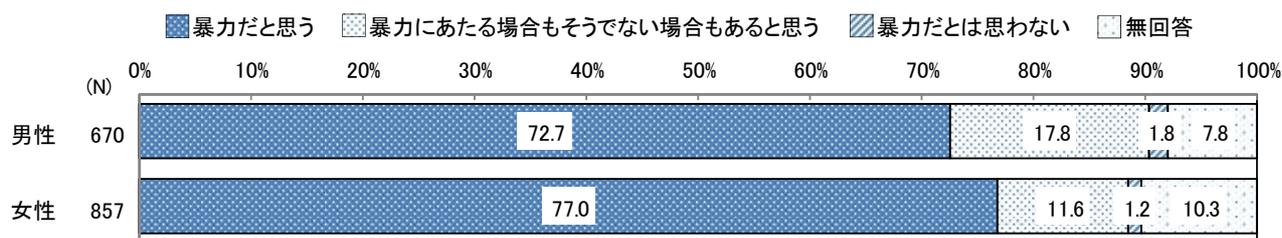
【全 体】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

【性 別】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに大きな差はみられない。

性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる



【全 体】「暴力だと思う」が75.0%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(14.2%)、「暴力だとは思わない」(1.4%)となっている。



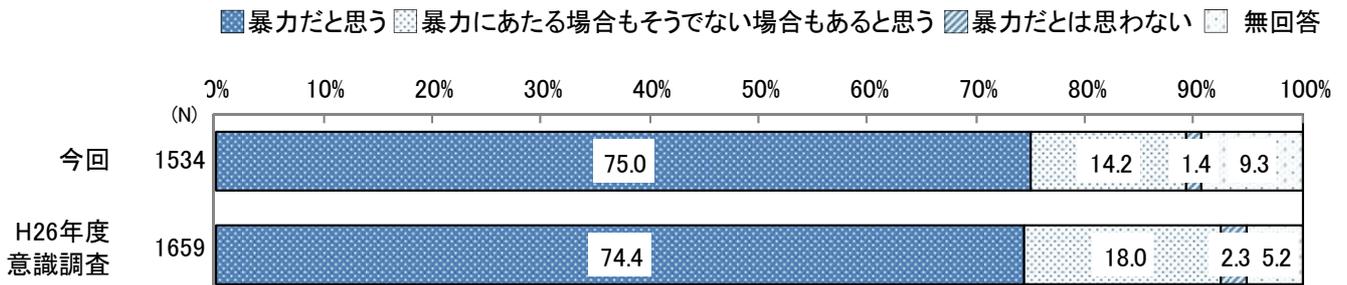
【性 別】「暴力だと思う」と回答した女性が77.0%だったのに対し、男性は72.7%と4.3ポイント低くなっている。

	全体	性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	75.0	14.2	1.4	9.3	
性・年齢別	男性(計)	670	72.7	17.8	1.8	7.8
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	94.7	5.3	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	77	81.8	9.1	2.6	6.5
	男性・40歳～49歳	92	80.4	19.6	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	140	82.9	12.9	1.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	77.4	19.0	0.0	3.6
	男性・65歳～69歳	86	68.6	18.6	2.3	10.5
	男性・70歳以上	147	47.6	27.2	4.1	21.1
	女性(計)	857	77.0	11.6	1.2	10.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	92.7	4.9	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	86.8	6.6	2.2	4.4
	女性・40歳～49歳	164	84.1	11.6	0.6	3.7
	女性・50歳～59歳	173	86.1	5.8	1.2	6.9
	女性・60歳～64歳	102	78.4	12.7	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	70.3	18.0	2.7	9.0
	女性・70歳以上	175	56.0	16.6	1.1	26.3
	無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9

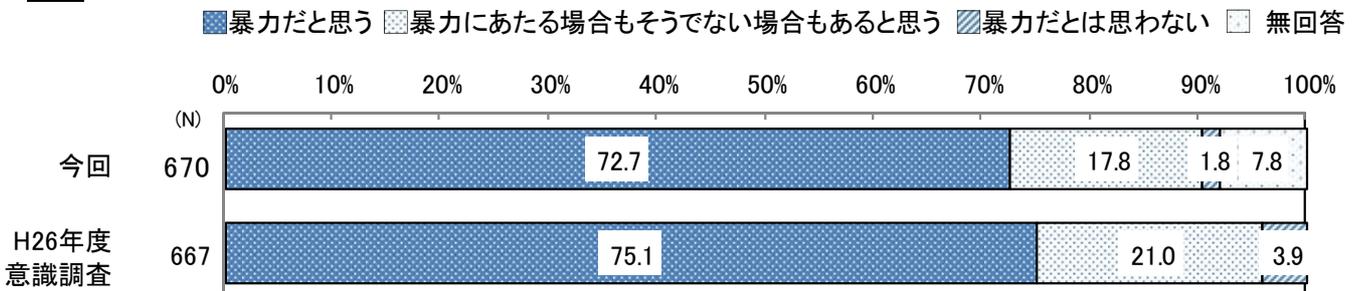
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、「20歳～29歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる】

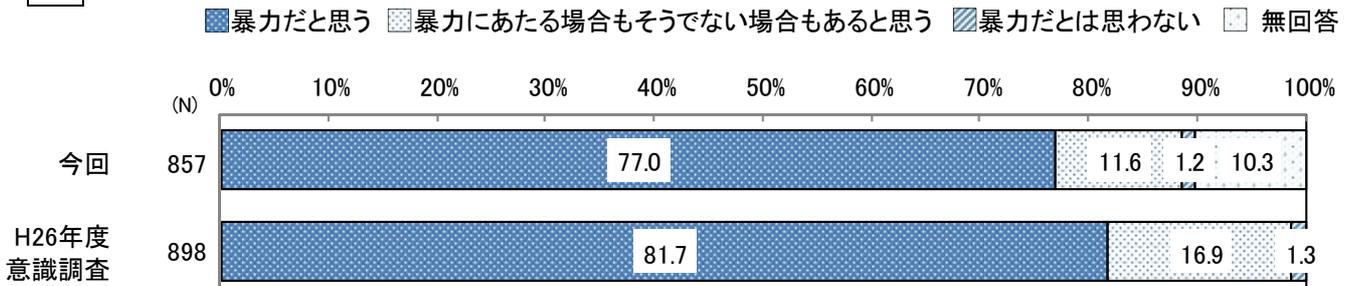
全体



男性



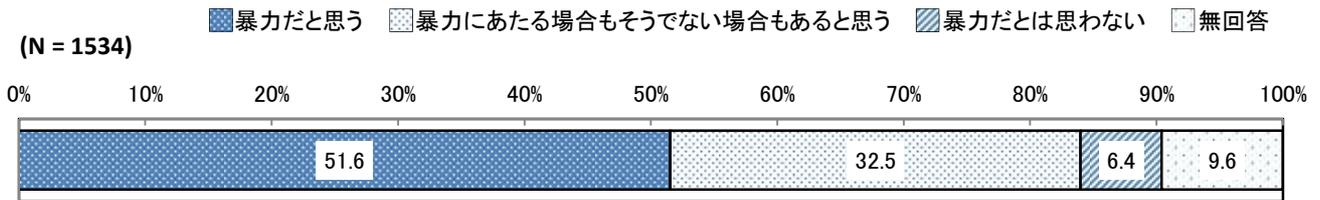
女性



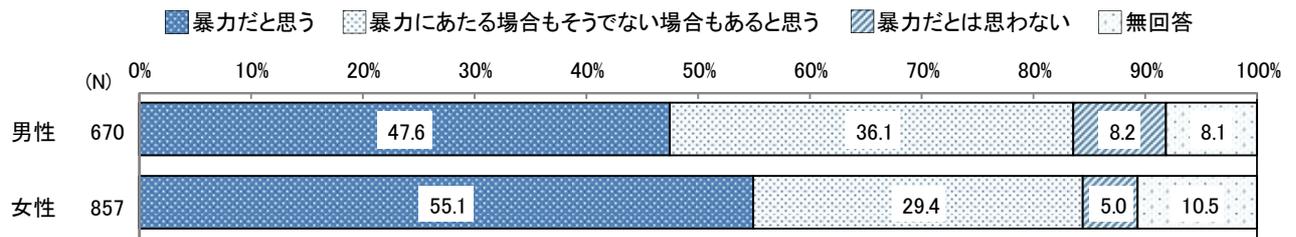
【全 体】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

【性 別】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに大きな差はみられない。

交友関係、電話、メールなどを細かくチェックする



【全 体】「暴力だと思う」が51.6%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(32.5%)、「暴力だとは思わない」(6.4%)となっている。



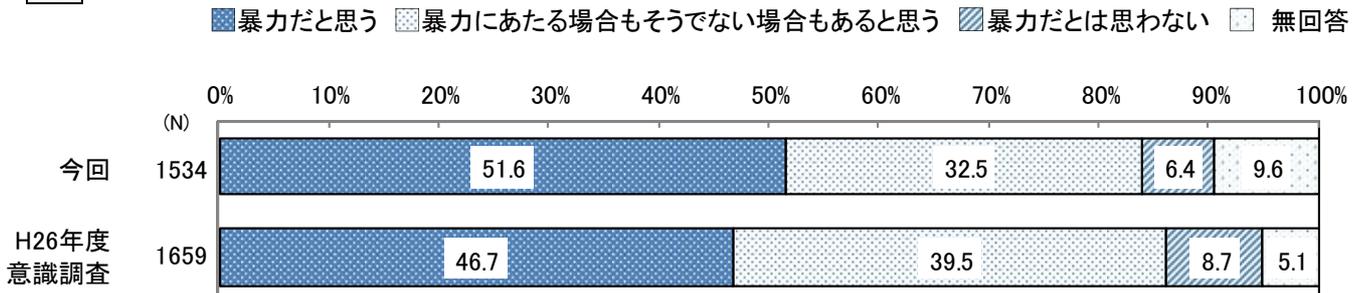
【性 別】「暴力だと思う」と回答した女性が55.1%だったのに対し、男性は47.6%と7.5ポイント低くなっている。

	全 体	交友関係、電話、メールなどを細かくチェックする				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	51.6	32.5	6.4	9.6	
性・年齢別	男性(計)	670	47.6	36.1	8.2	8.1
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	50.0	42.1	7.9	0.0
	男性・30歳～39歳	77	50.6	32.5	10.4	6.5
	男性・40歳～49歳	92	58.7	32.6	8.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	42.1	50.7	4.3	2.9
	男性・60歳～64歳	84	64.3	28.6	3.6	3.6
	男性・65歳～69歳	86	45.3	38.4	5.8	10.5
	男性・70歳以上	147	34.7	29.3	13.6	22.4
	女性(計)	857	55.1	29.4	5.0	10.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	48.8	48.8	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	61.5	24.2	12.1	2.2
	女性・40歳～49歳	164	53.7	40.2	2.4	3.7
	女性・50歳～59歳	173	63.0	28.9	1.2	6.9
	女性・60歳～64歳	102	65.7	25.5	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	52.3	28.8	9.9	9.0
女性・70歳以上	175	42.3	20.6	8.6	28.6	
無回答	7	0.0	57.1	0.0	42.9	

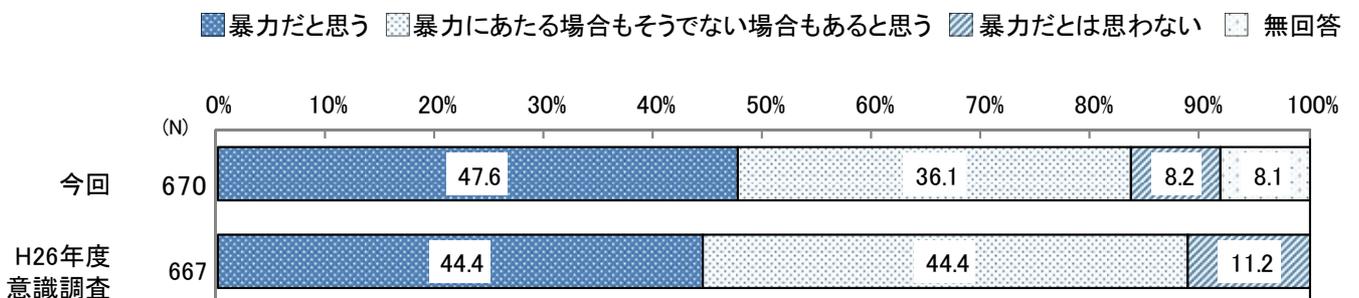
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、「20歳～29歳」と「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【交友関係、電話、メールなどを細かくチェックする】

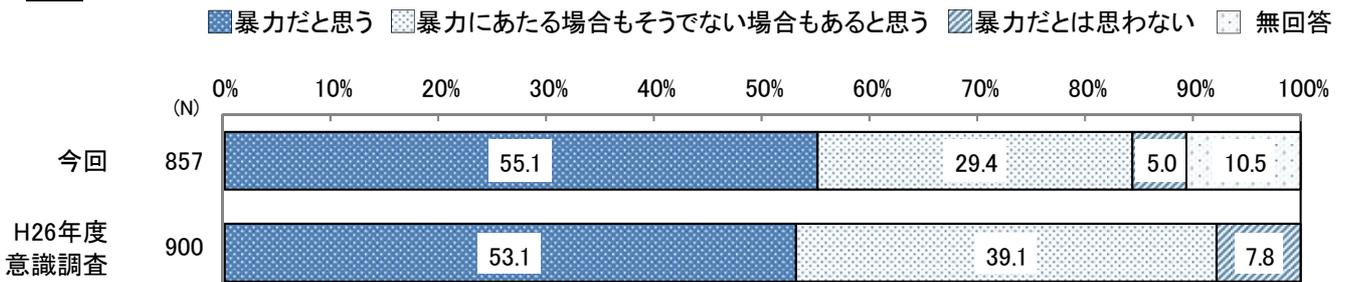
全体



男性



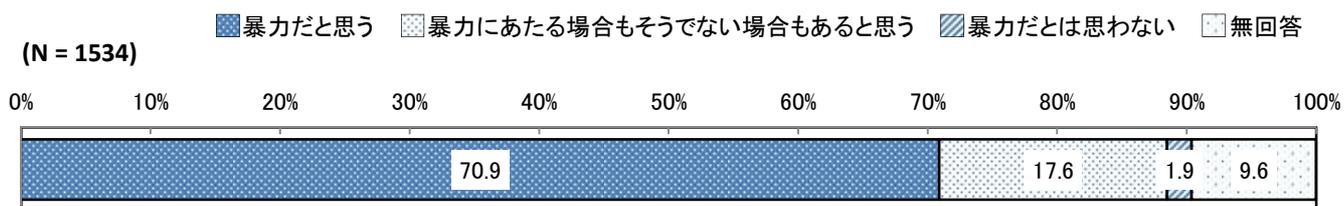
女性



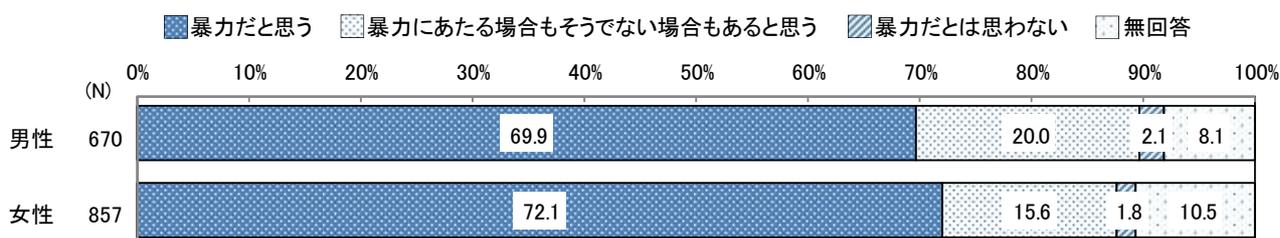
【全 体】「暴力だと思ふ」について、平成 26 年度調査より 4.9 ポイント増加している。

【性 別】「暴力だと思ふ」と「暴力だとは思わない」については、男女ともに大きな差はみられない。

子どもに悪口を吹き込んだり、子どもを取り上げると脅す



【全 体】「暴力だと思う」が70.9%と最も高く、次いで「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」(17.6%)、「暴力だとは思わない」(1.9%)となっている。



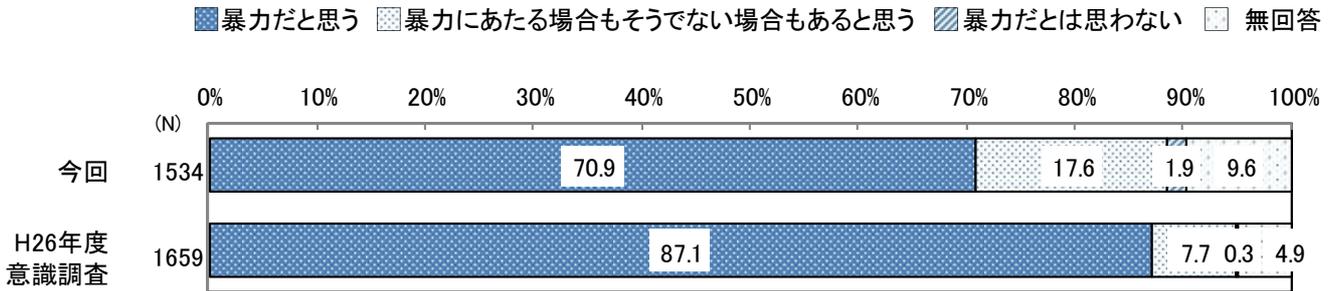
【性 別】「暴力だと思う」と回答した女性が72.1%だったのに対し、男性は69.9%と2.2ポイント低くなっている。

	全 体	子どもに悪口を吹き込んだり、子どもを取り上げると脅す				
		暴力だと思う	暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う	暴力だとは思わない	無回答	
全 体	1534	70.9	17.6	1.9	9.6	
性・年齢別	男性(計)	670	69.9	20.0	2.1	8.1
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	84.2	15.8	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	77	75.3	15.6	2.6	6.5
	男性・40歳～49歳	92	83.7	16.3	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	140	62.1	30.7	4.3	2.9
	男性・60歳～64歳	84	79.8	14.3	2.4	3.6
	男性・65歳～69歳	86	68.6	20.9	0.0	10.5
	男性・70歳以上	147	57.1	17.7	2.7	22.4
	女性(計)	857	72.1	15.6	1.8	10.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	87.8	9.8	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	78.0	13.2	6.6	2.2
	女性・40歳～49歳	164	78.0	17.7	0.6	3.7
	女性・50歳～59歳	173	79.8	12.1	1.2	6.9
	女性・60歳～64歳	102	78.4	12.7	0.0	8.8
	女性・65歳～69歳	111	67.6	19.8	3.6	9.0
	女性・70歳以上	175	51.4	18.9	1.1	28.6
無回答	7	28.6	28.6	0.0	42.9	

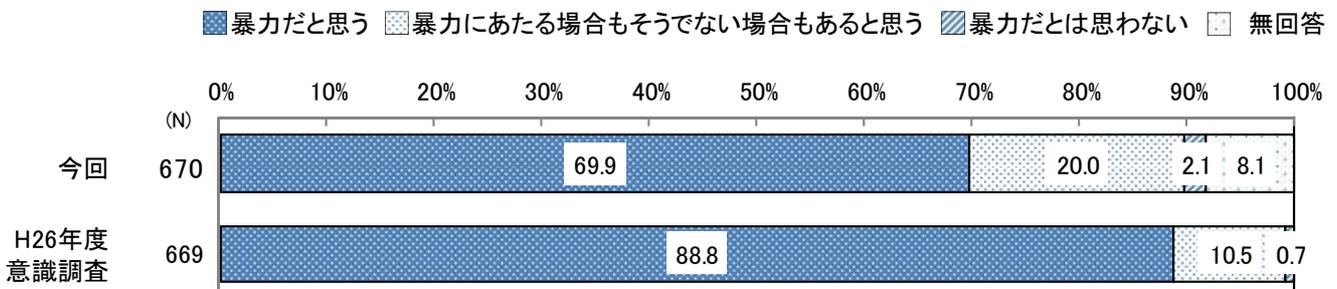
【性・年齢別】「暴力だと思う」は、男女ともに「20歳～29歳」が8割を超えて、最も高くなっている。

過去調査との比較【子どもに悪口を吹き込んだり、子どもを取り上げると脅す】

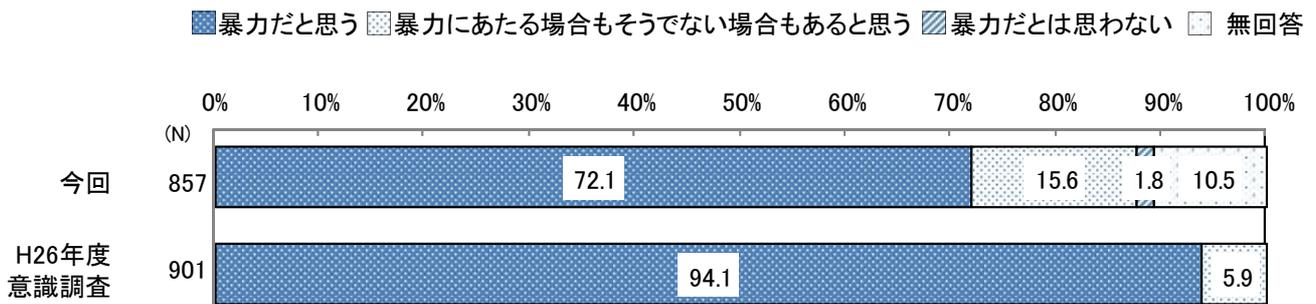
全体



男性



女性



【全 体】「暴力だと思う」について、平成 26 年度調査より 16.2 ポイント減少している。

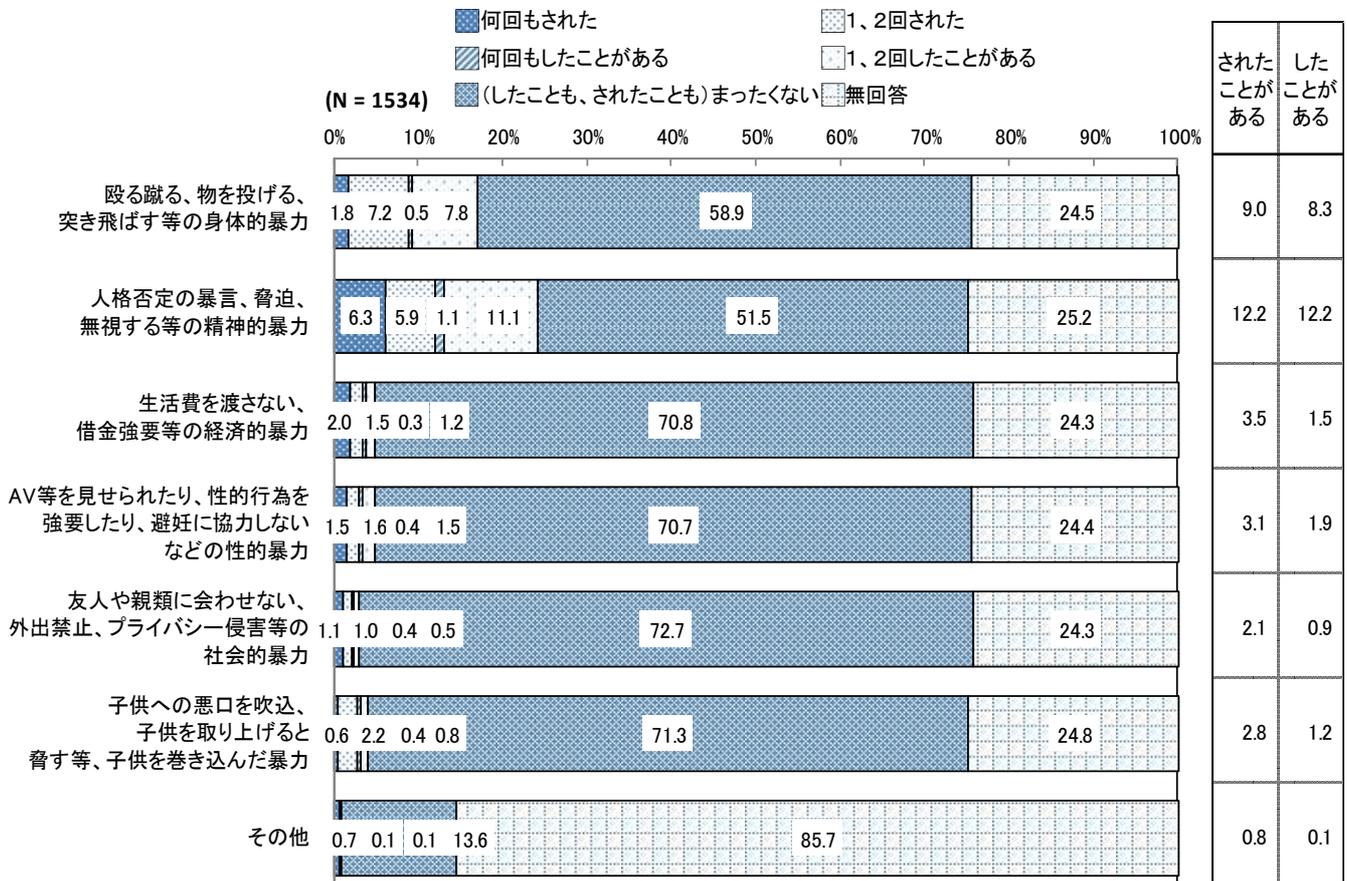
【性 別】「暴力だと思う」について、平成 26 年度調査より、男性は 18.9 ポイント、女性は 22.0 ポイント減少している。

(21) DV経験の有無について

(配偶者・パートナー※がいる方が回答)

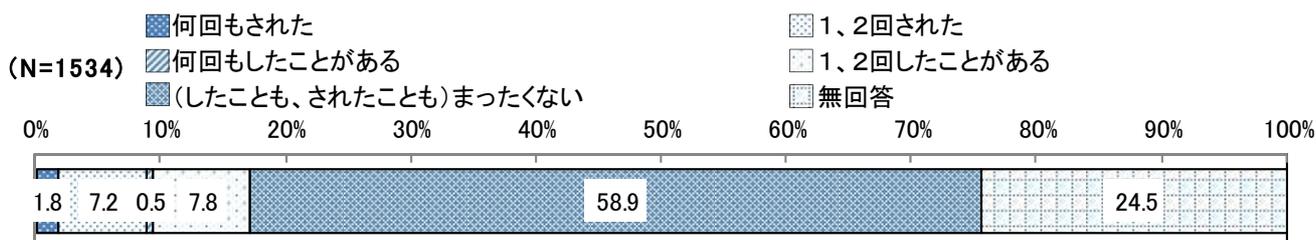
問21 あなたはこれまでに、次のようなことを「配偶者からされた」または「配偶者にした」経験がありますか。(〇は当てはまるものすべて)

※ここでのパートナーには、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者を含みます。

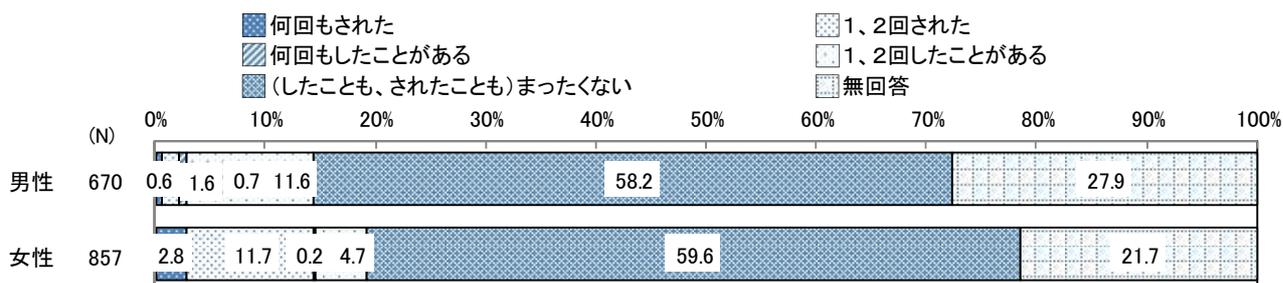


【全体】「何回もされた」と「1、2回された」を合わせた『されたことがある』と「何回もしたことがある」と「1、2回したことがある」を合わせた『したことがある』のいずれも、「人格否定の暴言、脅迫、無視する等の精神的暴力」が12.2%で最も高くなっている。次いで「殴る蹴る、物を投げる、突き飛ばす等の身体的暴力」が『されたことがある』では9.0%、『したことがある』では8.3%となっている。

殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体的暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくくない」が58.9%と最も高く、次いで「1、2回したことがある」(7.8%)、「1、2回された」(7.2%)となっている。

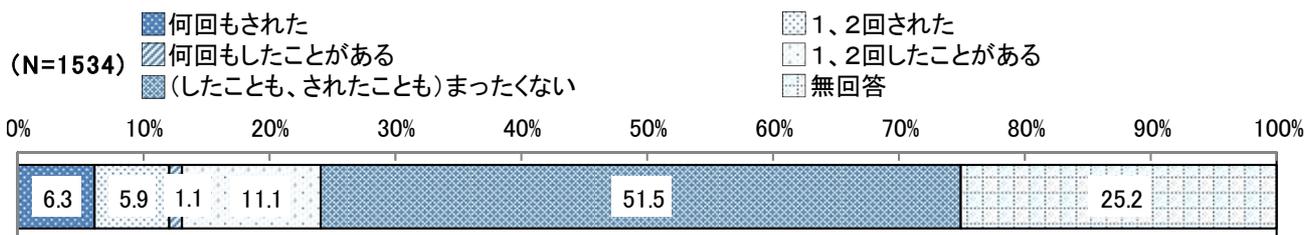


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が14.5%だったのに対し、男性は2.2%と12.3ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が4.9%だったのに対し、男性は12.3%と7.4ポイント高くなっている。

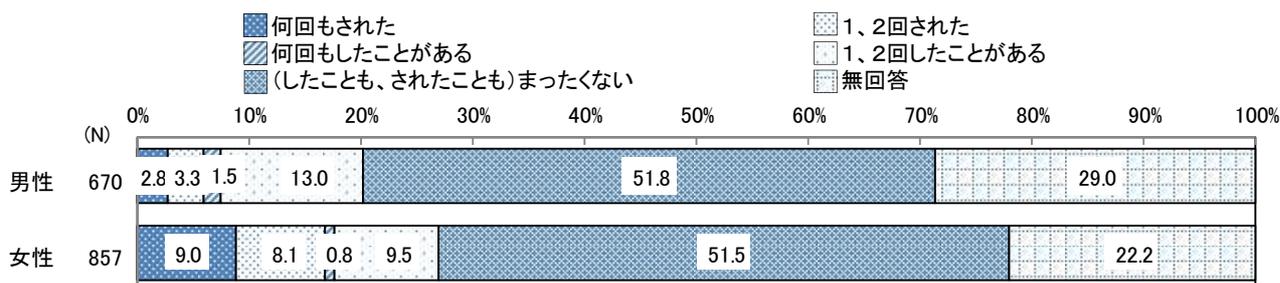
	全体	殴る蹴る、物を投げる、突き飛ばす等の身体的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくくない	無回答	
全 体	1534	1.8	7.2	0.5	7.8	58.9	24.5	
性・年齢別	男性(計)	670	0.6	1.6	0.7	11.6	58.2	27.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9
	男性・30歳～39歳	77	3.9	3.9	1.3	1.3	55.8	36.4
	男性・40歳～49歳	92	0.0	4.3	0.0	8.7	64.1	23.9
	男性・50歳～59歳	140	0.0	1.4	0.0	10.0	65.0	23.6
	男性・60歳～64歳	84	1.2	2.4	0.0	8.3	72.6	17.9
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	24.4	44.2	31.4
	男性・70歳以上	147	0.0	0.0	2.7	18.4	59.9	19.0
	女性(計)	857	2.8	11.7	0.2	4.7	59.6	21.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9
	女性・30歳～39歳	91	2.2	6.6	0.0	3.3	65.9	22.0
	女性・40歳～49歳	164	1.2	17.7	0.6	9.1	53.7	18.9
	女性・50歳～59歳	173	4.6	13.3	0.0	2.3	69.4	10.4
	女性・60歳～64歳	102	4.9	17.6	0.0	2.9	64.7	10.8
	女性・65歳～69歳	111	1.8	6.3	0.0	5.4	70.3	17.1
	女性・70歳以上	175	2.9	9.7	0.6	5.1	48.6	34.3
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9

【性・年齢別】『されたことがある』は、女性の「40歳～49歳」から「60歳～64歳」で約2割となっている。『したことがある』は、男性の「65歳～69歳」と「70歳以上」で2割を超えている。

人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくない」が51.5%と最も高く、次いで「1、2回したことがある」(11.1%)、「何回もされた」(6.3%)となっている。

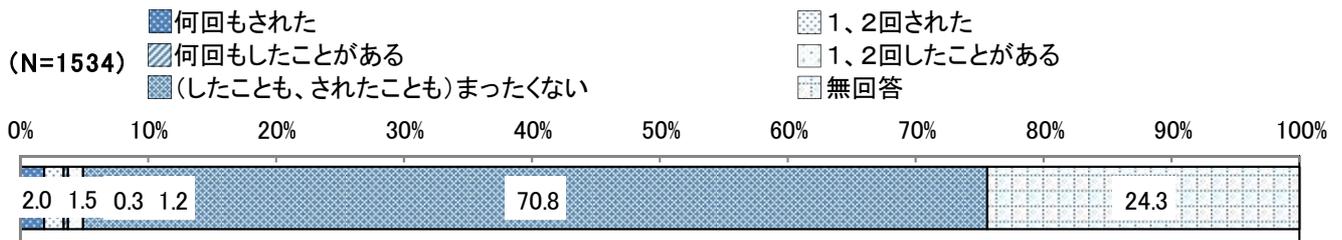


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が17.1%だったのに対し、男性は6.1%と11.0ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が10.3%だったのに対し、男性は14.5%と4.2ポイント高くなっている。

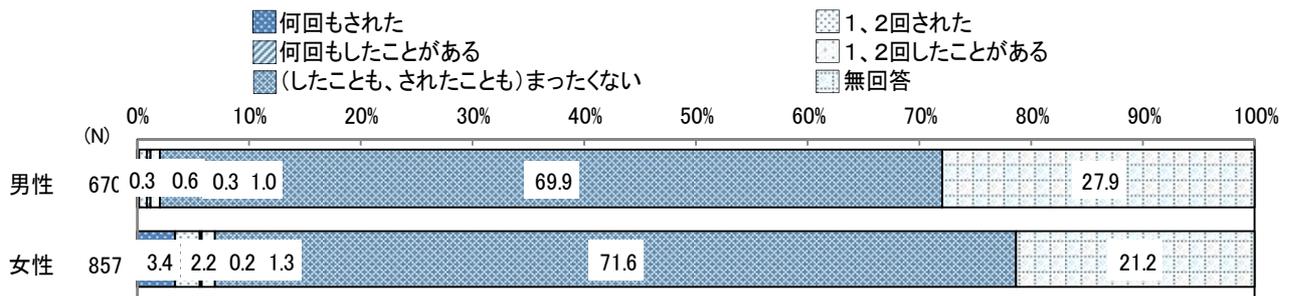
	全 体	人格否定の暴言、脅迫、無視する等の精神的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくない	無回答	
全 体	1534	6.3	5.9	1.1	11.1	51.5	25.2	
性・年齢別	男性(計)	670	2.8	3.3	1.5	13.0	51.8	29.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	2.6	0.0	2.6	18.4	78.9
	男性・30歳～39歳	77	3.9	9.1	1.3	6.5	45.5	39.0
	男性・40歳～49歳	92	5.4	4.3	3.3	10.9	53.3	25.0
	男性・50歳～59歳	140	2.9	1.4	1.4	15.7	55.0	23.6
	男性・60歳～64歳	84	3.6	3.6	0.0	6.0	71.4	16.7
	男性・65歳～69歳	86	4.7	0.0	0.0	16.3	47.7	31.4
	男性・70歳以上	147	0.0	3.4	2.7	19.0	53.1	22.4
	女性(計)	857	9.0	8.1	0.8	9.5	51.5	22.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	4.9	0.0	0.0	24.4	65.9
	女性・30歳～39歳	91	9.9	9.9	0.0	0.0	58.2	22.0
	女性・40歳～49歳	164	8.5	9.1	1.2	8.5	54.9	18.9
	女性・50歳～59歳	173	15.0	11.6	1.7	9.2	52.0	11.0
	女性・60歳～64歳	102	12.7	9.8	1.0	8.8	57.8	13.7
	女性・65歳～69歳	111	4.5	5.4	0.0	18.9	55.9	15.3
	女性・70歳以上	175	4.6	4.0	0.6	12.0	44.0	35.4
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9

【性・年齢別】『されたことがある』は、女性の「30歳～39歳」から「60歳～64歳」で1割半ばを超えている。『したことがある』は、男性の「70歳以上」で唯一2割を超えている。

生活費を渡さない、借金を強いるなどの経済的暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくない」が70.8%と最も高く、次いで「何回もされた」(2.0%)、「1、2回された」(1.5%)となっている。

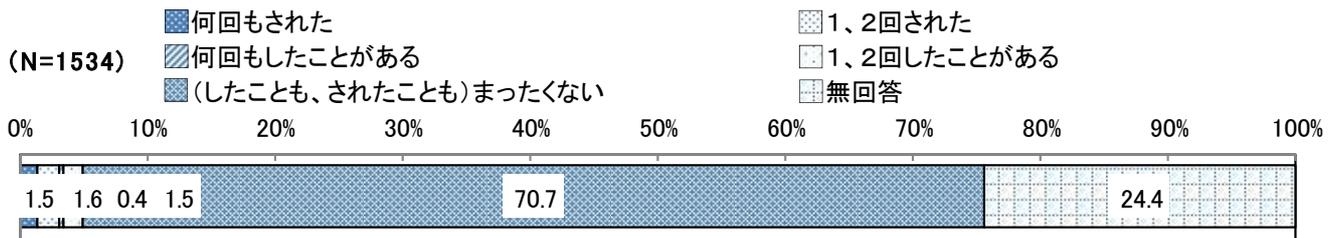


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が5.6%だったのに対し、男性は0.9%と4.7ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.5%だったのに対し、男性は1.3%と大きな差はみられない。

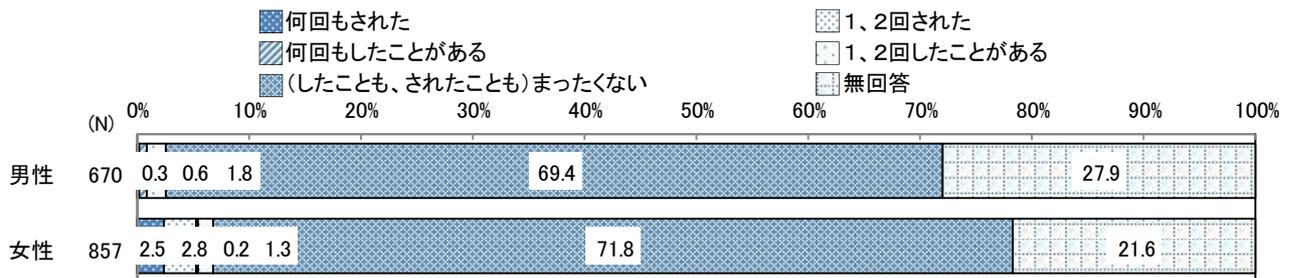
	全 体	生活費を渡さない、借金強要等の経済的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくない	無回答	
全 体	1534	2.0	1.5	0.3	1.2	70.8	24.3	
性・年齢別	男性(計)	670	0.3	0.6	0.3	1.0	69.9	27.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	0.0	1.3	64.9	33.8
	男性・40歳～49歳	92	2.2	2.2	0.0	0.0	72.8	22.8
	男性・50歳～59歳	140	0.0	0.0	0.0	2.9	73.6	23.6
	男性・60歳～64歳	84	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	31.4
	男性・70歳以上	147	0.0	1.4	1.4	1.4	74.1	21.8
	女性(計)	857	3.4	2.2	0.2	1.3	71.6	21.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9
	女性・30歳～39歳	91	8.8	1.1	0.0	0.0	68.1	22.0
	女性・40歳～49歳	164	2.4	6.1	0.0	2.4	71.3	17.7
	女性・50歳～59歳	173	4.0	3.5	0.0	0.0	82.1	10.4
	女性・60歳～64歳	102	2.0	2.0	2.0	3.9	80.4	9.8
	女性・65歳～69歳	111	3.6	0.0	0.0	0.9	80.2	15.3
	女性・70歳以上	175	2.3	0.0	0.0	1.1	61.7	34.9
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9	

【性・年齢別】『されたことがある』と回答したのは、男性は「40歳～49歳」及び「70歳以上」のみとなっているが、女性は「20歳～29歳」を除くすべての年齢層となっている。

見たくないのに、アダルトビデオ等を見せられたり、嫌がっているのに性的行為を強要したり、避妊に協力しないなどの性的暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくくない」が70.7%と最も高く、次いで「1、2回された」(1.6%)となっている。

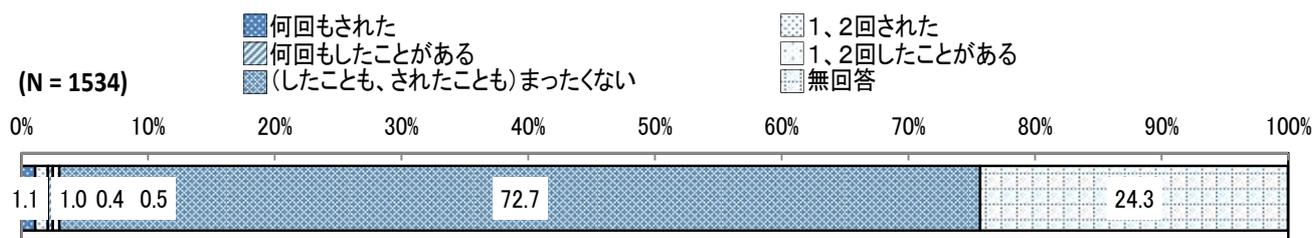


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が5.3%だったのに対し、男性は0.3%と5.0ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.5%だったのに対し、男性は2.4%と大きな差はみられない。

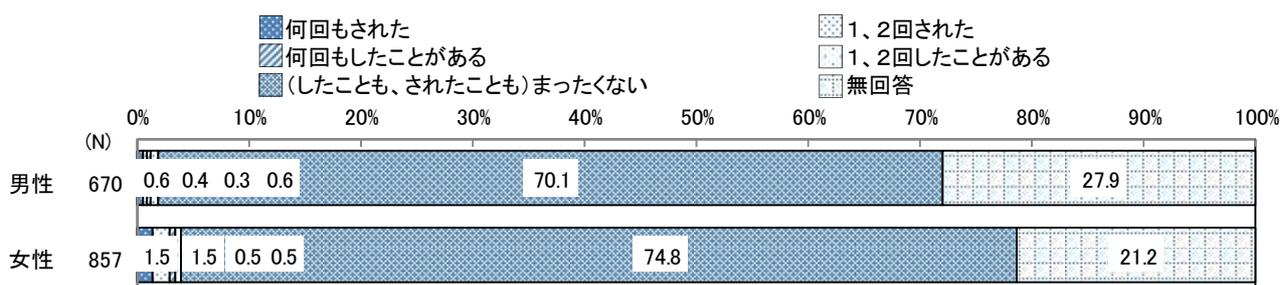
	全 体	AV等を見せられたり、性的行為を強要したり、避妊に協力しないなどの性的暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくくない	無回答	
全 体	1534	1.5	1.6	0.4	1.5	70.7	24.4	
性・年齢別	男性(計)	670	0.3	0.0	0.6	1.8	69.4	27.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	0.0	2.6	63.6	33.8
	男性・40歳～49歳	92	2.2	0.0	2.2	0.0	72.8	22.8
	男性・50歳～59歳	140	0.0	0.0	1.4	1.4	73.6	23.6
	男性・60歳～64歳	84	0.0	0.0	0.0	4.8	78.6	16.7
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	2.3	66.3	31.4
	男性・70歳以上	147	0.0	0.0	0.0	1.4	76.9	21.8
	女性(計)	857	2.5	2.8	0.2	1.3	71.8	21.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9
	女性・30歳～39歳	91	2.2	3.3	0.0	0.0	72.5	22.0
	女性・40歳～49歳	164	2.4	3.7	0.0	1.2	75.0	17.7
	女性・50歳～59歳	173	5.8	3.5	0.0	3.5	76.9	10.4
	女性・60歳～64歳	102	2.0	4.9	2.0	1.0	80.4	10.8
	女性・65歳～69歳	111	2.7	1.8	0.0	0.0	80.2	15.3
	女性・70歳以上	175	0.0	1.1	0.0	1.1	61.7	36.0
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】『されたことがある』と回答したのは、男性は「40歳～49歳」のみとなっているが、女性は「20歳～29歳」を除くすべての年齢層となっている。

友人や親、兄弟姉妹に会わせない、外出させない、手紙やメールを勝手に見るなどの社会的暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくない」が72.7%と最も高く、次いで「何回もされた」(1.1%)、「1、2回された」(1.0%)となっている。

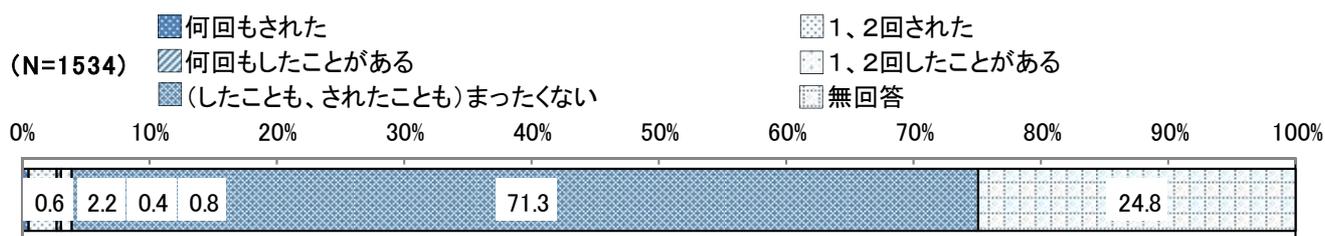


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が3.0%だったのに対し、男性は1.0%と2.0ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.0%だったのに対し、男性は0.9%と大きな差はみられない。

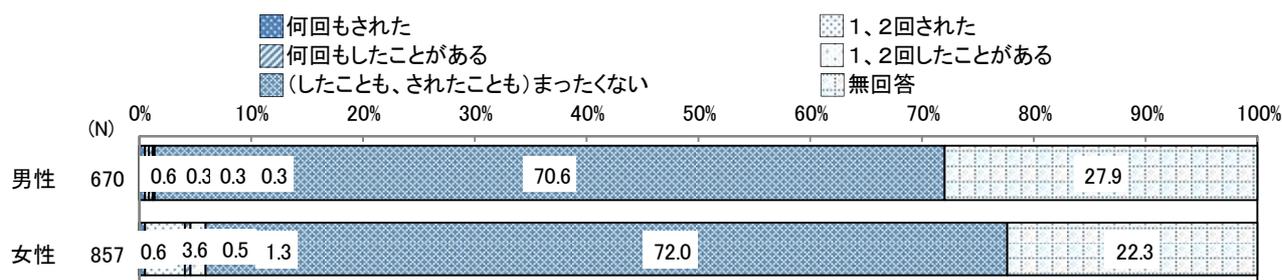
	全 体	友人や親類に会わせない、外出禁止、プライバシー侵害等の社会的暴力					
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくない	無回答
全 体	1534	1.1	1.0	0.4	0.5	72.7	24.3
性・年齢別							
男性(計)	670	0.6	0.4	0.3	0.6	70.1	27.9
男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9
男性・30歳～39歳	77	2.6	0.0	0.0	0.0	63.6	33.8
男性・40歳～49歳	92	2.2	0.0	2.2	2.2	70.7	22.8
男性・50歳～59歳	140	0.0	1.4	0.0	0.0	75.0	23.6
男性・60歳～64歳	84	0.0	1.2	0.0	0.0	82.1	16.7
男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	31.4
男性・70歳以上	147	0.0	0.0	0.0	1.4	76.9	21.8
女性(計)	857	1.5	1.5	0.5	0.5	74.8	21.2
女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9
女性・30歳～39歳	91	2.2	0.0	0.0	2.2	73.6	22.0
女性・40歳～49歳	164	3.7	3.0	0.0	1.2	74.4	17.7
女性・50歳～59歳	173	1.7	3.5	0.0	0.0	84.4	10.4
女性・60歳～64歳	102	2.0	2.0	2.0	0.0	84.3	9.8
女性・65歳～69歳	111	0.0	0.0	0.0	0.0	84.7	15.3
女性・70歳以上	175	0.0	0.0	1.1	0.0	64.0	34.9
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】性・年齢別で大きな差は見られない。

子どもに悪口を吹き込んだり、子どもを取り上げると脅すなど、子どもを巻き込んだ暴力



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくない」が71.3%と最も高く、次いで「1、2回された」(2.2%)となっている。

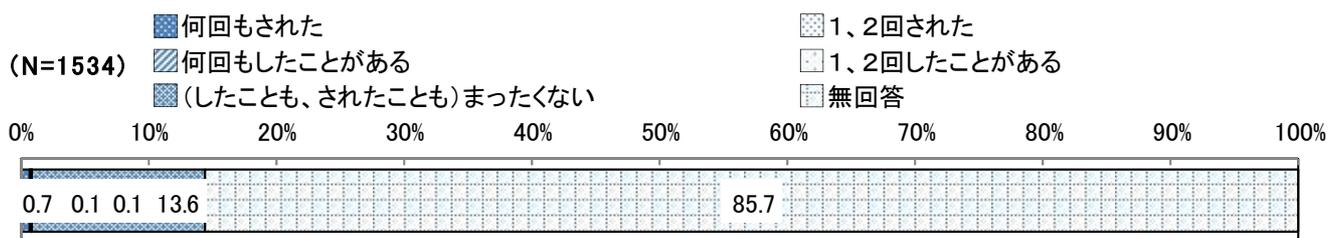


【性 別】『されたことがある』と回答した女性が4.2%だったのに対し、男性は0.9%と3.3ポイント低くなっている。一方、『したことがある』と回答した女性が1.8%だったのに対し、男性は0.6%と大きな差はみられない。

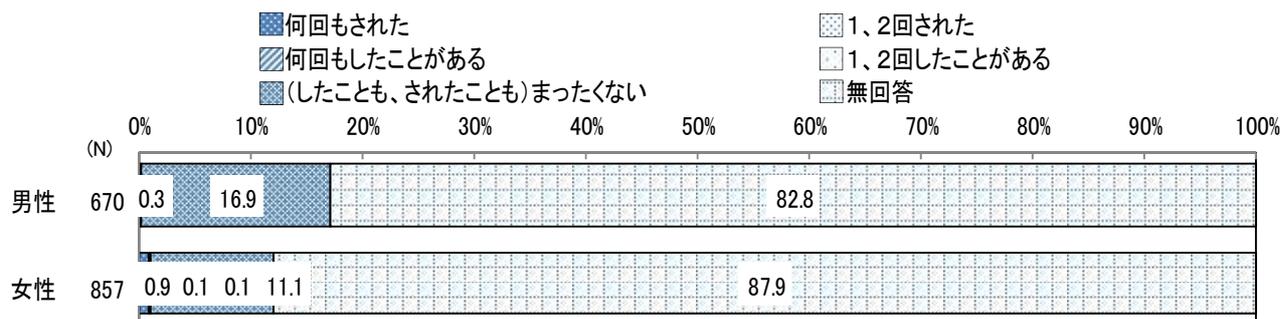
	全 体	子供への悪口を吹込、子供を取り上げると脅す等、子供を巻き込んだ暴力						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくない	無回答	
全 体	1534	0.6	2.2	0.4	0.8	71.3	24.8	
性・年齢別	男性(計)	670	0.6	0.3	0.3	0.3	70.6	27.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	78.9
	男性・30歳～39歳	77	2.6	0.0	0.0	0.0	63.6	33.8
	男性・40歳～49歳	92	2.2	2.2	0.0	0.0	72.8	22.8
	男性・50歳～59歳	140	0.0	0.0	0.0	1.4	75.0	23.6
	男性・60歳～64歳	84	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	0.0	68.6	31.4
	男性・70歳以上	147	0.0	0.0	1.4	0.0	76.9	21.8
	女性(計)	857	0.6	3.6	0.5	1.3	72.0	22.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9
	女性・30歳～39歳	91	4.4	7.7	0.0	0.0	65.9	22.0
	女性・40歳～49歳	164	0.0	5.5	0.0	1.8	75.0	18.3
	女性・50歳～59歳	173	0.6	6.9	0.0	1.7	79.2	11.6
	女性・60歳～64歳	102	0.0	2.9	3.9	2.9	77.5	13.7
	女性・65歳～69歳	111	0.0	0.0	0.0	1.8	81.1	17.1
	女性・70歳以上	175	0.0	0.0	0.0	0.0	65.1	34.9
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】『されたことがある』について、女性の「30歳～39歳」で唯一1割を超えている。

その他



【全 体】「(したことも、されたことも)まったくくない」が13.6%と最も高く、次いで「何回もされた」(0.7%)となっている。



【性 別】『されたことがある』と『したことがある』ともに、男女に大きな差はみられない。

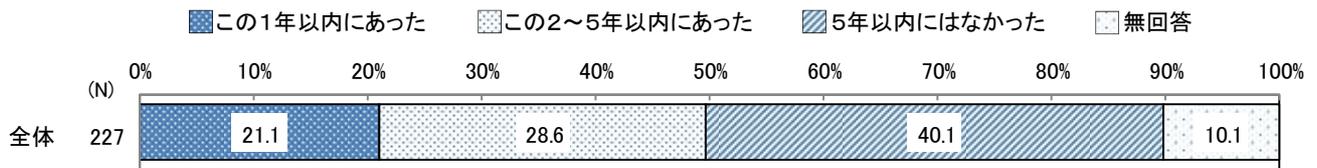
	全 体	その他						
		何回もされた	1、2回された	何回もしたことがある	1、2回したことがある	(したことも、されたことも)まったくくない	無回答	
全 体	1534	0.7	0.1	0.0	0.1	13.6	85.7	
性・年齢別	男性(計)	670	0.3	0.0	0.0	0.0	16.9	82.8
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	0.0	0.0	22.1	77.9
	男性・40歳～49歳	92	0.0	0.0	0.0	0.0	32.6	67.4
	男性・50歳～59歳	140	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	78.6
	男性・60歳～64歳	84	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	86.9
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	93.0
	男性・70歳以上	147	1.4	0.0	0.0	0.0	11.6	87.1
	女性(計)	857	0.9	0.1	0.0	0.1	11.1	87.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	95.1
	女性・30歳～39歳	91	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	82.4
	女性・40歳～49歳	164	1.2	0.0	0.0	0.0	18.3	80.5
	女性・50歳～59歳	173	2.3	0.0	0.0	0.0	9.8	87.9
	女性・60歳～64歳	102	0.0	1.0	0.0	1.0	9.8	89.2
	女性・65歳～69歳	111	1.8	0.0	0.0	0.0	10.8	87.4
	女性・70歳以上	175	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	95.4
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【性・年齢別】性・年齢別で大きな差は見られない。

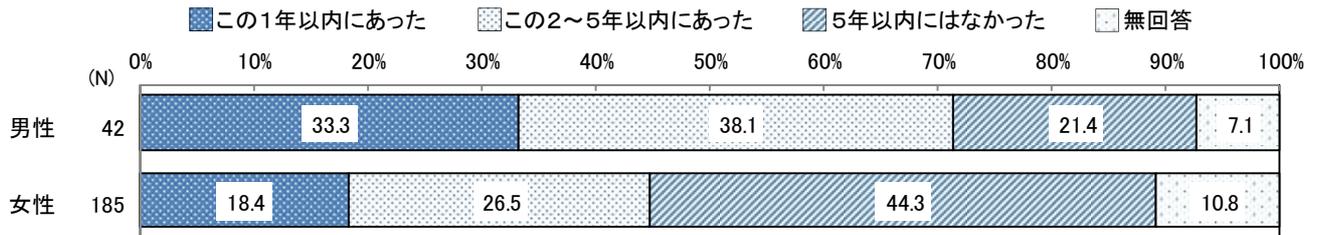
【その他】

- ・やる事の全てを義母と比べられる。
- ・結婚して50年になるが、一度も人格を否定されたことはない。
- ・過去に手をあげた事も暴言も多少あったが、節度をわきまえた行動(道徳心と理性)→反省。
- ・些細な事で大声を出しおどす。
- ・車の窓に唾を吐かれた。ハミガキコップに汚れた水を入れる。流し台の上を水浸しにしておくなど。
- ・こちらの家族も巻きこむ暴力。

(問21で「何回もされた」「1、2回された」と1つでも答えた方が回答)
 問21-1 問21であげたような配偶者や恋人からの行為は、直近ではいつ頃ありましたか。(〇は1つ)



【全体】「5年以内にはなかった」が40.1%と最も高く、次いで「この2～5年以内にあった」(28.6%)、「この1年以内にあった」(21.1%)となっている。



【性別】男性は、「この1年以内にあった」(33.3%)と「この2～5年以内にあった」(38.1%)の割合がそれぞれ3割を超えているのに対し、女性は「5年以内にはなかった」が44.3%と高くなっている。

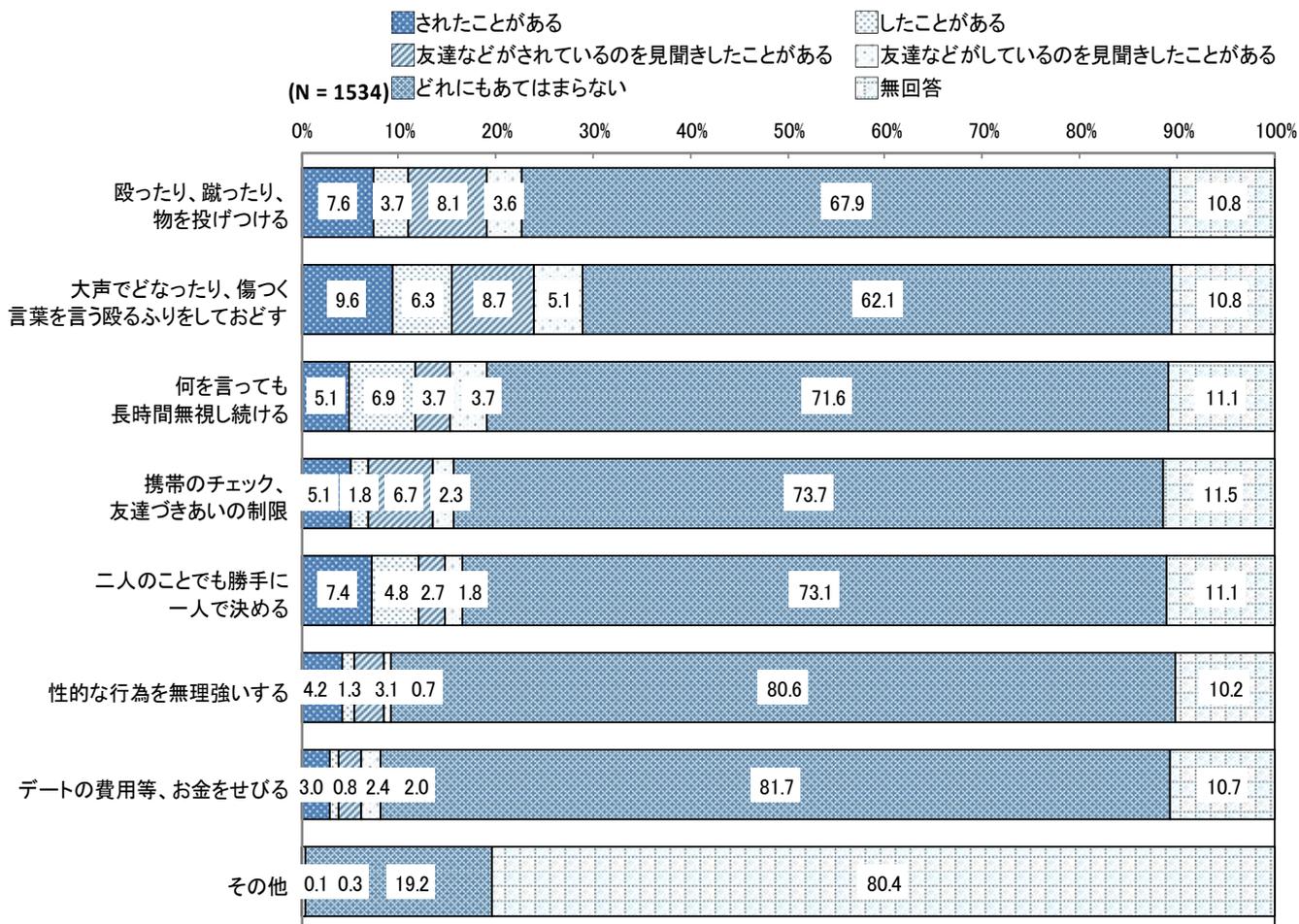
	全体	問21のような行為を受けた直近の時期				
		この1年以内 にあった	この2～5年 以内にあった	5年以内には なかった	無回答	
全体	227	21.1	28.6	40.1	10.1	
性・年齢別	男性(計)	42	33.3	38.1	21.4	7.1
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	8	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	9	55.6	22.2	22.2	0.0
	男性・50歳～59歳	10	0.0	40.0	60.0	0.0
	男性・60歳～64歳	5	20.0	40.0	20.0	20.0
	男性・65歳～69歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	6	0.0	66.7	0.0	33.3
	女性(計)	185	18.4	26.5	44.3	10.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	4	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・30歳～39歳	21	28.6	38.1	33.3	0.0
	女性・40歳～49歳	37	10.8	40.5	37.8	10.8
	女性・50歳～59歳	51	19.6	15.7	56.9	7.8
	女性・60歳～64歳	29	20.7	20.7	44.8	13.8
	女性・65歳～69歳	15	26.7	26.7	26.7	20.0
	女性・70歳以上	28	14.3	14.3	53.6	17.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0

【性・年齢別】男女ともに「50歳～59歳」の回答者数が最も多く、いずれも「5年以内にはなかった」の割合が最も高くなっている。

(22) デートDVについて

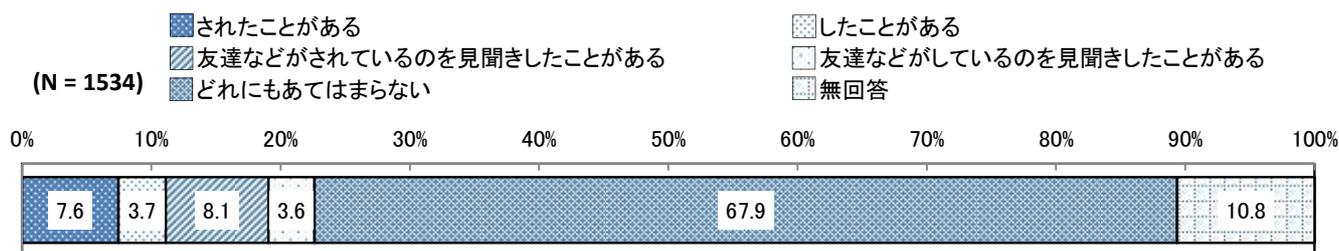
(10歳代～20歳代の経験について、全ての方が回答)

問22 あなたのこれまでの経験の中でのできごとについてお聞きします。恋人などの親密な関係にある人から、次のような態度や行動をあなたがされたり、したことがありますか。また、次のような態度や行動を、あなたの友達などがされたり、しているのを、見聞きしたことがありますか。
(○はあてはまるものすべて)

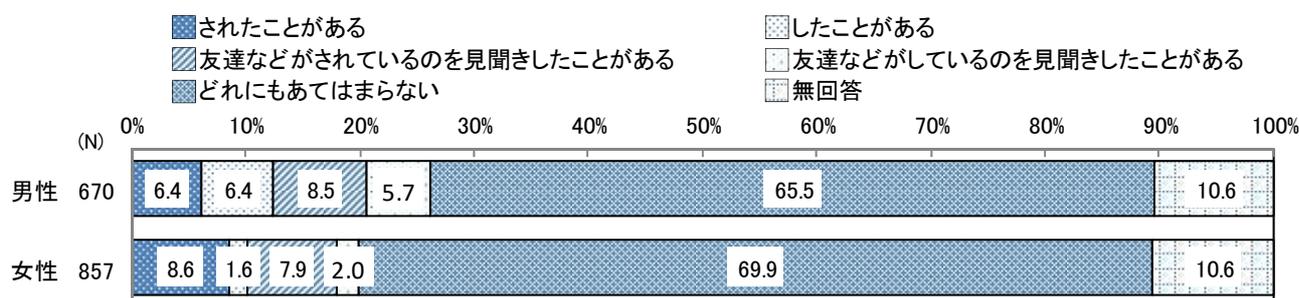


【全体】「殴ったり、蹴ったり、物を投げつける」と「大声でどなったり、傷つく言葉を言う殴るふりをしておどす」では、「されたことがある」と「友達などがされているのを見聞きしたことがある」を合わせると1割半ば前後となり、他と比較してやや高くなっている。

殴ったり、蹴ったり、物を投げつける



【全 体】「どれにもあてはまらない」を除くと、「友だなどがされているのを見聞きしたことがある」が8.1%と最も高く、次いで「されたことがある」(7.6%)となっている。

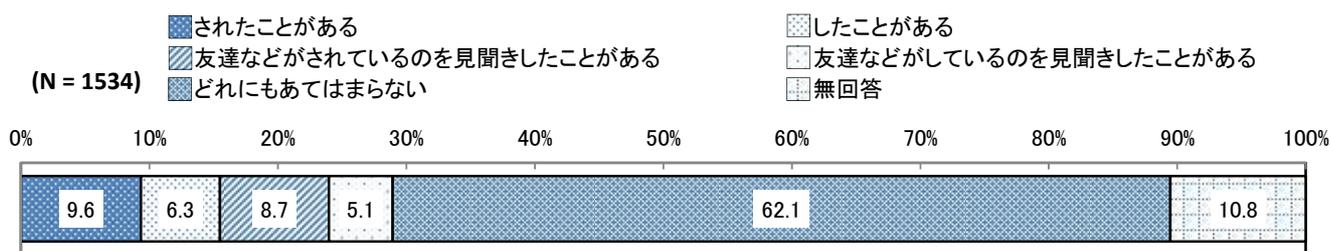


【性 別】「したことがある」では、男性(6.4%)が女性(1.6%)より4.8ポイント高くなっている。一方で、「されたことがある」は、女性(8.6%)が男性(6.4%)より2.2ポイント高くなっている。

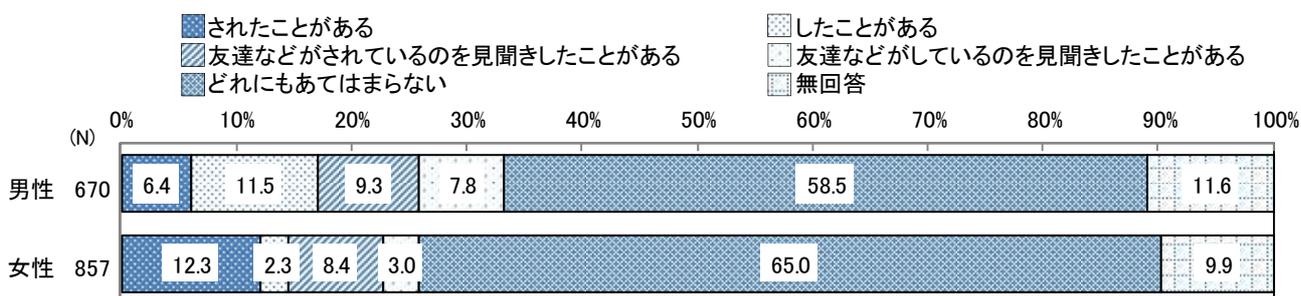
		全 体	殴ったり、蹴ったり、物を投げつける					無回答
			されたことが ある	したことが ある	友だなどが されているの を見聞きした ことがある	友だなどが しているの を見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	
全 体		1534	7.6	3.7	8.1	3.6	67.9	10.8
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	6.4	6.4	8.5	5.7	65.5	10.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	7.9	5.3	15.8	0.0	68.4	5.3
	男性・30歳～39歳	77	7.8	5.2	11.7	10.4	64.9	6.5
	男性・40歳～49歳	92	6.5	7.6	12.0	5.4	68.5	7.6
	男性・50歳～59歳	140	9.3	4.3	5.0	9.3	72.1	2.1
	男性・60歳～64歳	84	4.8	10.7	7.1	4.8	67.9	9.5
	男性・65歳～69歳	86	3.5	1.2	3.5	4.7	72.1	15.1
	男性・70歳以上	147	5.4	9.5	10.2	2.7	50.3	22.4
	女性(計)	857	8.6	1.6	7.9	2.0	69.9	10.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	0.0	9.8	0.0	82.9	2.4
	女性・30歳～39歳	91	9.9	6.6	16.5	1.1	64.8	2.2
	女性・40歳～49歳	164	13.4	1.8	15.2	1.8	62.8	5.5
	女性・50歳～59歳	173	8.1	0.0	7.5	0.6	79.2	5.2
	女性・60歳～64歳	102	8.8	1.0	5.9	3.9	75.5	5.9
	女性・65歳～69歳	111	2.7	1.8	1.8	5.4	78.4	9.9
女性・70歳以上	175	8.6	1.1	1.7	1.1	58.3	30.3	
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9	

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「40歳～49歳」で唯一1割を超えている。「したことがある」は、男性の「60歳～64歳」で唯一1割を超えている。

大声でどなったり、傷つく言葉を言う、殴るふりをしておどす



【全 体】「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が 9.6%と最も高く、次いで「友達などがされているのを見聞きしたことがある」(8.7%) となっている。

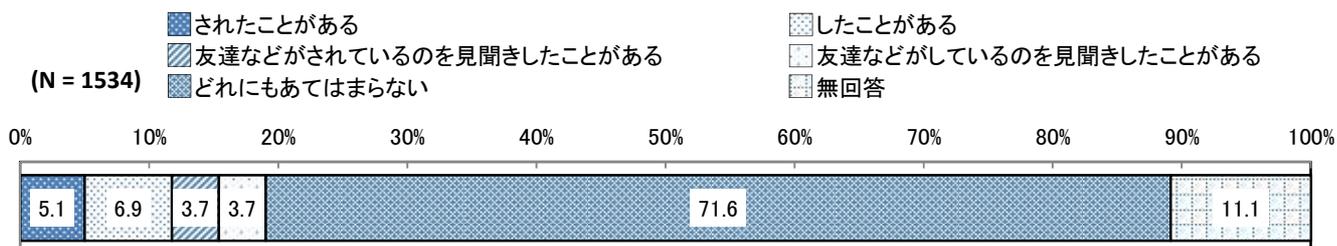


【性 別】「したことがある」では、男性 (11.5%) が女性 (2.3%) より 9.2 ポイント高くなっている。一方で、「されたことがある」は、女性 (12.3%) が男性 (6.4%) より 5.9 ポイント高くなっている。

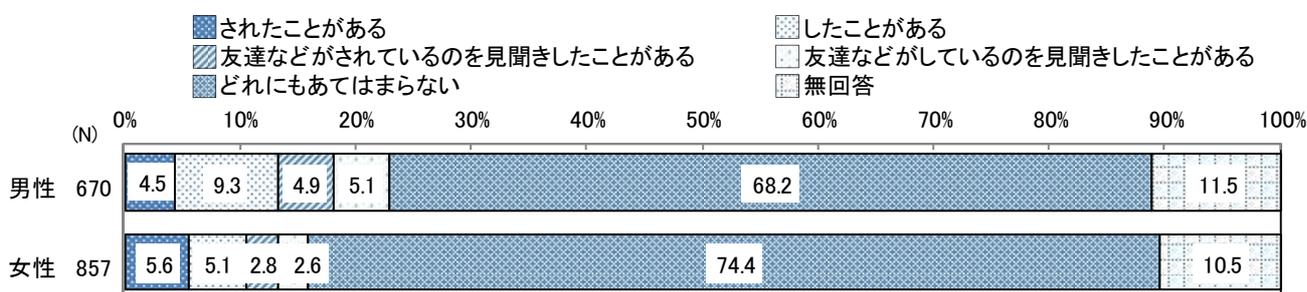
		全 体	大声でどなったり、傷つく言葉を言う殴るふりをしておどす					無回答
			されたことが ある	したことが ある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない	
全 体		1534	9.6	6.3	8.7	5.1	62.1	10.8
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	6.4	11.5	9.3	7.8	58.5	11.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	10.5	7.9	23.7	2.6	55.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	7.8	7.8	18.2	10.4	55.8	10.4
	男性・40歳～49歳	92	9.8	17.4	10.9	7.6	58.7	8.7
	男性・50歳～59歳	140	7.1	14.3	7.1	7.9	63.6	4.3
	男性・60歳～64歳	84	3.6	13.1	4.8	11.9	63.1	8.3
	男性・65歳～69歳	86	2.3	3.5	3.5	2.3	73.3	15.1
	男性・70歳以上	147	6.1	12.2	8.2	8.8	42.9	23.1
	女性(計)	857	12.3	2.3	8.4	3.0	65.0	9.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	7.3	2.4	17.1	7.3	68.3	2.4
	女性・30歳～39歳	91	11.0	4.4	11.0	3.3	69.2	2.2
	女性・40歳～49歳	164	20.7	3.0	12.2	2.4	56.7	6.1
	女性・50歳～59歳	173	12.1	0.0	7.5	1.7	74.0	5.2
	女性・60歳～64歳	102	17.6	1.0	11.8	2.0	62.7	5.9
	女性・65歳～69歳	111	4.5	3.6	5.4	3.6	74.8	8.1
	女性・70歳以上	175	8.0	2.9	2.3	4.0	56.0	27.4
無回答		7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「40歳～49歳」で唯一2割を超えている。「友達などがされているのを見聞きしたことがある」では、男性の「20歳～29歳」で唯一2割を超えている。

何を言っても長時間無視し続ける



【全体】「どちらにもあてはまらない」を除くと、「したことがある」が6.9%と最も高く、次いで「されたことがある」(5.1%)となっている。

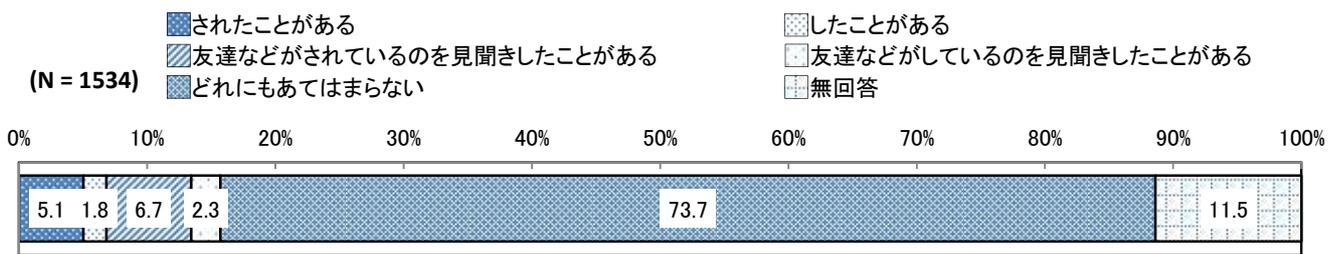


【性別】「したことがある」では、男性(9.3%)が女性(5.1%)より4.2ポイント高くなっている。一方で、「されたことがある」は、女性(5.6%)が男性(4.5%)より1.1ポイント高くなっている。

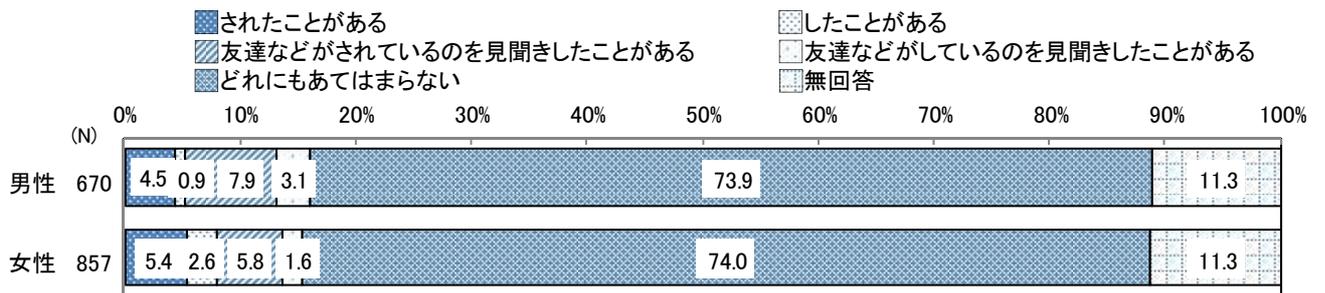
	全体	何を言っても長時間無視し続ける						
		されたことがある	したことがある	友達がされているのを見聞きしたことがある	友達がしているのを見聞きしたことがある	どちらにもあてはまらない	無回答	
全体	1534	5.1	6.9	3.7	3.7	71.6	11.1	
性・年齢別	男性(計)	670	4.5	9.3	4.9	5.1	68.2	11.5
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	10.5	0.0	84.2	5.3
	男性・30歳～39歳	77	14.3	3.9	7.8	5.2	68.8	7.8
	男性・40歳～49歳	92	6.5	9.8	8.7	9.8	69.6	8.7
	男性・50歳～59歳	140	5.7	15.0	2.9	7.9	67.1	2.9
	男性・60歳～64歳	84	1.2	13.1	3.6	1.2	72.6	10.7
	男性・65歳～69歳	86	2.3	2.3	0.0	7.0	73.3	15.1
	男性・70歳以上	147	1.4	10.9	5.4	2.0	57.1	23.8
	女性(計)	857	5.6	5.1	2.8	2.6	74.4	10.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	9.8	2.4	12.2	75.6	2.4
	女性・30歳～39歳	91	3.3	0.0	1.1	0.0	93.4	2.2
	女性・40歳～49歳	164	7.9	4.9	3.7	1.2	77.4	4.9
	女性・50歳～59歳	173	8.7	3.5	4.0	2.3	77.5	6.9
	女性・60歳～64歳	102	6.9	10.8	2.9	2.9	69.6	8.8
	女性・65歳～69歳	111	3.6	2.7	0.0	1.8	82.0	9.9
	女性・70歳以上	175	3.4	6.9	3.4	3.4	56.6	26.9
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】「されたことがある」は、全体的には女性が男性よりも高いが、男性の「30歳～39歳」(14.3%)では唯一1割を超え、女性の「30歳～39歳」(3.3%)よりも高くなっている。

携帯のチェック、友達つきあいの制限



【全体】「どちらにもあてはまらない」を除くと、「友達などがされているのを見聞きしたことがある」が6.7%と最も高く、次いで「されたことがある」(5.1%)となっている。

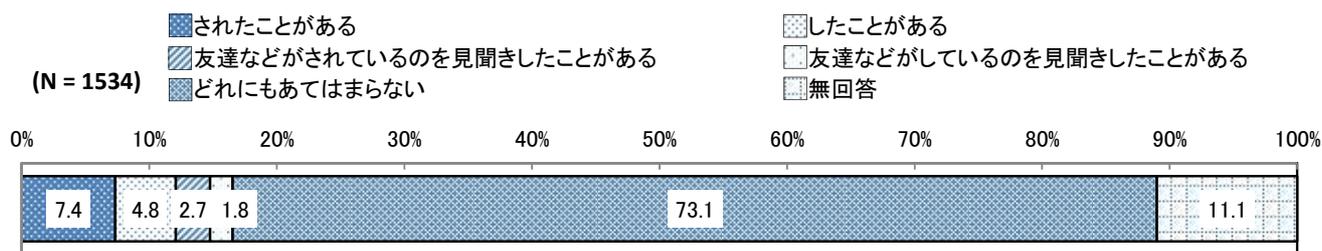


【性別】男女に大きな差はみられない。

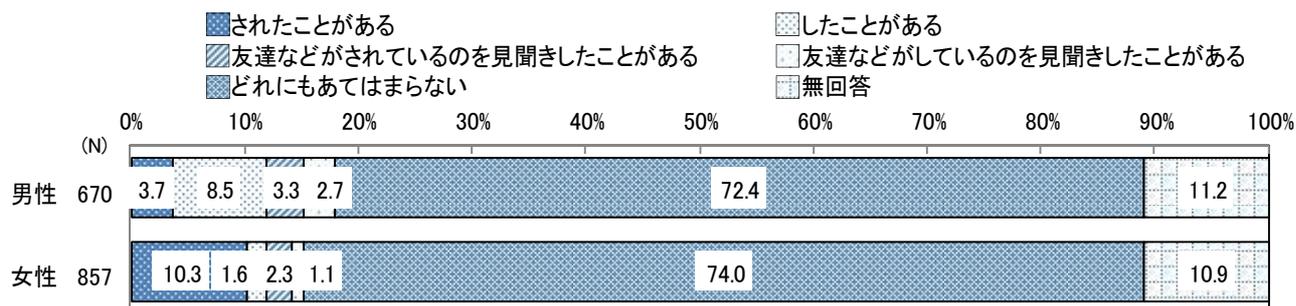
	全体	携帯のチェック、友達つきあいの制限					
		されたことがある	したことがある	友達などがされているのを見聞きしたことがある	友達などがしているのを見聞きしたことがある	どちらにもあてはまらない	無回答
全体	1534	5.1	1.8	6.7	2.3	73.7	11.5
男性(計)	670	4.5	0.9	7.9	3.1	73.9	11.3
男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性・20歳～29歳	38	5.3	0.0	23.7	5.3	60.5	10.5
男性・30歳～39歳	77	9.1	0.0	23.4	5.2	59.7	6.5
男性・40歳～49歳	92	10.9	1.1	13.0	6.5	66.3	6.5
男性・50歳～59歳	140	4.3	2.1	5.0	2.9	84.3	2.1
男性・60歳～64歳	84	1.2	0.0	3.6	1.2	84.5	10.7
男性・65歳～69歳	86	0.0	2.3	0.0	0.0	82.6	15.1
男性・70歳以上	147	2.7	0.0	2.7	2.7	67.3	24.5
女性(計)	857	5.4	2.6	5.8	1.6	74.0	11.3
女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳～29歳	41	4.9	0.0	19.5	0.0	73.2	2.4
女性・30歳～39歳	91	14.3	8.8	6.6	1.1	67.0	3.3
女性・40歳～49歳	164	9.1	5.5	9.1	3.0	68.9	7.3
女性・50歳～59歳	173	4.0	1.2	4.6	1.2	83.2	5.8
女性・60歳～64歳	102	2.9	0.0	5.9	2.0	80.4	8.8
女性・65歳～69歳	111	1.8	1.8	2.7	1.8	82.0	9.9
女性・70歳以上	175	2.3	0.6	2.3	1.1	64.6	29.1
無回答	7	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9

【性別・年齢別】「されたことがある」は、男性は「40歳～49歳」で、女性は「30歳～39歳」で唯一1割を超え最も高くなっている。「友達などがされているのを見聞きしたことがある」では、男性の「20歳～29歳」と「30歳～39歳」、女性の「20歳～29歳」で約2割となっている。

二人のことも勝手に一人で決める



【全 体】「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が 7.4%と最も高く、次いで「したことがある」(4.8%) となっている。

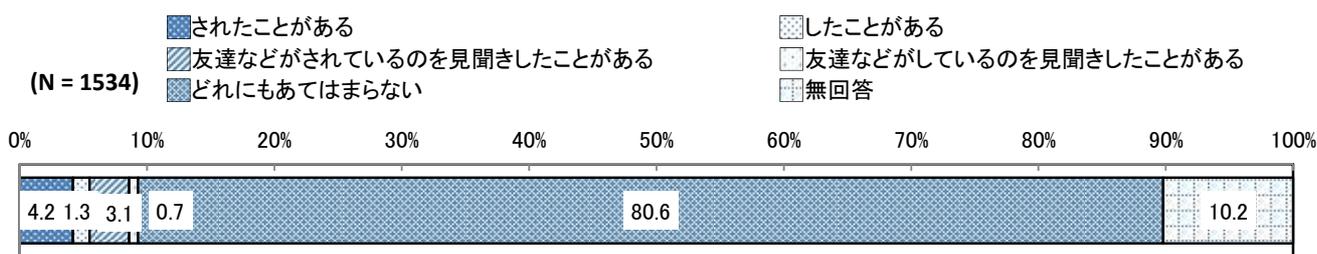


【性 別】「したことがある」では、男性 (8.5%) が女性 (1.6%) より 6.9 ポイント高くなっている。一方で、「されたことがある」は、女性 (10.3%) が男性 (3.7%) より 6.6 ポイント高くなっている。

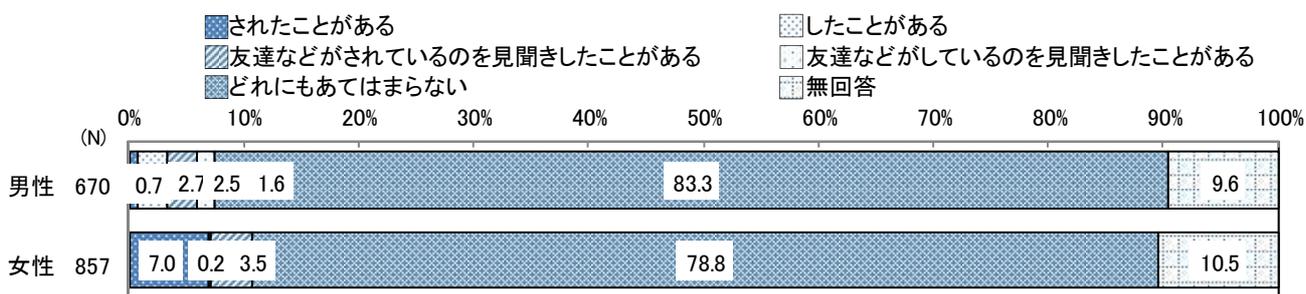
	全 体	二人のことも勝手に一人で決める					無回答
		されたことがある	したことがある	友達などがされているのを見聞きしたことがある	友達などがしているのを見聞きしたことがある	どれにもあてはまらない	
全 体	1534	7.4	4.8	2.7	1.8	73.1	11.1
性・年齢別							
男性(計)	670	3.7	8.5	3.3	2.7	72.4	11.2
男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性・20歳～29歳	38	2.6	0.0	10.5	7.9	76.3	7.9
男性・30歳～39歳	77	3.9	2.6	10.4	6.5	74.0	5.2
男性・40歳～49歳	92	5.4	7.6	5.4	3.3	76.1	6.5
男性・50歳～59歳	140	8.6	8.6	2.9	1.4	77.1	2.9
男性・60歳～64歳	84	2.4	9.5	1.2	3.6	75.0	10.7
男性・65歳～69歳	86	0.0	2.3	0.0	2.3	80.2	15.1
男性・70歳以上	147	1.4	17.7	0.0	0.0	56.5	24.5
女性(計)	857	10.3	1.6	2.3	1.1	74.0	10.9
女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳～29歳	41	7.3	0.0	4.9	4.9	80.5	2.4
女性・30歳～39歳	91	6.6	0.0	0.0	0.0	91.2	2.2
女性・40歳～49歳	164	14.0	1.2	4.3	0.6	75.0	5.5
女性・50歳～59歳	173	12.1	0.0	1.7	0.0	81.5	4.6
女性・60歳～64歳	102	9.8	2.9	2.0	2.0	72.5	10.8
女性・65歳～69歳	111	8.1	3.6	1.8	0.0	74.8	11.7
女性・70歳以上	175	9.1	2.9	2.3	2.3	55.4	28.0
無回答	7	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	42.9

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「40歳～49歳」(14.0%) で最も高くなっている。「したことがある」では、男性の「70歳以上」(17.7%) で突出して高くなっている。

性的な行為を無理強いする



【全 体】「どれにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が 4.2%と最も高く、次いで「友達などがされているのを見聞きしたことがある」(3.1%)となっている。

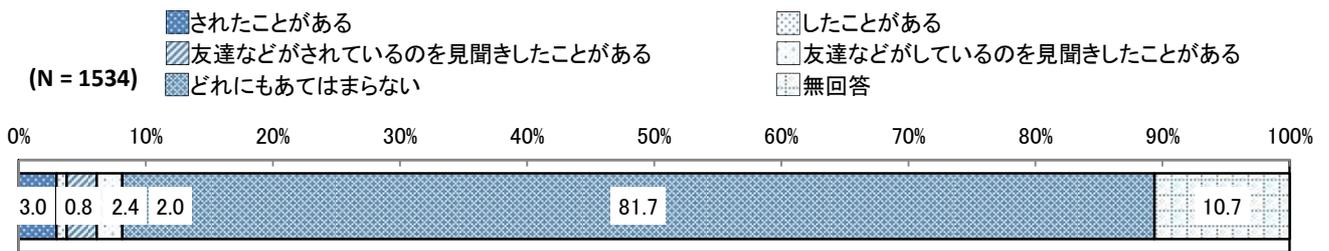


【性 別】「したことがある」では、男性 (2.7%) が女性 (0.2%) より 2.5 ポイント高くなっている。一方で、「されたことがある」は、女性 (7.0%) が男性 (0.7%) より 6.3 ポイント高くなっている。

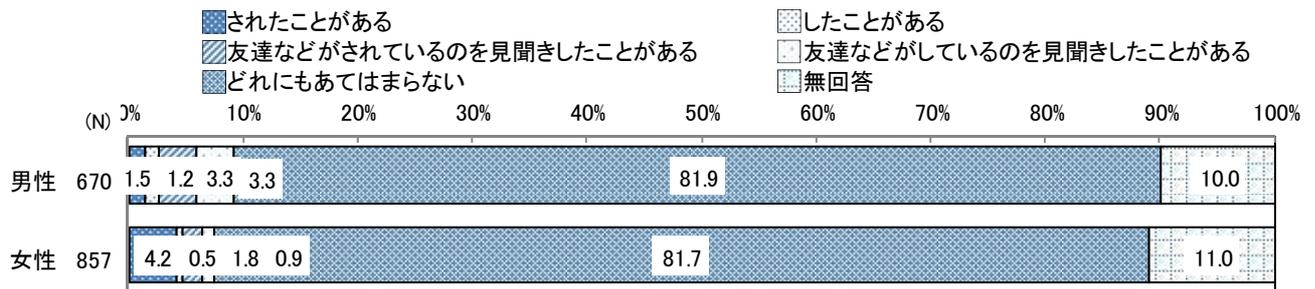
	全 体	性的な行為を無理強いする					
		されたことがある	したことがある	友達などがされているのを見聞きしたことがある	友達などがしているのを見聞きしたことがある	どれにもあてはまらない	無回答
全 体	1534	4.2	1.3	3.1	0.7	80.6	10.2
性・年齢別							
男性(計)	670	0.7	2.7	2.5	1.6	83.3	9.6
男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性・20歳～29歳	38	2.6	0.0	5.3	0.0	86.8	5.3
男性・30歳～39歳	77	0.0	2.6	9.1	1.3	84.4	3.9
男性・40歳～49歳	92	0.0	6.5	1.1	3.3	87.0	3.3
男性・50歳～59歳	140	1.4	2.9	1.4	1.4	91.4	1.4
男性・60歳～64歳	84	0.0	2.4	1.2	3.6	83.3	10.7
男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	2.3	82.6	15.1
男性・70歳以上	147	1.4	2.7	2.7	0.0	71.4	21.8
女性(計)	857	7.0	0.2	3.5	0.0	78.8	10.5
女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	97.6	2.4
女性・30歳～39歳	91	8.8	0.0	2.2	0.0	86.8	2.2
女性・40歳～49歳	164	12.8	0.0	6.1	0.0	76.2	4.9
女性・50歳～59歳	173	8.1	0.0	4.0	0.0	83.2	4.6
女性・60歳～64歳	102	3.9	0.0	2.0	0.0	83.3	10.8
女性・65歳～69歳	111	3.6	1.8	2.7	0.0	82.0	9.9
女性・70歳以上	175	5.1	0.0	3.4	0.0	63.4	28.0
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「40歳～49歳」で唯一1割を超えている。

デートの費用等、お金をせびる



【全 体】「どちらにもあてはまらない」を除くと、「されたことがある」が 3.0%と最も高く、次いで「友などがされているのを見聞きしたことがある」(2.4%) となっている。

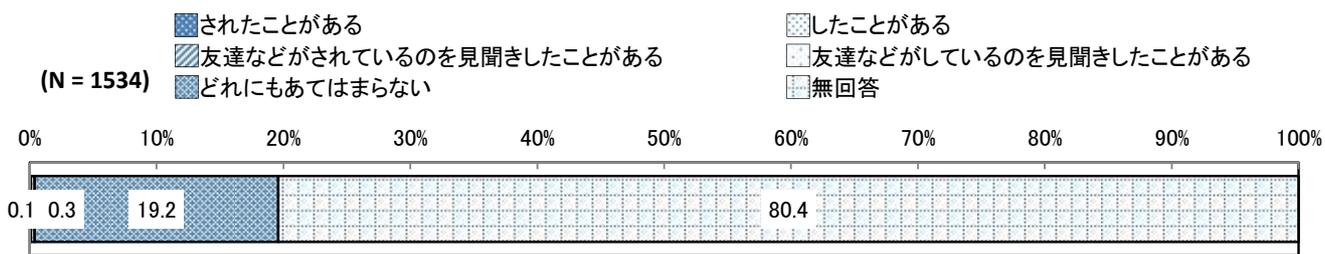


【性 別】「したことがある」では男女の差はみられない。一方で、「されたことがある」は、女性 (4.2%) が男性 (1.5%) より 2.7 ポイント高くなっている。

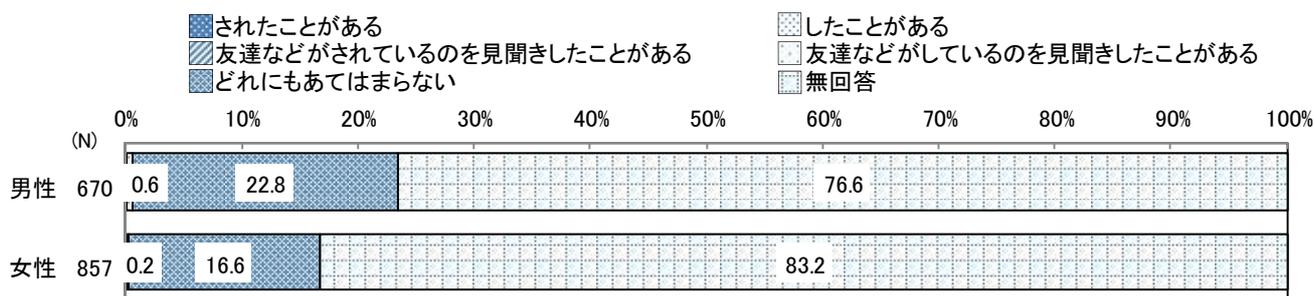
	全 体	デートの費用等、お金をせびる					無回答	
		されたことが ある	したことが ある	友などが されているの を見聞きした ことがある	友などが しているのを 見聞きした ことがある	どちらにもあて はまらない		
全 体	1534	3.0	0.8	2.4	2.0	81.7	10.7	
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	1.5	1.2	3.3	3.3	81.9	10.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	2.6	0.0	7.9	2.6	84.2	7.9
	男性・30歳～39歳	77	5.2	0.0	10.4	5.2	76.6	5.2
	男性・40歳～49歳	92	1.1	2.2	6.5	6.5	80.4	6.5
	男性・50歳～59歳	140	1.4	2.9	0.7	3.6	90.0	2.1
	男性・60歳～64歳	84	0.0	2.4	4.8	2.4	83.3	7.1
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	2.3	82.6	15.1
	男性・70歳以上	147	1.4	0.0	0.0	1.4	75.5	21.8
	女性(計)	857	4.2	0.5	1.8	0.9	81.7	11.0
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	2.4	0.0	0.0	4.9	90.2	2.4
	女性・30歳～39歳	91	13.2	0.0	3.3	0.0	81.3	2.2
	女性・40歳～49歳	164	9.8	0.0	2.4	0.0	82.9	4.9
	女性・50歳～59歳	173	0.6	0.0	3.5	0.0	91.3	4.6
	女性・60歳～64歳	102	2.0	0.0	0.0	2.0	85.3	10.8
	女性・65歳～69歳	111	0.9	3.6	0.0	1.8	82.0	11.7
女性・70歳以上	175	1.7	0.0	1.1	1.1	66.9	29.1	
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9	

【性・年齢別】「されたことがある」は、女性の「30歳～39歳」で唯一1割を超えている。

その他



【全 体】「どれにもあてはまらない」を除くと、「したことがある」(0.3%)、「されたことがある」(0.1%)となっている。

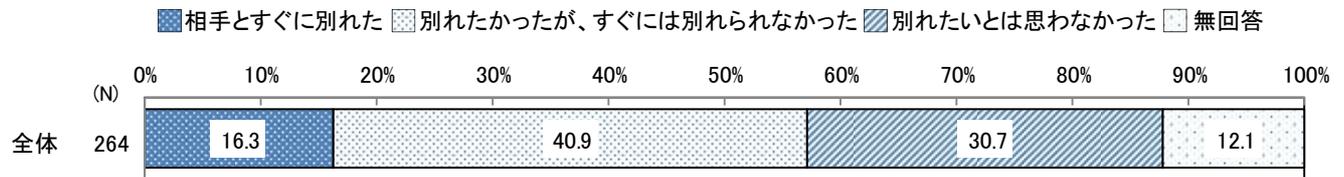


【性 別】男女に大きな差はみられない。

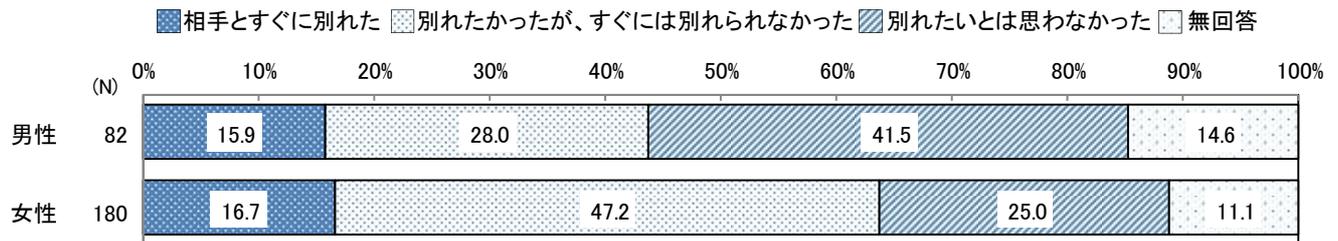
	全 体	その他					無回答	
		されたことが ある	したことが ある	友達などが されているの を見聞きした ことがある	友達などが しているのを 見聞きした ことがある	どれにもあて はまらない		
全 体	1534	0.1	0.3	0.0	0.0	19.2	80.4	
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	0.0	0.6	0.0	0.0	22.8	76.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	73.7
	男性・30歳～39歳	77	0.0	0.0	0.0	0.0	35.1	64.9
	男性・40歳～49歳	92	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	63.0
	男性・50歳～59歳	140	0.0	1.4	0.0	0.0	27.9	70.7
	男性・60歳～64歳	84	0.0	2.4	0.0	0.0	11.9	85.7
	男性・65歳～69歳	86	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3	83.7
	男性・70歳以上	147	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	89.8
	女性(計)	857	0.2	0.0	0.0	0.0	16.6	83.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	0.0	0.0	0.0	26.8	73.2
	女性・30歳～39歳	91	0.0	0.0	0.0	0.0	25.3	74.7
	女性・40歳～49歳	164	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7	79.3
	女性・50歳～59歳	173	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	83.8
	女性・60歳～64歳	102	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	82.4
	女性・65歳～69歳	111	1.8	0.0	0.0	0.0	5.4	92.8
	女性・70歳以上	175	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	87.4
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【性・年齢別】「されたことがある」は女性の「65歳～69歳」で、「したことがある」は男性の「50歳～59歳」と「60歳～64歳」でのみ回答があった。

(問22で「されたことがある」と答えた方が回答)
 問22-1 問22のような行為や経験をしたあと、あなたはどうしましたか。(〇は1つ)



【全体】「別れたかったが、すぐには別れられなかった」が40.9%と最も高く、次いで「別れたいとは思わなかった」(30.7%)、「相手とすぐに別れた」(16.3%)となっている。



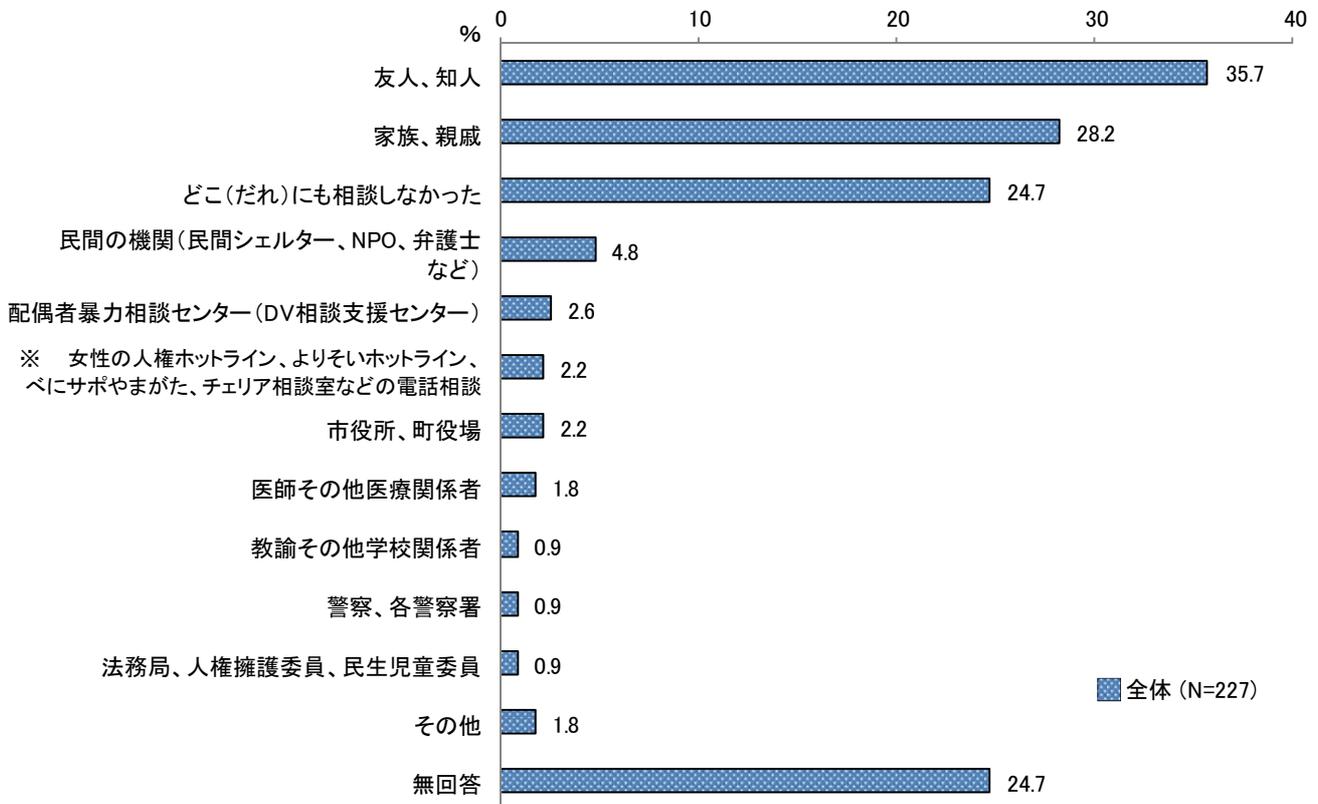
【性別】男性は「別れたいとは思わなかった」(41.5%)が最も高いのに対し、女性は「別れたかったが、すぐには別れられなかった」(47.2%)が最も高くなっている。

	全体	問22のような経験のあとにした行動				
		相手とすぐに別れた	別れたかったが、すぐには別れられなかった	別れたいとは思わなかった	無回答	
全体	264	16.3	40.9	30.7	12.1	
性・年齢別	男性(計)	82	15.9	28.0	41.5	14.6
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	4	25.0	25.0	0.0	50.0
	男性・30歳～39歳	12	0.0	66.7	16.7	16.7
	男性・40歳～49歳	18	11.1	22.2	66.7	0.0
	男性・50歳～59歳	24	25.0	16.7	58.3	0.0
	男性・60歳～64歳	5	40.0	40.0	20.0	0.0
	男性・65歳～69歳	5	40.0	0.0	20.0	40.0
	男性・70歳以上	14	0.0	28.6	28.6	42.9
	女性(計)	180	16.7	47.2	25.0	11.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	7	28.6	28.6	42.9	0.0
	女性・30歳～39歳	21	19.0	61.9	19.0	0.0
	女性・40歳～49歳	45	13.3	62.2	15.6	8.9
	女性・50歳～59歳	41	17.1	41.5	31.7	9.8
	女性・60歳～64歳	23	17.4	43.5	21.7	17.4
	女性・65歳～69歳	11	9.1	54.5	18.2	18.2
女性・70歳以上	32	18.8	28.1	34.4	18.8	
無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	

【性・年齢別】「別れたかったが、すぐには別れられなかった」は、全体的には女性の方が男性よりも高いが、男性の「30歳～39歳」(66.7%)では女性の「30歳～39歳」(61.9%)より高くなっている。

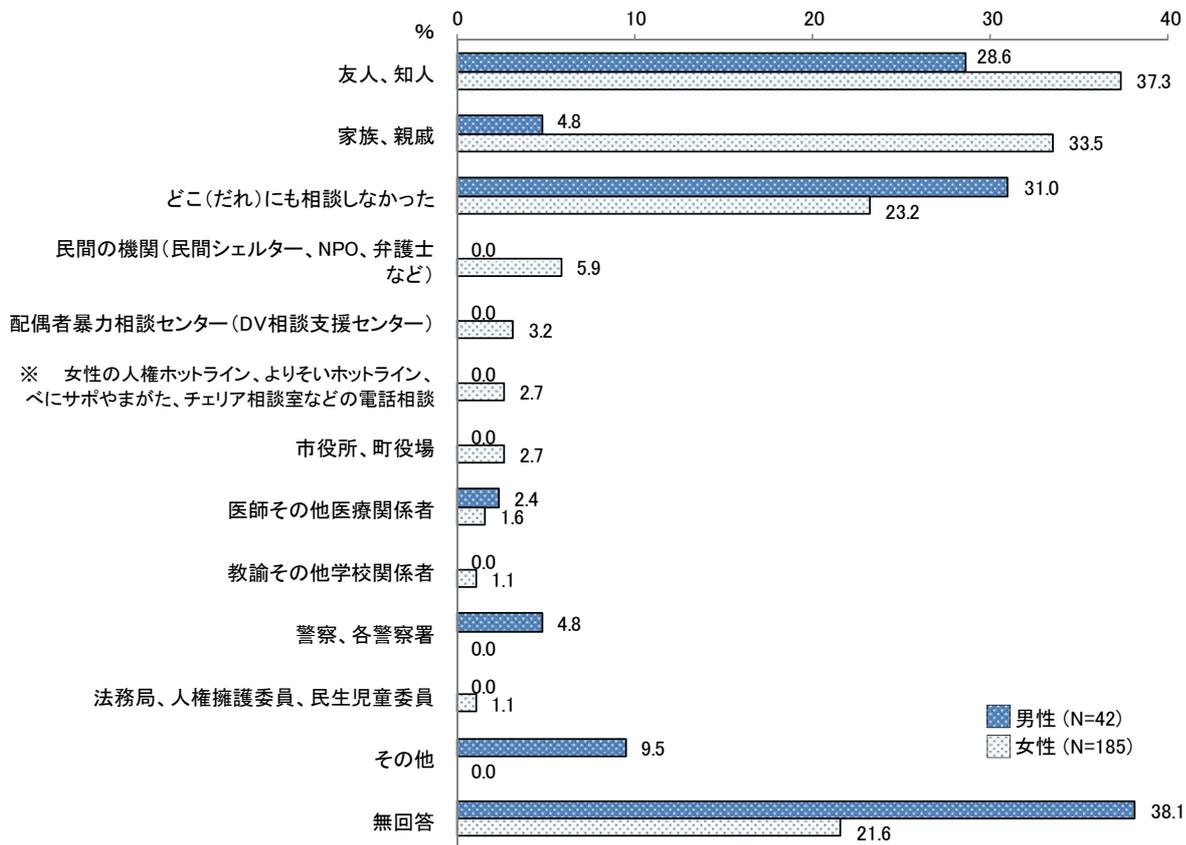
(23) DVを受けたときの相談先について

(問21で「何回もされた」「1、2回された」、問22で「されたことがある」と1つでも答えた方が回答)
 問23 あなたはこれまでに、問21や問22であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はあてはまるものすべて)



※「女性の人権ホットライン(法務省)、よりそいホットライン(厚生労働省)、べにサポやまがた(県性暴力被害者相談電話)、チェリア相談室(県男女共同参画センター)などの電話相談」を省略して記載している。(以下同様)

【全体】「DVをされたことがある」と回答した人の相談先については、「友人、知人」が35.7%と最も高く、次いで「家族、親戚」が28.2%となっている。一方で、「どこ(だれ)にも相談しなかった」も24.7%となっている。

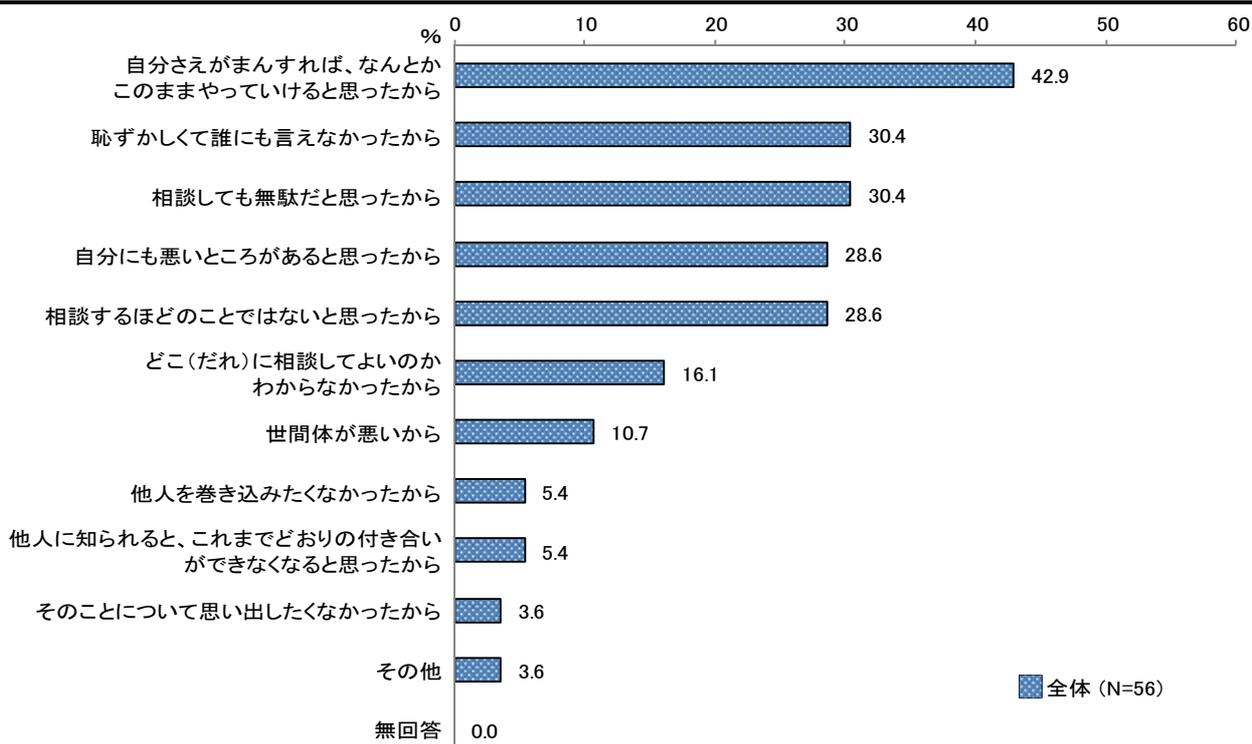


【性別】男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった」が31.0%と最も高く、次いで「友人、知人」(28.6%)、「家族、親戚」及び「警察、各警察署」(4.8%)となっている。女性は「友人、知人」が37.3%と最も高く、次いで「家族、親戚」(33.5%)、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(23.2%)となっている。

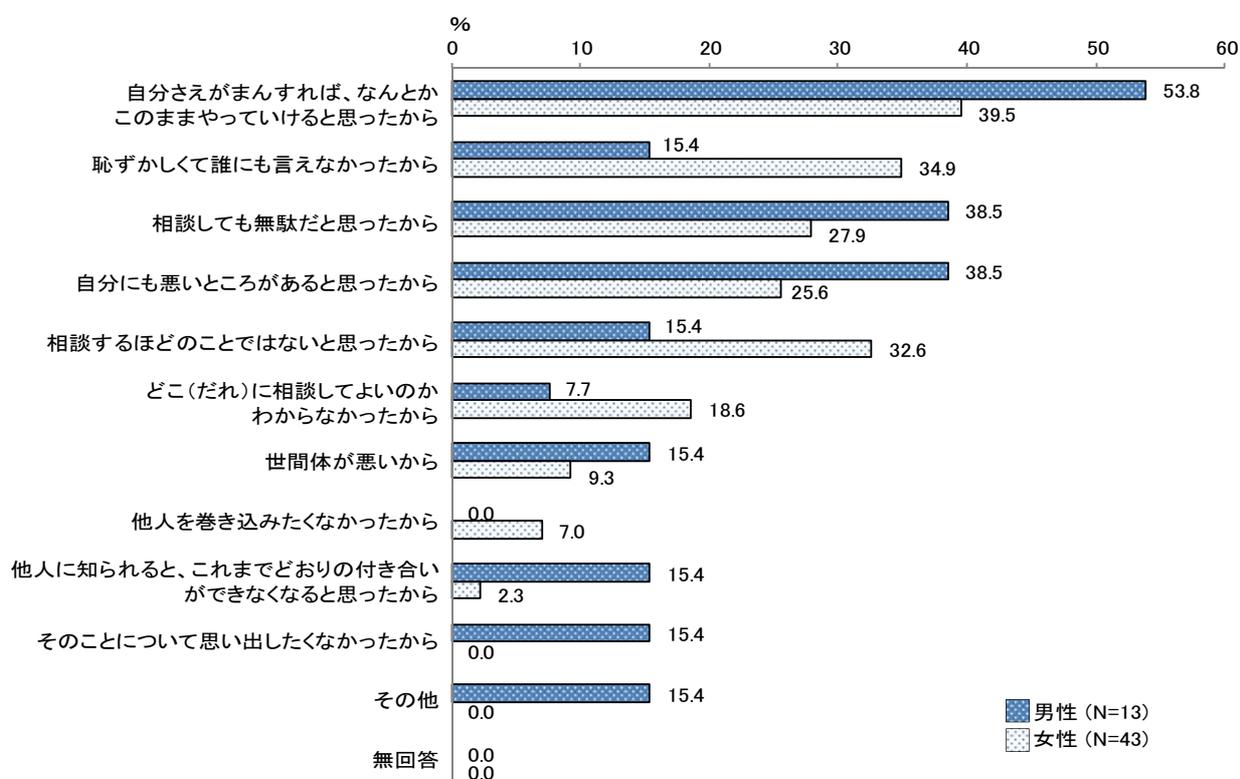
	全体	配偶者や恋人からの行為の相談について													
		友人、知人	家族、親戚	教諭その他学校関係者	医師その他医療関係者	※ 女性の人権ホットラインなど	民間の機関(NPO、弁護士など)	配偶者暴力相談センター(DV相談支援センター)	市役所、町役場	警察、各警察署	法務局、人権擁護委員、民生児童委員	どこ(だれ)にも相談しなかった	その他	無回答	
全体	227	35.7	28.2	0.9	1.8	2.2	4.8	2.6	2.2	0.9	0.9	24.7	1.8	24.7	
性・年齢別	男性(計)	42	28.6	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	31.0	9.5	38.1	
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性・30歳～39歳	8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	男性・40歳～49歳	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	
	男性・50歳～59歳	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	
	男性・60歳～64歳	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	
	男性・65歳～69歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	男性・70歳以上	6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	
	女性(計)	185	37.3	33.5	1.1	1.6	2.7	5.9	3.2	2.7	0.0	1.1	23.2	0.0	21.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・20歳～29歳	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	女性・30歳～39歳	21	42.9	47.6	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	4.8	
	女性・40歳～49歳	37	51.4	35.1	0.0	2.7	5.4	8.1	0.0	8.1	0.0	24.3	0.0	10.8	
	女性・50歳～59歳	51	39.2	23.5	0.0	0.0	0.0	7.8	3.9	3.9	0.0	23.5	0.0	25.5	
	女性・60歳～64歳	29	31.0	62.1	6.9	6.9	3.4	6.9	6.9	0.0	0.0	10.3	0.0	20.7	
	女性・65歳～69歳	15	13.3	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	60.0	
女性・70歳以上	28	28.6	17.9	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	25.0		
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【性・年齢別】「友人、知人」や「家族、親戚」といった身近な人への相談は、すべての年齢層で女性の方が男性よりも高くなっている。「どこ(だれ)にも相談しなかった」では、男性の「50歳～59歳」(40.0%)で最も高くなっている。また、「警察、各警察署」では女性の回答がなかった。

(問23で「11. どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方が回答)
 問23-1 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(〇はあてはまるものすべて)



【全体】どこ(だれ)にも相談しなかった理由については、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が42.9%と最も高く、次いで「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」及び「相談しても無駄だと思ったから」(30.4%)となっている。



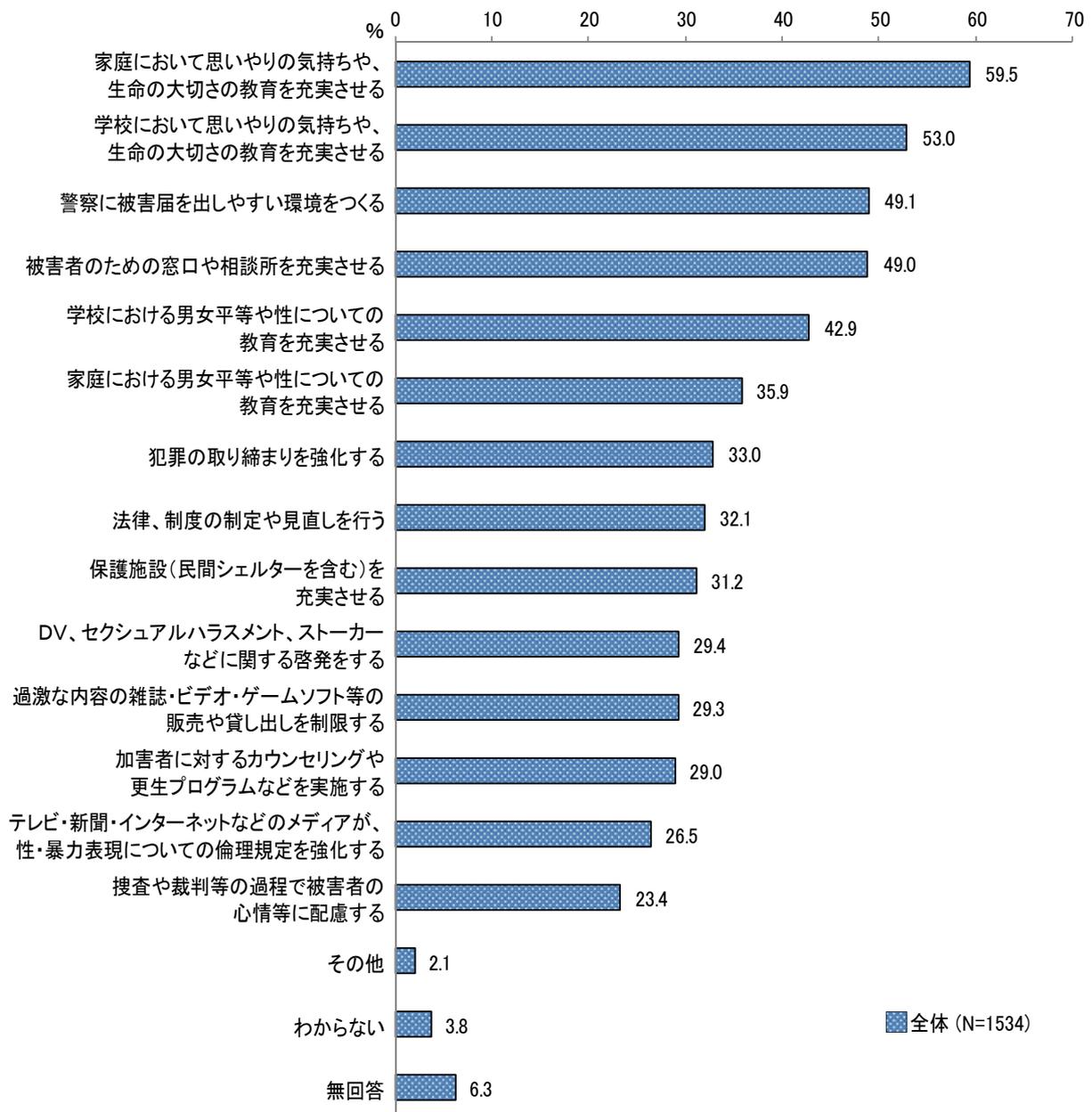
【性別】男性は「自分さえがまんすれば、なんとかこのままでやっていけると思った」が53.8%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」及び「自分にも悪いところがあると思った」(38.5%)となっている。女性は「自分さえがまんすれば、なんとかこのままでやっていけると思った」が39.5%と最も高く、次いで「恥ずかしくて誰にも言えなかった」(34.9%)、「相談するほどのことではないと思った」(32.6%)となっている。

	全体	誰にも相談しなかった理由											
		わからなかつたから	どこ(だれ)に相談してよいのか	恥ずかしくて誰にも言えなかつたから	相談しても無駄だと思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままでやっていると	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかつたから	他人に知られると、これまでどおりのができない(仕事や学校などの人間関係)	なかつたから	そのことについて思い出したく	自分にも悪いところがあると	相談するほどのことではないと
全体	56	16.1	30.4	30.4	42.9	10.7	5.4	5.4	3.6	28.6	28.6	3.6	0.0
性・年齢別	男性(計)	13	7.7	15.4	38.5	53.8	15.4	0.0	15.4	15.4	38.5	15.4	0.0
	男性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・30歳～39歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	男性・40歳～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・50歳～59歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	男性・60歳～64歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	男性・65歳～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性・70歳以上	4	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	女性(計)	43	18.6	34.9	27.9	39.5	9.3	7.0	2.3	0.0	25.6	32.6	0.0
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	女性・30歳～39歳	7	0.0	71.4	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
	女性・40歳～49歳	9	66.7	44.4	22.2	55.6	0.0	33.3	11.1	0.0	33.3	44.4	0.0
	女性・50歳～59歳	12	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	女性・60歳～64歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	女性・65歳～69歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性・70歳以上	8	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

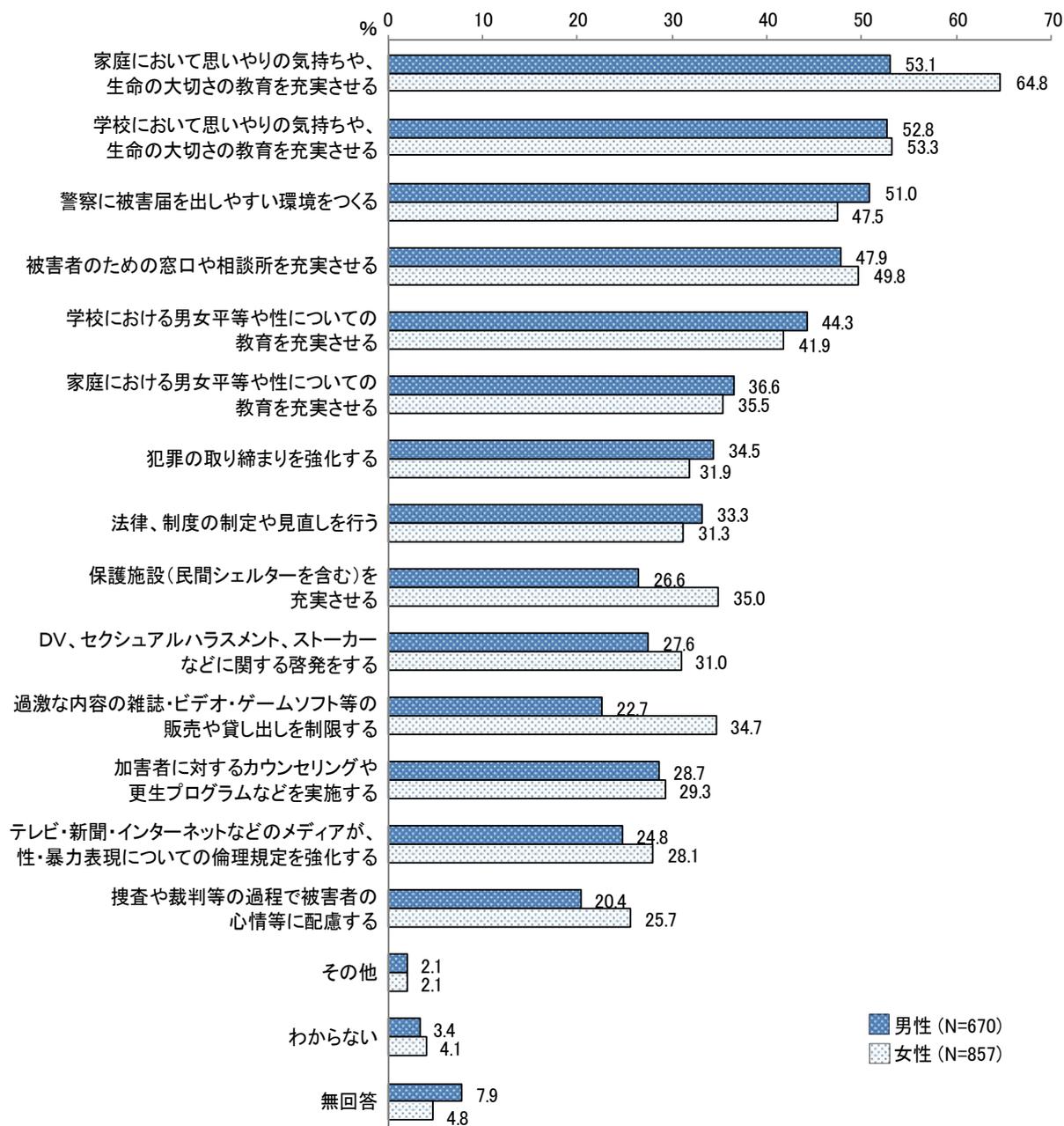
【性・年齢別】女性の「50歳～59歳」の回答者数が唯一10人を超えており、誰にも相談しなかった理由としては「自分さえがまんすれば、なんとかこのままでやっていると」が50.0%と最も高くなっている。

(24) DV等をなくすための対応について

問24 デートDV(交際相手からの暴力)、DV(配偶者等からの暴力)、セクシュアルハラスメント、ストーカー、性暴力などの行為が社会問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



【全体】DV等をなくすための対応については、「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」が59.5%と最も高く、次いで「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」(53.0%)、「警察に被害届を出しやすい環境をつくる」(49.1%)、「被害者のための窓口や相談所を充実させる」(49.0%)となっている。



【性別】男女ともに「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」が最も高く、次いで「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」となっている。最も差がみられたのは、「過激な内容の雑誌・ビデオ・ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限する」で、女性（34.7%）が男性（22.7%）より12.0ポイント高くなっている。

	全体	社会問題になっている行為を予防し、なくすための対策について																	
		家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	学校における男女平等や性についての教育を充実させる	家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる	学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる	DV、セクシュアルハラスメント、ストーカーなどに関する啓発をする	被害者のための窓口や相談所を充実させる	保護施設（民間シェルターを含む）を充実させる	加害者に対するカウンセリングや更生プログラムなどを実施する	警察に被害届を出しやすい環境をつくる	捜査や裁判等の過程で被害者の心情等に配慮する	法律、制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	過激な内容の雑誌・ビデオ・ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限する	暴力表現についての倫理規定を強化する	テレビ・新聞・インターネットなどのメディアが、性・	その他	わからない	無回答
全体	1534	35.9	42.9	59.5	53.0	29.4	49.0	31.2	29.0	49.1	23.4	32.1	33.0	29.3	26.5	2.1	3.8	6.3	
性・年齢別	男性(計)	670	36.6	44.3	53.1	52.8	27.6	47.9	26.6	28.7	51.0	20.4	33.3	34.5	22.7	24.8	2.1	3.4	7.9
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	34.2	42.1	42.1	42.1	28.9	42.1	18.4	26.3	60.5	18.4	50.0	57.9	15.8	18.4	13.2	5.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	33.8	39.0	48.1	55.8	32.5	57.1	36.4	31.2	75.3	27.3	55.8	48.1	14.3	9.1	2.6	5.2	0.0
	男性・40歳～49歳	92	54.3	53.3	58.7	53.3	35.9	52.2	31.5	42.4	48.9	21.7	33.7	30.4	8.7	17.4	2.2	2.2	2.2
	男性・50歳～59歳	140	28.6	41.4	54.3	44.3	30.7	53.6	27.1	34.3	57.1	20.0	37.1	35.7	31.4	25.7	0.7	2.9	0.0
	男性・60歳～64歳	84	40.5	61.9	56.0	54.8	32.1	50.0	27.4	20.2	50.0	23.8	33.3	31.0	28.6	29.8	2.4	3.6	7.1
	男性・65歳～69歳	86	39.5	40.7	52.3	55.8	27.9	38.4	31.4	30.2	38.4	20.9	17.4	32.6	23.3	37.2	0.0	4.7	18.6
	男性・70歳以上	147	32.7	37.4	53.7	58.5	13.6	40.1	16.3	16.3	38.8	15.6	21.1	24.5	26.5	29.3	0.0	2.7	18.4
	女性(計)	857	35.5	41.9	64.8	53.3	31.0	49.8	35.0	29.3	47.5	25.7	31.3	31.9	34.7	28.1	2.1	4.1	4.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	56.1	56.1	68.3	61.0	53.7	63.4	46.3	48.8	75.6	31.7	41.5	24.4	24.4	24.4	0.0	4.9	2.4
	女性・30歳～39歳	91	35.2	50.5	52.7	35.2	30.8	29.7	28.6	25.3	49.5	28.6	33.0	42.9	25.3	26.4	3.3	6.6	0.0
	女性・40歳～49歳	164	36.6	45.7	56.7	56.1	36.6	53.0	51.2	29.9	49.4	29.9	41.5	40.2	38.4	32.3	1.2	4.3	2.4
	女性・50歳～59歳	173	31.2	31.8	67.1	49.7	25.4	53.2	32.9	31.8	54.3	31.2	33.5	32.9	24.9	17.9	1.2	4.6	1.7
	女性・60歳～64歳	102	41.2	46.1	74.5	56.9	35.3	74.5	43.1	28.4	54.9	33.3	35.3	33.3	32.4	28.4	3.9	2.0	2.0
	女性・65歳～69歳	111	43.2	45.9	73.0	60.4	33.3	45.0	27.9	33.3	39.6	18.9	23.4	23.4	41.4	33.3	3.6	1.8	7.2
女性・70歳以上	175	25.7	35.4	64.6	55.4	22.3	39.4	22.3	21.7	32.0	13.1	18.9	23.4	45.1	32.6	1.7	4.6	13.1	
無回答	7	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	57.1	0.0	28.6	57.1	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	

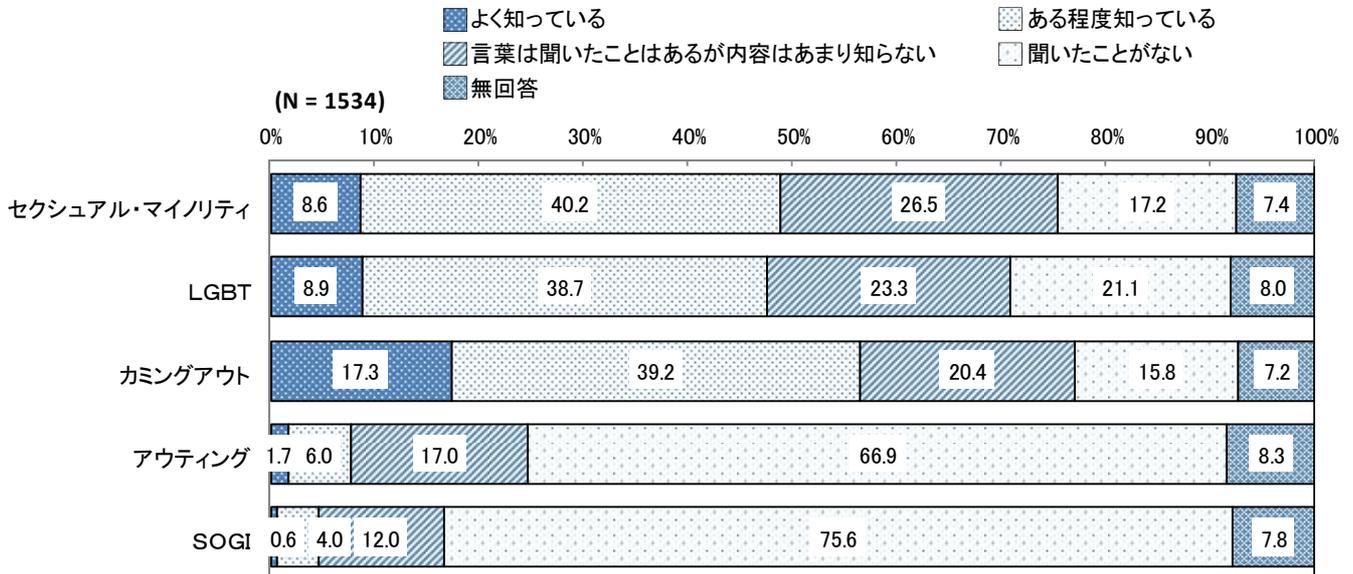
【性・年齢別】「家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」については、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

「学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育を充実させる」については、「30歳～39歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

6. LGBT 等性的少数者について

(25) 性的少数者に関する用語の知識について

問 2 5 あなたは、次の言葉と意味について、知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)



【全 体】LGBT等性的少数者に関する用語の認知度については、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』は、「カミングアウト」が56.5%と最も高く、次いで「セクシュアル・マイノリティ」(48.8%)、「LGBT」(47.6%)となっている。一方で、「アウティング」は7.7%、「SOGI」は4.6%と認知度は低くなっている。

【セクシュアル・マイノリティ】

同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーやその他の多様な性自認や性的指向を持つ人

【LGBT】

L (レズビアン：女性の同性愛者)、G (ゲイ：男性の同性愛者)、B (バイセクシュアル：両性愛者)、T (トランスジェンダー：身体的性と性自認の不一致に対する違和など)の頭文字を合わせた言葉

【カミングアウト】

今まで公にしていなかった自らの性的指向等を表明すること

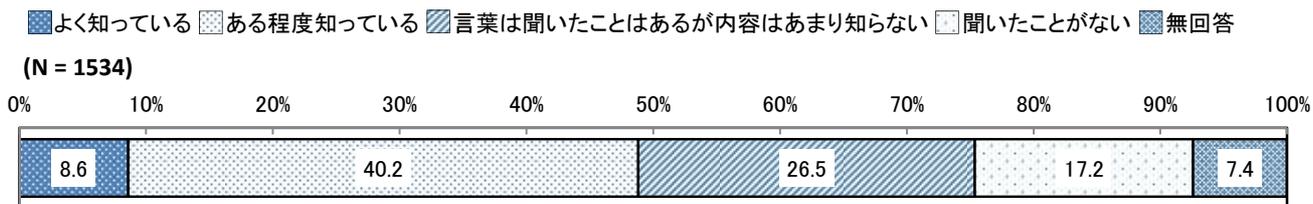
【アウティング】

本人の了解を得ずに、公にしていない性的指向等の秘密を暴露すること

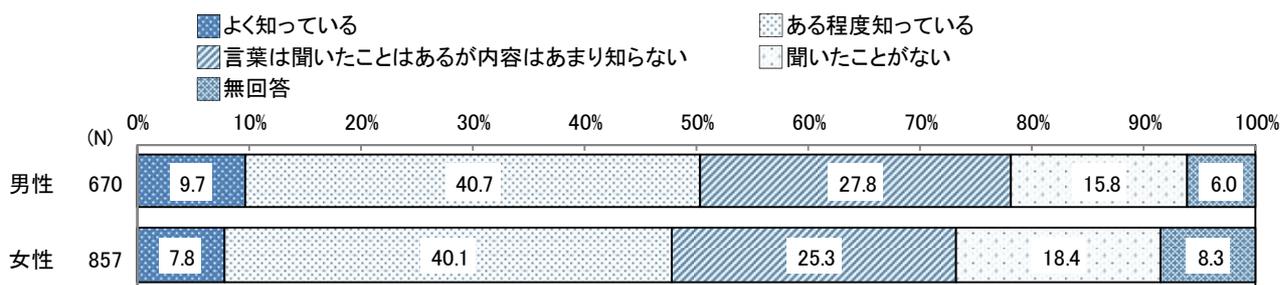
【SOGI】

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字を合わせた言葉

セクシュアル・マイノリティ（性的少数者、性的マイノリティ）



【全体】「ある程度知っている」が 40.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない」が 26.5%、「聞いたことがない」が 17.2%となっている。



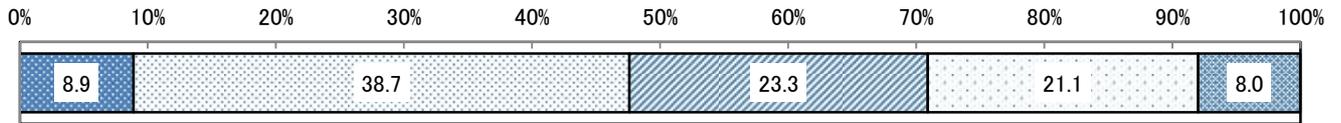
【性別】男女で大きな差はみられない。

	全体	セクシュアル・マイノリティの知識					
		よく知っている	ある程度知っている	言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない	聞いたことがない	無回答	
全体	1534	8.6	40.2	26.5	17.2	7.4	
性・年齢別	男性(計)	670	9.7	40.7	27.8	15.8	6.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	23.7	44.7	23.7	2.6	5.3
	男性・30歳～39歳	77	6.5	55.8	31.2	6.5	0.0
	男性・40歳～49歳	92	4.3	53.3	30.4	12.0	0.0
	男性・50歳～59歳	140	12.9	41.4	32.9	10.0	2.9
	男性・60歳～64歳	84	6.0	47.6	32.1	13.1	1.2
	男性・65歳～69歳	86	14.0	38.4	19.8	19.8	8.1
	男性・70歳以上	147	8.2	19.7	22.4	32.0	17.7
	女性(計)	857	7.8	40.1	25.3	18.4	8.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	24.4	51.2	17.1	0.0	7.3
	女性・30歳～39歳	91	3.3	61.5	24.2	11.0	0.0
	女性・40歳～49歳	164	7.9	57.9	20.1	10.4	3.7
	女性・50歳～59歳	173	6.4	48.6	22.0	17.3	5.8
	女性・60歳～64歳	102	9.8	31.4	47.1	7.8	3.9
	女性・65歳～69歳	111	14.4	26.1	24.3	25.2	9.9
	女性・70歳以上	175	2.3	15.4	24.0	37.1	21.1
	無回答	7	0.0	0.0	57.1	0.0	42.9

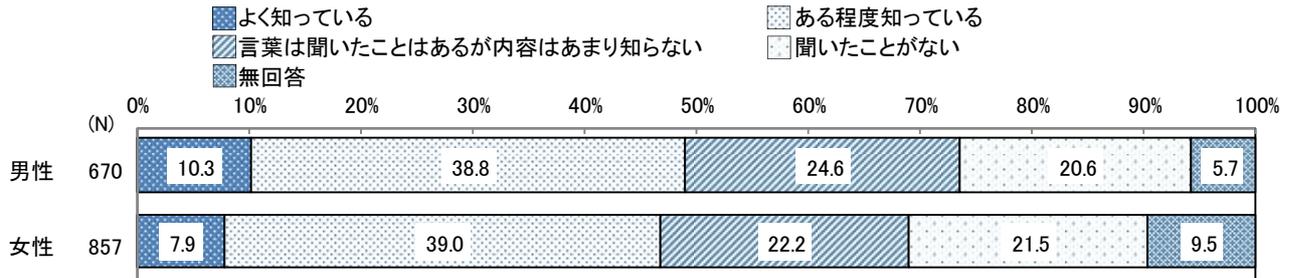
【性・年齢別】「よく知っている」は、男女ともに「20歳～29歳」で唯一2割を超えている。「聞いたことがない」は、男女ともに「70歳以上」で3割を超えている。

LGBT

■よく知っている
 ■ある程度知っている
 ■言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない
 ■聞いたことがない
 ■無回答



【全体】「ある程度知っている」が 38.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない」(23.3%)、「聞いたことがない」(21.1%)となっている。

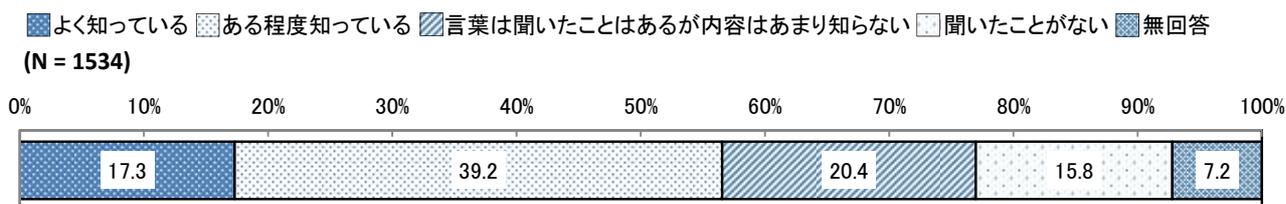


【性別】男女で大きな差はみられない。

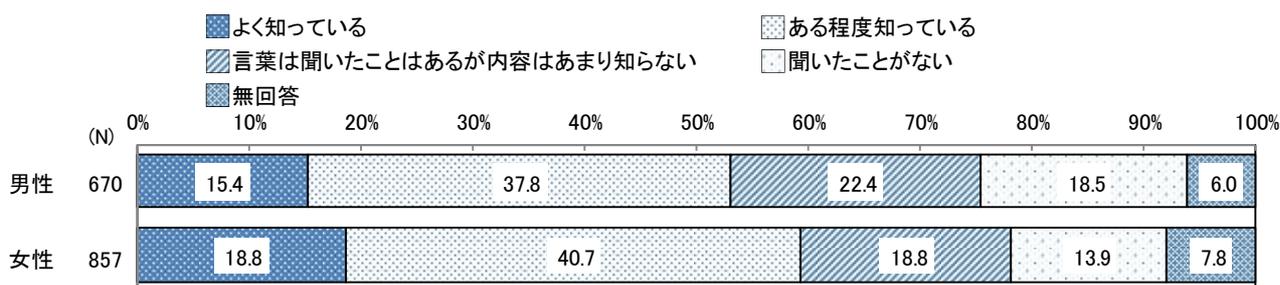
	全体	LGBTの知識					
		よく知っている	ある程度知っている	言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない	聞いたことがない	無回答	
全体	1534	8.9	38.7	23.3	21.1	8.0	
性・年齢別	男性(計)	670	10.3	38.8	24.6	20.6	5.7
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	23.7	60.5	5.3	5.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	9.1	55.8	31.2	3.9	0.0
	男性・40歳～49歳	92	4.3	54.3	27.2	14.1	0.0
	男性・50歳～59歳	140	15.7	39.3	22.1	20.0	2.9
	男性・60歳～64歳	84	8.3	36.9	34.5	19.0	1.2
	男性・65歳～69歳	86	14.0	31.4	25.6	20.9	8.1
	男性・70歳以上	147	4.1	19.7	20.4	39.5	16.3
	女性(計)	857	7.9	39.0	22.2	21.5	9.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	26.8	39.0	12.2	14.6	7.3
	女性・30歳～39歳	91	12.1	45.1	28.6	12.1	2.2
	女性・40歳～49歳	164	7.3	55.5	17.7	14.6	4.9
	女性・50歳～59歳	173	8.1	45.1	24.9	15.0	6.9
	女性・60歳～64歳	102	5.9	42.2	29.4	16.7	5.9
	女性・65歳～69歳	111	10.8	31.5	23.4	26.1	8.1
	女性・70歳以上	175	1.1	17.1	17.7	40.6	23.4
	無回答	7	0.0	0.0	28.6	28.6	42.9

【性・年齢別】「よく知っている」は、男女ともに「20歳～29歳」で唯一2割を超えている。「聞いたことがない」は、男女ともに「70歳以上」で約4割となっている。

カミングアウト



【全 体】「ある程度知っている」が 39.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない」(20.4%)、「よく知っている」(17.3%) となっている。

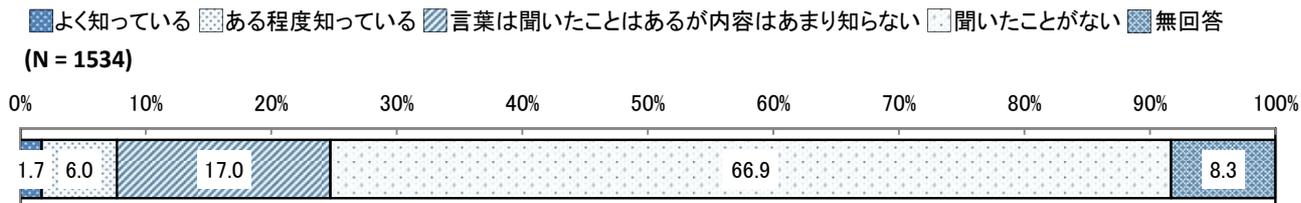


【性 別】最も差がみられた「聞いたことがない」では、男性 (18.5%) が女性 (13.9%) より 4.6 ポイント高くなっている。

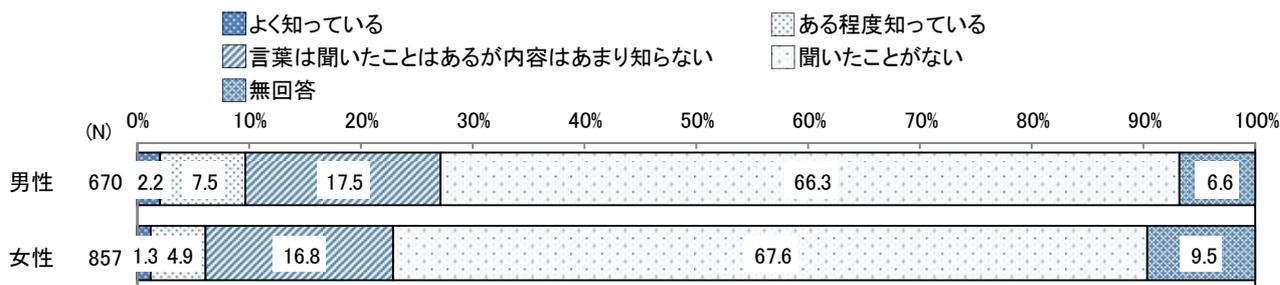
	全 体	カミングアウトの知識					
		よく知っ ている	ある程度 知っている	言葉は聞いた ことはあるが 内容はあまり 知らない	聞いたことが ない	無回答	
全 体	1534	17.3	39.2	20.4	15.8	7.2	
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	15.4	37.8	22.4	18.5	6.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	36.8	47.4	10.5	0.0	5.3
	男性・30歳～39歳	77	29.9	50.6	7.8	11.7	0.0
	男性・40歳～49歳	92	14.1	62.0	13.0	10.9	0.0
	男性・50歳～59歳	140	20.0	45.7	19.3	12.1	2.9
	男性・60歳～64歳	84	15.5	34.5	33.3	13.1	3.6
	男性・65歳～69歳	86	9.3	31.4	31.4	19.8	8.1
	男性・70歳以上	147	2.7	11.6	29.9	39.5	16.3
	女性(計)	857	18.8	40.7	18.8	13.9	7.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	36.6	39.0	17.1	0.0	7.3
	女性・30歳～39歳	91	27.5	49.5	14.3	8.8	0.0
	女性・40歳～49歳	164	26.8	53.0	12.2	4.3	3.7
	女性・50歳～59歳	173	19.1	54.3	13.3	7.5	5.8
	女性・60歳～64歳	102	19.6	48.0	25.5	4.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	16.2	27.9	32.4	15.3	8.1
	女性・70歳以上	175	3.4	15.4	20.6	39.4	21.1
無回答	7	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	

【性・年齢別】「よく知っている」は、男女ともに「20歳～29歳」で唯一3割を超えている。「聞いたことがない」は、男女ともに「70歳以上」で約4割となっている。

アウトティング



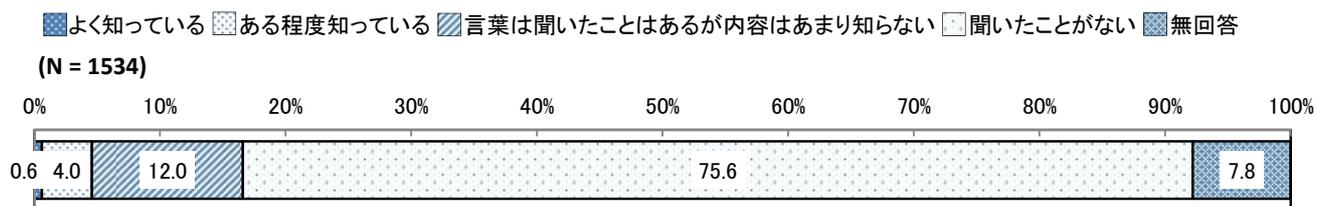
【全体】「聞いたことがない」が66.9%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない」(17.0%)、「ある程度知っている」(6.0%)となっている。



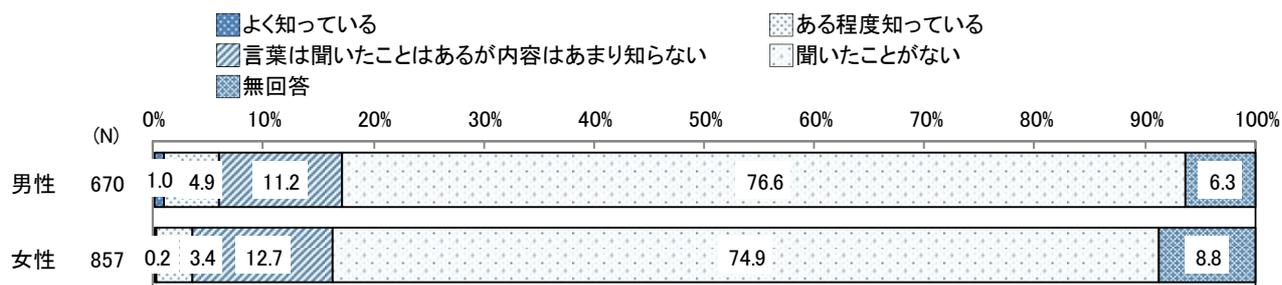
【性別】男女で大きな差はみられない。

	全体	アウトティングの知識					
		よく知っている	ある程度知っている	言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない	聞いたことがない	無回答	
全体	1534	1.7	6.0	17.0	66.9	8.3	
性・年齢別	男性(計)	670	2.2	7.5	17.5	66.3	6.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	2.6	10.5	26.3	55.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	5.2	5.2	13.0	76.6	0.0
	男性・40歳～49歳	92	0.0	13.0	15.2	71.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	2.9	11.4	14.3	68.6	2.9
	男性・60歳～64歳	84	0.0	1.2	20.2	72.6	6.0
	男性・65歳～69歳	86	2.3	10.5	15.1	64.0	8.1
	男性・70歳以上	147	2.7	2.7	21.1	55.8	17.7
	女性(計)	857	1.3	4.9	16.8	67.6	9.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	9.8	31.7	51.2	7.3
	女性・30歳～39歳	91	0.0	8.8	15.4	75.8	0.0
	女性・40歳～49歳	164	0.0	5.5	22.6	67.1	4.9
	女性・50歳～59歳	173	4.0	3.5	14.5	69.9	8.1
	女性・60歳～64歳	102	3.9	7.8	14.7	69.6	3.9
	女性・65歳～69歳	111	0.0	6.3	18.0	64.0	11.7
	女性・70歳以上	175	0.0	0.0	11.4	66.3	22.3
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】男女ともにすべての年齢層で、「聞いたことがない」が5割を超えている。



【全体】「聞いたことがない」が75.6%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない」(12.0%)、「ある程度知っている」(4.0%)となっている。



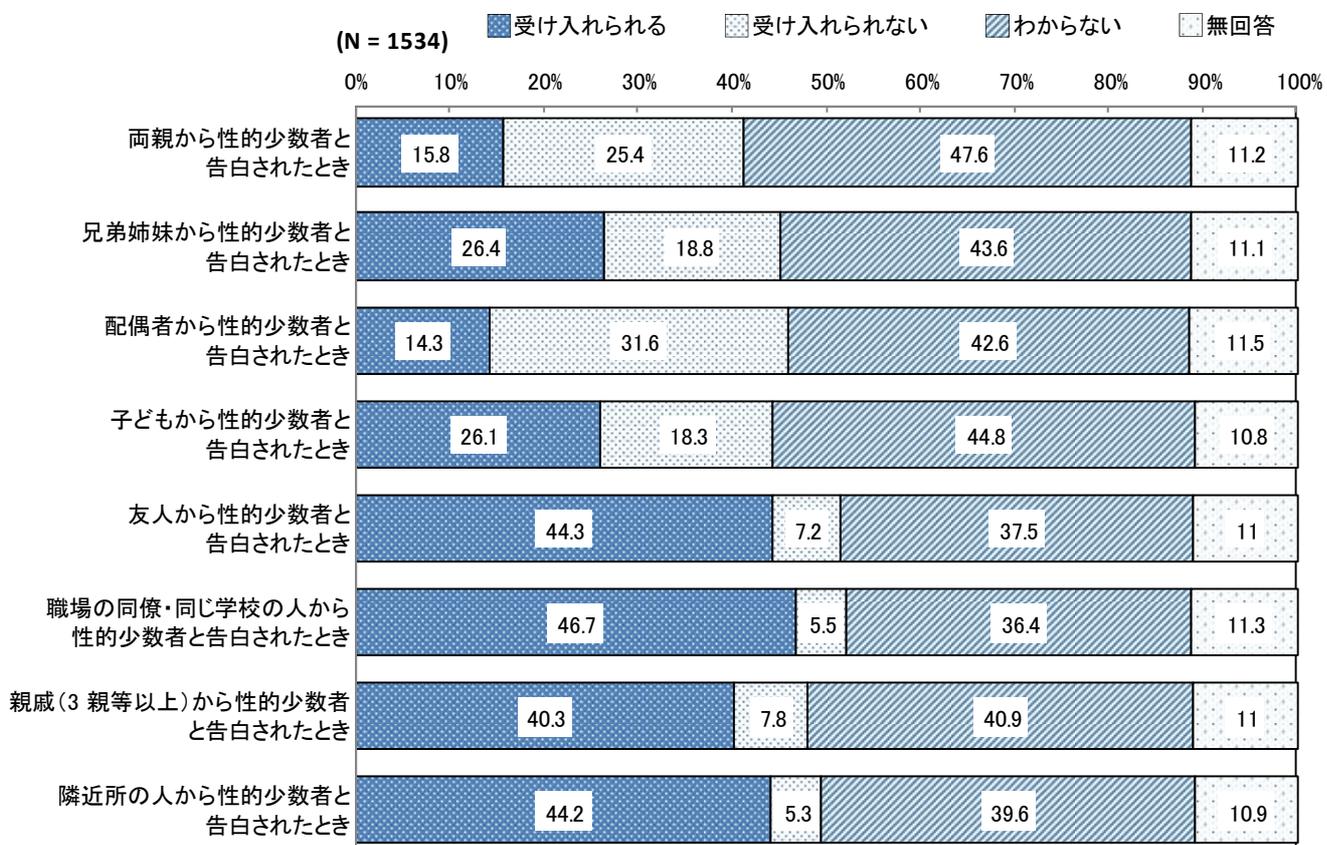
【性別】男女で大きな差はみられない。

	全体	SOGIの知識					
		よく知っている	ある程度知っている	言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない	聞いたことがない	無回答	
全体	1534	0.6	4.0	12.0	75.6	7.8	
性・年齢別	男性(計)	670	1.0	4.9	11.2	76.6	6.3
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	2.6	10.5	10.5	71.1	5.3
	男性・30歳～39歳	77	0.0	5.2	6.5	88.3	0.0
	男性・40歳～49歳	92	0.0	6.5	6.5	87.0	0.0
	男性・50歳～59歳	140	1.4	7.1	8.6	80.0	2.9
	男性・60歳～64歳	84	0.0	1.2	14.3	78.6	6.0
	男性・65歳～69歳	86	2.3	7.0	12.8	69.8	8.1
	男性・70歳以上	147	1.4	1.4	15.6	65.3	16.3
	女性(計)	857	0.2	3.4	12.7	74.9	8.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	0.0	9.8	17.1	65.9	7.3
	女性・30歳～39歳	91	0.0	0.0	11.0	89.0	0.0
	女性・40歳～49歳	164	0.0	3.7	14.0	77.4	4.9
	女性・50歳～59歳	173	1.2	4.0	9.8	78.0	6.9
	女性・60歳～64歳	102	0.0	7.8	12.7	73.5	5.9
	女性・65歳～69歳	111	0.0	3.6	20.7	67.6	8.1
	女性・70歳以上	175	0.0	0.0	9.1	69.7	21.1
	無回答	7	0.0	0.0	0.0	57.1	42.9

【性・年齢別】「ある程度知っている」は、男性の「20歳～29歳」で唯一1割を超えている。また、男女ともにすべての年齢層で、「聞いたことがない」が5割を超えている。

(26) 性的少数者に対する意識について

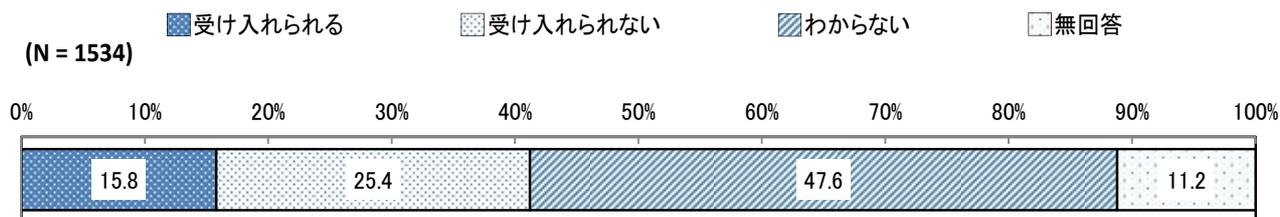
問26 あなたは、次の身近な方から、「セクシュアル・マイノリティである」などと打ち明けられたとき、それを受け入れられますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。
(○はそれぞれ1つ)



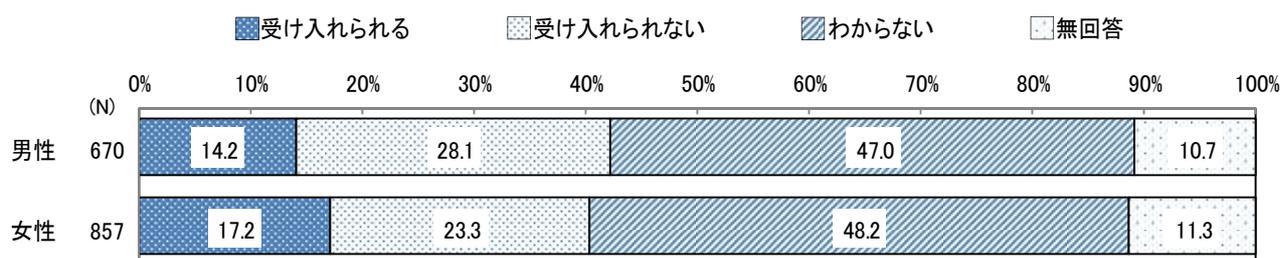
【全体】「受け入れられる」は、「職場の同僚・同じ学校の人から性的少数者と告白されたとき」が46.7%と最も高く、次いで「友人から性的少数者と告白されたとき」(44.3%)、「隣近所の人から性的少数者と告白されたとき」(44.2%)となっている。

「受け入れられない」では、「配偶者から性的少数者と告白されたとき」が31.6%と最も高くなっている。

両親



【全 体】「わからない」が47.6%と最も高く、次いで「受け入れられない」(25.4%)、「受け入れられる」(15.8%)となっている。

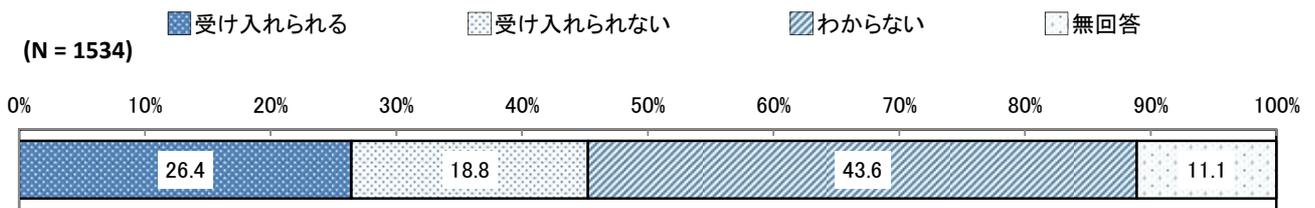


【性 別】男女で大きな差はみられない。

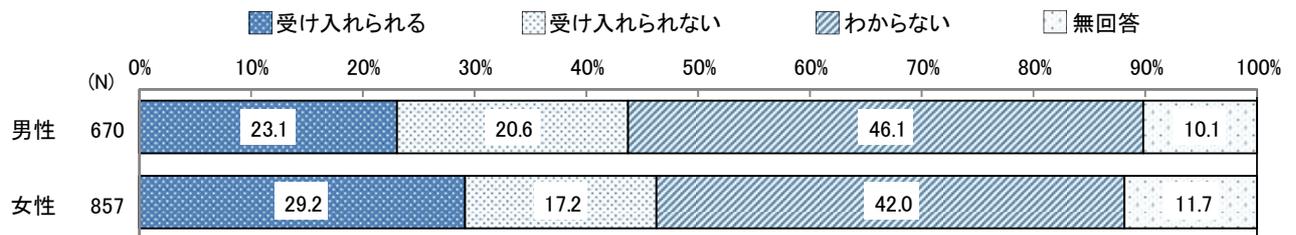
	全 体	両親から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	15.8	25.4	47.6	11.2	
性・年齢別	男性(計)	670	14.2	28.1	47.0	10.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	21.1	26.3	47.4	5.3
	男性・30歳～39歳	77	28.6	31.2	40.3	0.0
	男性・40歳～49歳	92	26.1	31.5	41.3	1.1
	男性・50歳～59歳	140	11.4	35.0	50.7	2.9
	男性・60歳～64歳	84	8.3	25.0	57.1	9.5
	男性・65歳～69歳	86	9.3	23.3	50.0	17.4
	男性・70歳以上	147	6.8	23.8	40.8	28.6
	女性(計)	857	17.2	23.3	48.2	11.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	34.1	19.5	43.9	2.4
	女性・30歳～39歳	91	36.3	24.2	35.2	4.4
	女性・40歳～49歳	164	30.5	13.4	52.4	3.7
	女性・50歳～59歳	173	9.2	30.6	55.5	4.6
	女性・60歳～64歳	102	12.7	26.5	54.9	5.9
	女性・65歳～69歳	111	8.1	21.6	56.8	13.5
	女性・70歳以上	175	6.9	25.1	35.4	32.6
無回答	7	0.0	28.6	28.6	42.9	

【性・年齢別】「受け入れられる」では、男女ともに「30歳～39歳」で最も高くなっている。

兄弟姉妹



【全 体】「わからない」が 43.6%と最も高く、次いで「受け入れられる」(26.4%)、「受け入れられない」(18.8%)となっている。

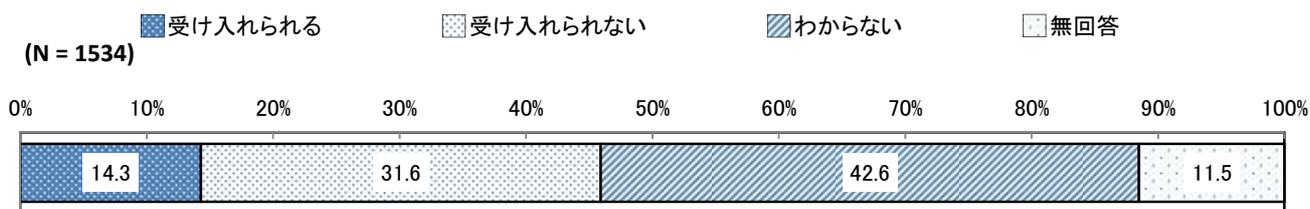


【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性 (29.2%) が男性 (23.1%) より 6.1 ポイント高い。

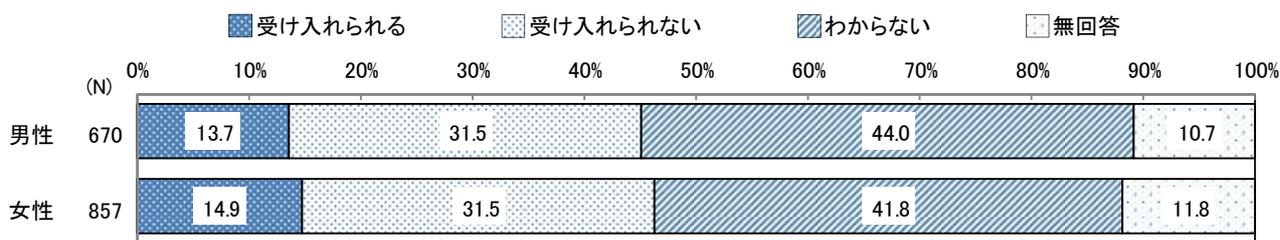
	全 体	兄弟姉妹から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	26.4	18.8	43.6	11.1	
性・年齢別	男性(計)	670	23.1	20.6	46.1	10.1
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	63.2	7.9	23.7	5.3
	男性・30歳～39歳	77	41.6	13.0	45.5	0.0
	男性・40歳～49歳	92	30.4	19.6	48.9	1.1
	男性・50歳～59歳	140	20.0	29.3	47.9	2.9
	男性・60歳～64歳	84	13.1	17.9	59.5	9.5
	男性・65歳～69歳	86	16.3	23.3	45.3	15.1
	男性・70歳以上	147	10.9	21.1	40.8	27.2
	女性(計)	857	29.2	17.2	42.0	11.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	58.5	9.8	29.3	2.4
	女性・30歳～39歳	91	54.9	6.6	34.1	4.4
	女性・40歳～49歳	164	50.6	9.8	36.0	3.7
	女性・50歳～59歳	173	20.2	22.5	51.4	5.8
	女性・60歳～64歳	102	26.5	16.7	51.0	5.9
	女性・65歳～69歳	111	17.1	25.2	45.9	11.7
	女性・70歳以上	175	6.9	21.1	37.7	34.3
無回答	7	0.0	57.1	0.0	42.9	

【性・年齢別】「受け入れられる」では、男女ともに「20歳～29歳」で高く、男性では唯一6割を超えている。

配偶者



【全 体】「わからない」が42.6%と最も高く、次いで「受け入れられない」(31.6%)、「受け入れられる」(14.3%)となっている。

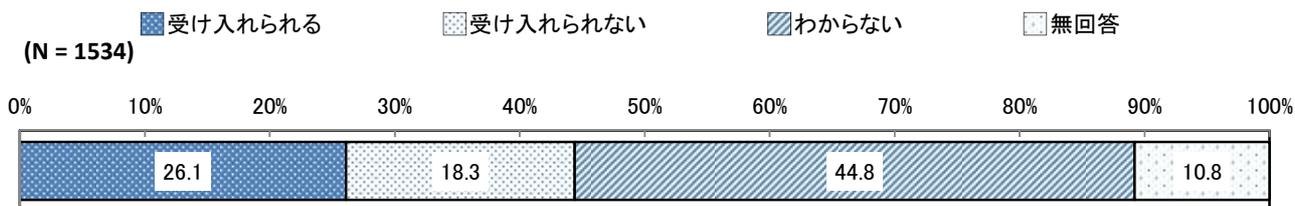


【性 別】男女で大きな差はみられない。

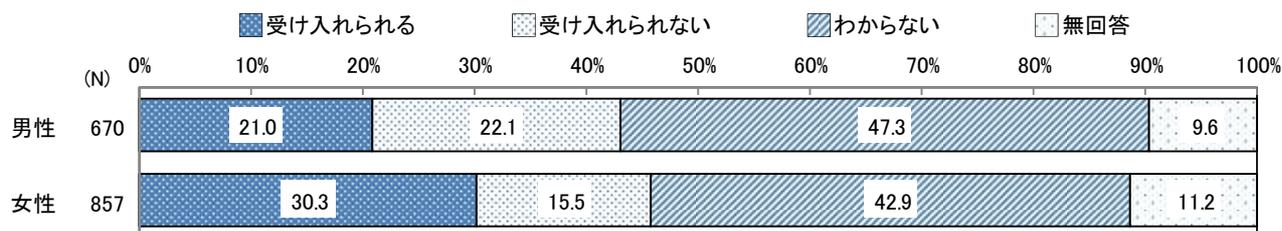
	全 体	配偶者から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	14.3	31.6	42.6	11.5	
性・年齢別	男性(計)	670	13.7	31.5	44.0	10.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	18.4	26.3	50.0	5.3
	男性・30歳～39歳	77	23.4	28.6	48.1	0.0
	男性・40歳～49歳	92	19.6	33.7	45.7	1.1
	男性・50歳～59歳	140	12.9	40.7	42.1	4.3
	男性・60歳～64歳	84	8.3	34.5	45.2	11.9
	男性・65歳～69歳	86	9.3	30.2	43.0	17.4
	男性・70歳以上	147	10.9	23.1	40.1	25.9
	女性(計)	857	14.9	31.5	41.8	11.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	34.1	29.3	34.1	2.4
	女性・30歳～39歳	91	25.3	30.8	37.4	6.6
	女性・40歳～49歳	164	23.2	30.5	42.7	3.7
	女性・50歳～59歳	173	12.1	37.6	43.4	6.9
	女性・60歳～64歳	102	12.7	32.4	49.0	5.9
	女性・65歳～69歳	111	8.1	28.8	53.2	9.9
	女性・70歳以上	175	5.7	28.6	32.0	33.7
無回答	7	0.0	57.1	0.0	42.9	

【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」(34.1%)で最も高く、唯一3割を超えている。「受け入れられない」では、男性の「50歳～59歳」(40.7%)で最も高く、唯一4割を超えている。

子ども



【全 体】「わからない」が44.8%と最も高く、次いで「受け入れられる」(26.1%)、「受け入れられない」(18.3%)となっている。

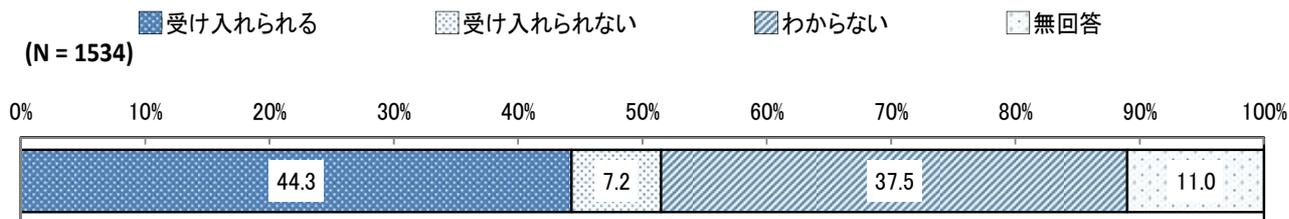


【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性(30.3%)が男性(21.0%)より9.3ポイント高い。

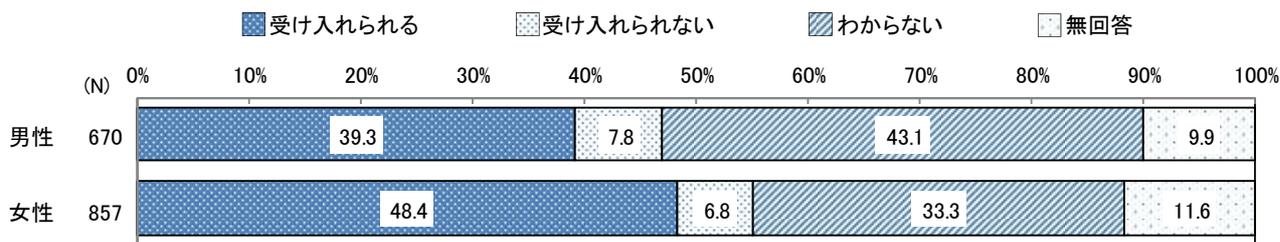
	全 体	子どもから性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	26.1	18.3	44.8	10.8	
性・年齢別	男性(計)	670	21.0	22.1	47.3	9.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	23.7	7.9	63.2	5.3
	男性・30歳～39歳	77	28.6	18.2	53.2	0.0
	男性・40歳～49歳	92	32.6	16.3	50.0	1.1
	男性・50歳～59歳	140	20.0	30.7	46.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	26.2	21.4	45.2	7.1
	男性・65歳～69歳	86	16.3	23.3	45.3	15.1
	男性・70歳以上	147	10.9	23.8	39.5	25.9
	女性(計)	857	30.3	15.5	42.9	11.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	51.2	4.9	41.5	2.4
	女性・30歳～39歳	91	49.5	4.4	39.6	6.6
	女性・40歳～49歳	164	46.3	9.8	40.2	3.7
	女性・50歳～59歳	173	26.0	22.5	44.5	6.9
	女性・60歳～64歳	102	34.3	8.8	51.0	5.9
	女性・65歳～69歳	111	18.0	23.4	49.5	9.0
	女性・70歳以上	175	10.3	21.1	37.1	31.4
無回答	7	0.0	0.0	28.6	71.4	

【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」(51.2%)で最も高く、唯一5割を超えている。「受け入れられない」では、男性の「50歳～59歳」(30.7%)で最も高く、唯一3割を超えている。

友人



【全 体】「受け入れられる」が44.3%と最も高く、次いで「わからない」(37.5%)、「受け入れられない」(7.2%)となっている。

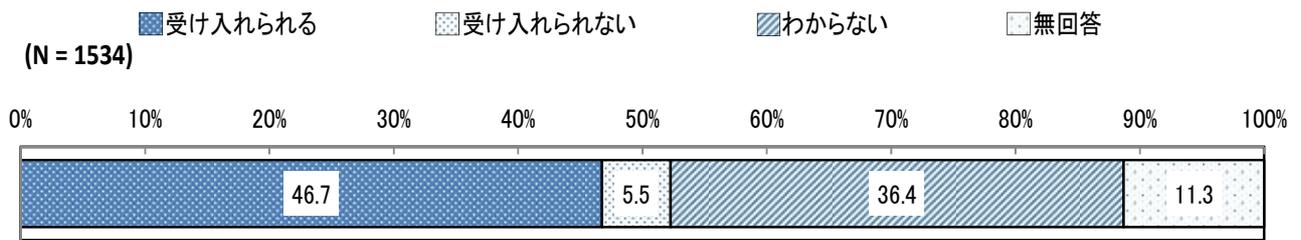


【性 別】「受け入れられる」では、女性 (48.4%) が男性 (39.3%) より 9.1 ポイント高い。

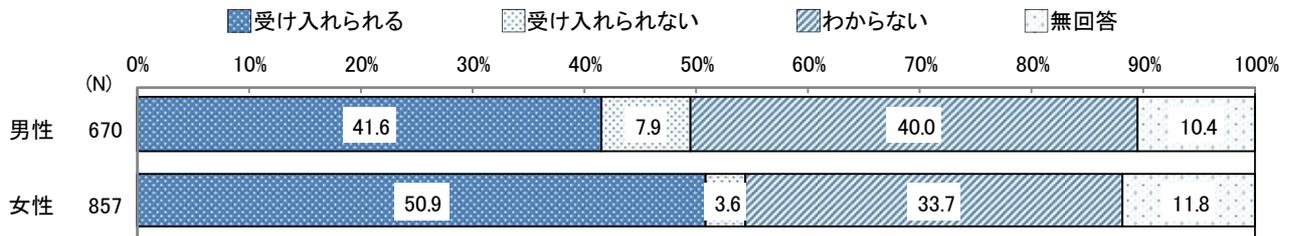
	全 体	友人から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	44.3	7.2	37.5	11.0	
性・年齢別	男性(計)	670	39.3	7.8	43.1	9.9
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	71.1	2.6	21.1	5.3
	男性・30歳～39歳	77	61.0	2.6	36.4	0.0
	男性・40歳～49歳	92	45.7	2.2	51.1	1.1
	男性・50歳～59歳	140	54.3	11.4	31.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	33.3	8.3	51.2	7.1
	男性・65歳～69歳	86	19.8	12.8	52.3	15.1
	男性・70歳以上	147	15.0	8.8	49.0	27.2
	女性(計)	857	48.4	6.8	33.3	11.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	73.2	0.0	24.4	2.4
	女性・30歳～39歳	91	75.8	4.4	13.2	6.6
	女性・40歳～49歳	164	75.6	4.3	16.5	3.7
	女性・50歳～59歳	173	45.7	9.8	38.7	5.8
	女性・60歳～64歳	102	52.0	2.9	39.2	5.9
	女性・65歳～69歳	111	30.6	7.2	50.5	11.7
	女性・70歳以上	175	14.9	10.9	41.7	32.6
	無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9

【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「30歳～39歳」(75.8%)と「40歳～49歳」(75.6%)で7割半ばを超え、高くなっている。男性では「20歳～29歳」(71.1%)が最も高くなっている。

職場の同僚・同じ学校の人



【全 体】「受け入れられる」が46.7%と最も高く、次いで「わからない」(36.4%)、「受け入れられない」(5.5%)となっている。

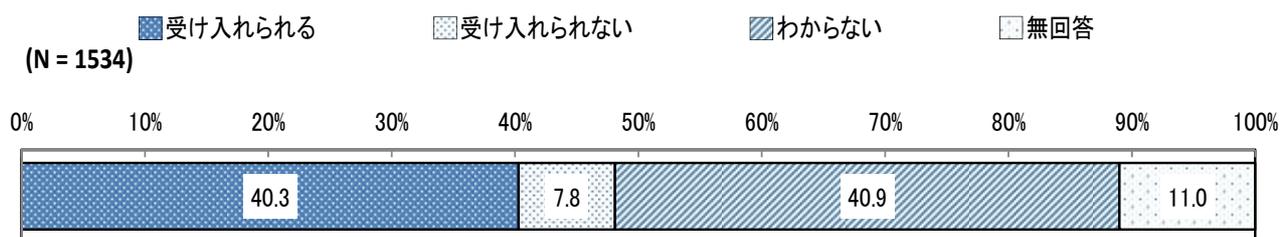


【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性(50.9%)が男性(41.6%)より9.3ポイント高い。

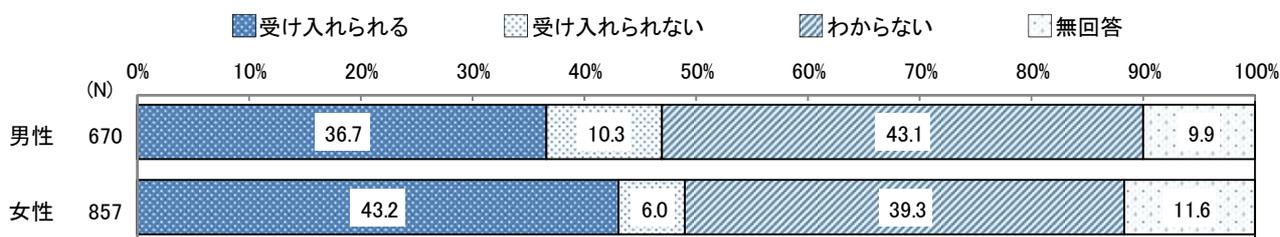
	全 体	職場の同僚・同じ学校の人から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	46.7	5.5	36.4	11.3	
性・年齢別	男性(計)	670	41.6	7.9	40.0	10.4
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	57.9	10.5	26.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	63.6	2.6	33.8	0.0
	男性・40歳～49歳	92	53.3	4.3	41.3	1.1
	男性・50歳～59歳	140	54.3	11.4	31.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	35.7	8.3	46.4	9.5
	男性・65歳～69歳	86	26.7	10.5	45.3	17.4
	男性・70歳以上	147	17.7	7.5	47.6	27.2
	女性(計)	857	50.9	3.6	33.7	11.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	75.6	0.0	22.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	75.8	4.4	13.2	6.6
	女性・40歳～49歳	164	73.2	3.0	20.1	3.7
	女性・50歳～59歳	173	49.1	5.8	39.3	5.8
	女性・60歳～64歳	102	61.8	2.0	30.4	5.9
	女性・65歳～69歳	111	34.2	3.6	50.5	11.7
女性・70歳以上	175	17.1	3.4	45.7	33.7	
無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9	

【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」から「40歳～49歳」で7割を超え、高くなっている。男性では「30歳～39歳」(63.6%)が最も高くなっている。

親戚（両親・兄弟姉妹・配偶者・子ども以外）



【全 体】「わからない」が 40.9%と最も高く、次いで「受け入れられる」(40.3%)、「受け入れられない」(7.8%)となっている。

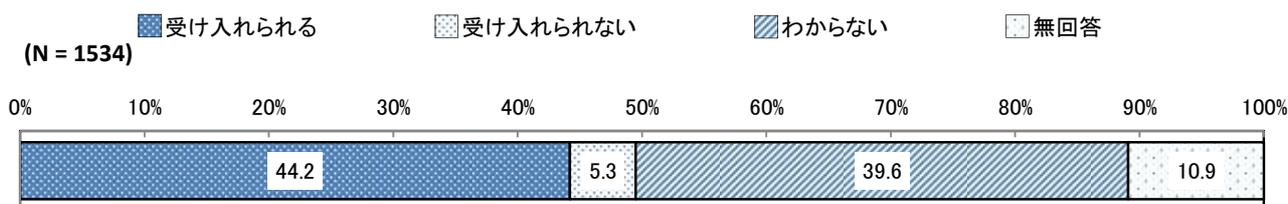


【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性 (43.2%) が男性 (36.7%) より 6.5 ポイント高い。

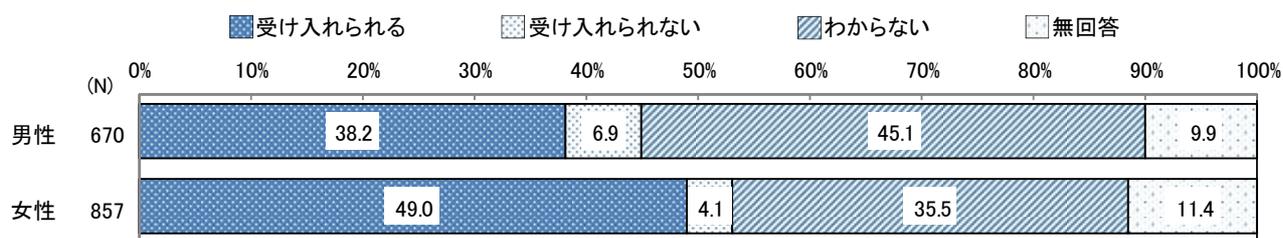
	全 体	親戚(3親等以上)から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	40.3	7.8	40.9	11.0	
性・年齢別	男性(計)	670	36.7	10.3	43.1	9.9
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	65.8	2.6	26.3	5.3
	男性・30歳～39歳	77	51.9	7.8	40.3	0.0
	男性・40歳～49歳	92	53.3	4.3	41.3	1.1
	男性・50歳～59歳	140	45.7	14.3	37.1	2.9
	男性・60歳～64歳	84	28.6	10.7	53.6	7.1
	男性・65歳～69歳	86	23.3	16.3	45.3	15.1
	男性・70歳以上	147	15.0	10.2	47.6	27.2
	女性(計)	857	43.2	6.0	39.3	11.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	65.9	0.0	31.7	2.4
	女性・30歳～39歳	91	62.6	4.4	26.4	6.6
	女性・40歳～49歳	164	64.0	5.5	26.8	3.7
	女性・50歳～59歳	173	40.5	8.1	45.7	5.8
	女性・60歳～64歳	102	55.9	3.9	34.3	5.9
	女性・65歳～69歳	111	25.2	5.4	57.7	11.7
	女性・70歳以上	175	14.9	8.0	44.6	32.6
	無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9

【性・年齢別】「受け入れられる」では、男女ともに「20歳～29歳」で最も高く、6割半ばを超えている。

隣近所の人



【全 体】「受け入れられる」が44.2%と最も高く、次いで「わからない」(39.6%)、「受け入れられない」(5.3%)となっている。



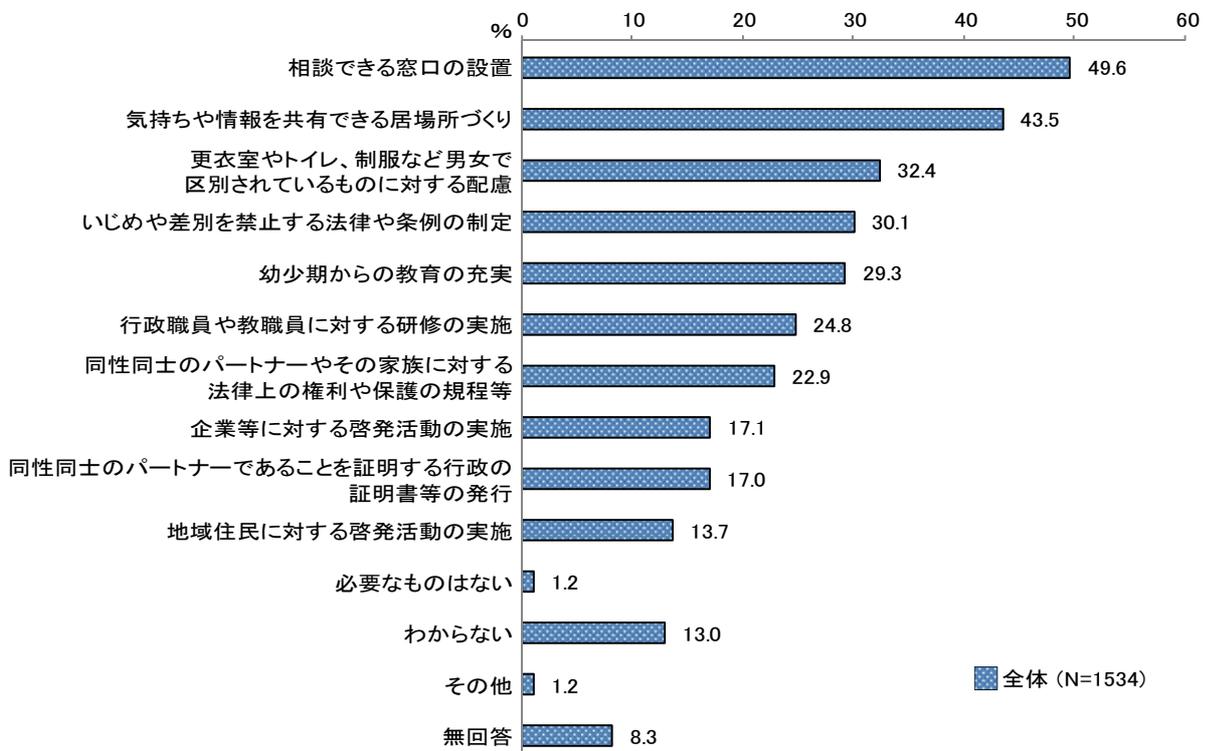
【性 別】最も差がみられた「受け入れられる」では、女性(49.0%)が男性(38.2%)より10.8ポイント高い。

	全 体	隣近所の人から性的少数者と告白されたとき				
		受け入れられる	受け入れられない	わからない	無回答	
全 体	1534	44.2	5.3	39.6	10.9	
性・年齢別	男性(計)	670	38.2	6.9	45.1	9.9
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	50.0	7.9	36.8	5.3
	男性・30歳～39歳	77	57.1	2.6	40.3	0.0
	男性・40歳～49歳	92	46.7	2.2	50.0	1.1
	男性・50歳～59歳	140	50.7	9.3	37.1	2.9
	男性・60歳～64歳	84	31.0	7.1	54.8	7.1
	男性・65歳～69歳	86	26.7	10.5	47.7	15.1
	男性・70歳以上	147	17.7	7.5	47.6	27.2
	女性(計)	857	49.0	4.1	35.5	11.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	70.7	0.0	26.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	67.0	4.4	22.0	6.6
	女性・40歳～49歳	164	69.5	3.7	23.2	3.7
	女性・50歳～59歳	173	49.7	4.6	39.9	5.8
	女性・60歳～64歳	102	55.9	3.9	34.3	5.9
	女性・65歳～69歳	111	34.2	3.6	52.3	9.9
	女性・70歳以上	175	20.0	5.1	41.7	33.1
無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9	

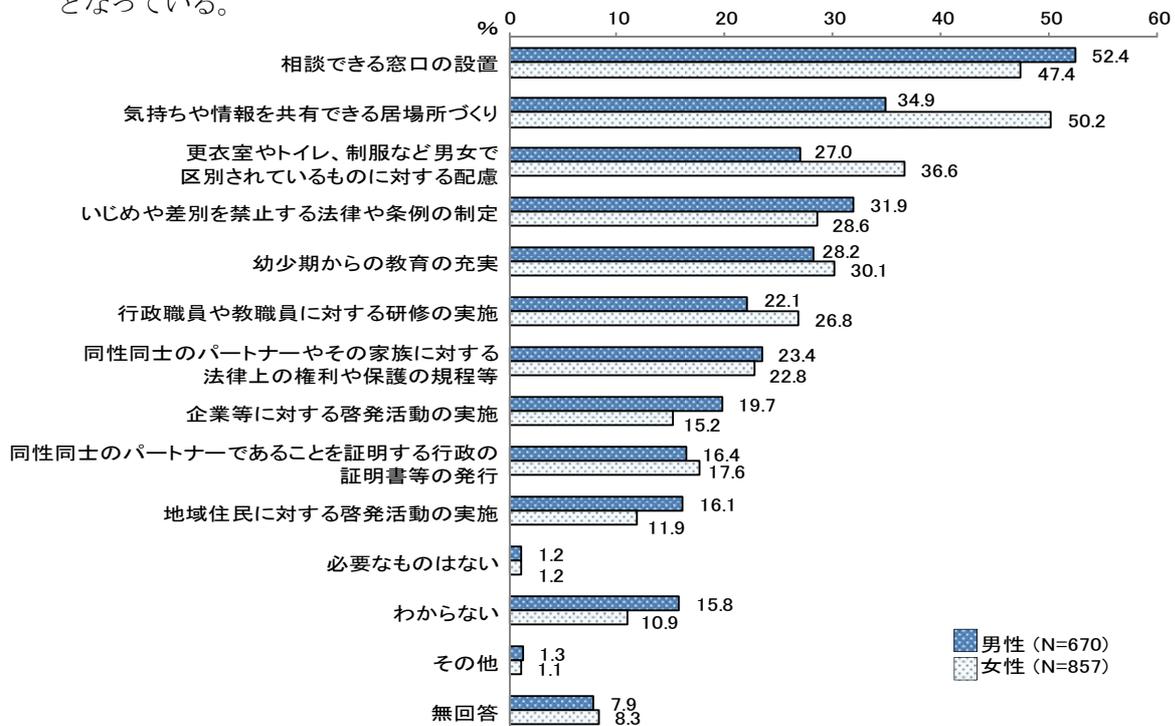
【性・年齢別】「受け入れられる」では、女性の「20歳～29歳」(70.7%)で最も高く、唯一7割を超えている。

(27) 性的少数者に対する支援や対策について

問27 あなたは、セクシュアル・マイノリティの方に対して、どのような支援や対策が必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



【全体】セクシュアル・マイノリティの方に対して必要な支援や対策については、『窓口の設置』が49.6%と最も高く、次いで『居場所づくり』(43.5%)、『男女で区別されているものに対する配慮』(32.4%)となっている。



【性別】男性は『窓口の設置』が52.4%と最も高く、次いで『居場所づくり』(34.9%)、『法律や条例の制定』(31.9%)となっている。女性は『居場所づくり』が50.2%と最も高く、次いで『窓口の設置』(47.4%)、『男女で区別されているものに対する配慮』(36.6%)となっている。最も差がみられたのは『居場所づくり』で、女性(50.2%)が男性(34.9%)より15.3ポイント高くなっている。

	全体	性的少数者に対して必要だと思う支援や対策														
		相談できる窓口の設置	気持ちや情報を共有できる居場所	いじめや差別を禁止する法律や条例の制定	行政職員や教職員に対する研修の実施	企業等に対する啓発活動の実施	地域住民に対する啓発活動の実施	幼少期からの教育の充実	更衣室やトイレ、制服など男女で区別されているものに対する配慮	証明する行政のパートナーであることを同性同士の権利や保護の規程等に	同性同士のパートナーや家族等に	必要なものはない	わからない	その他	無回答	
全体	1534	49.6	43.5	30.1	24.8	17.1	13.7	29.3	32.4	17.0	22.9	1.2	13.0	1.2	8.3	
性・年齢別	男性(計)	670	52.4	34.9	31.9	22.1	19.7	16.1	28.2	27.0	16.4	23.4	1.2	15.8	1.3	7.9
	男性・18歳、19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	39.5	36.8	36.8	21.1	23.7	13.2	34.2	28.9	23.7	34.2	2.6	15.8	2.6	5.3
	男性・30歳～39歳	77	55.8	51.9	32.5	23.4	23.4	16.9	36.4	33.8	40.3	39.0	0.0	13.0	5.2	0.0
	男性・40歳～49歳	92	58.7	38.0	41.3	23.9	25.0	19.6	35.9	35.9	26.1	29.3	0.0	15.2	2.2	0.0
	男性・50歳～59歳	140	60.7	38.6	41.4	15.7	22.9	18.6	33.6	32.1	12.9	20.7	1.4	14.3	1.4	2.9
	男性・60歳～64歳	84	66.7	32.1	33.3	36.9	25.0	16.7	32.1	17.9	13.1	20.2	1.2	14.3	0.0	3.6
	男性・65歳～69歳	86	48.8	26.7	23.3	25.6	15.1	10.5	18.6	27.9	11.6	22.1	4.7	17.4	0.0	12.8
	男性・70歳以上	147	36.7	25.2	21.1	17.0	10.9	15.6	15.6	15.6	4.8	15.0	0.0	18.4	0.0	22.4
	女性(計)	857	47.4	50.2	28.6	26.8	15.2	11.9	30.1	36.6	17.6	22.8	1.2	10.9	1.1	8.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	61.0	78.0	36.6	39.0	26.8	31.7	46.3	53.7	41.5	46.3	0.0	9.8	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	30.8	63.7	25.3	29.7	18.7	9.9	39.6	46.2	33.0	31.9	0.0	2.2	0.0	2.2
	女性・40歳～49歳	164	46.3	56.7	26.8	23.2	13.4	7.3	37.8	47.6	21.3	31.7	1.2	8.5	1.2	3.7
	女性・50歳～59歳	173	59.0	50.9	20.2	23.7	9.8	8.7	24.3	38.7	12.7	19.7	1.2	8.7	1.2	4.6
	女性・60歳～64歳	102	61.8	64.7	44.1	39.2	29.4	21.6	25.5	28.4	15.7	22.5	3.9	8.8	1.0	3.9
	女性・65歳～69歳	111	49.5	45.0	30.6	27.0	20.7	15.3	24.3	31.5	14.4	18.0	1.8	9.0	1.8	7.2
女性・70歳以上	175	32.6	24.6	28.0	21.7	5.7	8.0	26.3	23.4	8.6	10.3	0.0	22.3	1.1	24.0	
無回答	7	57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	

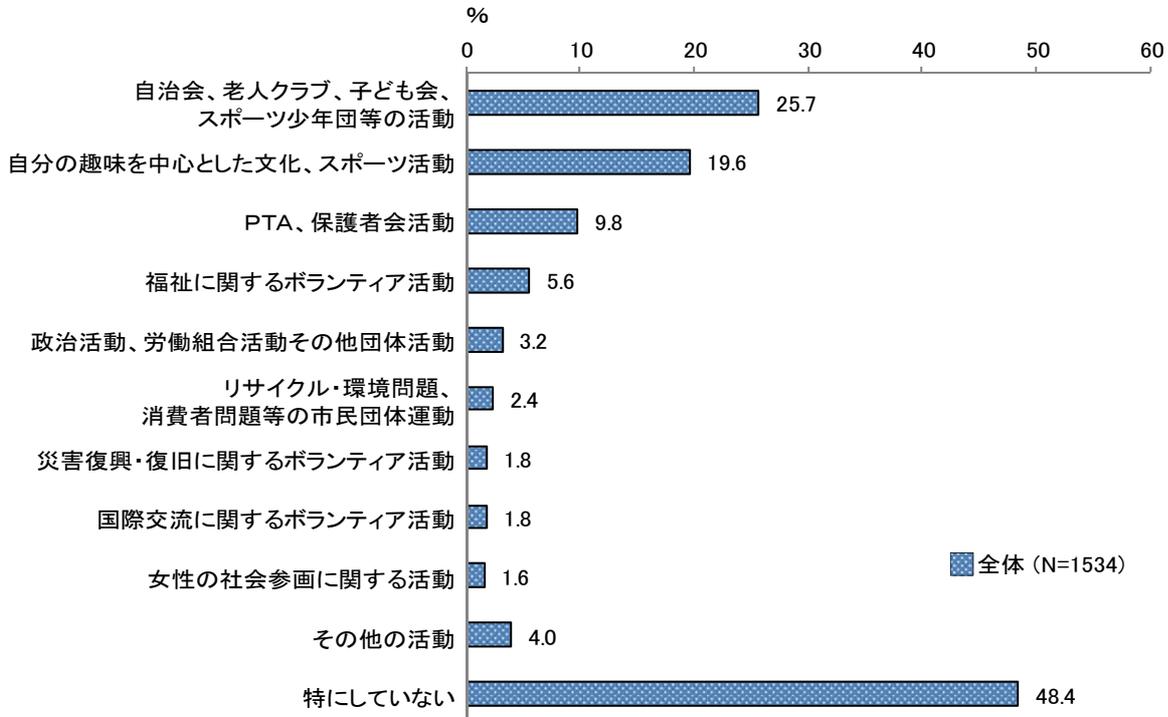
【性・年齢別】『窓口の設置』では、「20歳～29歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。また男女ともに「60歳～64歳」で最も高く、男性では6割半ばを超えている。

『居場所づくり』では、「70歳以上」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。女性の「20歳～29歳」では唯一7割を超えている。

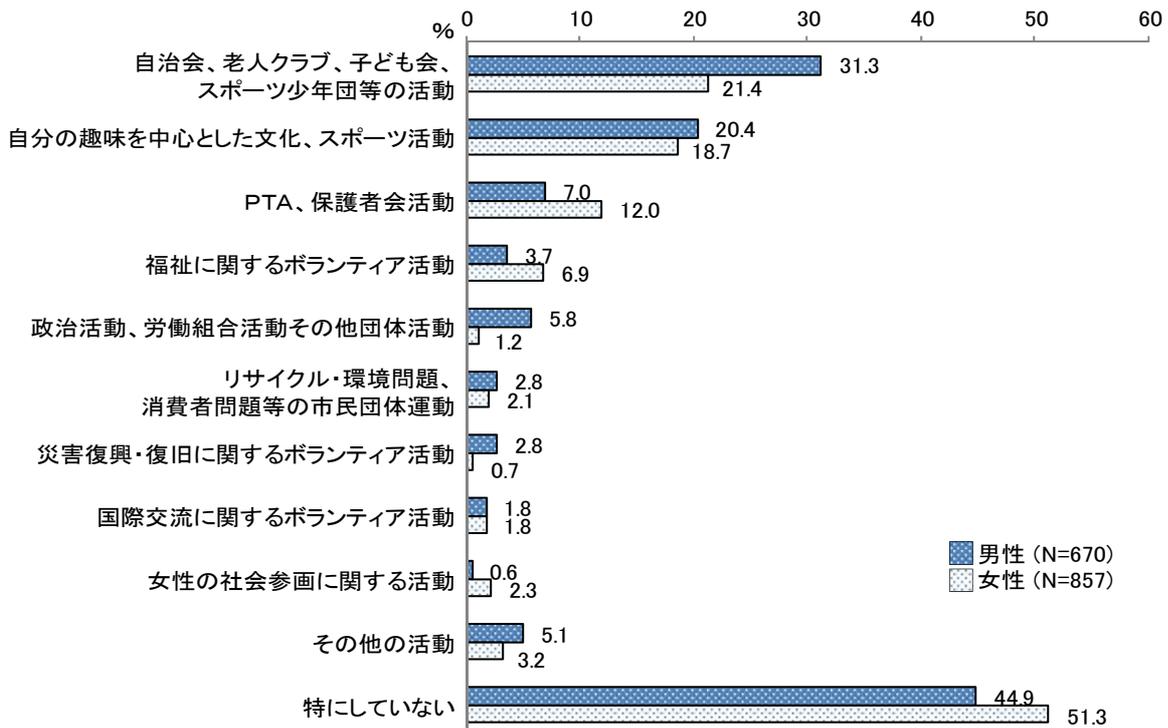
7. 地域活動等、社会参加について

(28) 地域活動等への参加について

問28 あなたは現在、団体・グループ等で何か仕事以外の活動をしていますか。
(○はあてはまるものすべて)



【全体】仕事以外の活動については、「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」が25.7%、「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が19.6%となっている。一方で「特にしていない」が48.4%となっている。



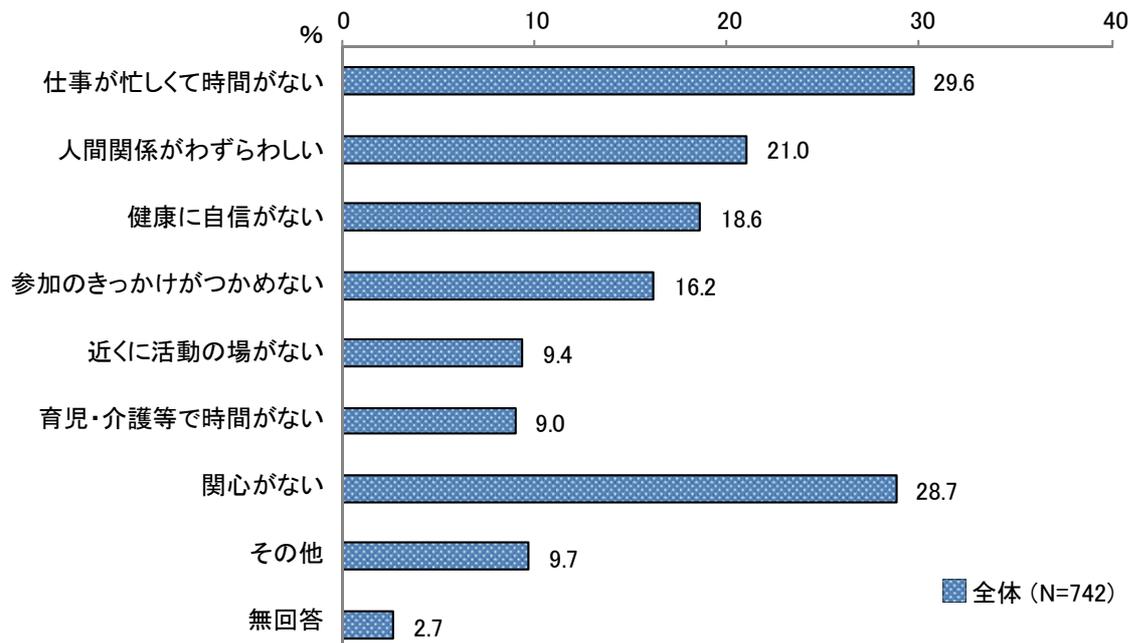
【性別】ほとんどの分野で男性の方が高くなっているが、「PTA、保護者会活動」や「福祉に関するボランティア活動」などは、女性の方が男性よりも高くなっている。

	全 体	仕事以外の団体での活動の有無												
		自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動	P T A、保護者会活動	女性の社会参画に関する活動	問題等の市民団体運動	リサイクル・環境問題、消費者	福祉に関するボランティア活動	災害復興・復旧に関するボランティア活動	国際交流に関するボランティア活動	自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動	政治活動、労働組合活動その他	その他の活動	特にしていない	無回答
全体	1534	25.7	9.8	1.6	2.4	5.6	1.8	1.8	19.6	3.2	4.0	48.4	5.0	
性・年齢別	男性(計)	670	31.3	7.0	0.6	2.8	3.7	2.8	20.4	5.8	5.1	44.9	4.2	
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	38	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	5.3	0.0	21.1	0.0	0.0	68.4	5.3
	男性・30歳～39歳	77	18.2	15.6	2.6	0.0	2.6	3.9	0.0	10.4	5.2	3.9	62.3	0.0
	男性・40歳～49歳	92	33.7	21.7	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	16.3	4.3	9.8	43.5	6.5
	男性・50歳～59歳	140	22.9	5.7	0.0	1.4	1.4	2.9	1.4	15.7	4.3	6.4	52.1	0.0
	男性・60歳～64歳	84	48.8	3.6	0.0	2.4	2.4	1.2	4.8	16.7	9.5	1.2	38.1	2.4
	男性・65歳～69歳	86	46.5	0.0	0.0	0.0	7.0	8.1	0.0	30.2	2.3	4.7	20.9	7.0
	男性・70歳以上	147	34.7	2.7	1.4	10.2	7.5	1.4	4.1	29.9	10.2	5.4	39.5	8.2
	女性(計)	857	21.4	12.0	2.3	2.1	6.9	0.7	1.8	18.7	1.2	3.2	51.3	5.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	2.4	4.9	0.0	0.0	4.9	0.0	4.9	17.1	0.0	4.9	63.4	0.0
	女性・30歳～39歳	91	34.1	30.8	0.0	4.4	3.3	0.0	2.2	5.5	0.0	2.2	53.8	0.0
	女性・40歳～49歳	164	37.2	34.8	2.4	3.7	3.7	1.2	1.2	14.0	2.4	2.4	43.3	1.2
	女性・50歳～59歳	173	9.2	8.1	2.3	0.0	5.8	0.0	1.2	12.1	0.6	1.7	65.3	2.3
	女性・60歳～64歳	102	24.5	0.0	3.9	2.0	7.8	0.0	2.9	31.4	0.0	3.9	50.0	2.0
	女性・65歳～69歳	111	17.1	1.8	3.6	1.8	12.6	1.8	1.8	27.0	0.0	7.2	48.6	7.2
	女性・70歳以上	175	17.1	0.0	2.3	2.3	9.1	1.1	1.1	24.0	2.9	2.3	43.4	17.1
	無回答	7	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	28.6

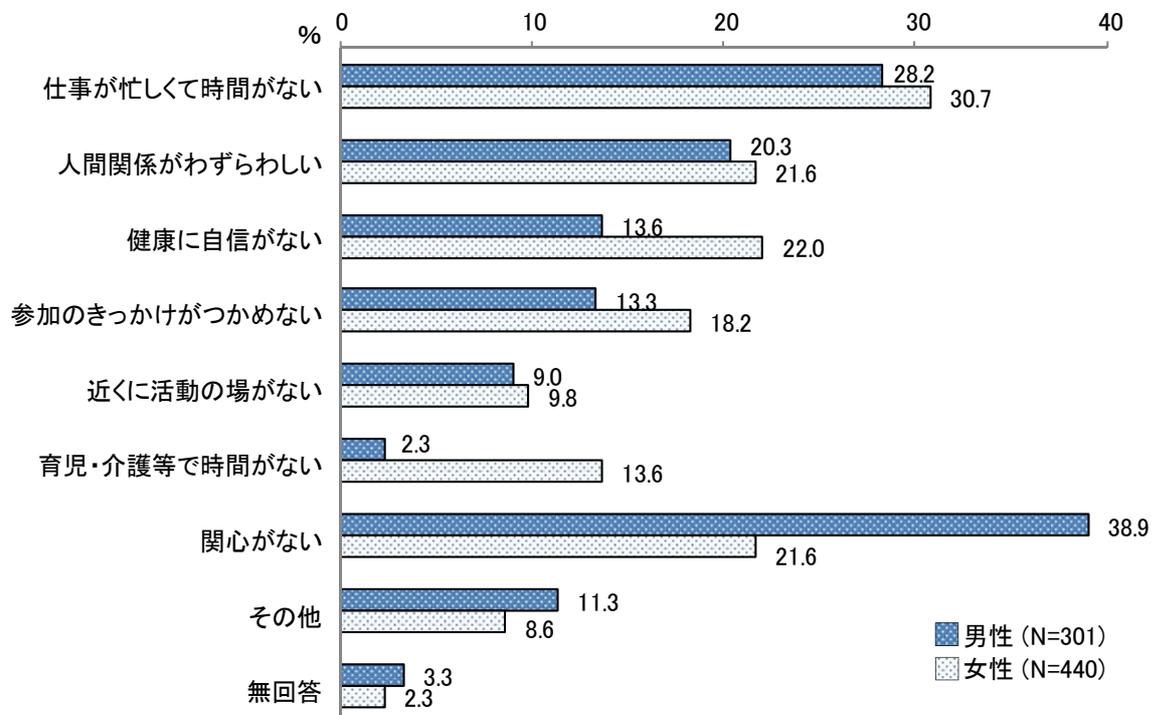
【性・年齢別】「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」では、「30歳～39歳」と「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。男性の「60歳～64歳」と「65歳～69歳」で唯一4割を超えている。

「特にしていない」では、男性の「20歳～29歳」が68.4%と最も高く、次いで女性の「50歳～59歳」(65.3%)、女性の「20歳～29歳」(63.4%)、男性の「30歳～39歳」(62.3%)、女性の「30歳～39歳」(53.8%)となっており、主に30歳代以下の年齢層で、仕事以外の活動を特にしていない割合が高くなっている。

(問28で「11 特にしていない」と答えた方が回答)
 問28-1 活動していない理由は何ですか。(〇は2つまで)



【全体】活動していない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が29.6%と最も高く、次いで「関心がない」(28.7%)、「人間関係がわずらわしい」(21.0%)となっている。



【性別】男性は「関心がない」が38.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」(28.2%)、「人間関係がわずらわしい」(20.3%)となっている。

女性は「仕事が忙しくて時間がない」が30.7%と最も高く、次いで「健康に自信がない」(22.0%)、「人間関係がわずらわしい」及び「関心がない」(21.6%)となっている。

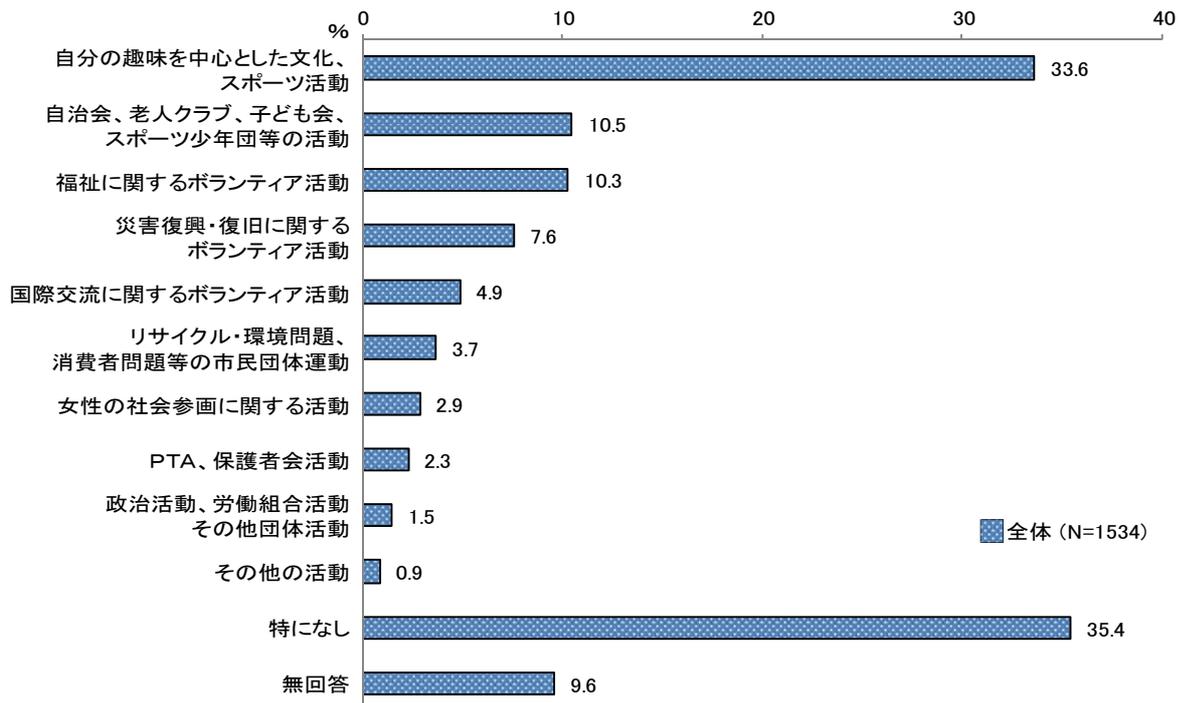
	全 体	活動していない理由									
		仕事が忙しくて時間がない	育児・介護等で時間がない	健康に自信がない	参加のきっかけがつかめない	近くに活動の場がない	人間関係がわずらわしい	関心がない	その他	無回答	
全 体	742	29.6	9.0	18.6	16.2	9.4	21.0	28.7	9.7	2.7	
性・年齢別	男性(計)	301	28.2	2.3	13.6	13.3	9.0	20.3	38.9	11.3	3.3
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	26	30.8	0.0	0.0	19.2	23.1	11.5	53.8	15.4	0.0
	男性・30歳～39歳	48	37.5	0.0	12.5	12.5	4.2	20.8	56.3	8.3	4.2
	男性・40歳～49歳	40	30.0	5.0	5.0	25.0	5.0	35.0	50.0	5.0	0.0
	男性・50歳～59歳	73	28.8	2.7	15.1	13.7	8.2	21.9	32.9	6.8	0.0
	男性・60歳～64歳	32	50.0	9.4	12.5	12.5	15.6	15.6	12.5	6.3	6.3
	男性・65歳～69歳	18	44.4	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0
	男性・70歳以上	58	3.4	0.0	27.6	5.2	3.4	19.0	34.5	25.9	10.3
	女性(計)	440	30.7	13.6	22.0	18.2	9.8	21.6	21.6	8.6	2.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	26	34.6	7.7	7.7	23.1	19.2	23.1	26.9	7.7	0.0
	女性・30歳～39歳	49	26.5	40.8	0.0	18.4	8.2	16.3	32.7	4.1	4.1
	女性・40歳～49歳	71	38.0	22.5	2.8	25.4	4.2	18.3	18.3	14.1	0.0
	女性・50歳～59歳	113	46.0	8.8	33.6	23.0	8.8	21.2	17.7	1.8	0.9
	女性・60歳～64歳	51	29.4	11.8	29.4	15.7	19.6	33.3	17.6	3.9	0.0
	女性・65歳～69歳	54	9.3	7.4	29.6	13.0	13.0	20.4	35.2	7.4	0.0
	女性・70歳以上	76	18.4	2.6	31.6	7.9	5.3	21.1	14.5	21.1	9.2
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

【性・年齢別】「仕事が忙しくて時間がない」では、男性では「60歳～64歳」が50.0%、女性では「50歳～59歳」が46.0%と最も高くなっている。

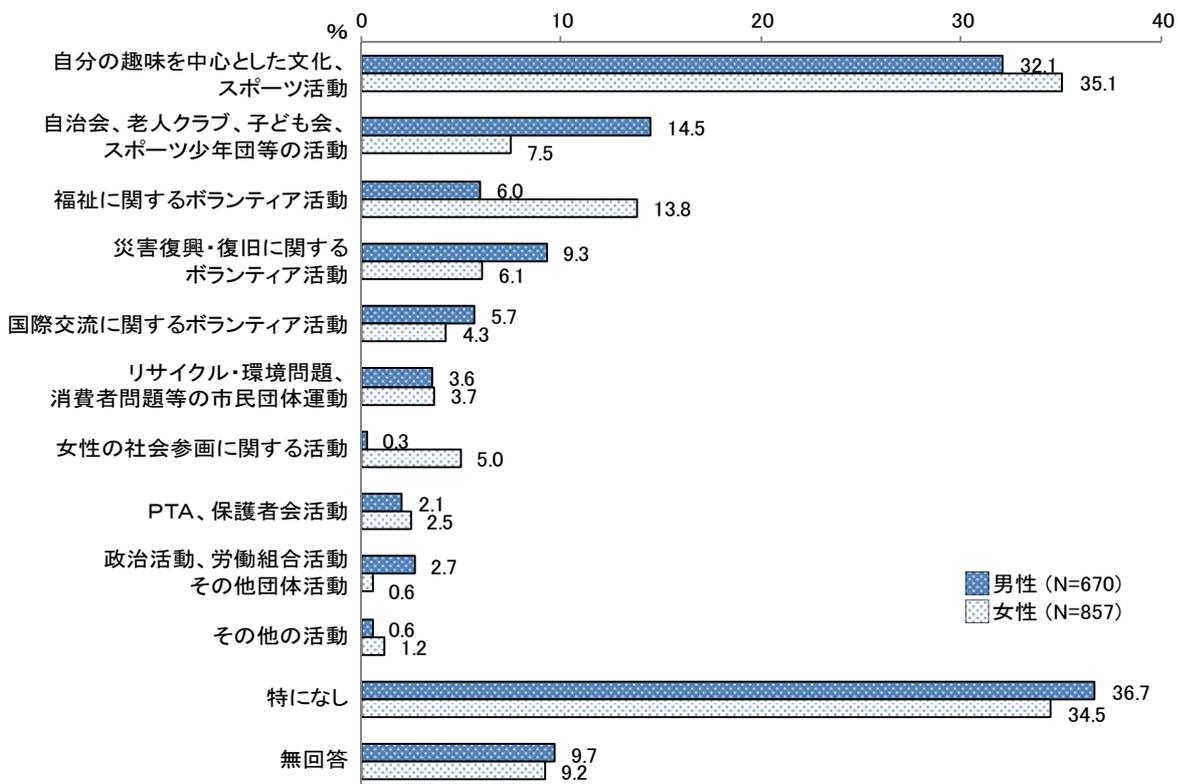
「関心がない」では、「60歳～64歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。特に、男性の「20歳～29歳」及び「30歳～39歳」で5割を超えている。

(全員が回答)

問28-2 今後、どのような活動をしてみたいですか。(〇は2つまで)



【全体】 今後してきたい活動については、「特になし」が 35.4%と最も高く、次いで「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」(33.6%)、「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」(10.5%)となっている。



【性別】 男性は「特になし」が 36.7%と最も高く、次いで「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」(32.1%)、「自治会、老人クラブ、子ども会、スポーツ少年団等の活動」(14.5%)となっている。女性は「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」が 35.1%と最も高く、次いで「特になし」(34.5%)、「福祉に関するボランティア活動」(13.8%)となっている。

	全 体	今後してみたい活動												
		自治会、 スポーツ、 老人クラブ、 少年団等 の活動	P T A、 保 護 者 会 活 動	女 性 の 社 会 参 画 に 関 する 活 動	消 費 者 問 題 等 の 市 民 団 体 運 動	リ サ イ ク ル ・ 環 境 問 題	活 動 福 祉 に 関 する ボ ラ ン テ ィ ア	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	災 害 復 興 ・ 復 旧 に 関 する 活 動	活 動 国 際 交 流 に 関 する ボ ラ ン テ ィ ア	自 分 の 趣 味 を 中 心 と し た 文 化 、 ス ポ ー ツ 活 動	そ の 他 団 体 活 動	政 治 活 動 、 労 働 組 合 活 動	そ の 他 の 活 動
全 体	1534	10.5	2.3	2.9	3.7	10.3	7.6	4.9	33.6	1.5	0.9	35.4	9.6	
性・ 年 齢 別	男性(計)	670	14.5	2.1	0.3	3.6	6.0	9.3	5.7	32.1	2.7	0.6	36.7	9.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	2.6	34.2	0.0	5.3	39.5	7.9
	男性・30歳～39歳	77	2.6	5.2	2.6	0.0	5.2	10.4	11.7	20.8	0.0	2.6	48.1	6.5
	男性・40歳～49歳	92	13.0	5.4	0.0	1.1	5.4	16.3	8.7	23.9	2.2	0.0	42.4	4.3
	男性・50歳～59歳	140	15.7	1.4	0.0	2.9	5.7	10.0	7.1	30.7	2.9	0.0	42.1	5.7
	男性・60歳～64歳	84	11.9	1.2	0.0	4.8	7.1	8.3	7.1	44.0	6.0	0.0	31.0	2.4
	男性・65歳～69歳	86	23.3	0.0	0.0	7.0	10.5	9.3	0.0	37.2	2.3	0.0	27.9	10.5
	男性・70歳以上	147	17.0	0.0	0.0	6.1	5.4	2.7	2.7	34.0	3.4	0.0	28.6	23.1
	女性(計)	857	7.5	2.5	5.0	3.7	13.8	6.1	4.3	35.1	0.6	1.2	34.5	9.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	2.4	0.0	0.0	12.2	14.6	14.6	19.5	24.4	0.0	0.0	41.5	4.9
	女性・30歳～39歳	91	15.4	4.4	2.2	4.4	12.1	4.4	6.6	27.5	0.0	0.0	38.5	7.7
	女性・40歳～49歳	164	7.3	6.7	2.4	0.0	12.2	11.0	1.8	37.8	1.2	2.4	31.1	6.1
	女性・50歳～59歳	173	0.6	3.5	5.8	3.5	18.5	4.0	5.8	38.7	0.0	0.0	32.9	8.7
	女性・60歳～64歳	102	7.8	0.0	2.0	9.8	11.8	5.9	5.9	45.1	2.0	2.0	28.4	8.8
	女性・65歳～69歳	111	10.8	0.0	7.2	0.0	11.7	4.5	3.6	42.3	0.0	3.6	31.5	5.4
	女性・70歳以上	175	9.1	0.0	9.7	4.0	13.7	3.4	0.0	25.1	0.6	0.0	41.1	17.1
無回答	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	

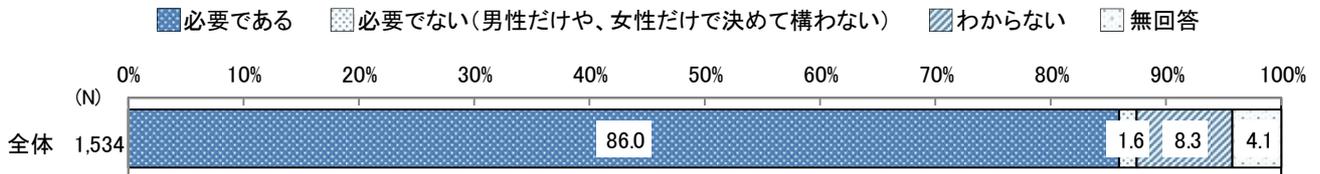
【性・年齢別】「自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動」では、男女ともに「60歳～64歳」で最も高く、4割半ばとなっている。

「特になし」では、男性の「30歳～39歳」が48.1%と最も高く、次いで男性の「40歳～49歳」(42.4%)、男性の「50歳～59歳」(42.1%)となっており、今後してみたい活動が特にない人の割合は男性が高くなっている。

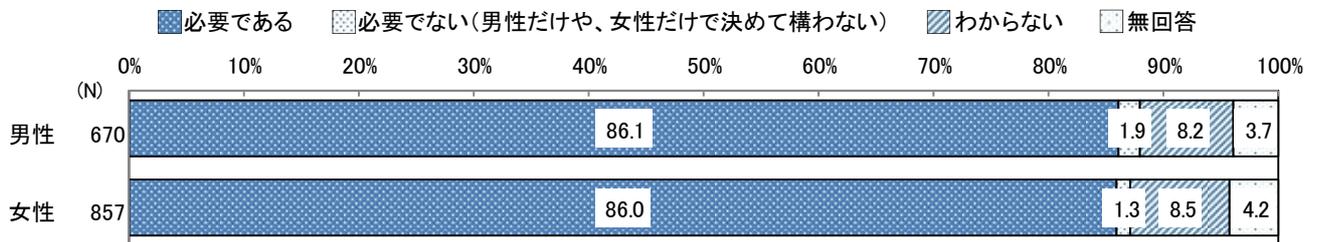
8. 防災・復興について

(29) 防災計画策定等への男性・女性の参加について

問29 あなたの地域で、防災に関する計画（防災や被害を小さくするための計画、避難する時の計画など）を立てたり、決めごとをする場合、男性と女性がどちらもメンバーとして参加する必要があると思いますか。（○は1つ）



【全体】「必要である」が86.0%と最も高くなっている。



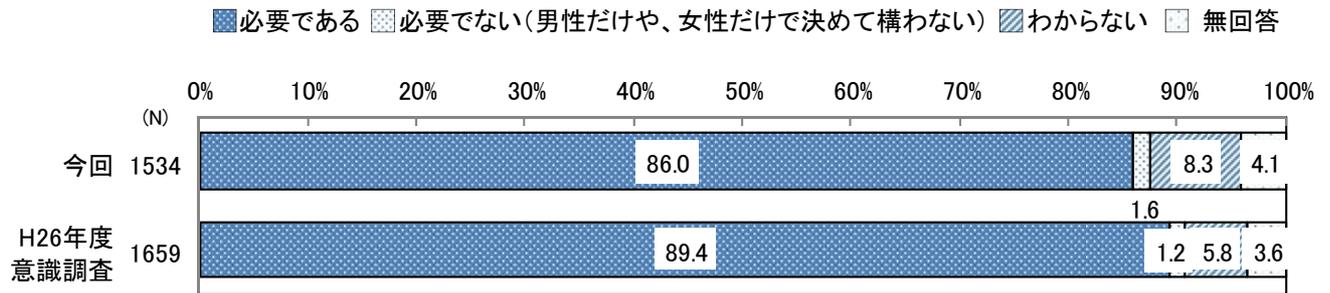
【性別】男女で大きな差はみられない。

	全体	防災に関する計画に男女共に参加する必要性				
		必要である	必要でない (男性だけや、 女性だけで決 めて構わない)	わからない	無回答	
全体	1534	86.0	1.6	8.3	4.1	
性・年齢別	男性(計)	670	86.1	1.9	8.2	3.7
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	78.9	0.0	15.8	5.3
	男性・30歳～39歳	77	85.7	5.2	5.2	3.9
	男性・40歳～49歳	92	80.4	2.2	17.4	0.0
	男性・50歳～59歳	140	90.0	1.4	8.6	0.0
	男性・60歳～64歳	84	89.3	3.6	6.0	1.2
	男性・65歳～69歳	86	90.7	2.3	0.0	7.0
	男性・70歳以上	147	83.0	0.0	8.2	8.8
	女性(計)	857	86.0	1.3	8.5	4.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	87.8	2.4	9.8	0.0
	女性・30歳～39歳	91	91.2	0.0	6.6	2.2
	女性・40歳～49歳	164	84.1	2.4	12.2	1.2
	女性・50歳～59歳	173	91.9	3.5	1.2	3.5
	女性・60歳～64歳	102	89.2	0.0	8.8	2.0
	女性・65歳～69歳	111	89.2	0.0	9.0	1.8
女性・70歳以上	175	74.9	0.0	12.6	12.6	
無回答	7	71.4	0.0	0.0	28.6	

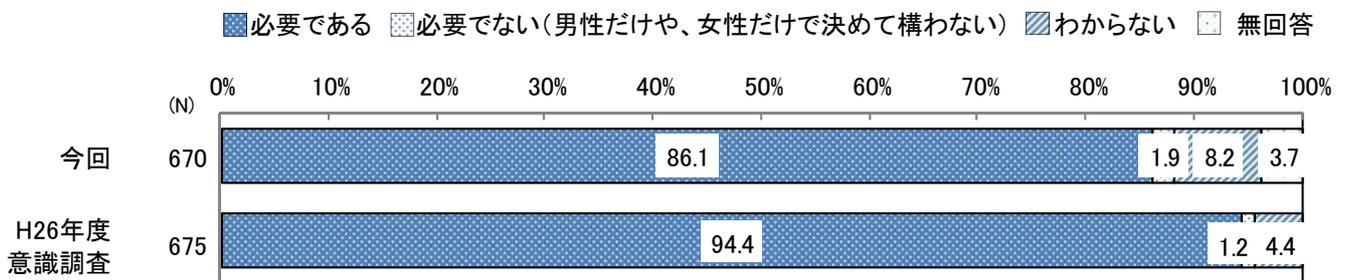
【性・年齢別】男女ともに、「必要である」がすべての年齢層で7割を超えている。

過去調査との比較

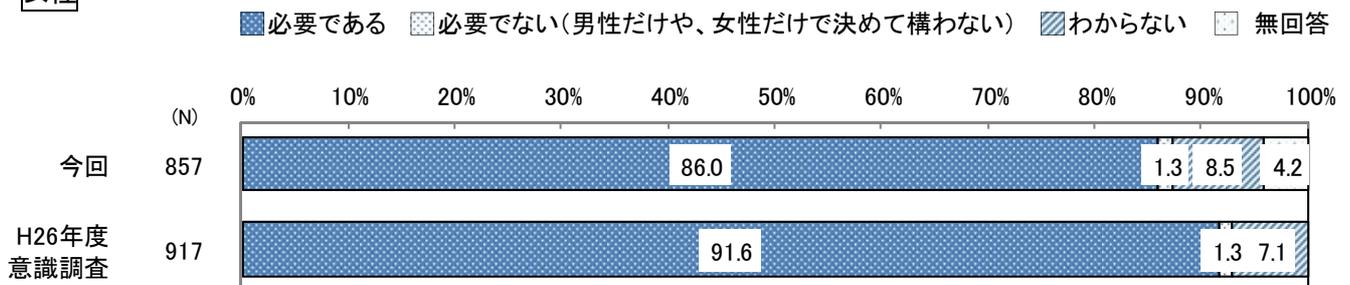
全体



男性



女性

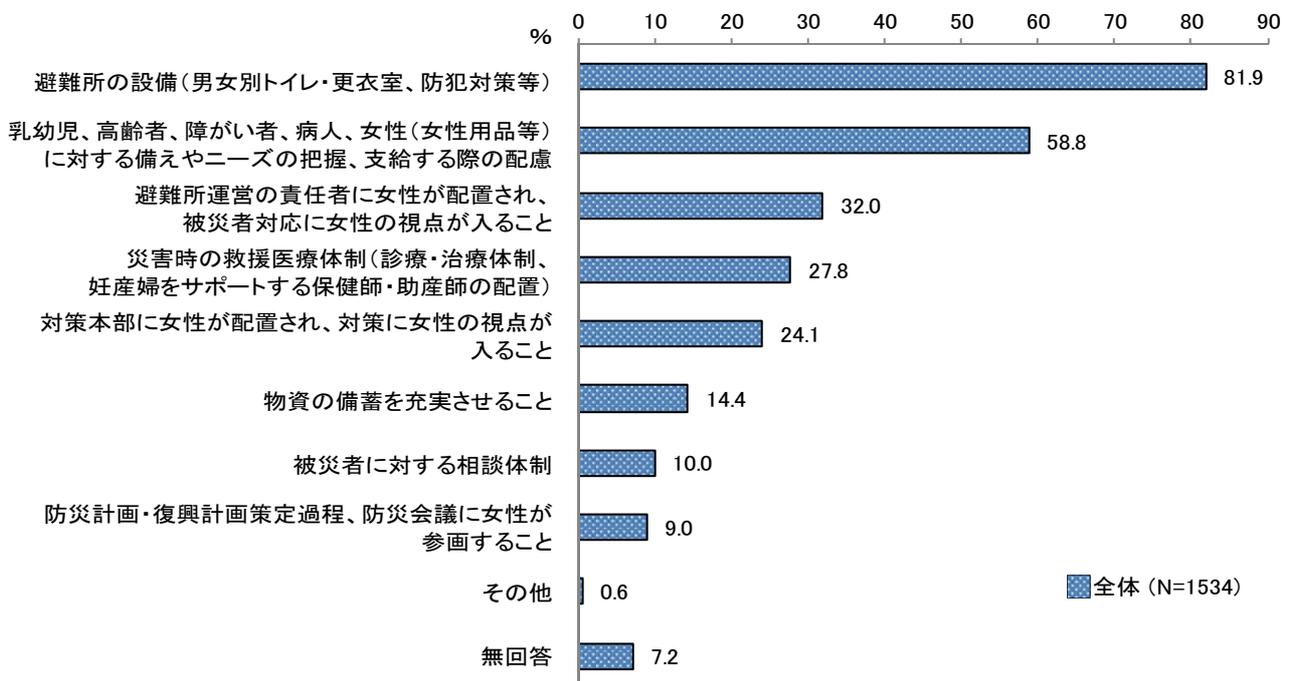


【全 体】平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

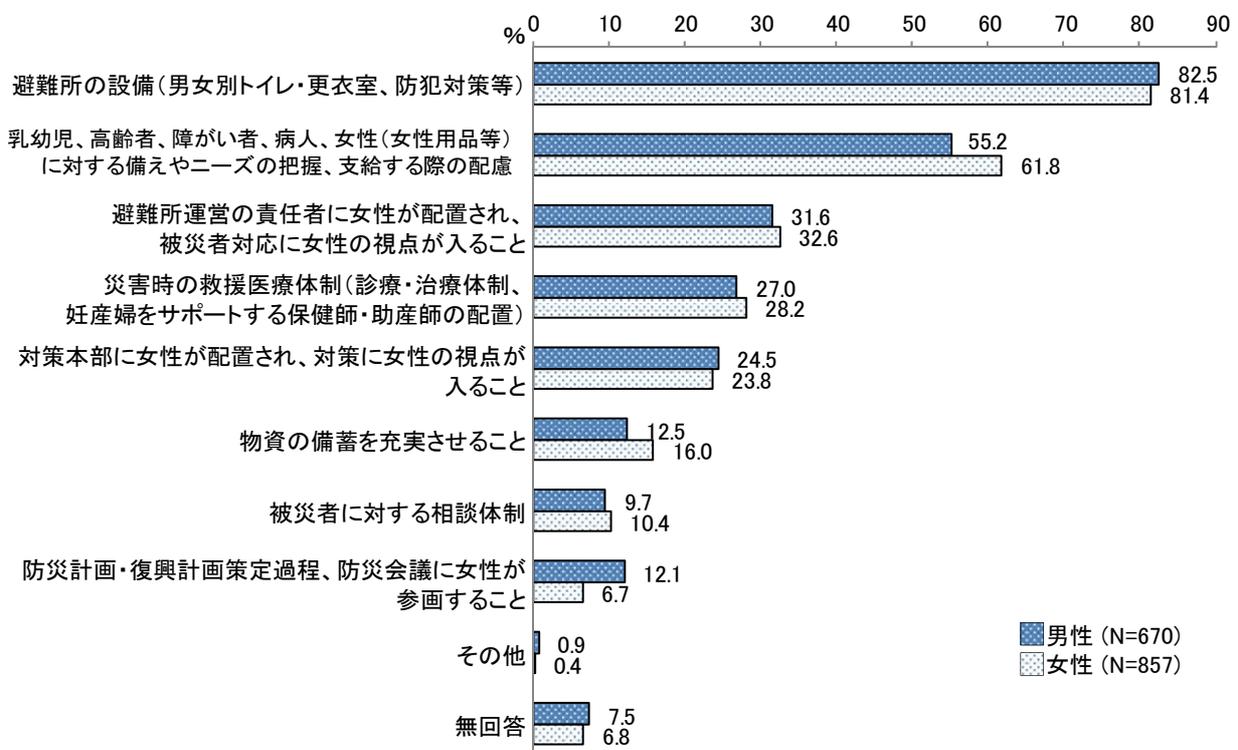
【性 別】男女ともに、「必要である」と回答した割合が低くなっている。

(30) 性別に配慮した災害時の対応について

問30 次のうち、災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うものはどれですか。
(〇は3つまで)



【全体】災害時に、性別に配慮した対応が必要なものについては、「避難所の設備(男女別トイレ・更衣室、防犯対策等)」が81.9%と最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性(女性用品等)に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が58.8%となっている。



【性別】男女ともに、「避難所の設備(男女別トイレ・更衣室、防犯対策等)」が最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性(女性用品等)に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」、「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」となっている。

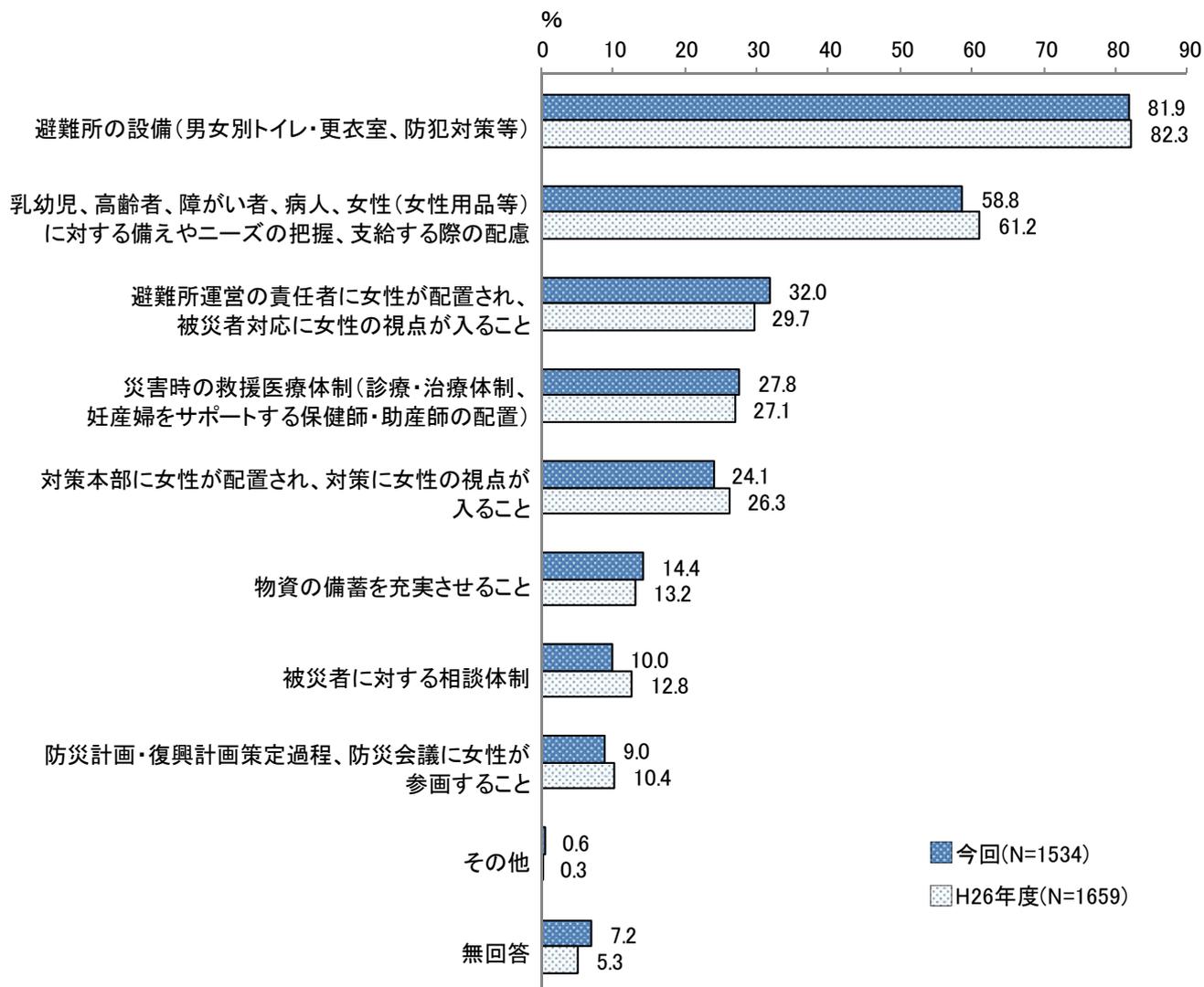
	全 体	災害時に性別の違いに気を配った必要な対応											
		衣室、 避難所の 設備（男 女別トイ レ・更 衣室、防 犯対策等 ）	入るこ と	避難所 の運営 の責任 者に女 性の視 点が配 置さ れるこ と	ニーズ の把握 、支給 する際 の配慮	乳幼児 、高齢 者、障 がい者 、病人 、女性 （女性 用品等 ）に対 する備 えや	保健師 ・助産 師の配 置	災害時 の救援 医療体 制（診 療・保 健師・ 助産師 の配置 ）	被災者 に対す る相談 体制	対策本 部に女 性が配 置され 、対策 に女性 の視点 が入る こと	防災計 画・復 興計画 策定過 程、防 災会議 に女性 が参画 すること	物資の 備蓄を 充実さ せるこ と	その他
全 体	1534	81.9	32.0	58.8	27.8	10.0	24.1	9.0	14.4	0.6	7.2		
性・ 年 齢 別	男性（計）	670	82.5	31.6	55.2	27.0	9.7	24.5	12.1	12.5	0.9	7.5	
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	男性・20歳～29歳	38	65.8	34.2	60.5	10.5	10.5	23.7	10.5	15.8	5.3	13.2	
	男性・30歳～39歳	77	85.7	26.0	57.1	36.4	10.4	26.0	9.1	13.0	2.6	3.9	
	男性・40歳～49歳	92	91.3	37.0	53.3	32.6	1.1	22.8	14.1	18.5	0.0	2.2	
	男性・50歳～59歳	140	85.0	35.7	58.6	16.4	9.3	26.4	8.6	14.3	1.4	5.7	
	男性・60歳～64歳	84	86.9	35.7	52.4	35.7	3.6	26.2	15.5	6.0	0.0	6.0	
	男性・65歳～69歳	86	90.7	40.7	51.2	20.9	10.5	29.1	17.4	5.8	0.0	5.8	
	男性・70歳以上	147	69.4	20.4	54.4	31.3	17.0	20.4	11.6	12.9	0.0	15.0	
	女性（計）	857	81.4	32.6	61.8	28.2	10.4	23.8	6.7	16.0	0.4	6.8	
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性・20歳～29歳	41	78.0	29.3	58.5	36.6	26.8	7.3	4.9	24.4	0.0	9.8	
	女性・30歳～39歳	91	76.9	27.5	78.0	27.5	2.2	24.2	2.2	11.0	1.1	6.6	
	女性・40歳～49歳	164	86.0	39.6	70.7	22.6	8.5	25.0	4.3	13.4	1.2	4.3	
	女性・50歳～59歳	173	82.1	35.3	57.2	27.7	8.1	24.9	6.4	16.8	0.0	6.4	
	女性・60歳～64歳	102	85.3	43.1	62.7	30.4	8.8	23.5	2.0	17.6	0.0	4.9	
	女性・65歳～69歳	111	82.9	30.6	58.6	27.0	17.1	25.2	14.4	11.7	0.0	1.8	
	女性・70歳以上	175	76.6	21.7	52.0	32.0	11.4	24.6	9.7	20.0	0.0	13.1	
無回答	7	71.4	0.0	28.6	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6		

【性・年齢別】「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」では、「20歳～29歳」と「70歳以上」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

「乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」では、女性の「30歳～39歳」と「40歳～49歳」で7割を超え高くなっている。

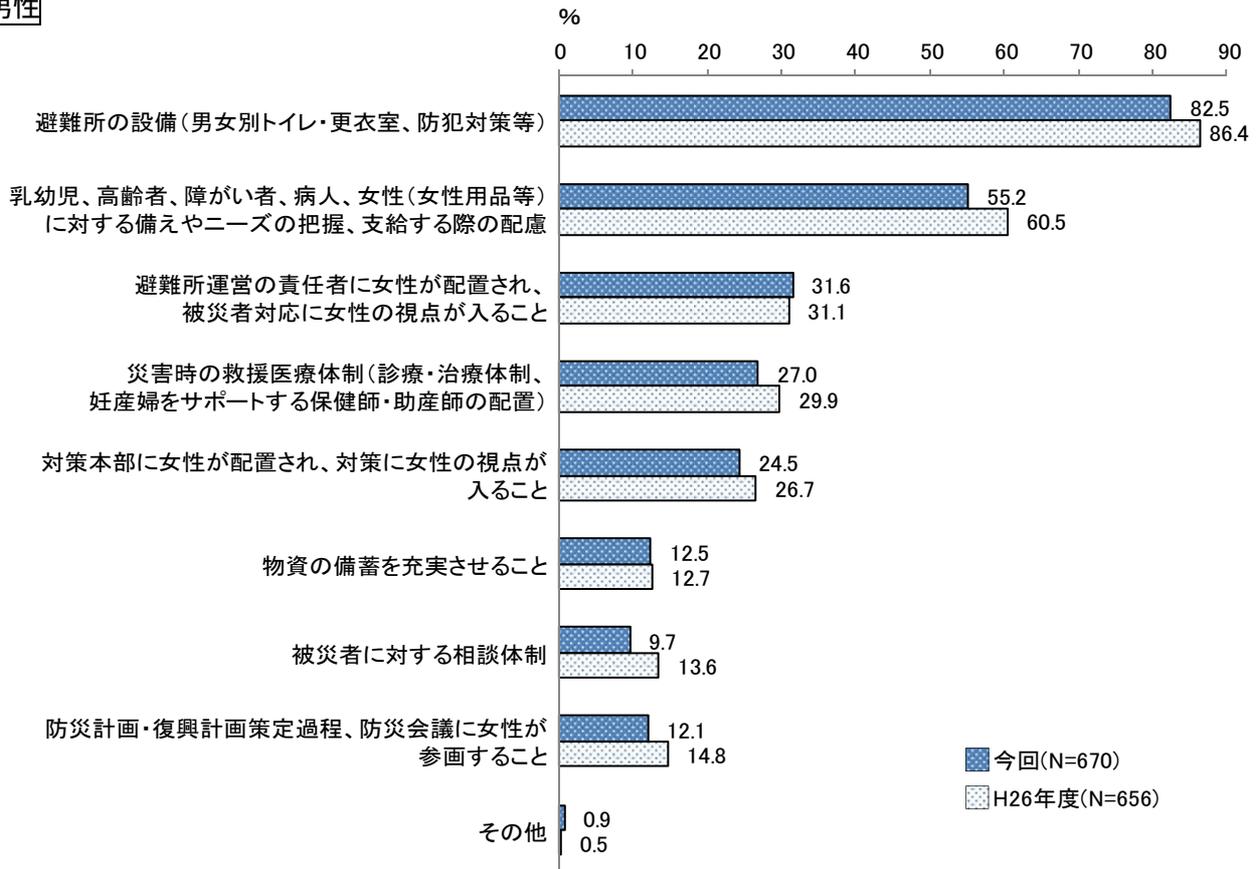
過去調査との比較

全体

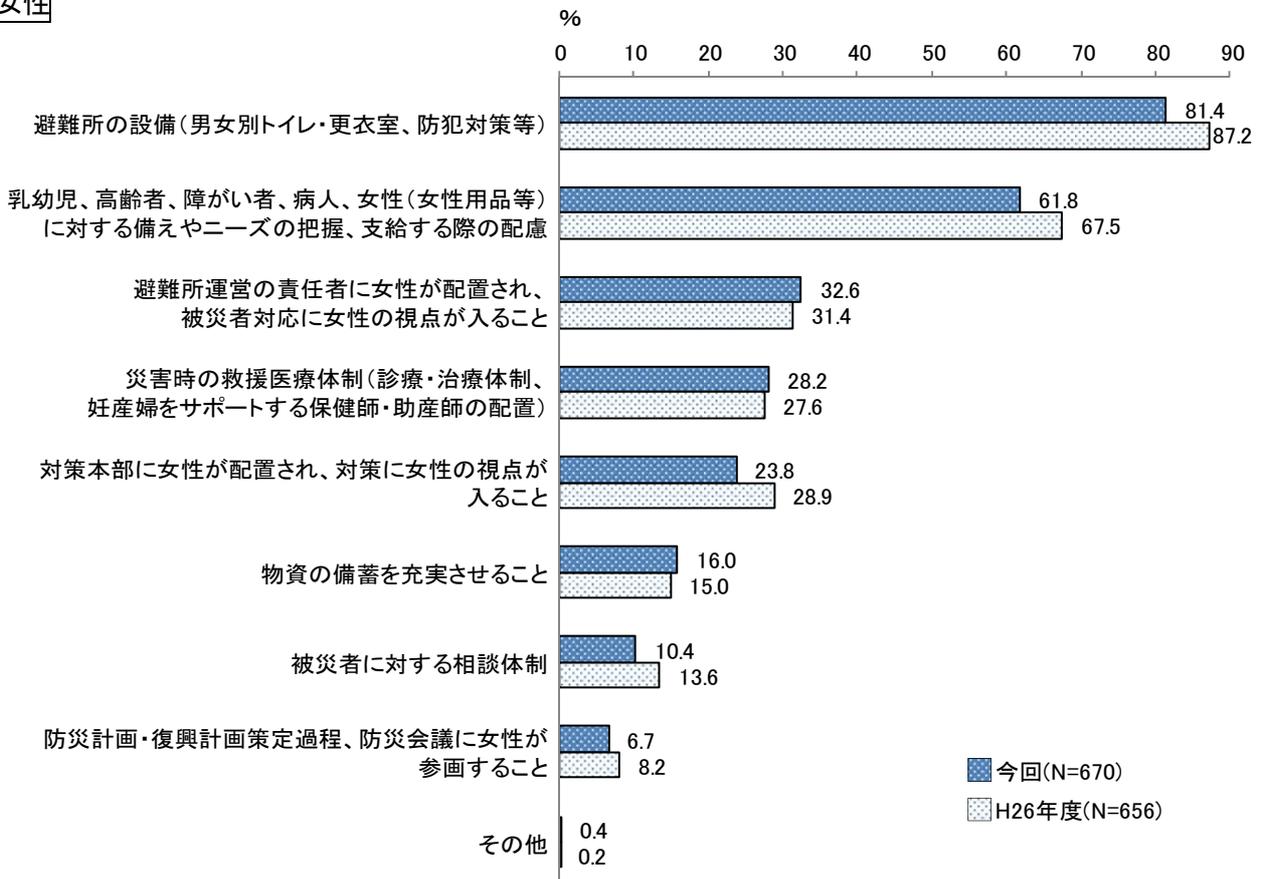


【全 体】平成 26 年度調査と大きな差はみられない。

男性



女性

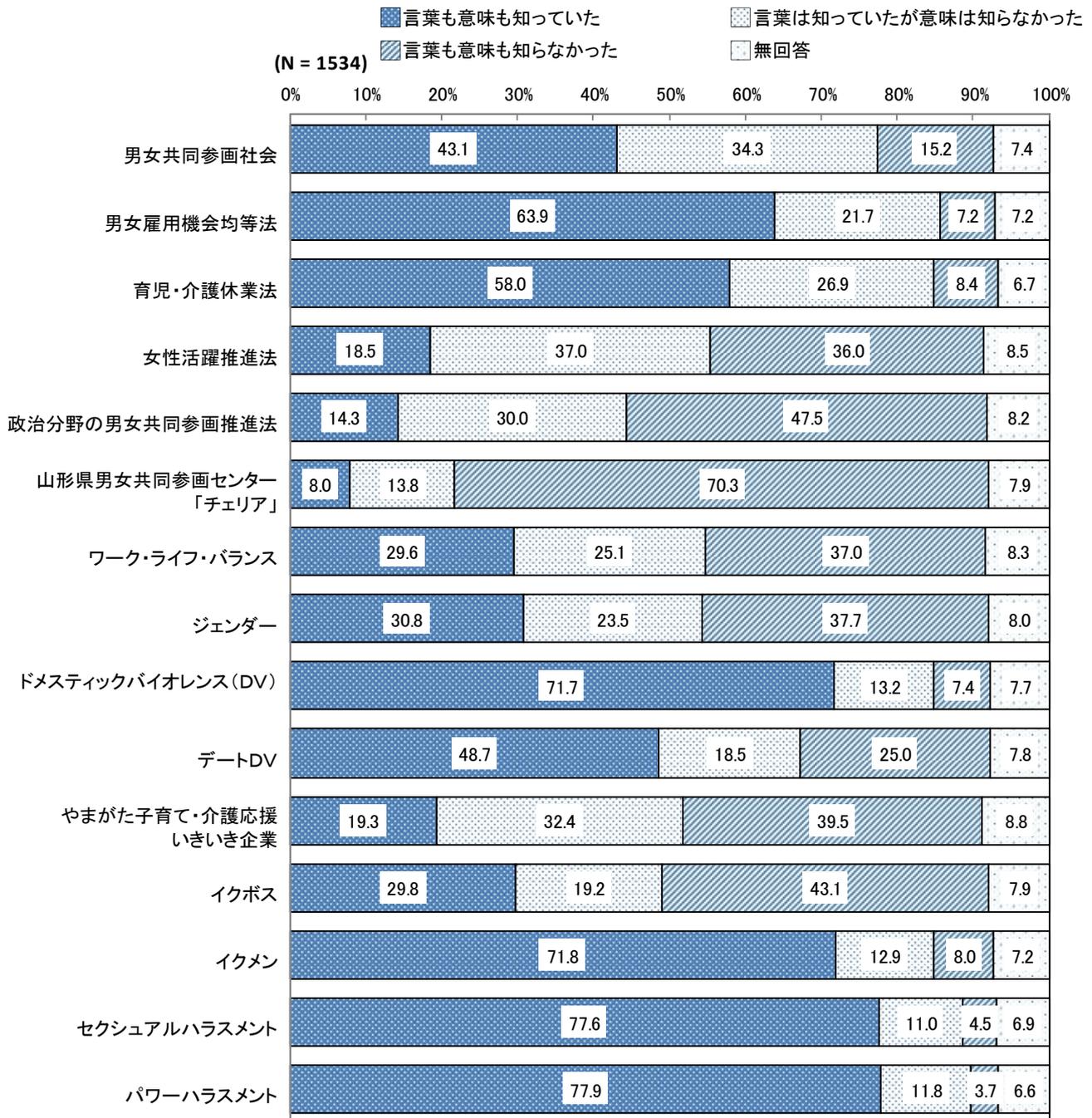


【性別】男女ともに、平成26年度調査と大きな差はみられない。

9. 男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

(31) 法律や用語、施設の知識について

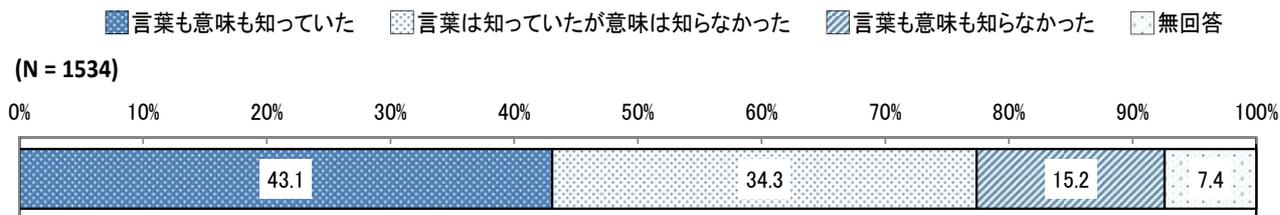
問3 1 あなたは、次の法律や用語、施設などについて知っていますか。(それぞれ〇は1つ)



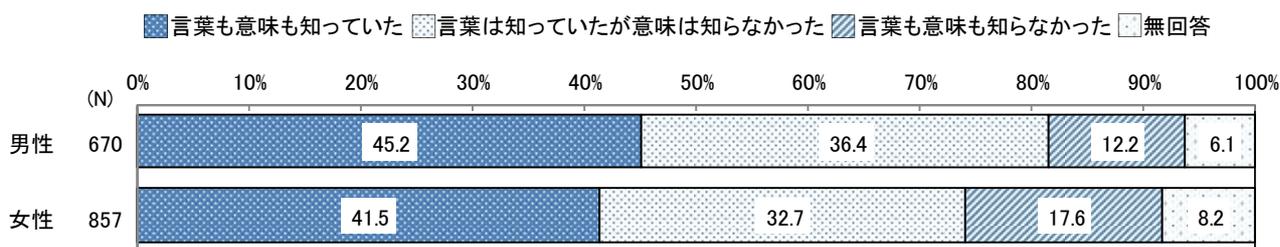
【全体】「言葉も意味も知っていた」では、「パワーハラスメント」(77.9%)、「セクシュアルハラスメント」(77.6%)が7割半ばを超えて特に高く、次いで「イクメン」(71.8%)、「ドメスティックバイオレンス(DV)」(71.7%)が7割強、「男女雇用機会均等法」(63.9%)が6割強となっている。

一方で、認知度が低かったのは、「山形県男女共同参画センター「チェリア」」(8.0%)、「政治分野の男女共同参画推進法」(14.3%)、「女性活躍推進法」(18.5%)となっている。

男女共同参画社会



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 43.1%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(34.3%)、「言葉も意味も知らなかった」(15.2%)となっている。



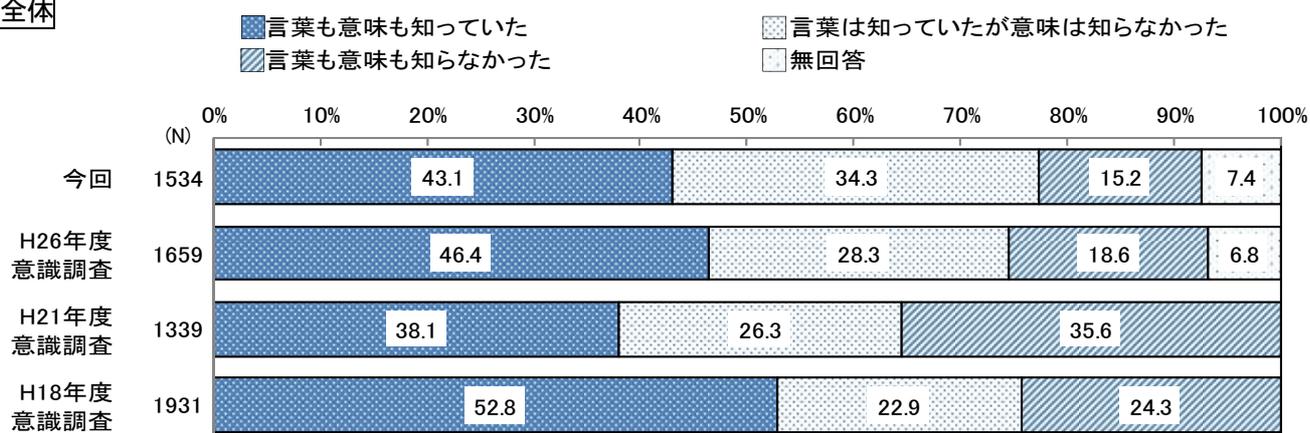
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知らなかった」では、女性 (17.6%) が男性 (12.2%) より 5.4 ポイント高い。

	全 体	男女共同参画社会の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	43.1	34.3	15.2	7.4	
性・年齢別	男性(計)	670	45.2	36.4	12.2	6.1
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	65.8	21.1	5.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	45.5	32.5	18.2	3.9
	男性・40歳～49歳	92	37.0	43.5	17.4	2.2
	男性・50歳～59歳	140	50.0	40.0	8.6	1.4
	男性・60歳～64歳	84	42.9	46.4	9.5	1.2
	男性・65歳～69歳	86	44.2	34.9	14.0	7.0
	男性・70歳以上	147	41.5	29.9	12.2	16.3
	女性(計)	857	41.5	32.7	17.6	8.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	48.8	34.1	14.6	2.4
	女性・30歳～39歳	91	33.0	40.7	17.6	8.8
	女性・40歳～49歳	164	39.6	35.4	22.0	3.0
	女性・50歳～59歳	173	46.2	29.5	19.7	4.6
	女性・60歳～64歳	102	48.0	36.3	13.7	2.0
女性・65歳～69歳	111	46.8	35.1	13.5	4.5	
女性・70歳以上	175	34.3	25.1	17.1	23.4	
無回答	7	28.6	28.6	0.0	42.9	

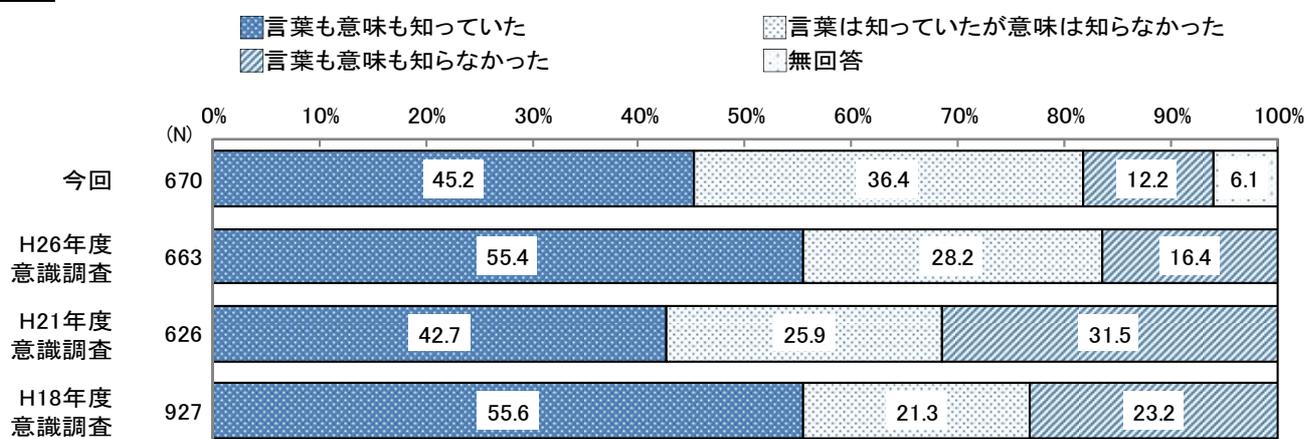
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男女ともに「20歳～29歳」で最も高く、男性では6割半ばとなっている。また、「言葉も意味も知らなかった」は、「30歳～39歳」と「65歳～69歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。

過去調査との比較【男女共同参画社会】

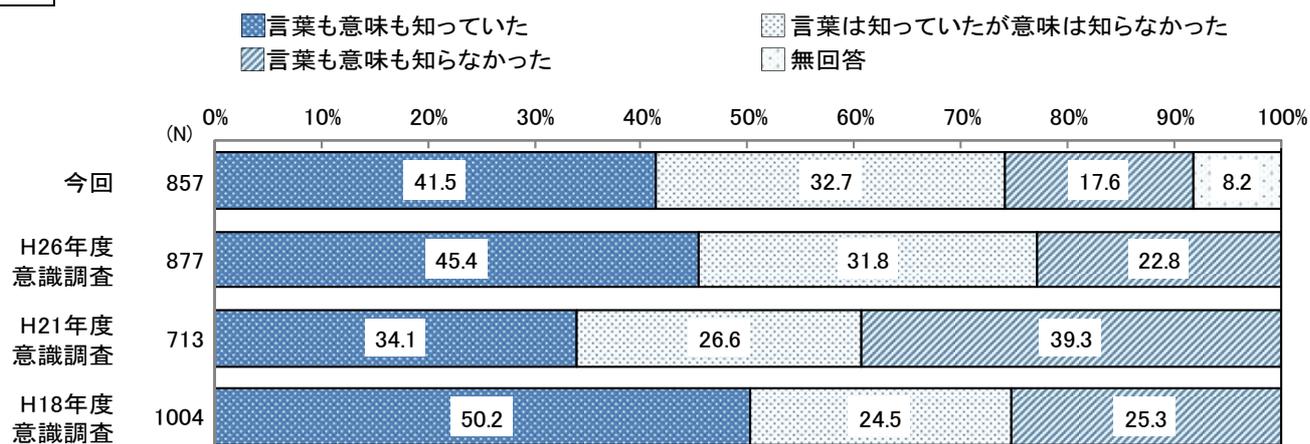
全体



男性



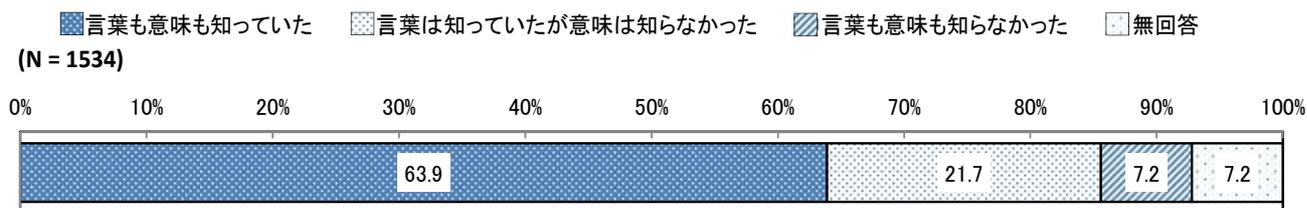
女性



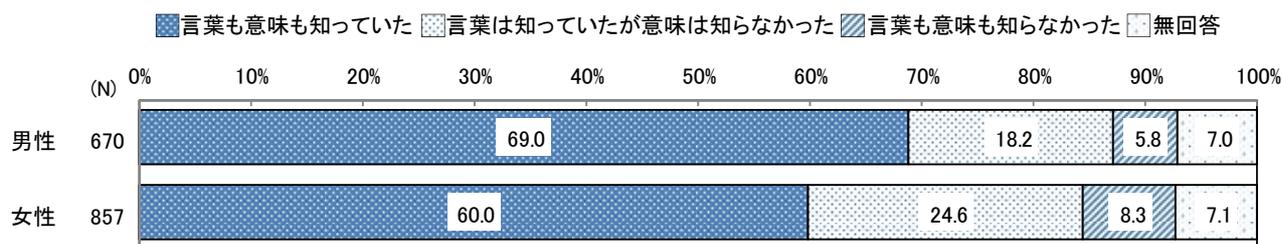
【全体】平成26年度調査と比較すると、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が6.0ポイント増加している。一方で、「言葉も意味も知っていた」は3.3ポイント、「言葉も意味も知らなかった」は3.4ポイント減少している。

【性別】男性で最も差が大きかったのは「言葉も意味も知っていた」で、10.2ポイント減少している。女性については「言葉も意味も知らなかった」で、5.2ポイント減少している。

男女雇用機会均等法



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 63.9%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(21.7%)、「言葉も意味も知らなかった」(7.2%)となっている。



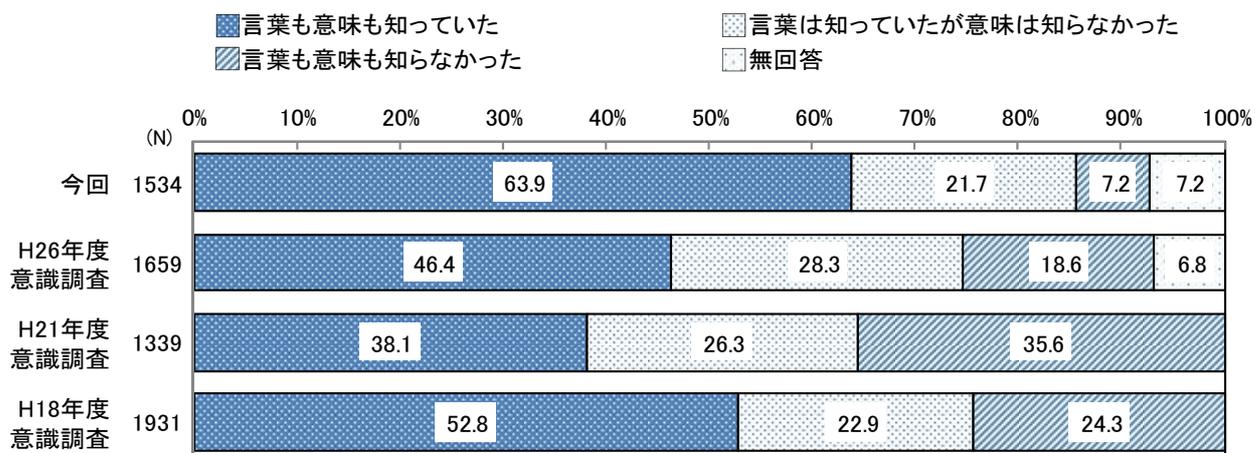
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、男性 (69.0%) が女性 (60.0%) より 9.0 ポイント高くなっている。

	全 体	男女雇用機会均等法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	63.9	21.7	7.2	7.2	
性・年齢別	男性(計)	670	69.0	18.2	5.8	7.0
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	71.1	15.8	5.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	75.3	15.6	5.2	3.9
	男性・40歳～49歳	92	79.3	13.0	5.4	2.2
	男性・50歳～59歳	140	70.0	23.6	5.0	1.4
	男性・60歳～64歳	84	72.6	25.0	1.2	1.2
	男性・65歳～69歳	86	68.6	19.8	4.7	7.0
	男性・70歳以上	147	54.4	14.3	10.9	20.4
	女性(計)	857	60.0	24.6	8.3	7.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	58.5	29.3	9.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	63.7	26.4	5.5	4.4
	女性・40歳～49歳	164	67.7	24.4	6.1	1.8
	女性・50歳～59歳	173	64.7	17.9	10.4	6.9
	女性・60歳～64歳	102	64.7	27.5	5.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	58.6	27.9	9.0	4.5
	女性・70歳以上	175	44.6	25.7	10.3	19.4
	無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9

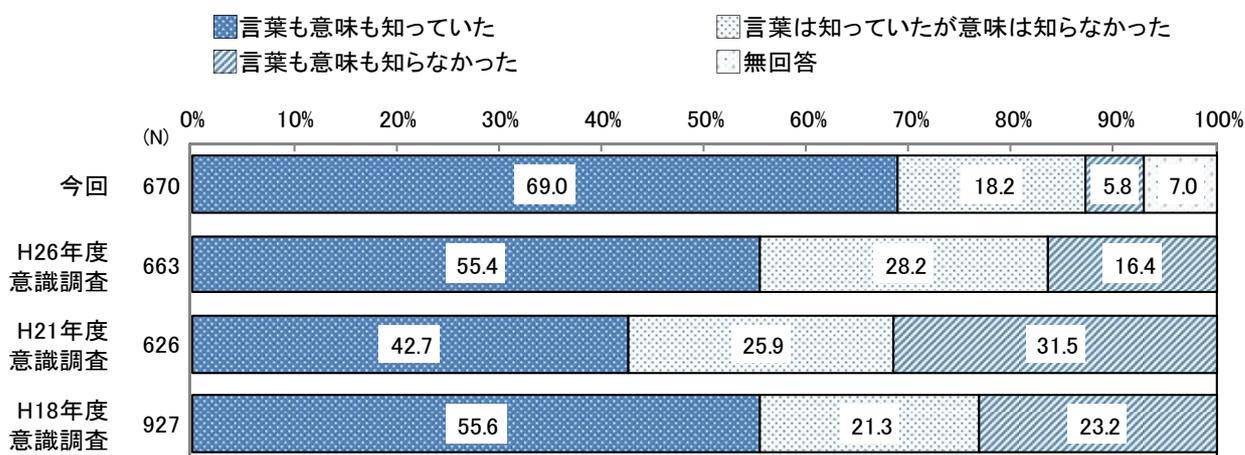
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、すべての年齢層で男性の方が女性よりも高くなっている。男女ともに「40歳～49歳」で最も高く、男性では約8割となっている。

過去調査との比較【男女雇用機会均等法】

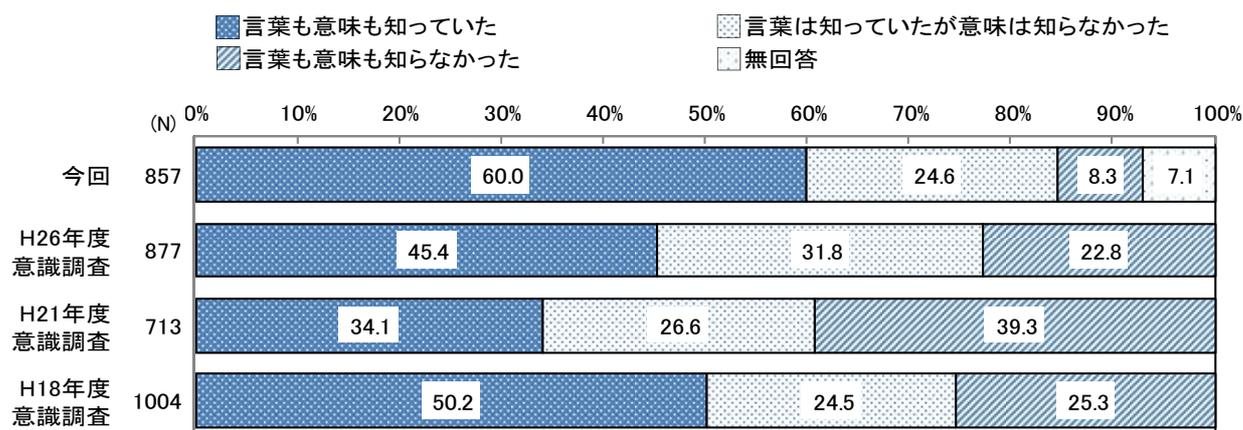
全体



男性



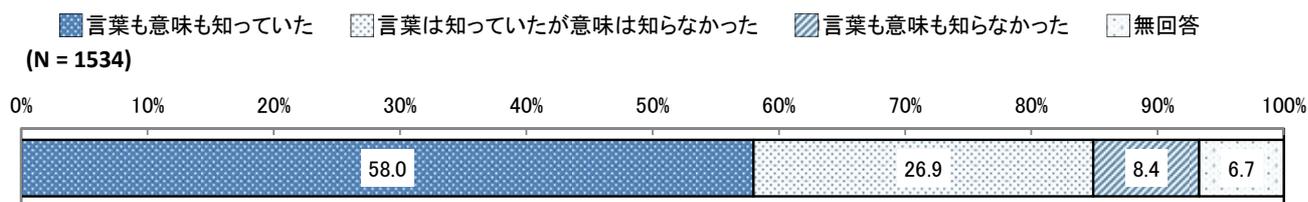
女性



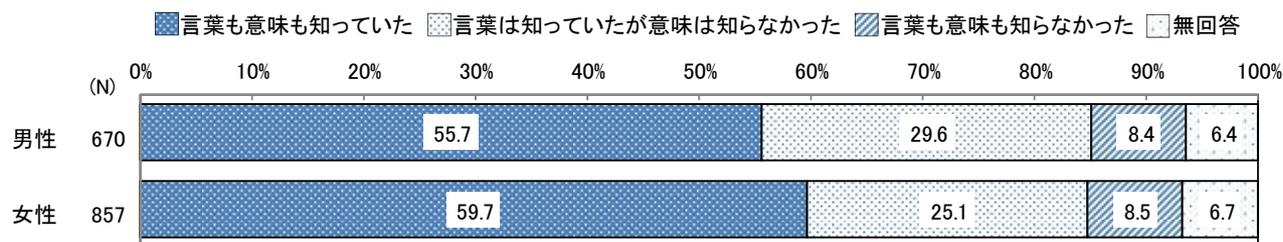
【全体】平成26年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が17.5ポイント増加している。一方で、「言葉も意味も知らなかった」は11.4ポイント減少しており、認知度が向上している。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が10ポイント以上増加し、「言葉も意味も知らなかった」が10ポイント以上減少している。

育児・介護休業法



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 58.0%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(26.9%)、「言葉も意味も知らなかった」(8.4%)となっている。



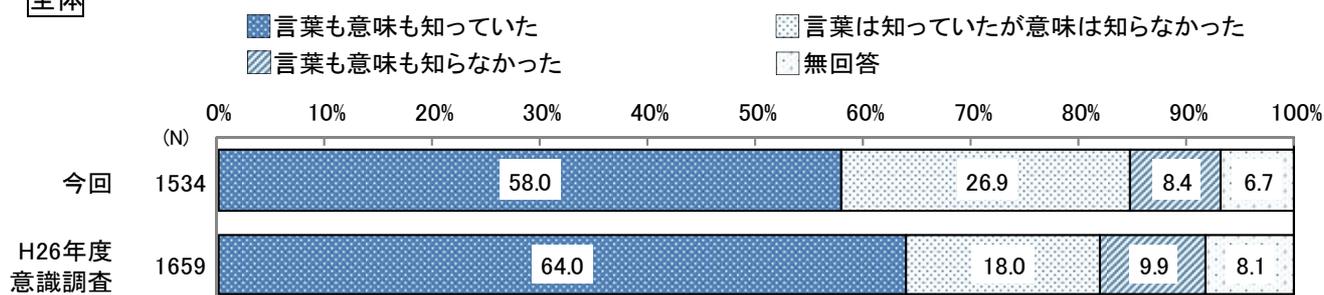
【性 別】「言葉も意味も知っていた」は、女性が 59.7%で男性の 55.7%より 4.0 ポイント高い。「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は、男性が 29.6%で女性の 25.1%より 4.5 ポイント高い。

	全 体	育児・介護休業法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	58.0	26.9	8.4	6.7	
性・年齢別	男性(計)	670	55.7	29.6	8.4	6.4
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	60.5	31.6	0.0	7.9
	男性・30歳～39歳	77	58.4	26.0	11.7	3.9
	男性・40歳～49歳	92	51.1	42.4	6.5	0.0
	男性・50歳～59歳	140	60.7	31.4	6.4	1.4
	男性・60歳～64歳	84	64.3	27.4	7.1	1.2
	男性・65歳～69歳	86	53.5	34.9	4.7	7.0
	男性・70歳以上	147	45.6	20.4	15.0	19.0
	女性(計)	857	59.7	25.1	8.5	6.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	58.5	24.4	14.6	2.4
	女性・30歳～39歳	91	61.5	26.4	7.7	4.4
	女性・40歳～49歳	164	66.5	21.3	10.4	1.8
	女性・50歳～59歳	173	63.0	22.5	7.5	6.9
	女性・60歳～64歳	102	56.9	39.2	2.0	2.0
	女性・65歳～69歳	111	69.4	17.1	10.8	2.7
	女性・70歳以上	175	45.1	27.4	9.1	18.3
	無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9

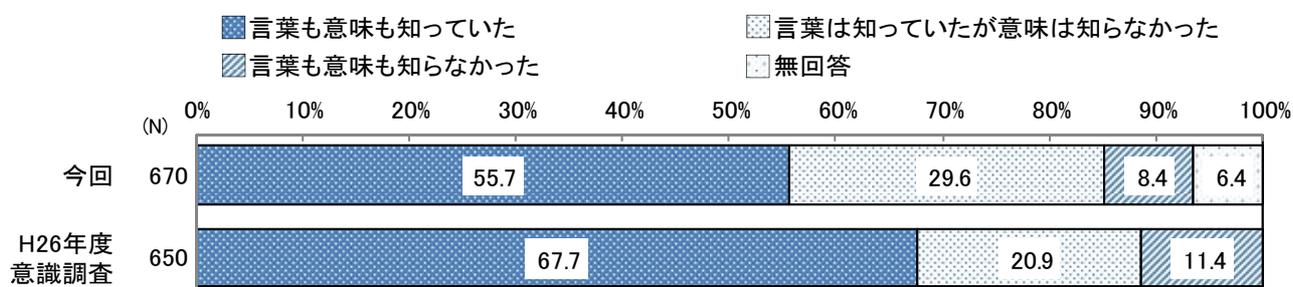
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、女性の「65歳～69歳」が 69.4%と最も高く、次いで女性の「40歳～49歳」(66.5%)、男性「60歳～64歳」(64.3%)、女性の「50歳～59歳」(63.0%)となっており、女性の方が認知度は高い傾向になっている。

過去調査との比較【育児・介護休業法】

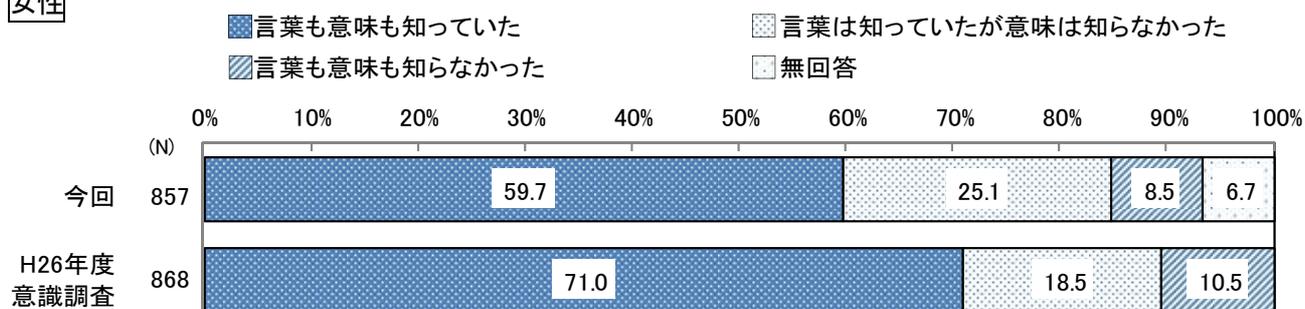
全体



男性



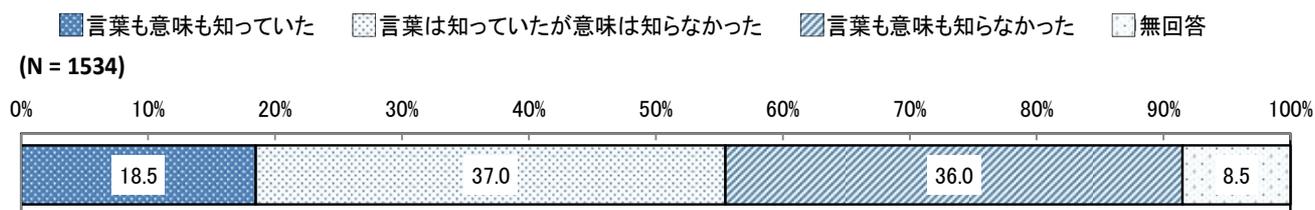
女性



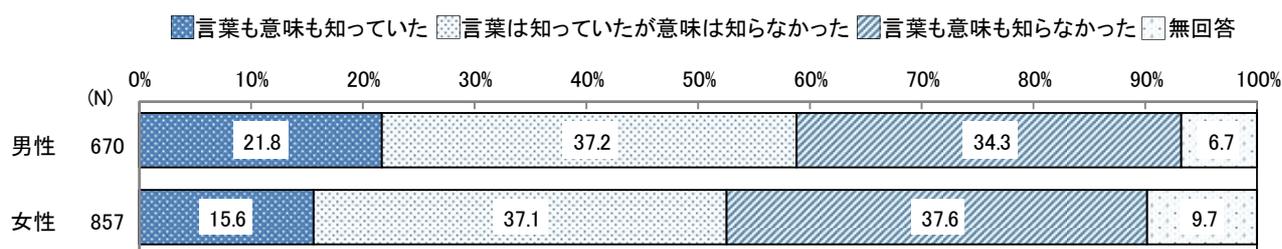
【全体】平成26年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が6.0ポイント減少している。また、「言葉も意味も知らなかった」については、大きな差はみられない。

【性別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が10ポイント以上減少している。また、「言葉も意味も知らなかった」については、大きな差はみられない。

女性活躍推進法



【全 体】「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 37.0%と最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(36.0%)、「言葉も意味も知っていた」(18.5%) となっている。

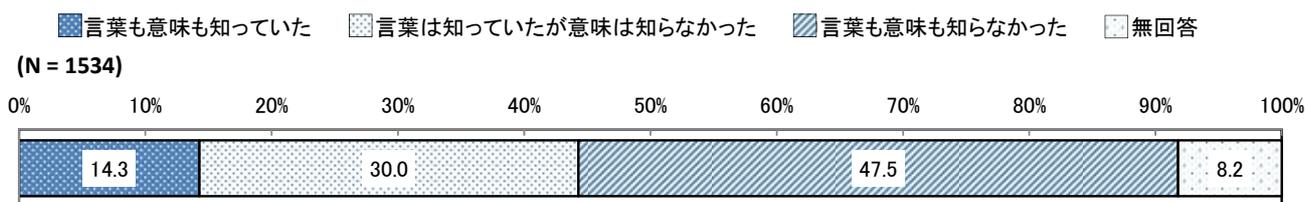


【性 別】「言葉も意味も知っていた」では、男性 (21.8%) が女性 (15.6%) より 6.2 ポイント高く、最も差がみられた。

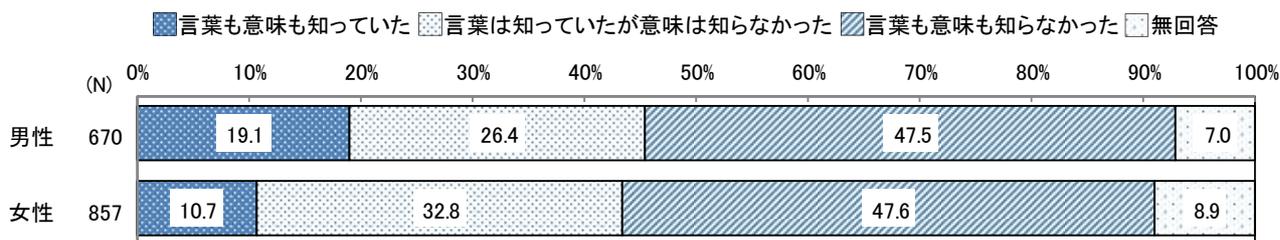
	全 体	女性活躍推進法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	18.5	37.0	36.0	8.5	
性・年齢別	男性(計)	670	21.8	37.2	34.3	6.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	26.3	39.5	26.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	26.0	27.3	42.9	3.9
	男性・40歳～49歳	92	16.3	39.1	42.4	2.2
	男性・50歳～59歳	140	21.4	45.0	32.1	1.4
	男性・60歳～64歳	84	19.0	42.9	36.9	1.2
	男性・65歳～69歳	86	29.1	37.2	26.7	7.0
	男性・70歳以上	147	20.4	29.9	30.6	19.0
	女性(計)	857	15.6	37.1	37.6	9.7
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	14.6	41.5	41.5	2.4
	女性・30歳～39歳	91	8.8	49.5	37.4	4.4
	女性・40歳～49歳	164	22.0	32.9	43.3	1.8
	女性・50歳～59歳	173	17.9	34.1	41.0	6.9
	女性・60歳～64歳	102	15.7	36.3	44.1	3.9
	女性・65歳～69歳	111	18.9	40.5	32.4	8.1
	女性・70歳以上	175	9.1	34.9	27.4	28.6
	無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9

【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

政治分野における男女共同参画推進法



【全 体】「言葉も意味も知らなかった」が 47.5%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(30.0%)、「言葉も意味も知っていた」(14.3%)となっている。

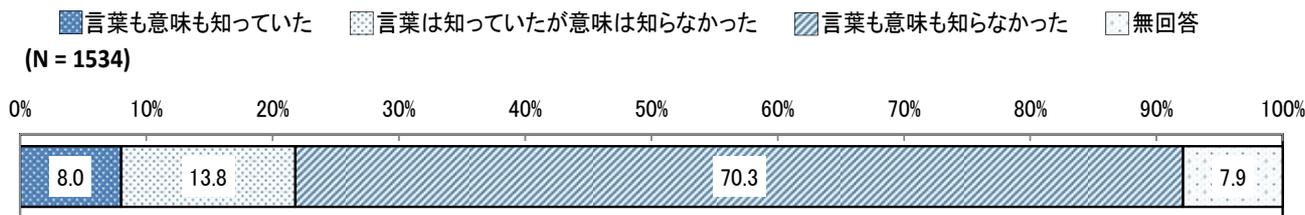


【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、男性 (19.1%) が女性 (10.7%) より 8.4 ポイント高い。

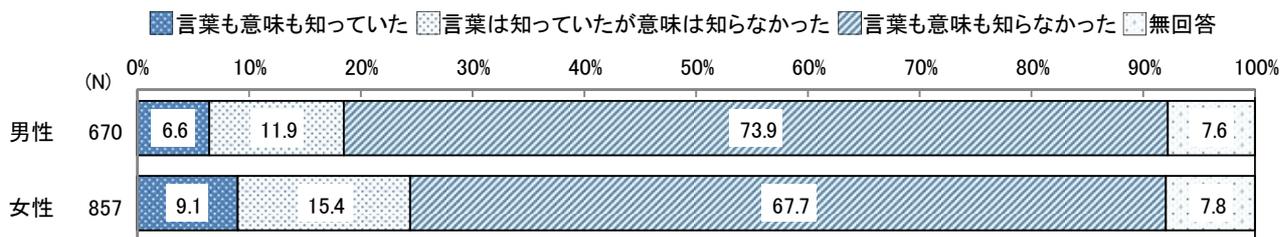
	全 体	政治分野の男女共同参画推進法の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	14.3	30.0	47.5	8.2	
性・年齢別	男性(計)	670	19.1	26.4	47.5	7.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	31.6	26.3	34.2	7.9
	男性・30歳～39歳	77	20.8	26.0	49.4	3.9
	男性・40歳～49歳	92	12.0	26.1	59.8	2.2
	男性・50歳～59歳	140	14.3	37.9	46.4	1.4
	男性・60歳～64歳	84	17.9	25.0	56.0	1.2
	男性・65歳～69歳	86	30.2	24.4	38.4	7.0
	男性・70歳以上	147	19.0	19.0	41.5	20.4
	女性(計)	857	10.7	32.8	47.6	8.9
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	14.6	22.0	61.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	6.6	20.9	68.1	4.4
	女性・40歳～49歳	164	9.8	39.6	48.8	1.8
	女性・50歳～59歳	173	15.0	28.9	49.1	6.9
	女性・60歳～64歳	102	16.7	27.5	53.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	7.2	47.7	37.8	7.2
	女性・70歳以上	175	7.4	32.6	33.7	26.3
無回答	7	0.0	28.6	28.6	42.9	

【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、「50歳～59歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

山形県男女共同参画センター「チェリア」



【全 体】「言葉も意味も知らなかった」が 70.3%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(13.8%)、「言葉も意味も知っていた」(8.0%)となっている。



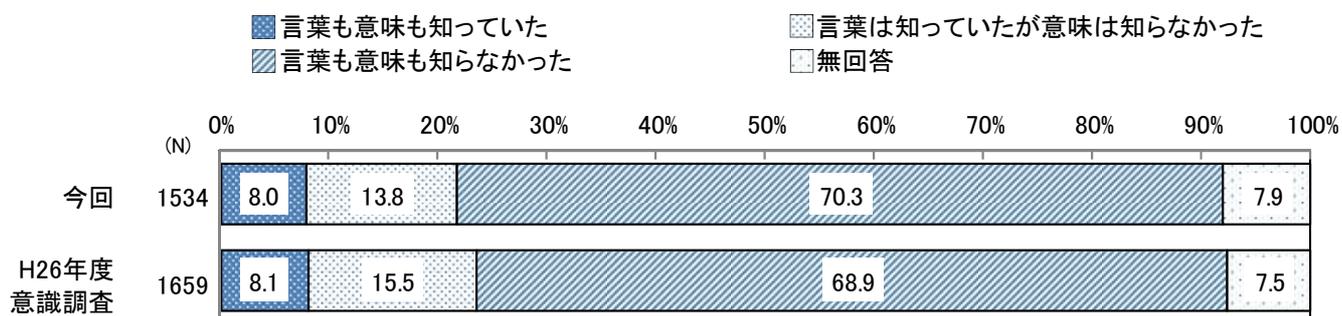
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知らなかった」では、男性 (73.9%) が女性 (67.7%) より 6.2 ポイント高い。

	全 体	山形県男女共同参画センター「チェリア」の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	8.0	13.8	70.3	7.9	
性・年齢別	男性(計)	670	6.6	11.9	73.9	7.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	5.3	15.8	65.8	13.2
	男性・30歳～39歳	77	7.8	2.6	85.7	3.9
	男性・40歳～49歳	92	2.2	14.1	83.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	7.1	10.0	81.4	1.4
	男性・60歳～64歳	84	7.1	17.9	71.4	3.6
	男性・65歳～69歳	86	10.5	9.3	73.3	7.0
	男性・70歳以上	147	6.1	15.0	57.1	21.8
	女性(計)	857	9.1	15.4	67.7	7.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	4.9	87.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	13.2	8.8	73.6	4.4
	女性・40歳～49歳	164	7.9	23.2	67.1	1.8
	女性・50歳～59歳	173	8.7	17.9	69.4	4.0
	女性・60歳～64歳	102	14.7	7.8	75.5	2.0
	女性・65歳～69歳	111	11.7	16.2	69.4	2.7
	女性・70歳以上	175	4.6	15.4	53.1	26.9
無回答	7	0.0	0.0	57.1	42.9	

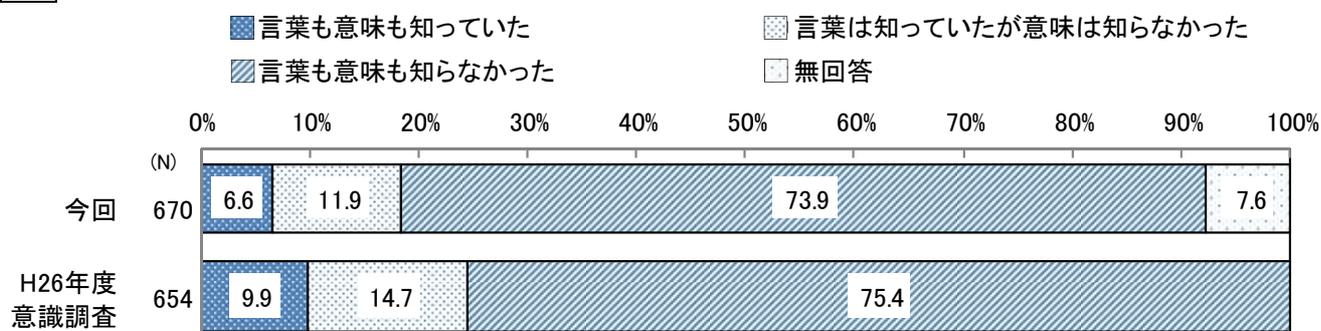
【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、「20歳～29歳」と「60歳～64歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。また、男性の「30歳～39歳」から「50歳～59歳」と女性の「20歳～29歳」で8割を超えている。

過去調査との比較【山形県男女共同参画センター「チェリア」】

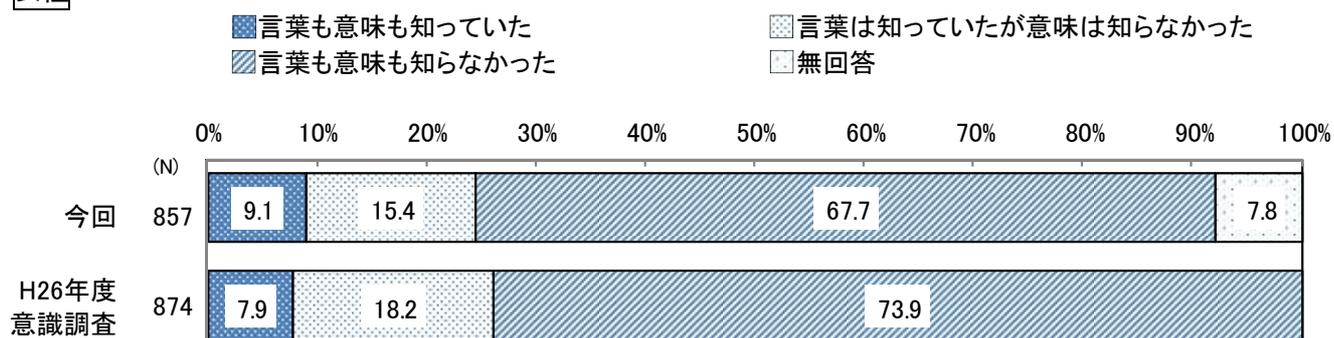
全体



男性



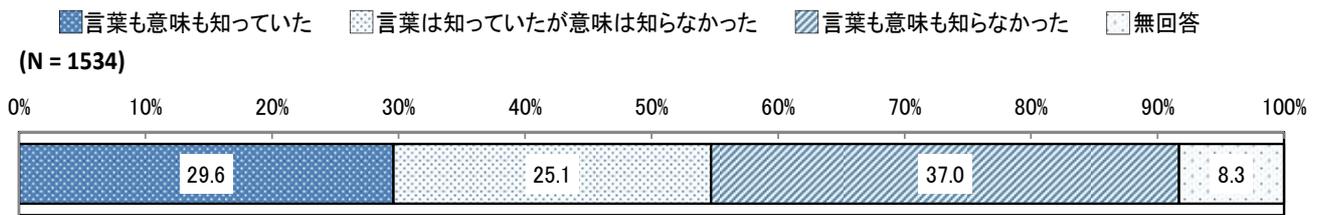
女性



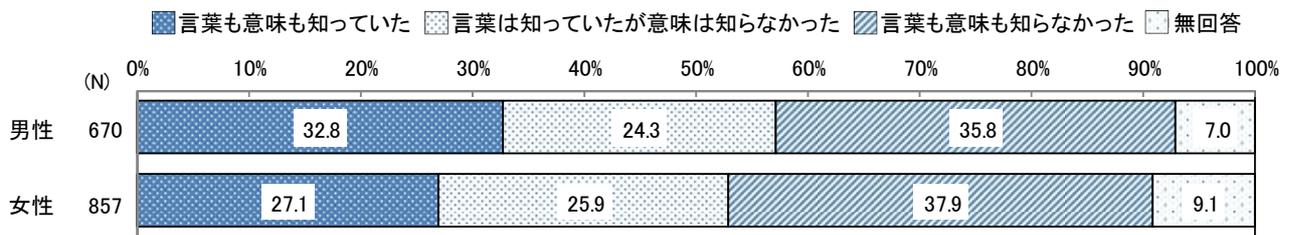
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

【性 別】男性は「言葉も意味も知っていた」と回答した割合が 3.3 ポイント減少しているのに対し、女性は 1.2 ポイント増加している。

ワーク・ライフ・バランス



【全 体】「言葉も意味も知らなかった」が37.0%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」(29.6%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(25.1%)となっている。



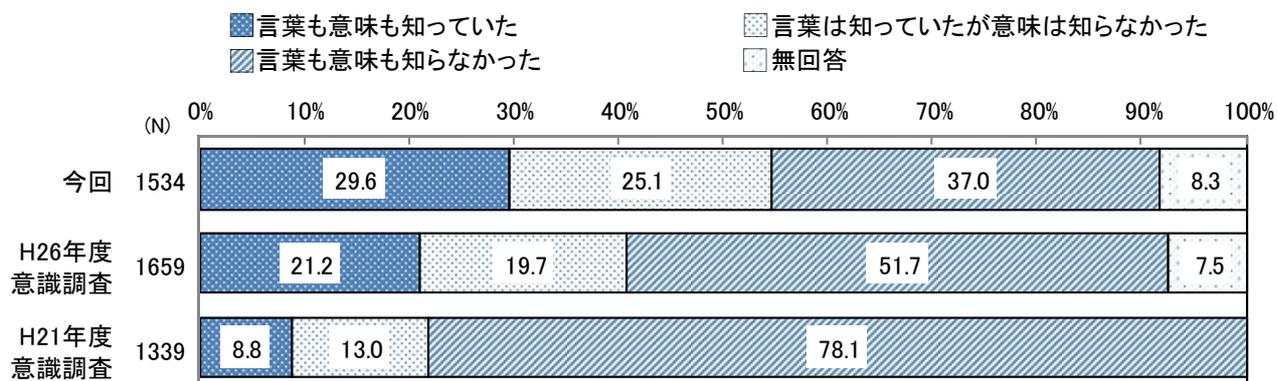
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、男性(32.8%)が女性(27.1%)より5.7ポイント高くなっている。

	全 体	ワーク・ライフ・バランスの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	29.6	25.1	37.0	8.3	
性・年齢別	男性(計)	670	32.8	24.3	35.8	7.0
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	57.9	28.9	5.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	54.5	15.6	26.0	3.9
	男性・40歳～49歳	92	30.4	23.9	45.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	40.0	24.3	34.3	1.4
	男性・60歳～64歳	84	36.9	28.6	33.3	1.2
	男性・65歳～69歳	86	27.9	22.1	38.4	11.6
	男性・70歳以上	147	11.6	26.5	42.9	19.0
	女性(計)	857	27.1	25.9	37.9	9.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	41.5	29.3	26.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	42.9	30.8	22.0	4.4
	女性・40歳～49歳	164	37.8	25.0	34.1	3.0
	女性・50歳～59歳	173	31.8	22.0	39.9	6.4
	女性・60歳～64歳	102	16.7	39.2	38.2	5.9
	女性・65歳～69歳	111	20.7	28.8	44.1	6.3
	女性・70歳以上	175	10.9	17.7	46.3	25.1
無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9	

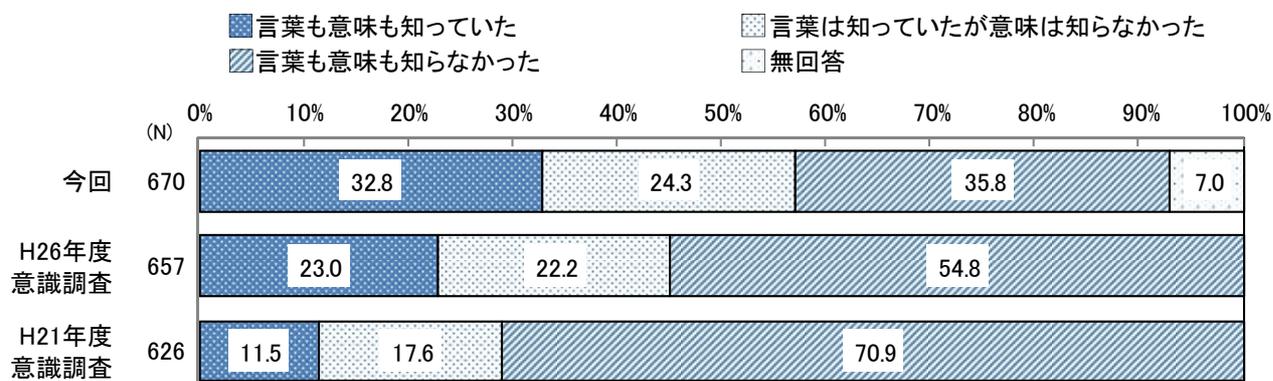
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「40歳～49歳」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【ワーク・ライフ・バランス】

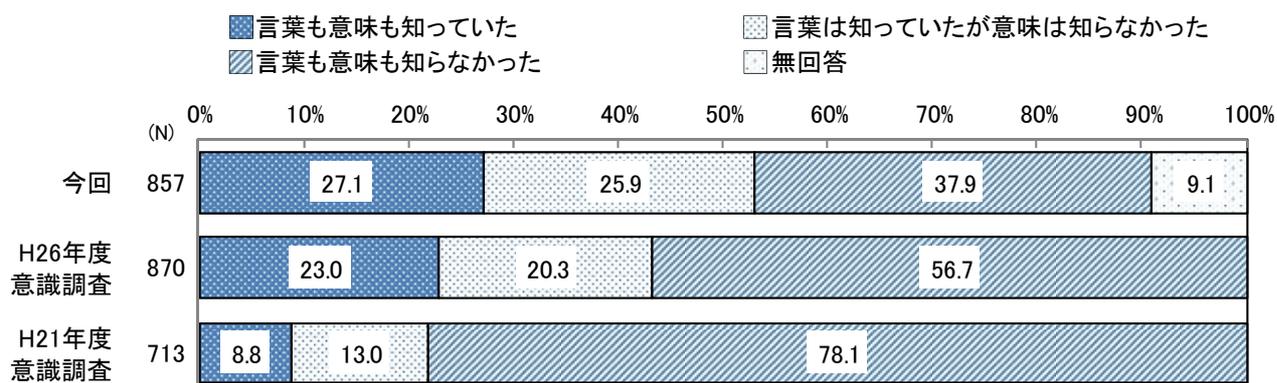
全体



男性



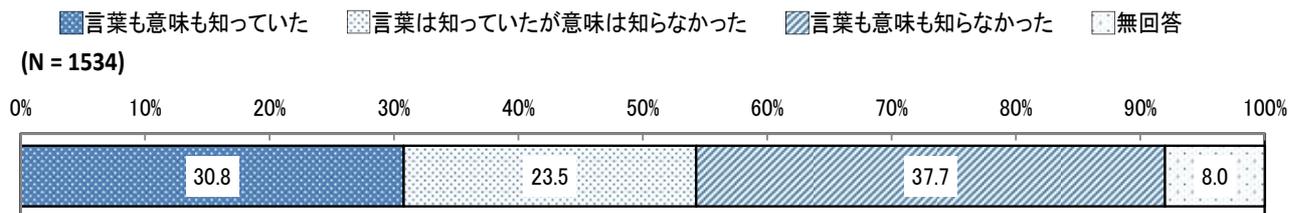
女性



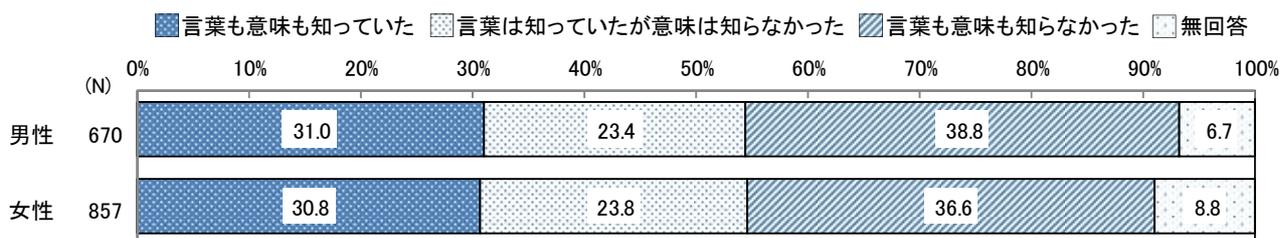
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 8.4 ポイント増加し、「言葉も意味も知らなかった」が 14.7 ポイント減少しており、認知度が向上している。

【性 別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が増加し、「言葉も意味も知らなかった」が減少している。

ジェンダー



【全 体】「言葉も意味も知らなかった」が37.7%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」(30.8%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(23.5%)となっている。



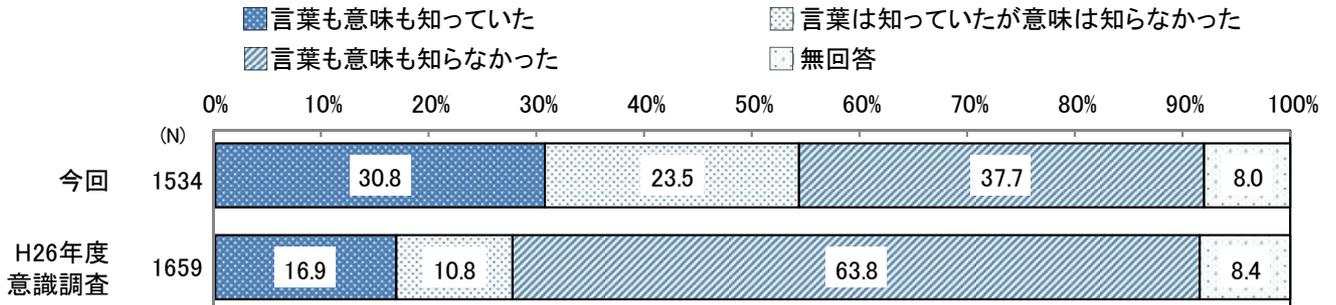
【性 別】男女で大きな差はみられない。

	全 体	ジェンダーの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	30.8	23.5	37.7	8.0	
性・年齢別	男性(計)	670	31.0	23.4	38.8	6.7
	男性・18歳、19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	55.3	21.1	15.8	7.9
	男性・30歳～39歳	77	59.7	11.7	24.7	3.9
	男性・40歳～49歳	92	34.8	31.5	33.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	36.4	20.0	42.1	1.4
	男性・60歳～64歳	84	22.6	35.7	40.5	1.2
	男性・65歳～69歳	86	23.3	22.1	47.7	7.0
	男性・70歳以上	147	10.2	23.1	46.3	20.4
	女性(計)	857	30.8	23.8	36.6	8.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	51.2	34.1	12.2	2.4
	女性・30歳～39歳	91	56.0	24.2	13.2	6.6
	女性・40歳～49歳	164	39.6	27.4	31.1	1.8
	女性・50歳～59歳	173	30.6	28.3	34.1	6.9
	女性・60歳～64歳	102	30.4	25.5	40.2	3.9
	女性・65歳～69歳	111	19.8	21.6	52.3	6.3
	女性・70歳以上	175	12.0	13.7	50.3	24.0
	無回答	7	0.0	0.0	57.1	42.9

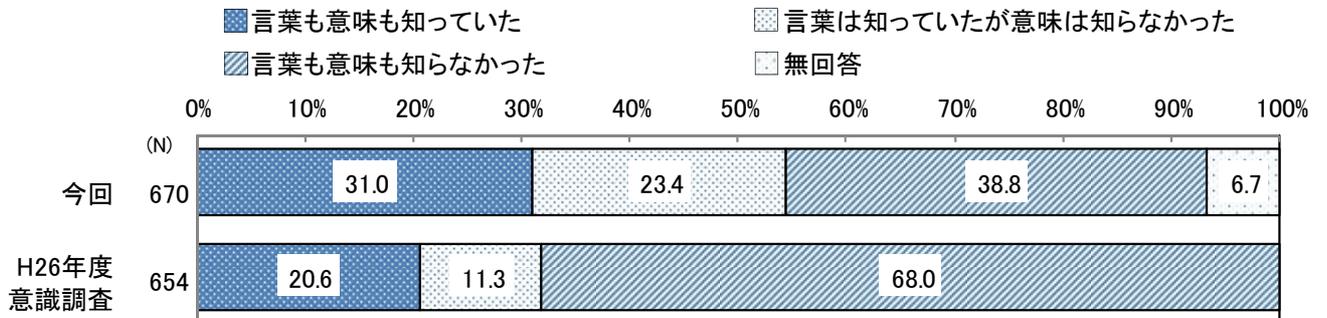
【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男女ともに「65歳～69歳」で最も高くなっている。また、「言葉も意味も知っていた」は、「40歳～49歳」、「60歳～64歳」及び「70歳以上」を除くすべての年齢層で、男性の方が女性よりも高くなっている。

過去調査との比較【ジェンダー】

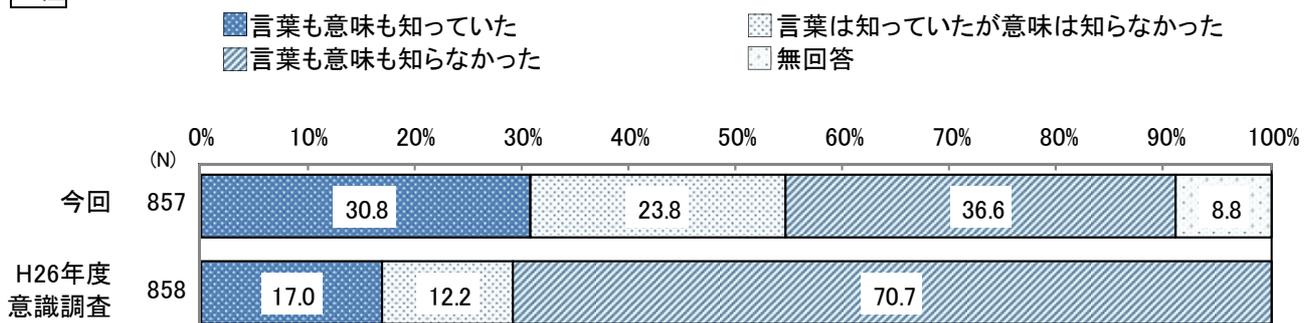
全体



男性



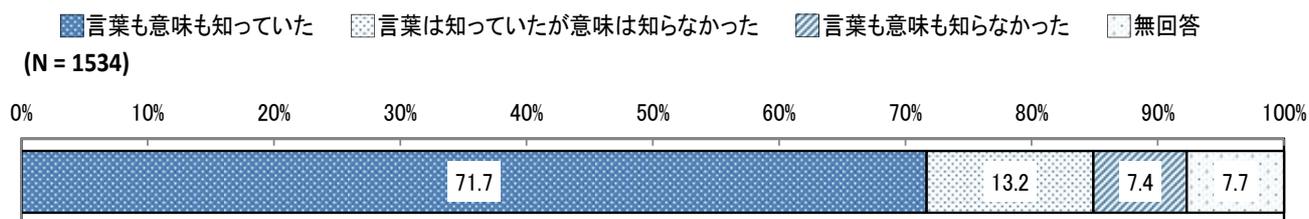
女性



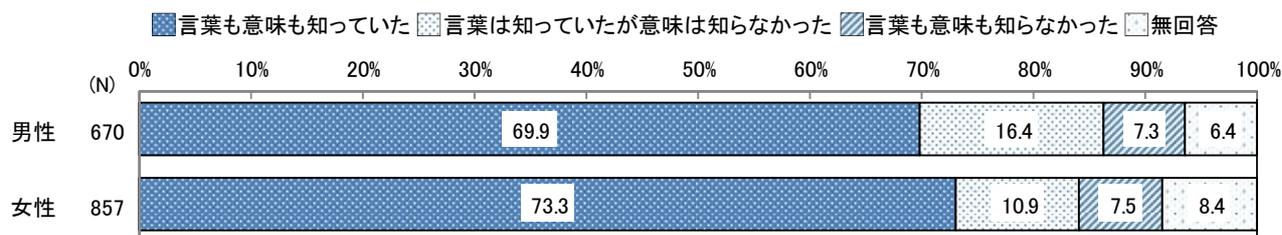
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 13.9 ポイント増加し、「言葉も意味も知らなかった」が 26.1 ポイント減少しており、認知度が向上している。

【性 別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が増加し、「言葉も意味も知らなかった」が減少している。

ドメスティックバイオレンス (DV)



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 71.7%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(13.2%)、「言葉も意味も知らなかった」(7.4%)となっている。



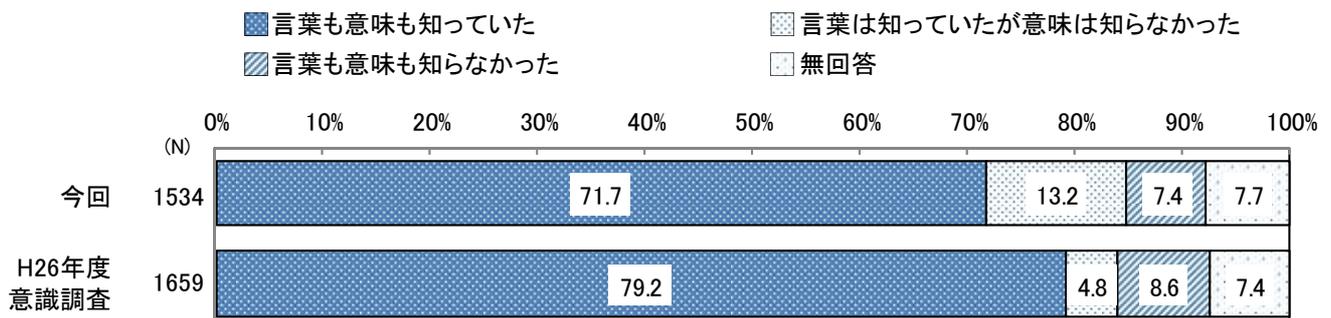
【性 別】最も差がみられた「言葉は知っていたが意味は知らなかった」では、男性 (16.4%) が女性 (10.9%) より 5.5 ポイント高い。

	全 体	ドメスティックバイオレンス(DV)の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	71.7	13.2	7.4	7.7	
性・年齢別	男性(計)	670	69.9	16.4	7.3	6.4
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	86.8	5.3	0.0	7.9
	男性・30歳～39歳	77	88.3	7.8	0.0	3.9
	男性・40歳～49歳	92	88.0	7.6	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	140	80.7	13.6	4.3	1.4
	男性・60歳～64歳	84	77.4	16.7	4.8	1.2
	男性・65歳～69歳	86	59.3	31.4	2.3	7.0
	男性・70歳以上	147	34.7	23.8	22.4	19.0
	女性(計)	857	73.3	10.9	7.5	8.4
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	87.8	9.8	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	83.5	7.7	4.4	4.4
	女性・40歳～49歳	164	93.3	3.7	1.2	1.8
	女性・50歳～59歳	173	76.9	12.7	4.6	5.8
	女性・60歳～64歳	102	83.3	8.8	5.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	59.5	21.6	9.0	9.9
	女性・70歳以上	175	45.1	12.0	19.4	23.4
無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9	

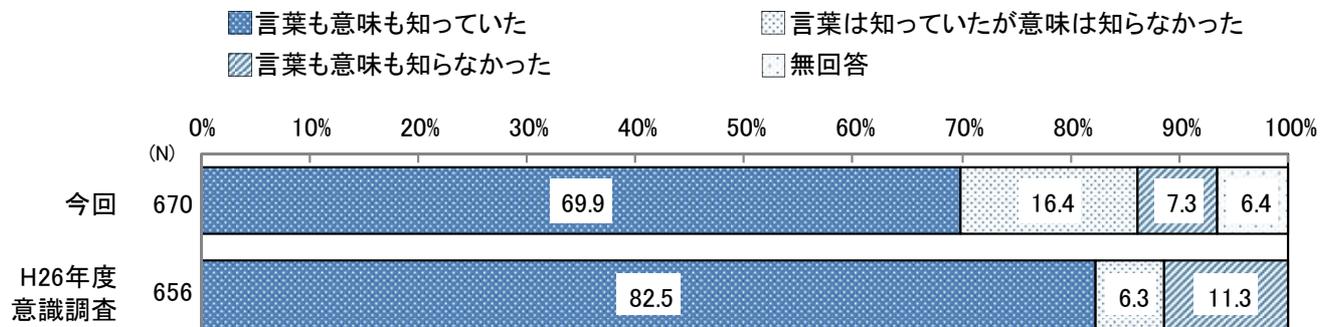
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「30歳～39歳」と「50歳～59歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。「言葉も意味も知らなかった」は、男女ともに「70歳以上」で最も高くなっている。

過去調査との比較【ドメスティックバイオレンス(DV)】

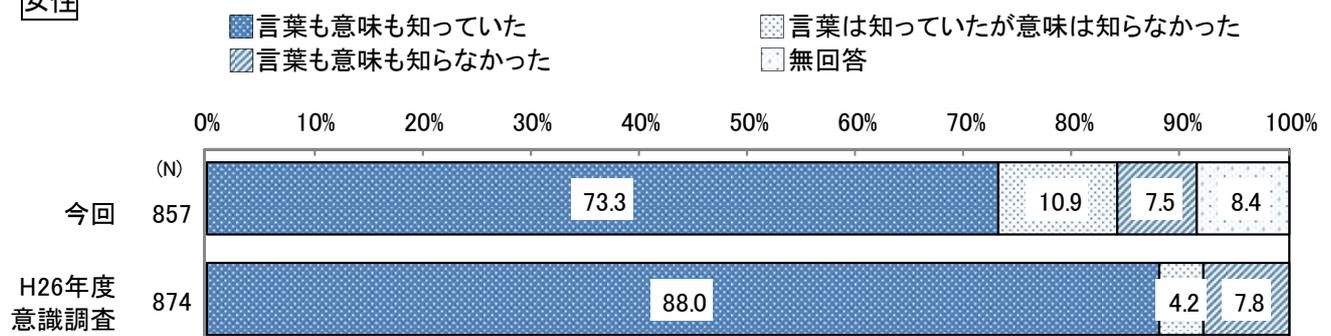
全体



男性



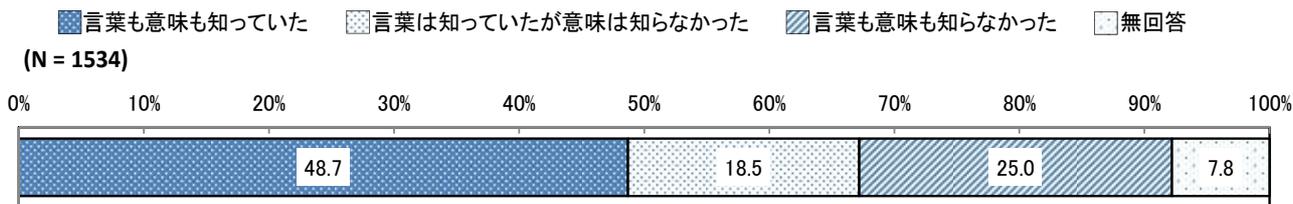
女性



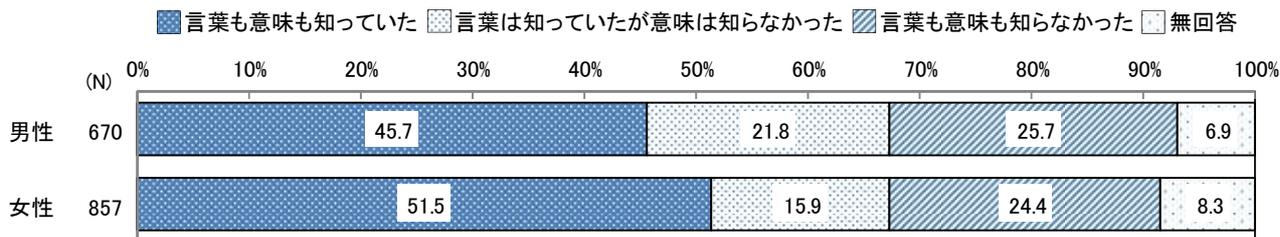
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 7.5 ポイント減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 8.4 ポイント増加している。

【性 別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が増加している。

デートDV



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が48.7%と最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(25.0%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(18.5%)となっている。



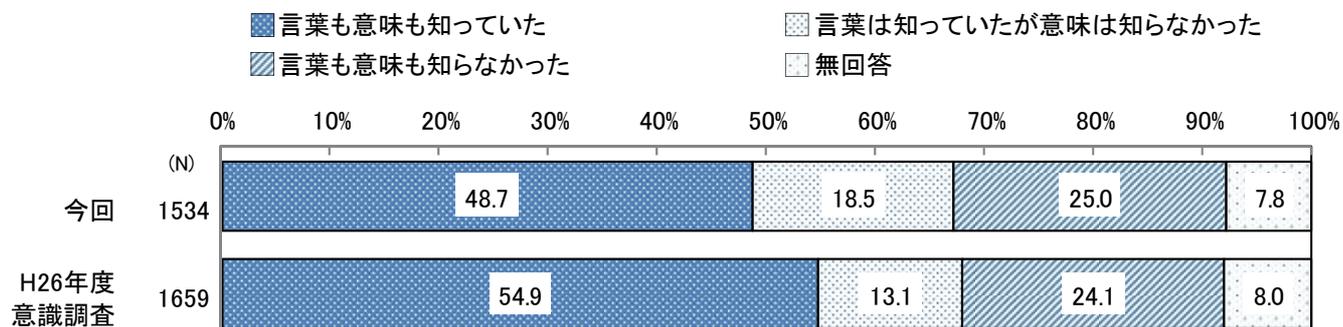
【性 別】最も差がみられた「言葉は知っていたが意味は知らなかった」では、男性(21.8%)が女性(15.9%)より5.9ポイント高い。

	全 体	デートDVの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	48.7	18.5	25.0	7.8	
性・年齢別	男性(計)	670	45.7	21.8	25.7	6.9
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	65.8	21.1	5.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	64.9	10.4	20.8	3.9
	男性・40歳～49歳	92	54.3	21.7	23.9	0.0
	男性・50歳～59歳	140	45.0	27.9	25.7	1.4
	男性・60歳～64歳	84	45.2	25.0	28.6	1.2
	男性・65歳～69歳	86	44.2	24.4	24.4	7.0
	男性・70歳以上	147	25.9	18.4	34.7	21.1
	女性(計)	857	51.5	15.9	24.4	8.3
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	65.9	4.9	26.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	58.2	14.3	23.1	4.4
	女性・40歳～49歳	164	68.9	12.2	17.7	1.2
	女性・50歳～59歳	173	54.3	13.9	25.4	6.4
	女性・60歳～64歳	102	49.0	20.6	28.4	2.0
	女性・65歳～69歳	111	49.5	27.9	19.8	2.7
	女性・70歳以上	175	28.0	14.3	30.3	27.4
無回答	7	0.0	28.6	28.6	42.9	

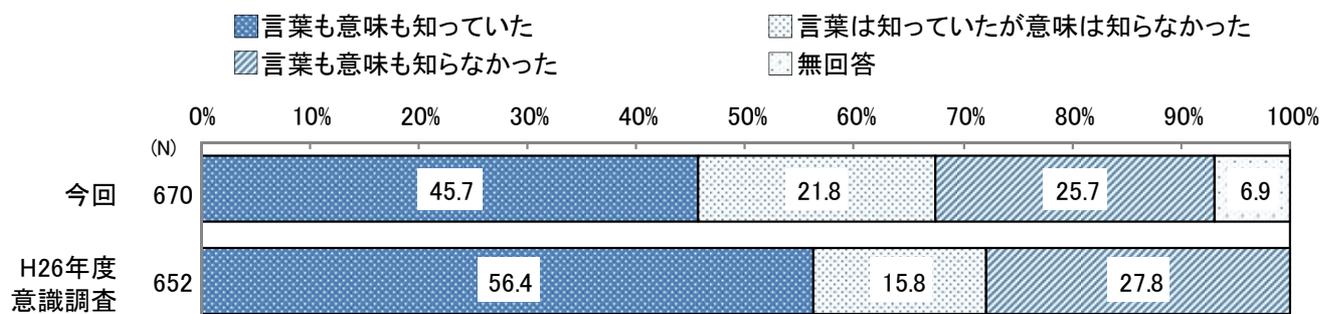
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、男性では「20歳～29歳」(65.8%)、女性では「40歳～49歳」(68.9%)で高くなっている。

過去調査との比較【デートDV】

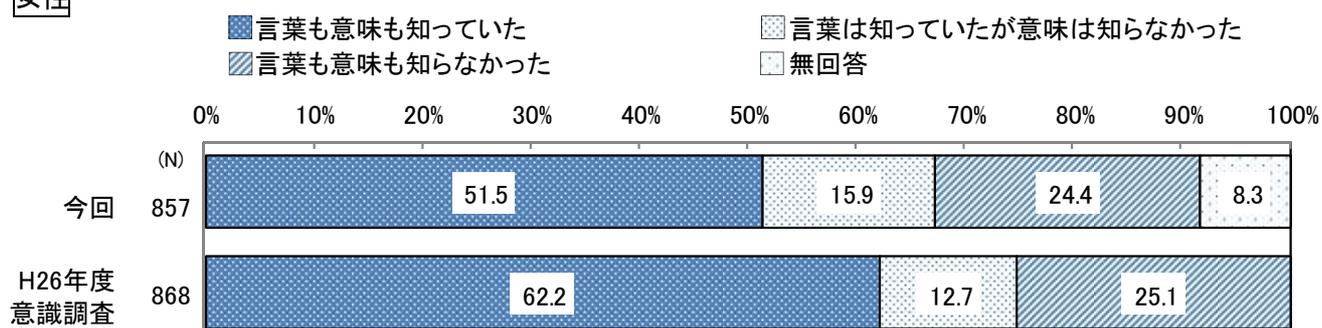
全体



男性



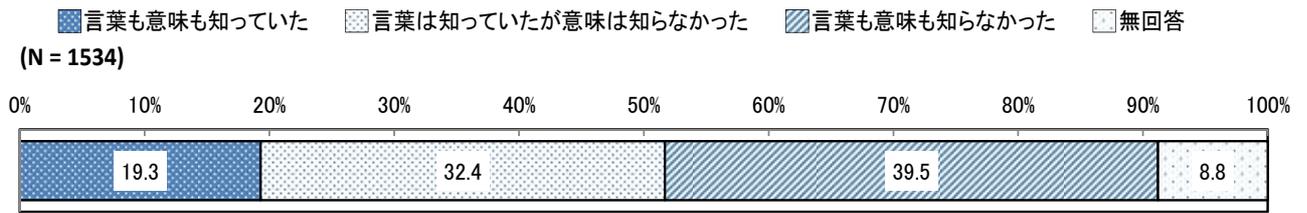
女性



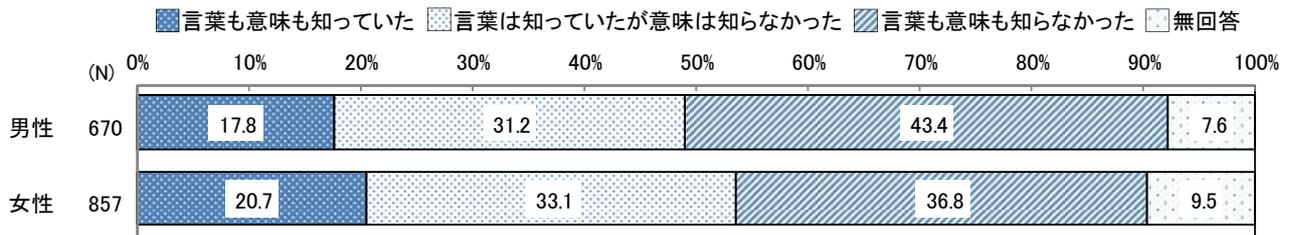
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 6.2 ポイント減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 5.4 ポイント増加している。

【性 別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が増加している。

やまがた子育て・介護応援いきいき企業



【全 体】「言葉も意味も知らなかった」が 39.5%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(32.4%)、「言葉も意味も知っていた」(19.3%)となっている。

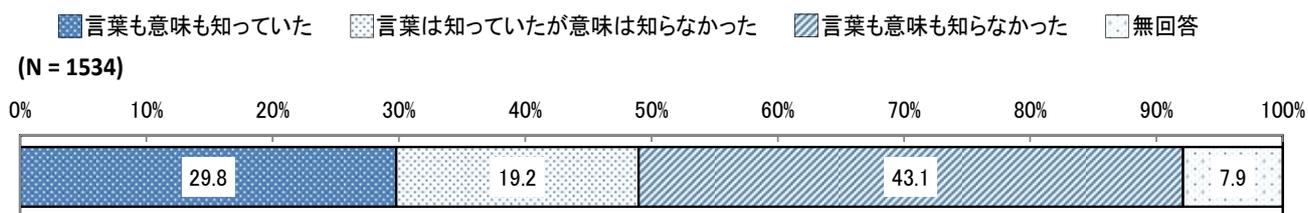


【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知らなかった」では、男性 (43.4%) が女性 (36.8%) より 6.6 ポイント高い。

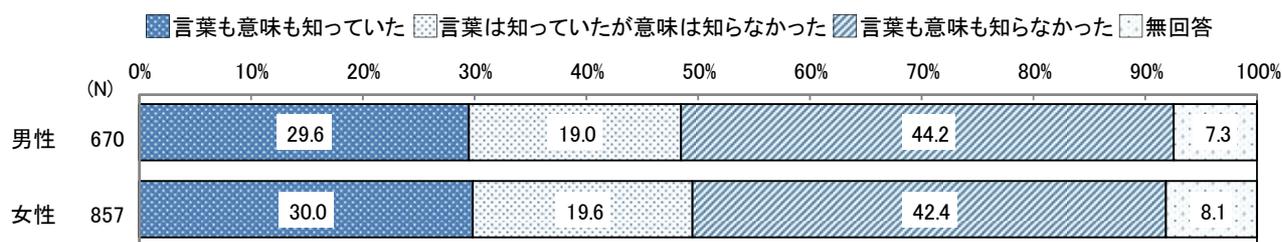
	全 体	やまがた子育て・介護応援いきいき企業の知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	19.3	32.4	39.5	8.8	
性・年齢別	男性(計)	670	17.8	31.2	43.4	7.6
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	5.3	26.3	55.3	13.2
	男性・30歳～39歳	77	28.6	9.1	58.4	3.9
	男性・40歳～49歳	92	22.8	29.3	45.7	2.2
	男性・50歳～59歳	140	17.1	32.9	48.6	1.4
	男性・60歳～64歳	84	15.5	45.2	38.1	1.2
	男性・65歳～69歳	86	25.6	26.7	36.0	11.6
	男性・70歳以上	147	10.2	39.5	31.3	19.0
	女性(計)	857	20.7	33.1	36.8	9.5
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	2.4	41.5	53.7	2.4
	女性・30歳～39歳	91	29.7	20.9	45.1	4.4
	女性・40歳～49歳	164	28.7	35.4	31.7	4.3
	女性・50歳～59歳	173	19.7	34.7	39.3	6.4
	女性・60歳～64歳	102	26.5	39.2	30.4	3.9
	女性・65歳～69歳	111	18.0	47.7	31.5	2.7
女性・70歳以上	175	12.0	21.1	37.7	29.1	
無回答	7	0.0	57.1	0.0	42.9	

【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男性の「30歳～39歳」が 58.4%と最も高く、次いで男性の「20歳～29歳」(55.3%)、女性の「20歳～29歳」(53.7%)となっており、若年層で高くなっている。

イクボス



【全体】「言葉も意味も知らなかった」が43.1%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」(29.8%)、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(19.2%)となっている。

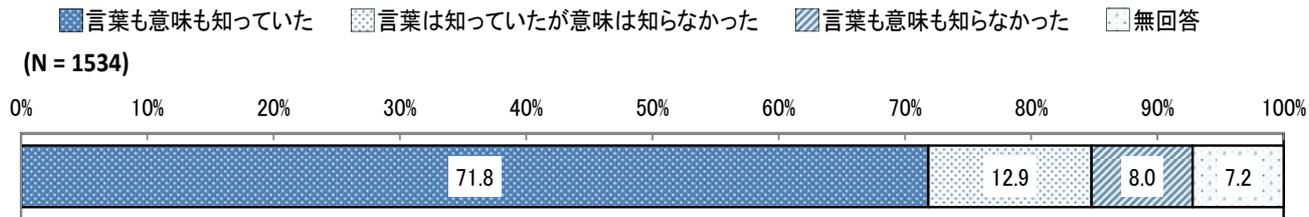


【性別】男女で大きな差はみられない。

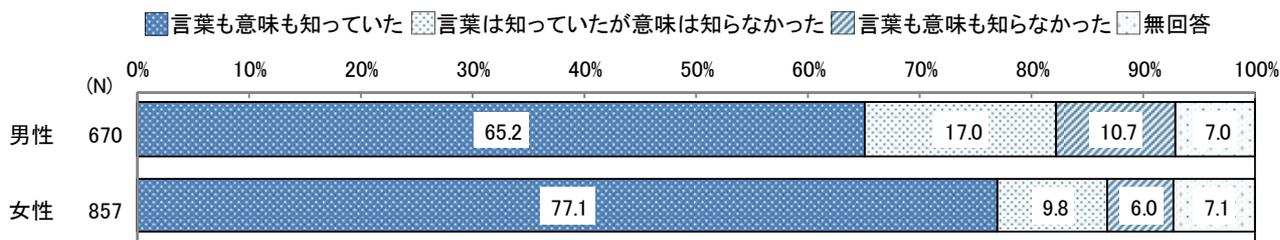
	全体	イクボスの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全体	1534	29.8	19.2	43.1	7.9	
性別・年齢別	男性(計)	670	29.6	19.0	44.2	7.3
	男性・18歳、19歳	4	0.0	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	18.4	15.8	57.9	7.9
	男性・30歳～39歳	77	44.2	13.0	39.0	3.9
	男性・40歳～49歳	92	26.1	15.2	56.5	2.2
	男性・50歳～59歳	140	35.0	20.0	43.6	1.4
	男性・60歳～64歳	84	36.9	32.1	29.8	1.2
	男性・65歳～69歳	86	34.9	22.1	33.7	9.3
	男性・70歳以上	147	15.6	15.6	48.3	20.4
	女性(計)	857	30.0	19.6	42.4	8.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	39.0	9.8	48.8	2.4
	女性・30歳～39歳	91	29.7	12.1	53.8	4.4
	女性・40歳～49歳	164	31.1	30.5	36.6	1.8
	女性・50歳～59歳	173	32.9	19.1	41.6	6.4
	女性・60歳～64歳	102	37.3	17.6	41.2	3.9
	女性・65歳～69歳	111	37.8	18.0	39.6	4.5
	女性・70歳以上	175	14.9	18.3	43.4	23.4
	無回答	7	28.6	0.0	28.6	42.9

【性別・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男性では「20歳～29歳」(57.9%)、女性では「30歳～39歳」(53.8%)で高くなっている。

イクメン



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 71.8%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(12.9%)、「言葉も意味も知らなかった」(8.0%)となっている。



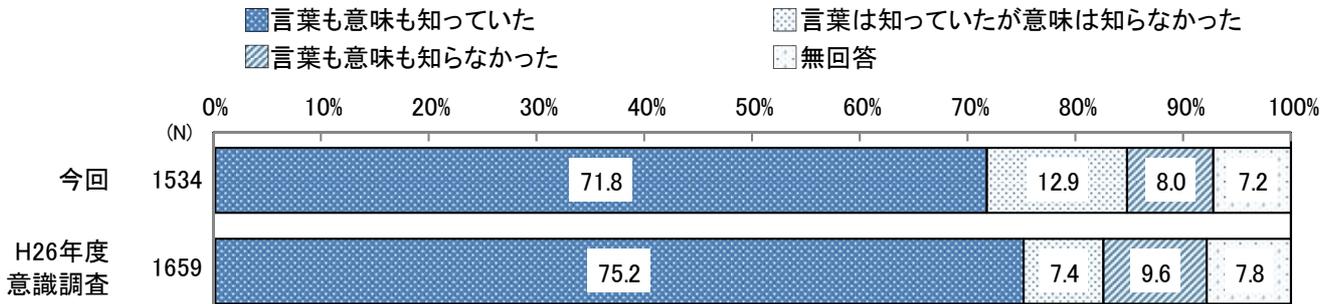
【性 別】最も差がみられた「言葉も意味も知っていた」では、女性(77.1%)が男性(65.2%)より 11.9ポイント高い。

	全 体	イクメンの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	71.8	12.9	8.0	7.2	
性・年齢別	男性(計)	670	65.2	17.0	10.7	7.0
	男性・18歳、19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	86.8	5.3	0.0	7.9
	男性・30歳～39歳	77	89.6	2.6	3.9	3.9
	男性・40歳～49歳	92	84.8	10.9	4.3	0.0
	男性・50歳～59歳	140	72.9	22.9	2.9	1.4
	男性・60歳～64歳	84	59.5	29.8	7.1	3.6
	男性・65歳～69歳	86	64.0	12.8	14.0	9.3
	男性・70歳以上	147	31.3	20.4	29.3	19.0
	女性(計)	857	77.1	9.8	6.0	7.1
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	92.7	4.9	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	87.9	3.3	4.4	4.4
	女性・40歳～49歳	164	93.9	3.0	1.2	1.8
	女性・50歳～59歳	173	80.3	12.1	2.3	5.2
	女性・60歳～64歳	102	90.2	3.9	3.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	74.8	10.8	8.1	6.3
	女性・70歳以上	175	42.9	21.1	16.0	20.0
無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9	

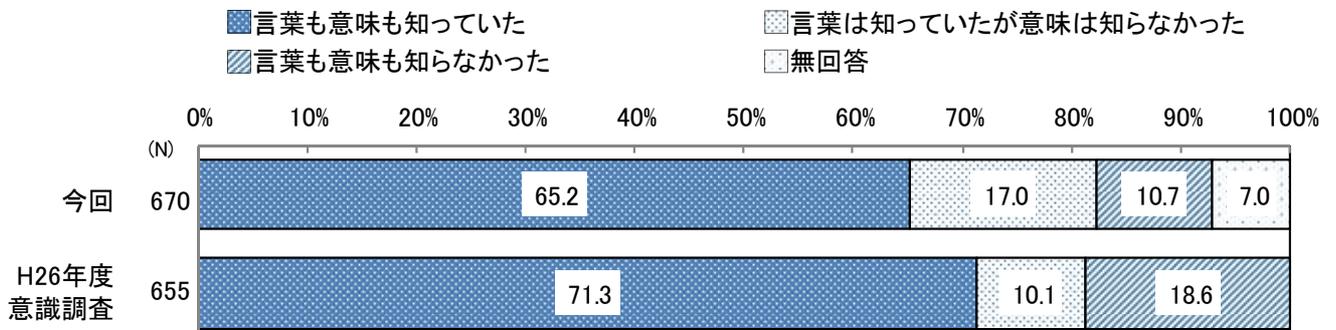
【性・年齢別】「言葉も意味も知っていた」は、「30歳～39歳」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。また、男性では「30歳～39歳」(89.6%)、女性では「40歳～49歳」(93.9%)で最も高くなっている。

過去調査との比較【イクメン】

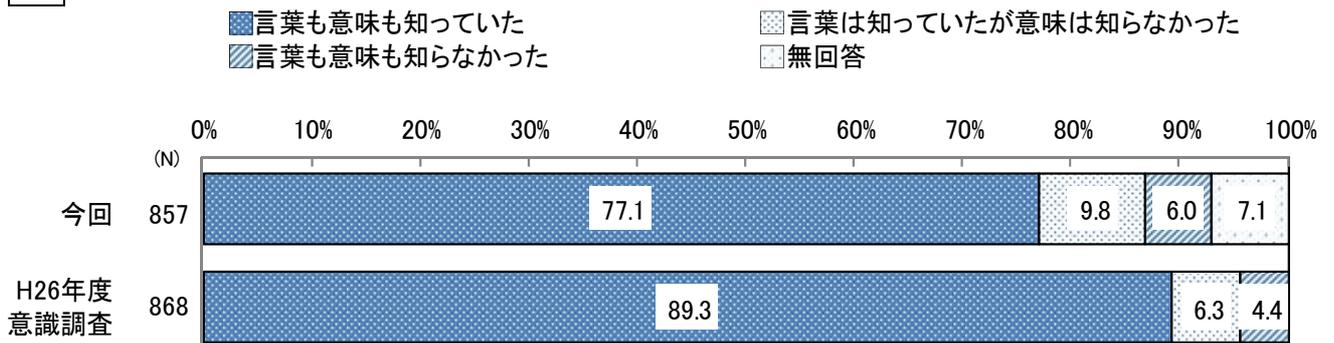
全体



男性



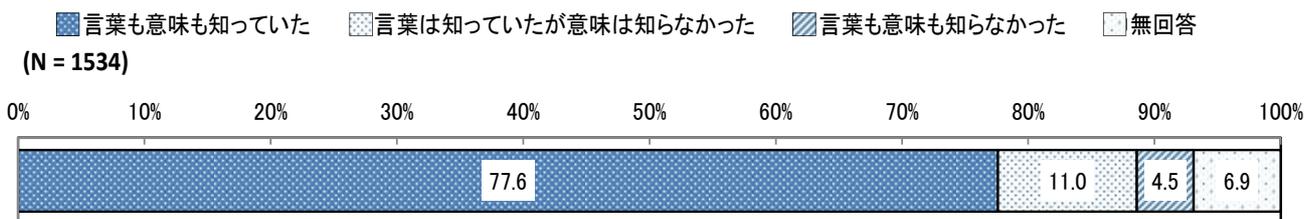
女性



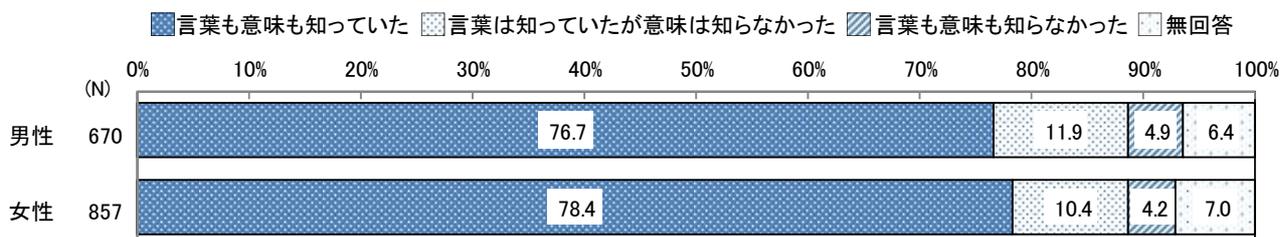
【全 体】平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 3.4 ポイント減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 5.5 ポイント増加している。

【性 別】男女ともに、「言葉も意味も知っていた」が減少し、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が増加している。

セクシュアルハラスメント



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 77.6%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(11.0%)、「言葉も意味も知らなかった」(4.5%) となっている。

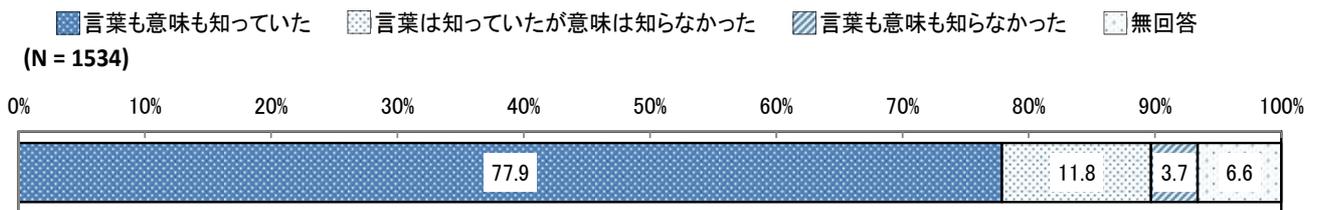


【性 別】男女で大きな差はみられない。

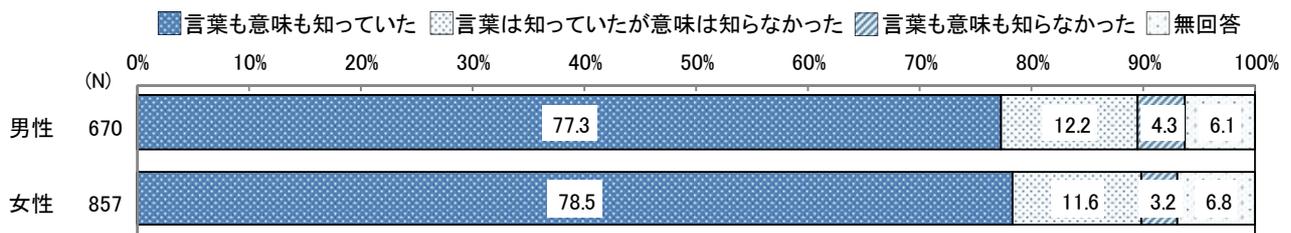
	全 体	セクシュアルハラスメントの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	77.6	11.0	4.5	6.9	
性・年齢別	男性(計)	670	76.7	11.9	4.9	6.4
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	86.8	5.3	0.0	7.9
	男性・30歳～39歳	77	96.1	0.0	0.0	3.9
	男性・40歳～49歳	92	91.3	6.5	2.2	0.0
	男性・50歳～59歳	140	82.1	15.0	1.4	1.4
	男性・60歳～64歳	84	84.5	13.1	1.2	1.2
	男性・65歳～69歳	86	70.9	15.1	7.0	7.0
	男性・70歳以上	147	47.6	18.4	15.0	19.0
	女性(計)	857	78.4	10.4	4.2	7.0
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	92.7	4.9	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	89.0	2.2	4.4	4.4
	女性・40歳～49歳	164	95.1	3.7	0.0	1.2
	女性・50歳～59歳	173	83.2	10.4	1.2	5.2
	女性・60歳～64歳	102	90.2	7.8	0.0	2.0
	女性・65歳～69歳	111	71.2	18.0	6.3	4.5
女性・70歳以上	175	46.9	18.9	13.1	21.1	
無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9	

【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男女ともに「70歳以上」で最も高くなっている。

パワー・ハラスメント



【全 体】「言葉も意味も知っていた」が 77.9%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」(11.8%)、「言葉も意味も知らなかった」(3.7%)となっている。



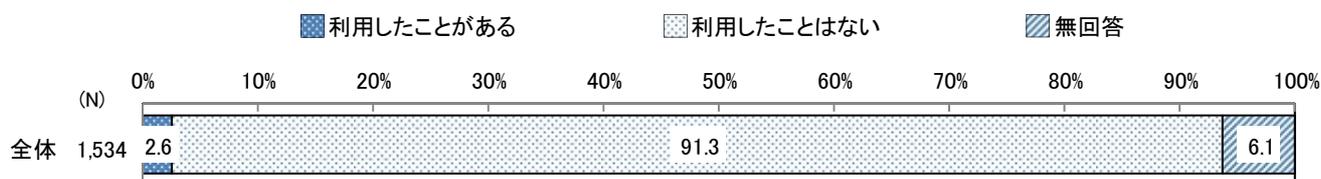
【性 別】男女で大きな差はみられない。

	全 体	パワー・ハラスメントの知識				
		言葉も意味も知っていた	言葉は知っていたが意味は知らなかった	言葉も意味も知らなかった	無回答	
全 体	1534	77.9	11.8	3.7	6.6	
性・年齢別	男性(計)	670	77.3	12.2	4.3	6.1
	男性・18歳、19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	81.6	5.3	5.3	7.9
	男性・30歳～39歳	77	96.1	0.0	0.0	3.9
	男性・40歳～49歳	92	91.3	6.5	2.2	0.0
	男性・50歳～59歳	140	85.0	13.6	1.4	0.0
	男性・60歳～64歳	84	86.9	10.7	1.2	1.2
	男性・65歳～69歳	86	75.6	12.8	4.7	7.0
	男性・70歳以上	147	44.9	23.8	12.2	19.0
	女性(計)	857	78.5	11.6	3.2	6.8
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	92.7	4.9	0.0	2.4
	女性・30歳～39歳	91	89.0	2.2	4.4	4.4
	女性・40歳～49歳	164	96.3	2.4	0.0	1.2
	女性・50歳～59歳	173	85.5	9.2	0.0	5.2
	女性・60歳～64歳	102	88.2	7.8	2.0	2.0
	女性・65歳～69歳	111	70.3	23.4	1.8	4.5
女性・70歳以上	175	45.7	23.4	10.9	20.0	
無回答	7	57.1	0.0	0.0	42.9	

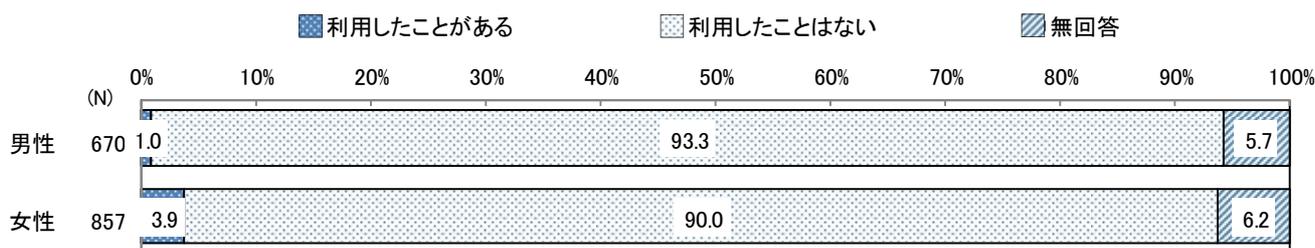
【性・年齢別】「言葉も意味も知らなかった」は、男女ともに「70歳以上」で最も高くなっている。

(32) 男女共同参画センター利用の有無について

問3 2 「山形県男女共同参画センター「チェリア」を利用したことがありますか。(〇は1つ)



【全 体】「利用したことはない」が91.3%と最も高く、「利用したことがある」は2.6%となっている。



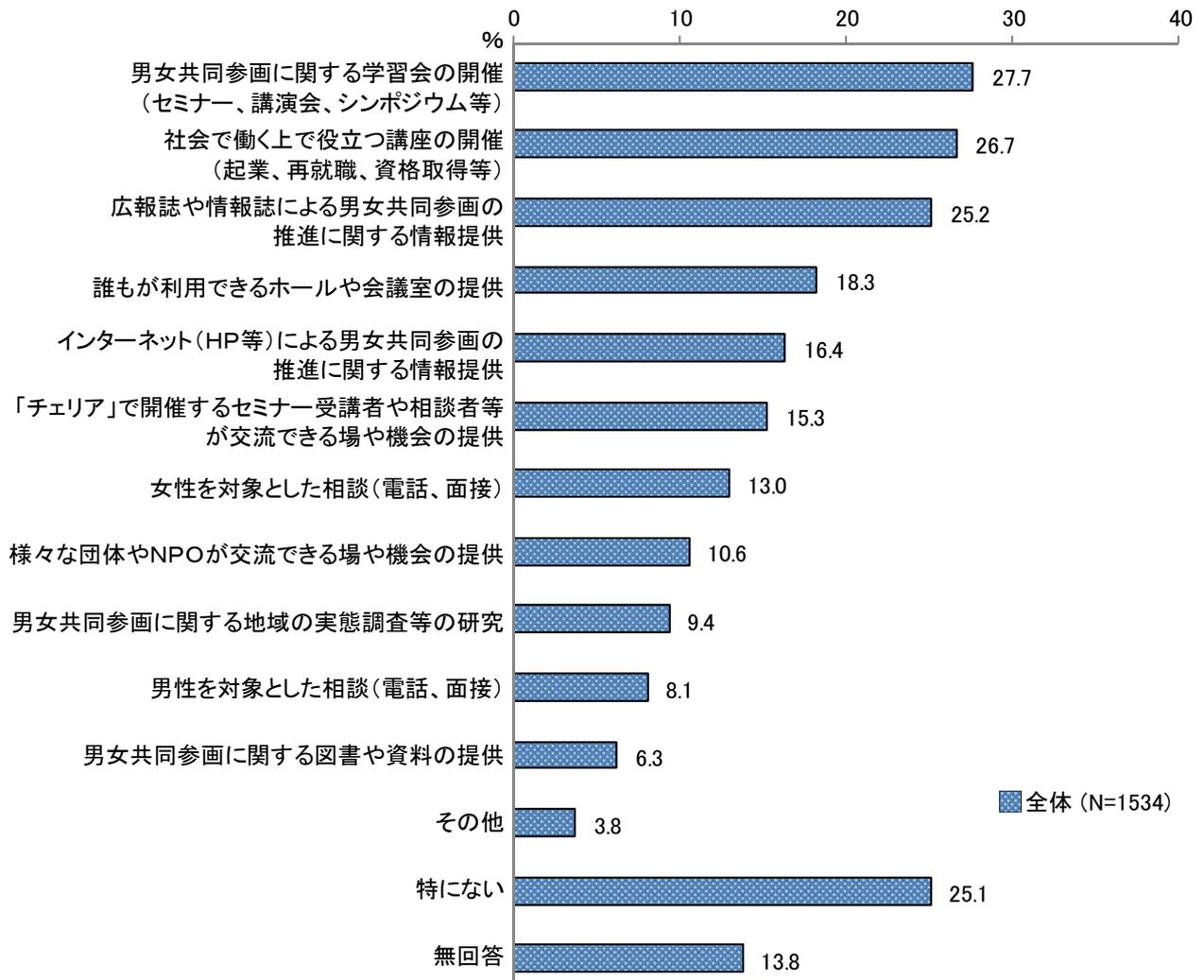
【性 別】男女で大きな差はみられない。

	全 体	山形県男女共同参画センター「チェリア」の利用有無			
		利用したことがある	利用したことはない	無回答	
全 体	1534	2.6	91.3	6.1	
性・年齢別	男性(計)	670	1.0	93.3	5.7
	男性・18歳、19歳	4	0.0	100.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	0.0	92.1	7.9
	男性・30歳～39歳	77	0.0	96.1	3.9
	男性・40歳～49歳	92	0.0	100.0	0.0
	男性・50歳～59歳	140	0.0	98.6	1.4
	男性・60歳～64歳	84	4.8	95.2	0.0
	男性・65歳～69歳	86	0.0	89.5	10.5
	男性・70歳以上	147	2.0	83.7	14.3
	女性(計)	857	3.9	90.0	6.2
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	4.9	95.1	0.0
	女性・30歳～39歳	91	0.0	97.8	2.2
	女性・40歳～49歳	164	6.1	91.5	2.4
	女性・50歳～59歳	173	3.5	93.6	2.9
	女性・60歳～64歳	102	4.9	93.1	2.0
	女性・65歳～69歳	111	3.6	87.4	9.0
	女性・70歳以上	175	3.4	79.4	17.1
	無回答	7	0.0	57.1	42.9

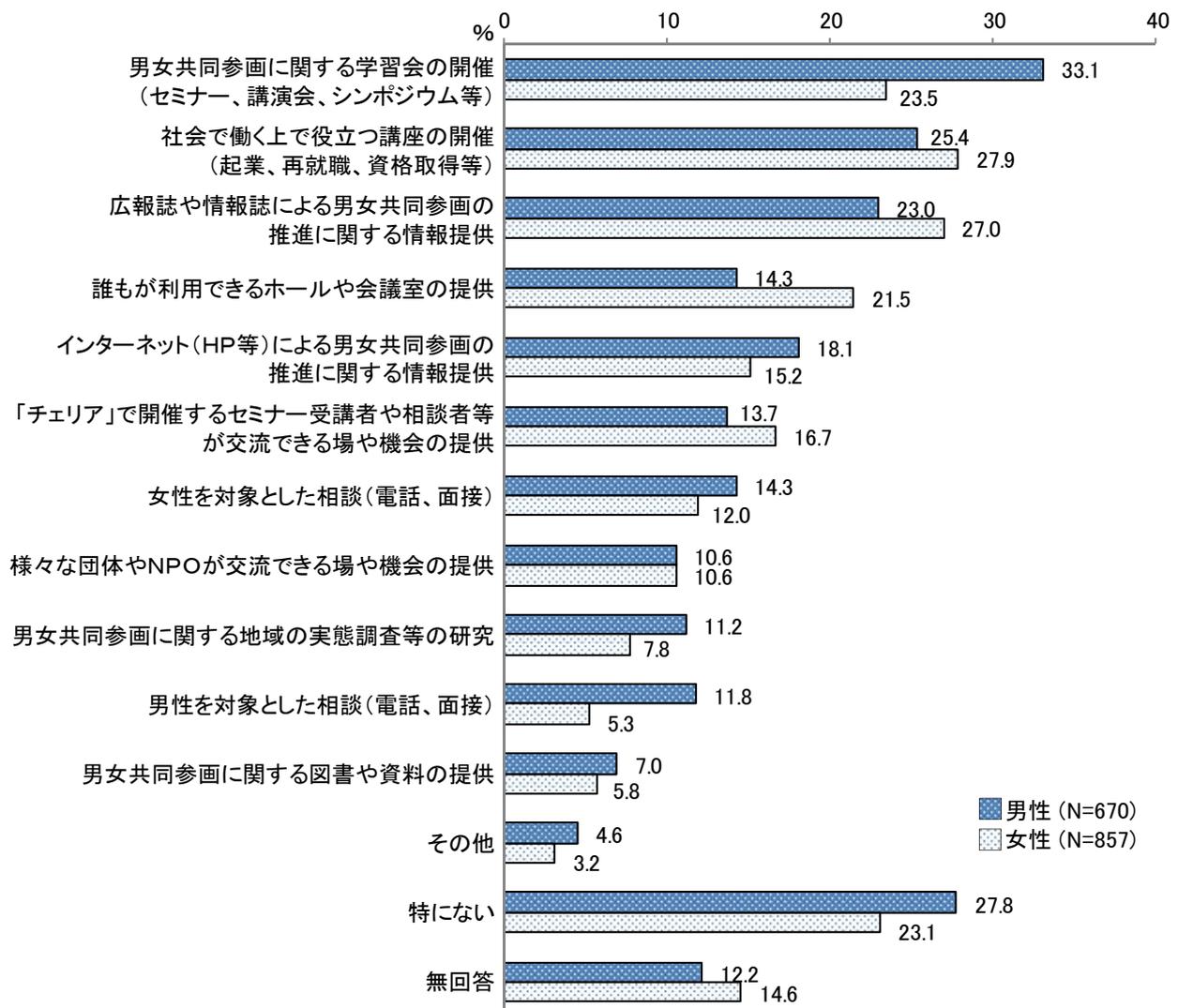
【性・年齢別】「利用したことはない」は、男性の「40歳～49歳」(100.0%)や女性の「30歳～39歳」(97.8%)をはじめ、すべての年齢層で高くなっている。

(33) 男女共同参画センターの役割について

問33 「山形県男女共同参画センター“チェリア”について、あなたは、この施設にどのような役割を期待していますか。(あてはまるものすべてに○)



【全体】男女共同参画センター「チェリア」に期待する役割については、「男女共同参画に関する学習会の開催(セミナー、講演会、シンポジウム等)」が27.7%と最も高く、次いで「社会で働く上で役立つ講座の開催(起業、再就職、資格取得等)」(26.7%)、「広報誌や情報誌による男女共同参画の推進に関する情報提供」(25.2%)となっている。



【性別】男性は「男女共同参画に関する学習会の開催」が33.1%と最も高く、次いで「特にない」(27.8%)、「社会で働く上で役立つ講座の開催」(25.4%)となっている。

女性は「社会で働く上で役立つ講座の開催」が27.9%と最も高く、次いで「広報誌や情報誌による男女共同参画の推進に関する情報提供」(27.0%)、「男女共同参画に関する学習会の開催」(23.5%)となっている。

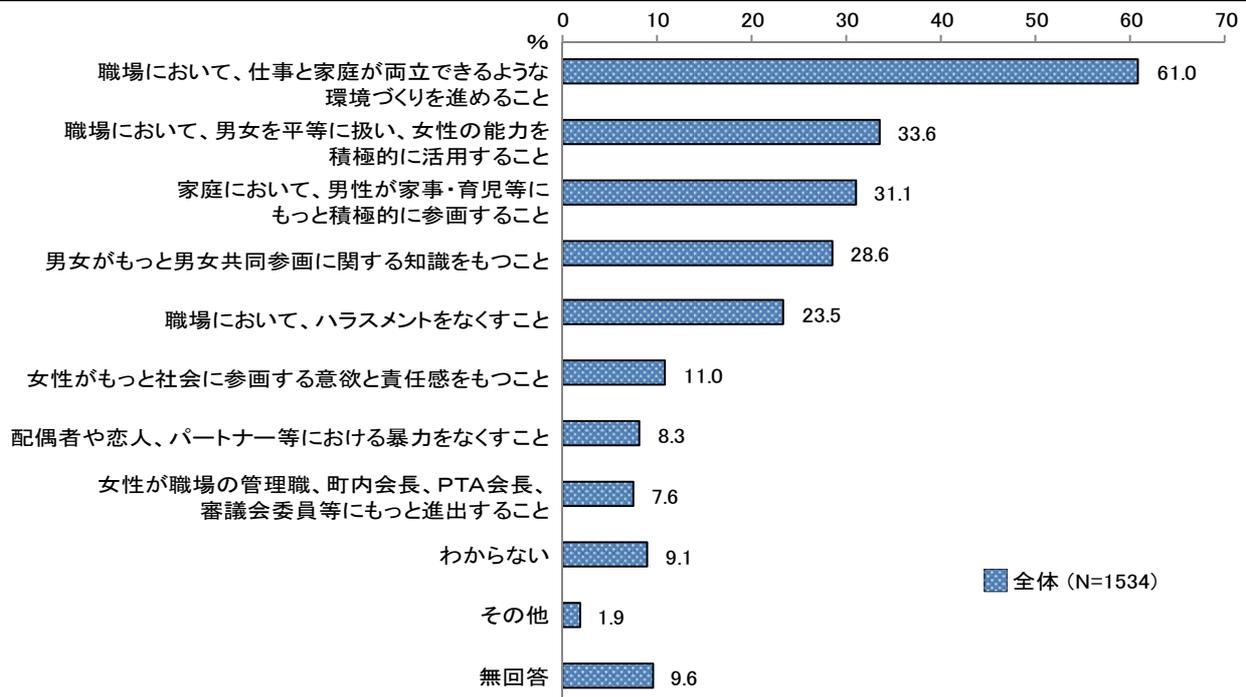
	全 体	山形県男女共同参画センター「チェリア」に期待すること														
		(セミナー、講演会、シンポジウム等)	(社会で働く上で役立つ講座の開催(起業、再就職、資格取得等))	(女性を対象とした相談(電話、面接))	(男性を対象とした相談(電話、面接))	(広報誌や情報誌による男女共同参画の推進に関する情報提供)	(インターネット(HP等)による男女共同参画の推進に関する情報提供)	(男女共同参画に関する図書や資料の提供)	(「チェリア」で開催できるセミナー受講者や相談者等が交流できる場や機会の提供)	(様々な団体やNPOが交流できる場の機会の提供)	(男女共同参画に関する地域の実態調査等の研究)	(誰もが利用できるホールや会議室の提供)	(その他)	(特になし)	(無回答)	
全体	1534	27.7	26.7	13.0	8.1	25.2	16.4	6.3	15.3	10.6	9.4	18.3	3.8	25.1	13.8	
性・年齢別	男性(計)	670	33.1	25.4	14.3	11.8	23.0	18.1	7.0	13.7	10.6	11.2	14.3	4.6	27.8	12.2
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	13.2	18.4	7.9	7.9	15.8	5.3	0.0	0.0	10.5	7.9	13.2	21.1	34.2	7.9
	男性・30歳～39歳	77	20.8	19.5	23.4	23.4	10.4	19.5	6.5	14.3	6.5	9.1	18.2	5.2	37.7	11.7
	男性・40歳～49歳	92	28.3	25.0	21.7	17.4	18.5	17.4	8.7	10.9	9.8	15.2	20.7	0.0	41.3	2.2
	男性・50歳～59歳	140	37.1	30.7	15.7	12.9	22.1	21.4	7.1	14.3	12.9	7.1	16.4	2.9	30.0	4.3
	男性・60歳～64歳	84	51.2	34.5	7.1	6.0	32.1	25.0	7.1	25.0	10.7	22.6	7.1	8.3	13.1	9.5
	男性・65歳～69歳	86	30.2	26.7	15.1	10.5	26.7	12.8	7.0	9.3	7.0	5.8	14.0	2.3	22.1	22.1
	男性・70歳以上	147	35.4	19.0	9.5	6.8	25.9	16.3	8.2	13.6	13.6	10.2	10.2	4.1	21.8	23.8
	女性(計)	857	23.5	27.9	12.0	5.3	27.0	15.2	5.8	16.7	10.6	7.8	21.5	3.2	23.1	14.6
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	24.4	36.6	31.7	14.6	29.3	36.6	14.6	14.6	9.8	9.8	19.5	0.0	24.4	4.9
	女性・30歳～39歳	91	24.2	36.3	15.4	5.5	22.0	18.7	7.7	14.3	6.6	11.0	9.9	0.0	33.0	5.5
	女性・40歳～49歳	164	25.6	30.5	14.0	7.9	26.8	19.5	9.8	18.3	11.0	11.0	22.6	5.5	23.2	4.3
	女性・50歳～59歳	173	18.5	31.8	12.1	3.5	27.2	13.3	2.3	12.7	10.4	2.3	19.7	4.6	28.3	5.8
	女性・60歳～64歳	102	25.5	34.3	9.8	7.8	32.4	12.7	0.0	16.7	8.8	7.8	27.5	2.0	16.7	18.6
女性・65歳～69歳	111	23.4	13.5	11.7	2.7	22.5	14.4	8.1	18.9	11.7	9.0	22.5	5.4	13.5	27.9	
女性・70歳以上	175	24.6	20.6	5.1	2.3	28.6	8.0	4.6	19.4	13.1	7.4	24.6	1.1	22.3	29.1	
無回答	7	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	57.1	

【性・年齢別】「男女共同参画に関する学習会の開催(セミナー、講演会、シンポジウム等)」は、男性の「60歳～64歳」(51.2%)で唯一5割を超えている。

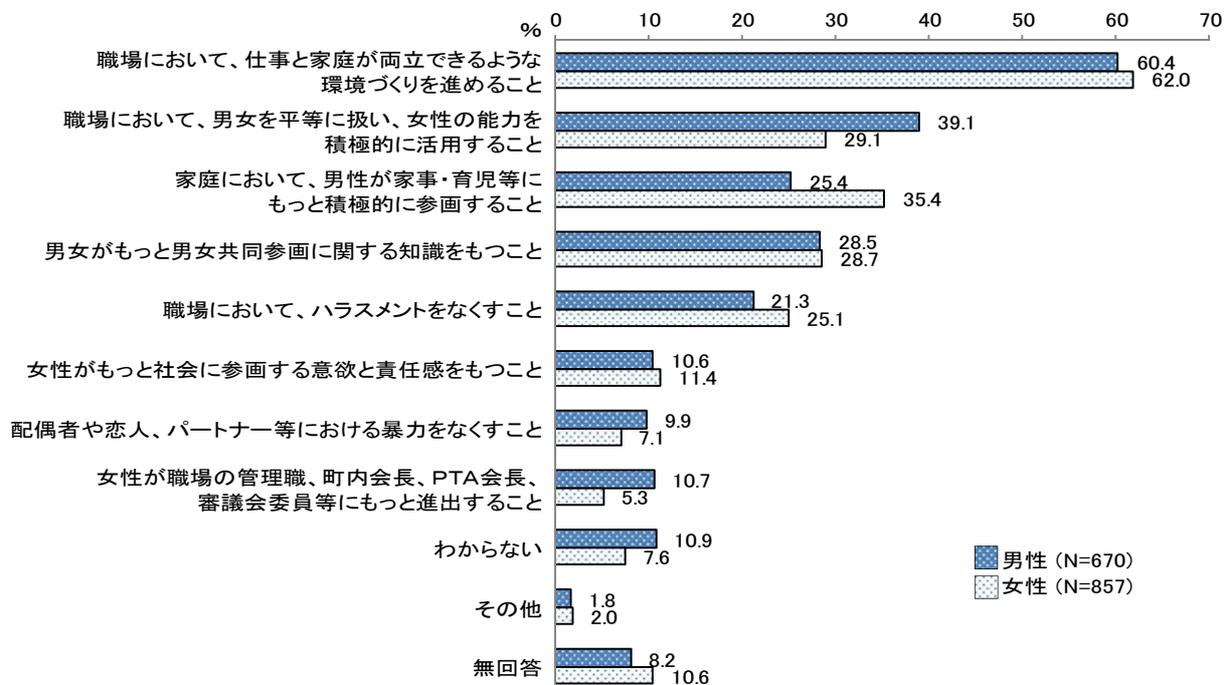
「インターネット(HP等)による男女共同参画の推進に関する情報提供」では、女性の「20歳～29歳」(36.6%)で3割半ばを超え、他と差がみられた。

(34) 男女共同参画社会の実現のために重要なことについて

問3 4 男女共同参画社会を実現するうえで重要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】男女共同参画社会を実現するうえで重要なことについては、「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が61.0%と最も高く、次いで「職場において、男女を平等に扱い、女性の能力を積極的に活用すること」(33.6%)、「家庭において、男性が家事・育児等にもっと積極的に参画すること」(31.1%)となっている。



【性別】男性は「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が60.4%と最も高く、次いで「職場において、男女を平等に扱い、女性の能力を積極的に活用すること」(39.1%)、「男女がもっと男女共同参画に関する知識をもつこと」(28.5%)となっている。

女性は「職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること」が62.0%と最も高くなっているが、次いで高いのは「家庭において、男性が家事・育児等にもっと積極的に参画すること」(35.4%)となっており、男性(25.4%)よりも10.0ポイント高く、男女の意識の差が表れている。

	全体	男女共同参画社会を実現する為に重要なこと										
		職場において、仕事を進めることと家庭が両立できること	職場において、男女を平等に扱い、女性の能力を積極的に活用すること	職場において、ハラスメントをなくすこと	家庭において、男性が家事・育児等にもっと積極的に参画すること	配偶者や恋人、パートナー等における暴力をなくすこと	男女がもっと男女共同参画に関する知識をもつこと	女性がもっと社会に参画する意欲と責任感をもつこと	女性管理職、町内会長、PTA等にもっと進出すること	わからない	その他	無回答
全体	1534	61.0	33.6	23.5	31.1	8.3	28.6	11.0	7.6	9.1	1.9	9.6
性・年齢別	男性(計)	670	60.4	39.1	21.3	25.4	9.9	28.5	10.6	10.7	1.8	8.2
	男性・18歳、19歳	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性・20歳～29歳	38	65.8	28.9	31.6	39.5	18.4	15.8	5.3	0.0	15.8	0.0
	男性・30歳～39歳	77	62.3	33.8	24.7	28.6	14.3	20.8	13.0	5.2	13.0	10.4
	男性・40歳～49歳	92	62.0	34.8	19.6	30.4	9.8	34.8	15.2	12.0	8.7	0.0
	男性・50歳～59歳	140	65.7	38.6	22.1	27.1	12.9	25.7	15.7	8.6	10.0	1.4
	男性・60歳～64歳	84	72.6	52.4	25.0	27.4	6.0	35.7	9.5	19.0	2.4	0.0
	男性・65歳～69歳	86	51.2	43.0	24.4	15.1	9.3	32.6	7.0	12.8	12.8	0.0
	男性・70歳以上	147	51.7	36.7	14.3	21.1	5.4	27.9	6.1	12.2	13.6	1.4
	女性(計)	857	62.0	29.1	25.1	35.4	7.1	28.7	11.4	5.3	7.6	2.0
	女性・18歳、19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性・20歳～29歳	41	80.5	22.0	29.3	58.5	29.3	19.5	7.3	9.8	4.9	0.0
	女性・30歳～39歳	91	72.5	30.8	17.6	47.3	2.2	26.4	9.9	3.3	4.4	2.2
	女性・40歳～49歳	164	72.0	27.4	32.9	39.6	9.8	31.1	4.9	4.9	4.9	5.5
	女性・50歳～59歳	173	57.2	30.1	29.5	38.2	2.3	31.8	13.9	4.6	7.5	0.0
	女性・60歳～64歳	102	70.6	41.2	30.4	35.3	4.9	24.5	12.7	3.9	4.9	2.0
	女性・65歳～69歳	111	60.4	25.2	18.9	29.7	4.5	32.4	18.0	3.6	4.5	3.6
	女性・70歳以上	175	43.4	25.7	17.1	20.6	9.7	26.9	12.0	8.0	16.0	0.0
	無回答	7	0.0	57.1	28.6	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0

【性・年齢別】「職場において、男女を平等に扱い、女性の能力を積極的に活用すること」では男性の「60歳～64歳」(52.4%)で唯一5割を超えている。女性でも「60歳～64歳」(41.2%)が高くなっている。

「家庭において、男性が家事・育児等にもっと積極的に参画すること」では、「70歳以上」を除くすべての年齢層で、女性の方が男性よりも高くなっている。